

第三十條中「選舉ノ效力」ヲ「選舉及當選ノ效力」ニ改ム

第三十一條中「前三項」ヲ「前二項」ニ改メ第四項ヲ削ル

第三十二條中「同年月ナルトキ」ヲ「年齢同シキトキ」ニ改ム

第三十四條中「選舉ノ日ヨリ」ヲ「選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ前條告示ノ日ヨリ」ニ改メ「申立ノ有無ニ拘ラス」ノ下ニ「選舉ニ關シテハ」ヲ「報告ヲ受ケタル日ヨリ」ノ下ニ「當選ニ關シテハ同條第二項又ハ第三項ノ申立アリタル日ヨリ」ヲ加ヘ第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

第三十五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス

第三十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ除ク外其ノ被選舉權ノ有無ニ關スル異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス
同條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十四條第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條第二項ヲ左ノ如ク改ム

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村其ノ組合ノ管理者ハ之ヲ町村長ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第四十七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

議長及副議長ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代ハリ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

前項假議長ノ選舉ニ付テハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齢同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 議長及議員ハ自己又ハ父母祖父母妻子孫兄弟姉妹ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ス但シ府縣會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第五十五條中「選舉ヲ行フトキハ」ノ下ニ「本法中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外」ヲ加ヘ「匿名投票」ヲ「無記名投票」ニ改メ「其ノ他」ハ第十八條第二十七條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス」ヲ削リ第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ場合ニ於テハ第十八條及第二十七條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

第一項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選ノ法ヲ用ウルコトヲ得

第五十七條ニ左ノ二項ヲ加フ

議員定員ノ半數以上ヨリ請求アルトキハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カサルトキハ第四十八條ノ例ニ依ル

○前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ

○議員中異議アルトキハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス

第六十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會ハ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設クヘシ

會議規則ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十五條中「八名」ヲ「十名」ニ「六名」ヲ「七名」ニ改ム

第六十六條第三項乃至第五項ヲ左ノ如ク改ム

前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中關員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前後ニ依リ選舉同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取り年齡同シキトキハ抽籤ニ依ル仍關員アル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在任ス

名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ハ一年トス但シ名譽職參事會員任期滿了ノ場合ニ於テハ

後任者就任ノ前日マテ在任ス

名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

第七十條中「第四十九條」ノ下ニ「第五十一條第三項第五十五條第五十七條第一項」ヲ加フ

第七十四條中「第六十六條第三項」ヲ「第六十六條第四項」ニ改ム

第八十二條中「法律命令」ノ下ニ「若ハ會議規則」ヲ加フ

第八十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

府縣會又ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

第九十四條第二項ヲ左ノ如ク改ム

費用辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

第九十五條乃至第九十七條中「退職給與金」ヲ下ニ「死亡給與金」ヲ加フ

第九十六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

本法中別ニ規定アルモノヲ除ク外使用料手数料ニ關スル細則ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料五圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

第九十六條中「若ハ使用シ」ヲ「使用シ若ハ占有シ」ニ改メ但書ヲ削ル

第九十七條 納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地家屋物件若ハ其ノ收入又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業若ハ其ノ收入ニ對シテハ府縣稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

住所滞在同時ニ府縣ノ内外ニ涉ル者ノ前項以外ノ收入ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ其ノ收入ヲ各府縣ニ平分シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第九十八條 府縣ノ内外ニ涉リ營業所ヲ定メテ爲ス營業又ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ關係府縣ニ於テ營業稅附加稅所得稅附加稅又ハ鑛產稅附加稅ヲ賦課スルトキハ關係府縣知事協議ノ上其ノ歩合ヲ定ム若シ協議調ハサルトキハ內務大臣及大藏大臣之ヲ定ム」鑛區又ハ砂鑛區カ府縣ノ内外ニ涉ル場合ニ於テ鑛區稅又ハ砂鑛區稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキ

ハ鑛區又ハ砂鑛區ノ屬スル地表ノ面積ニ依リ本稅額ヲ分割シ其ノ一部ニノミ賦課スヘシ

第九十六條第三項乃至第六項ヲ左ノ如ク改ム

前項徵收金ノ先取特權ノ順位ハ國ノ徵收金ニ次クモノトス

府縣ノ收入金及支拂金ニ關スル時效ハ其ノ年度經過後五年ヲ以テ完成ス但シ府縣債ニ付テハ國債ノ例ニ依ル

第二項ノ場合ニ於テ郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡島ノ官吏吏員又ハ市町村吏員ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

第九十六條中「府縣吏員」ヲ「府縣出納吏及府縣吏員」ニ改ム

第五章ノ二 府縣組合

第九十六條ノ二 府縣ハ其ノ事務ノ一部ヲ共同處理スル爲其ノ協議ニ依リ規約ヲ定メ內務大臣ノ許可ヲ得テ府縣組合ヲ設クルコトヲ得

府縣組合ハ法人トス

第二百二十六條ノ三 府縣組合ノ規約ニハ其ノ名稱組合ヲ組織スル府縣組合ノ共同事務組合ノ組織事務ノ管理費用ノ支辨方法其ノ他必要ナル事項ヲ定ムヘシ

府縣組合ノ事務ハ内務大臣ノ指定シタル府縣知事之ヲ管理ス
第二百二十六條ノ四 府縣組合ノ組合府縣數ヲ増減シ共同事務ノ變更ヲ爲シ其ノ他規約ヲ變更セムトスルトキ又ハ府縣組合ヲ解カムトスルトキハ關係府縣ノ協議ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ財產處分ヲ要スルトキハ其ノ財產處分ニ付亦同シ

第二百二十六條ノ五 前三條ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス
第二百二十六條ノ六 公益上必要アル場合ニ於テハ内務大臣ハ關係アル府縣會ノ意見ヲ徵シ府縣組合ヲ設ケ若ハ之ヲ解キ組合規約ヲ定メ若ハ之ヲ變更シ又ハ財產處分ノ方法ヲ定ムルコトヲ得

第二百二十六條ノ七 府縣組合ニ關シテハ法律勅令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外府縣ニ關スル規定ヲ準用ス但シ府縣組合ニハ參事會ヲ置カス其ノ權限ニ屬スヘキ事項ハ組合事務ヲ管理スル府縣知事之ヲ行フ

第二百二十八條 異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在ラス」行政訴訟ノ提起ハ處分ヲ受ケ又ハ決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之

ヲ爲スヘシ
決定書又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケサル者ニ關シテハ前二項ノ期間ハ告示ノ日ヨリ起算ス
異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ依ル
異議ノ申立ハ期限經過後ニ於テモ宥恕スヘキ事由アリト認ムルトキハ仍之ヲ受理スルコトヲ得

異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ申立人ニ交付スヘシ
異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第三百三十三條中左ノ如ク改ム
三 削除
五 削除
七 削除

第三百三十四條 府縣債ヲ起シ又ハ起債ノ方法利息ノ定率若ハ償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更セムトスルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ但シ第百十七條第三項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

第三百二十九條ノ二 第四十九條及第七十六條ノ規定ニ依ル府縣知事ノ職權ハ東京府ニ在リテハ
警視總監亦之ヲ行フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ニ關シテハ次ノ總選舉マテ仍從前ノ規定ニ依ル

翌十四日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長植場平君ハ左ノ報告ヲ爲ス

府縣制中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、御承知ノ通り本案ハ修正ガ餘程澤山アリマシタメニ、數回委員會ヲ開キマシテ質問應答及討論ニ委員諸君ハ非常ニ力メラレタノデアリマス、殊ニ一日ハ速記ヲ用ヰズシテ協議會ヲ開キマシテマデ審議ヲ致シタノデアリマス、其結果御手許ニ差上ゲテゴザイマスル通り、修正可決スベキモノナリト決定ヲ致シタノデアリマス、其修正ノ内容ニ付テ御報告致シマス、委員會デ修正ヲ致シマシタノガ、第七條ノ二項ヲ左ノ如ク改ム「議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ日ヨリ之ヲ起算ス」ト改メタノデアリマス、是ハ任期ノ計算ヲ明確ニスル、斯ウ云フ意味ノ上ニ於テ修正ヲ致シタノデゴザイマシタ他ニ深い意味ノアル譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ十三條「五日」トアルヲ「七日」ト改メタノデゴザイマス、是モ極メテ簡單ナ意味デ、府縣知事市町村長等ニ告示ノ餘裕ヲ十分ニ與ヘタイト云フノデ、ソレデ五ヲ七ニ改メマシタ次第デアリマス、ソレカラ其次ハ四十八條デアリマス、四十八條ニ付テ誤植ガアリマスカラシテ此場合ニ御訂正ヲ願ッテ置キタイト思フ、四十八條ニ御手許ニ差上ゲテゴザイマス案ニハ「議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ、議長副議長共ニ故障アルトキ

ハ年長ノ議員議長ノ職務ヲ代理ス年齡同シトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フノヲ全部消シテアリマス、是ガ間違ッテ居ルノデアリマス、ソレデ委員會ニ於テ修正ヲ致シマシタノハ斯様ニナツテ居ルノデアリマス「議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時ニ議長ヲ選舉スヘシ」ト云フ文字ニ修正ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ横ニ以テ參ッテ小サナ字デ四十八條ノ下ニ「左ノ一項ヲ加フ」ト云フ文字ガ是ガ全部削ラナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フモノガ入ッテ居ルノデゴザイマスカラ、之ヲ御改メヲ願ヒタイ、デ本案ヲ斯ノ如ク修正ヲ致シマシタノハ、委員會ニ於テハ種々ナル御心配ト御議論ガゴザイマシタタメニ、斯ク致シタノデゴザイマスガ、其一端ヲ御報告申シマスレバ、近頃府縣會ニ種々ナル弊害ガゴザイマシテ、多數黨少數黨ノ争ノ起ルコト屢、デ、其場合ニ今日ノ法律即チ府縣制デハ制スルノ道ガナイ、故ニ何トカ之ヲ制スル良法ヲ案出シタイト云フコトデ、イロ／＼御攻究研究ヲ盡サレマシタ上デ、唯今申シマシタヤウニ修正ヲ致シマスレバ、是レデ大抵ヤリ得ラレルダラウ、多數黨ガ少數黨ヲ壓スルトカ、少數黨ガ多數黨ノタメニ壓セラレルトカ云フヤウナコトノナイヤウニナリ得ラレルダラウト云フノデ、唯今申上ゲマシタヤウニ修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ其次ハ五十五條デアリマス、五十五條ノ修正ハ五十五條中「選舉ヲ行フトキハ」ノ下ニ「本法中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外」ト云フ文字ヲ加ヘマシタ、「匿名投票」ト云フ文字ヲ「無記名投票」ト改メマシタノデアリマス、匿名ヲ無記名ト改メタト云フコトハ別段ヒドイ意味ガ變ッテ居ルコトデナイノデアリマスガ、斯ク改メル方ガ宜カラウト云フノデ改メマシタノデアリマス、次ハ五十七條デアリマス、五十七條ノ改正案カラ見マスレバ、第二項ニナツテ居ルノデス、其二項ノ「前項議員ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ議員中異議アルトキハ」ノ下ヘ「議長ハ」ト云フ文字ヲ加ヘマシテ「議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非サレハ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ中止スルコトヲ得ス」此修正モ四十八條ノ修正ト同様ノ意味ノ上ニ於テ、斯ノ如ク修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ六十六條中「名譽職參事會員及其ノ補充員ハ毎年之ヲ選舉スヘシ」ト修正致シマシタ、是ハ政府ノ提出案ハ「名譽職參事會員及其ノ補充員ノ任期ハ一年トス」トナツテ居リマシタカラデス、之ニ付テイロ

研究モ致シテ見タノデアリマスガ、此一年ト云フコトニ任期ヲ定メテ置キマス、改選ノ場合ニ於テ非常ニ困難ナ事ガ生ジテ、或ハ一年以上務ムル者モアリ八箇月位テ交代ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニモナルデアラウ、サウ云フコトハ成ルベク避ケタイト云フ考カラ、委員中皆サンノ御研究ノ結果之ヲ一年トセズシテ、毎年選舉スベシト云フコトニ改メテ、サウシテ通常府縣會ノ時ニ於テ改選ヲ行フト云フコトニナレバ、是デ大抵満足ニ行ヒ得ラレルダラウ、斯ウ云フヤウナ意味カラ此ノ如ク修正ヲ致シタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ六十六條ノ中デ「名譽職參事會員ハ後任者就任ノ前日マテ在任ス府縣會議員ノ任期満了シタルトキ亦同シ」斯ウ云フコトヲ加ヘマシタノデアリマス、斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマスレバ、大抵各府縣ニ於テ皆サンガ御心配ニナツテ居ルコトヲ救ヒ得ラレルデアラウト云フノデ、斯ウ修正ヲ致シマシテ、而シテ唯今御報告致シマシタ外ハ、全部政府ノ提出案ニ同意ヲ致スコトニナリマシタノデアリマス、尙茲ニ一言申上ゲテ置キマスルガ、參事會員ノ任期ニ付キマシテハ、同志會ノ委員諸君ノ中カラヤハリ現行ノ如ク四年ト云フコトニシタイト云フ御修正ノ動議ガ出マシタノデス、是ハ極メテ少數デゴザイマシテ成立ハ致シマセヌ、此事ニ付キマシテハ、討論ニ移リマシタ場合ニ此御修正デモ出ルコトニナルノデアラウト考ヘテ居リマスカラ、詳シイコトハ申上マセヌ、ソレデ併セテ此場合一言致シテ置キタイノハ、委員中殆ド一致ノ意見デアッタノデゴザイマスガ、府縣會議員ハ府縣ノ豫算ヲ議定スルノ權能ヲ有スル者デアアルカラ、府縣費ヲ負擔スル者ニ對シテハ選舉ノ資格ヲ與ヘタイ、斯ウ云フ御意見ガ出タノデアリマス、ソレ故何レニカ此意味ヲ以テ法律ニ修正ヲ加ヘテ實行シタイモノデアルト云フ御意見モ出タノデアリマスガ、理想トシテハ一人ノ異議者モナカッタノデゴザイマスケレドモ、之ヲ實行スル上ニ於テ頗ル手數ヲ要シ、困難ナコトデアラウ、故ニ此問題ハモウ少シク研究ヲシテハ如何デアラウカト云フ御説ガアツテ、尙政府ノ意嚮モ確メタノデアリマスガ、政府ニ於テモ委員諸君ト同様ニ、理想トシテハ誠ニ左様アルベキコト、思フケレドモ、之ヲ實行スル上ニ於テ非常ナル困難ナコトニナルカモ知レヌト思フカラ、少シ研究ヲ致シテ見タイト云フコトヲ答ヘラレタノデアリマス、ソレデ政府ニ望ミマス

ルノハ、成ルベク研究ヲ盡サレテ速ニ實行ノ域ニ進メテ貫ヒタイト云フコトヲ委員中ヨリ申サレタ譯デアリマシタ、今一ツハ府縣知事ガ豫算ヲ執行スル場合ニ當ツテ、或ハ土木其他ノ事業ヲ補助スル場合ニ當ツテ、規定ヲ無視シ勝手ニ補助スル、例ヘバ補助道路ノ階級ヲ變更シタリ、補助額ヲ改メタリ、往々ニシテ誠ニ不都合ナコトガ澤山アル、故ニ之ヲ制セナケレバ府縣ノ費用ヲシテ漫然ニ支出シ事業ヲ實行シ得ザルノ嫌ガアルカラシテ、之ニ對シテハ政府ガ何トカ適當ノ途ヲ講ゼラレテ、左様ナ專横ノ處置ニ出デザランコトヲ望ムト云フヤウナ御意見モ出テ、是モ委員中ニハ更ニ御異議ガナカッタ、而シテ政府ノ意嚮ヲ確メマシテ、政府ノ宣明ヲ承ッタノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ、ソレハ全ク府縣知事ガ執行ノ方法ヲ誤ツテ居ルノデアラウト思フカラシテ、ソレ等ニ對シテハ適當ノ處置ヲ執ルコトニ致ス、斯ウ云フ宣明ヲ承ッタノデアリマス、之ニ附加ヘテ御報告ヲ致シテ置キマス、唯今御報告ヲ申上ゲマシタ府縣制改正案ノ修正ニ對シマシテハ、政府ハ同意ヲ表シテ居リマスルカラ、此場合御審議ノ上速ニ御決定アランコトヲ希望致シマス
同君ハ更ニ左ノ如キ報告ノ補足ヲ爲ス

松城君ノ御注意ニ依テ漏レテ居ルコトヲ發見致シマシタ、更ニ改メテ漏レテ居ル所ヲ申上ゲマス、四十八條ハ唯今松城君ノ仰セラレタヤウニ、即チ議員中ヨリ臨時ニ議長ヲ選舉スルト云フコトニナリマス、ソレカラ六十五條府縣參事會員ノ數、現今府ニ於テハ八名トナツテ居ル、之ヲ十名ソレカラ縣ニ於キマシテハ六名、之ヲ十名ニ増加スル、是ハ一言致シテ置キマスガ、從來ノ議員ニ依リマスト參事會ノ御承知ノ通り參事會員ハ名譽職參事會員ト高等官ノ即チ參事會員デ列席セラル、モノトヲ以テ組織シテ居ルノデアリマシテ、從來ノ如ク連記ヲ以テ參事會員ヲ選舉シマス場合ニハ、或ハ此弊モナイカモ知レマセヌガ、今度ノ改正ニナリマス、選舉ハ單記ニナルノデゴザイマスカラ、即チ少數意見ヲ代表スル議員ヲ參事會員ニ出シ得ルノデアリマスカラ、其時ニ若モ從來ノ數デアルトスラバ、六名ノ中二名ハ少數ヲ代表スル方カラ出シ、四名ハ多數黨カラ出ルト云フコトニナルト、其少數者ハイツモ府縣ノ高等官ト一致シテ、總テ案ヲ

議スルノ場合ニ臨ムト云フコトガアリハセヌカ、甚ダ其弊ヲ生ズルコト大ナリトスル所ヨリ、或ハ高等官一名ヲ減ジテ、其權衡ヲ保タシムルカ、若クハ議員ヲ増加シテ、其權衡ヲ保タシムルカト云フコトニ付テハ、餘程研究モ致シ、政府トモ折衝致シテ、其結果參事會員ヲ増加シテ以テ其心配ヲ解キ得ルヤウニ致シタイ、斯ウ云フコトガ最モ此修正ノ大ナル趣意ニナリテ居ルノデアリマス、併セテ御報告申シマス、曩キニ漏レマシタ粗忽ヲ御詫致シマス

質疑應答ノ後引續キ第二讀會ヲ開キ國光五郎君ハ其ノ提出ニ係ル修正動議ノ趣旨ヲ辯明シ次テ久保通猷君ハ之ニ反對ノ演說ヲ爲セリ

(修正動議)

第六十六條第五項ヲ左ノ如ク修正ス

名譽職參事會員及補充員ノ任期ハ「一年トス」ヲ「議員ノ任期ニ依ル」ニ改ム

第八十二條中「法律命令」ノ下「若ハ會議規則」ヲ削ル

國光五郎君ノ演說

諸君、府縣制ノ改正案ニ付キマシテ、委員會ニ於テ吾々同志ノ主張致シマシタ、修正箇條ノ中ニ付テ、不幸ニシテ他ノ委員諸君ト意見ヲ異ニシテ居リマス點ガ二ツアルノデアリマス、ソレハ改正案ノ骨子眼目トモ申スベキ點デアリマスカラ、此處ニ其二點ヲ修正案トシテ提出致シマシタ、其理由ヲ説明シテ諸君ノ御考慮ヲ煩ハシタイト思ヒマス、第一ハ改正案ノ第六十六條ノ第五項ニ對スル修正デアリマス、名譽職參事會員及其補充員ノ任期ハ一年トストアリマスノヲ、名譽職參

事會員及其補充員ノ任期ハ議員ノ任期ニ依ル、斯ウ修正ヲスルノデアリマス、第六十六條ノ改正ハ今回ノ改正ノ中デ最モ重大ナル事項ノ一デアリマス、現行法ニ於ケル連記投票ノ說ヲ捨テマシテ、單記投票ノ說ヲ用非、又名譽職參事會員ノ任期ハ從來四箇年デアッタモノヲ、一箇年ニ短縮スルト云フ二點ガ、此第六十六條ノ改正ノ主ナル點デアリマス、前段ノ單記投票ニ改メルト云フ點ニ付テハ、私共モ洵ニ至當ナル改正トシテ贊成ヲスルトコロデアリマスガ、後段ノ點ニ付テ即チ任期ヲ一箇年ニ短縮スルト云フ點ニ付テハ、寧ロ現行法ノ儘ヲ維持スル方ガ優レルモノデアルト信ズルノデアリマス、改正ノ要旨ヲ伺ッテ見マス、何等理論上ノ根據ノナイト云フコトハ申スマデモナイ、唯、其趣旨トスルトコロハ名譽職參事會員ノ任期ガ餘リ長キニ過ギル、隨テ私約交代等ノ弊ガ行ハレテ居ル、此弊害ヲ救済シナケレバナラヌト云フコトガ、此改正ノ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス、吾々モサウ云フ弊害ノ行ハレテ居ルト云フコトハ固ヨリ承知致シテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ其私約交代ノ如キ弊害ヲ除クコトニ付テハ、固ヨリ同感デアリマス、併ナガラソレガ爲メニ任期ヲ一箇年ニ短縮シテ新タニ私約交代等ノ弊害ヨリモ更ニ大ナル弊害ヲ生ズルニ至リハセヌカト云フコトハ、豫メ考慮セネバナラヌ事ト思ヒマス、元來地方ノ自治ノ上カラ見マシテ、選舉程弊害ノ伴ッテ居ルモノハ無イノデアリマス、内務省式ハ地方廳ニ於テ地方改良ノ爲メニ、或ハ講習デアルトカ、講演デアルトカ云フモノヲ開イテ、地方改良ノ爲メニ種々努力サレルノデアリマスガ、其努力ノ一半ハ一回ノ選舉ヲ以テ奪去ラル、コトガ動モスレバアルト云フコトハ、吾々ガ實際ニ於テ見聞スル所デアリマス、隨ッテ選舉ノ度數ハ、地方ノ自治ノ上カラ見マシテモ、成ルベク其數ヲ事情ノ許ス限リ少ナクスル方ガ、自治ノ發達ヲ圖ル上ニ於テ必要ナ事デアルト信ズルノデアリマス、今此四箇年ノ任期ヲ一箇年ニ短縮シテ、ソレニ依テ私約交代ナドト云フ現在ノ弊害ヲ除去スルコトハ出來マセウカ、毎年選舉スル度毎ニイロ／＼ナ混雜ヲ惹起シ、イロ／＼ノ紛擾ヲ起シテ、ソレガ爲メニ地方ノ自治ニ惡影響ヲ及ボシ、種々ナ弊害ヲ醸スト云フコトハ、寧ロ一箇年ニ短縮シタ爲メニ起ル弊害ノ方ガ、現狀ト比較シタラ重イト云フコトヲ本員ハ信ズルノデアリマス、又此規定ヲ實際ニ實行スル上ニ於キマシテ、先程委

員長モ御報告ニナリマシタガ、實行上種々ノ不都合ナルコトヲ生ズルノデアリマス、御承知ノ通り總選舉ハ多クハ九月デアリマス、通常府縣會ノ會期ハ多ク十一月以後デアリマス、サウシマスルト此一箇年ト云フ規定ヲ嚴格ニ實行シテ行キマスガタメニハ、毎年臨時縣會ヲ開カネバナラヌト云フ結果ニ相成ルノデアリマス、併ナガラ臨時縣會ヲ開クト云フコトハ、經費ノ上カラ申シ手數ノ上カラ申シテ、實際ニ行ハレ得ベキ事デハナイト思ヒマス、此點ハ政府ニ於テモ認メテ居ラル、所デアリマス、隨ッテ通常縣會ニ於テ之ヲ選舉スルト云フコトニ實際ノ上ニハ計ッテ行カナケレバナラヌノデアリマス、サウシマスルト先程委員長ノ御報告ニナリマシタ通り、總選舉後第一年ニ就任シマシタ名譽職參事會員ノ任期ハ、當然一箇年ノ餘一箇月若クハ二箇月多ク在任スルト云フ結果ニナリ、最後ノ年ニ就任シタ四年目ニ就任シタ參事會員ノ任期ハ、當然十箇月若クハ十一箇月ト云フ一箇年未滿ノモノト相成ルト云フ結果ニナルノデアリマス、法ヲ制定スル上ニ於テ豫メ最初一箇年ト規定シツ、之ヲ實行スル上ニ於テハ一箇年未滿若クハ一箇年以ナラヌト思ヒマス、殊ニ此實際實行シマスル上ノ不便ハ、島根縣デアルトカ、或ハ佐賀縣デアルトカ云フ風ナ解散ノアツタガ爲メニ、總選舉ノ時期ガ普通ノ府縣ト異ッテ居ル所ニ於テハ、殊ニ甚シイデアリマス、例ヘバ佐賀縣ノ如キハ三月ガ總選舉ノ時期デアリマス、隨ッテ總選舉後第一年ニ就任シタ所ノ參事會員ノ任期ハ、翌年ノ三月ヲ以テ滿了致スノデアリマス、隨ッテ其次ニ就任スベキ名譽職參事會員ノ選舉ハ、次ノ通常縣會ノ開ケルマデ待ツト云フ譯ニ參リマセヌ、殆ド八箇月ニ互ルノデアリマス、餘リニ長イノデアリマス、隨ッテ佐賀縣ノ如キニ於キマシテハ、毎年之ガ爲メニ臨時縣會ヲ開カネバナラヌト云フ結果ニ相成リ、此臨時縣會ヲ開クト云フコトヲ避ケルガ爲メニハ、前年ノ通常縣會ニ於テ豫メ名譽職參事會員ヲ選舉シテ置クト云フコトニシナケレバナラヌ、併ナガラ今名譽職參事會員ガ實際アルニモ拘ラズ、新タニ三箇月モ四箇月モ後ニ就任スベキ參事會員ヲ豫メ選舉シテ置クト云フコトハ、是ハ法文ノ解釋上許スベキ事デハナイト思ヒマス、選舉ノ效力ガ其選舉シタ當時ニ發生セズシテ、三箇月モ四箇月モ經ッテ後ニ其法律上

ノ效力ヲ生ズルト云フコトヲ認メルコトハ、此府縣制ノ解釋上許スベキ事デハナイト思ヒマス、サウスレバドウシテモ臨時縣會ヲ開クト云フコトハ、佐賀縣ノ如キモノニ於テハ當然ノ結果ニ相成ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ此任期ヲ一箇年ニ短縮スルト云フコトニ於キマシテハ、其改正ノ趣旨カラ申シマシテモ、亦實行上不都合ノ點カラ申シマシテモ、斯ウ云フ制ハ見合セテ、寧ロ現行ノ四箇年ノ議員ノ任期ニ依ルト云フ制ヲ維持シタ方ガ然ルベキ事ト信ズルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ「任期ハ一年トス」ト云フコトヲ「毎年之ヲ選舉スヘシ」ト云フコトニ修正ニナツタノデアリマス、併ナガラ先程ノ委員長ノ報告ニナリマシタ通り、通常府縣會ノ會期ヲ待ッテ其選舉ヲ致スノデアリマスレバ、ヤハリ任期ノ上ニ於テ或參事會員ハ一箇年以上在任スルシ、或參事會員ハ一箇年未滿當然在任スルト云フ結果ニ相成ルト云フ點ニ於テハ、少シモ異ル所ハ無イノデ、私ハ此任期ヲ一箇年トスト云フコトニ對スル反對ノ意味ヲ通ジテ、此「毎年之ヲ選舉スヘシ」ト云フ修正案ニモ向ケテ反對致シタイト思フノデアリマス、是ガ修正ノ第一點デアリマス、次ニハ第二トシマシテ修正案ノ八十二條中「法律命令」ノ下ニ「若ハ會議規則」ヲ加フ、此文字ヲ削除スルノ修正デアリマス、現在ニ於キマシテハ、府縣會若ハ府縣參事會員ノ選舉、若クハ議決ガ法律命令ニ違反スルモノト認メタ場合ニハ、府縣知事ガ自己ノ意見ニ依リ、若クハ內務大臣ノ指揮ニ依テ、其選舉若クハ議決ヲ取消スコトガ出來ルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ更ニ會議規則ノ違反ト認メル場合ニモ、同一ノ權能ヲ府縣知事ニ與フルト云フ政府ノ修正案ノ趣旨デアリマス、是ハ會議規則ノ本質ノ上カラ申シマシテ私ハ甚ダ失當ナル改正デアルト信ズルノデアリマス、大體會議規則ハ府縣制ノ六十四條ニ依リマシテ、府縣會ガ自己ノ權能ニ依テ設ケタ所ノ規則デアリマス、唯ソレガ法律上ノ效力ヲ生ズルガ爲メ、內務大臣ノ許可ヲ受ルコトヲ要スルニ過ギナイノデアリマス、從ッテ此會議規則ノ解釋權ト云フモノハ、主トシテ府縣會ソレ自體ニ在ルノデアルト云フコトハ、會議規則設定ノ上カラ申シテ疑ノナイコト、而モ府縣知事ガ自己ノ意見ノミニ依テ內務大臣ノ指揮モ仰ガズ、更ニ府縣會ニ注意ヲ與ヘズシテ、唯會議規則ニ違反シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ認メタカラト云ッテ、直チニ其選舉若クハ議決

ヲ取消スト云フコトハ、府縣會ノ權能ヲ無視シ、其解釋權ヲ蔑如シタル所ノモノデアルト思ヒマ
ス、内務大臣ハ勿論許可權ヲ有テ居ルノデアリマスルカラ、内務大臣ノ指揮ニ依テ其選舉若ク
ハ議決ヲ取消スト云フコトハ、是ハ内務大臣ノ許可權ノ上カラ然ルベキコトデアルト思ヒマス
ガ、府縣知事ハ會議規則ノ設定ニハ何等與カル所ガ無いノデアアル、法制ノ上ニ於テ實體上何等ノ
關係ヲ有テ居ラズシテ、而モ府縣會ノ解釋ヲ無視シテ、自ラ自己ノ意見ニ依テ直チニ其選舉若
クハ議決ヲ取消スト云フコトハ、此會議規則ノ本旨ノ上カラ申シマシテ、許スベキモノデナイト
本員ハ信ズルノデアリマス、此ニツノ修正案ヲ提出致シマス、諸君ノ考慮ヲ煩ハシ、相成ベクハ
御賛成アラシコトヲ希望致シマス

久保通猷君ノ演說

私ハ委員ノ一人ト致シマシテ、委員長報告ノ通り委員會ノ決議ニ加ハッタ者デゴザイマス、唯今
國光君ヨリ修正ノ意見ヲ御提出ニナリマシタガ、第六十六條ノ從來ノ四箇年ノ年期ヲ一箇年ト
スルコトハ甚ダ謂ハレナイコトデアルト云フ御意見デゴザイマス、併ナガラ國光君モ參事會員
ガ私約交代等ノ弊害ノアルコトハ御認めニナッテ居ルノデゴザイマス、既ニ此弊害ガアリトスレ
バ、其弊害ヲ防グダケノ相當ノ方法ヲ講ゼネバナラヌノデゴザイマス、國光君ハ單ニサウ云フヤ
ウナ事ハ甚ダ宜シクナイ、喩ヘテ見レバ長ク在任スル方ガ事情ガ分ッテ宜シイ、又一箇年ノ年期
トスレバ、最初ニ勤メル者ト最終ニ勤メル者トノ期限ニ長短ガアル、又島根縣佐賀縣ノ如キ解釋
ヲシテ、更ニ選舉シタ府縣ニ對シテハ、取扱上差支ガアルト云フヤウナ御言葉デゴザイマシタ
ガ、物ニハ必ズ利一害之ニ伴ヒマス、故ニ如何ニスル方ガ利益デアアルカ、弊害ガ防ガレルデ
アルカト云フコトヲ考ヘテ、實地ニ適應スルヤウナ立法ヲスルノガ即チ吾々ノ責任デアルト考
ヘマス、國光君ハ長ク地方ノ參事官事務官トシテ實地ニ御當リニナッタ方デゴザイマスルガ、徒
ニ形式上ニ流レル論ノミニ走ッテ、實際上ノ弊害ヲ防グ方法ハ如何ニシテ講ズルカト云フヤウナ
御意見ハ御提供ニナラヌ、即チ無責任ノ御議論ヲナサルノハ私ガ親友トシテ甚ダ敬服シナイ所

デゴザイマス、次ニ會議規則ニ背イタ所ノ選舉ヲ府縣知事ガ取消スト云フノハ、府縣會ノ權能ヲ
蹂躪シタ處分デアルト云フ御說デゴザイマス、一應御尤デハゴザイマスルガ、此府縣會ノ選舉ナ
ルモノハ、黨爭ノ激シイ地方ニ於キマシテハ、會議規則ニ於テ午前何時開會午後何時閉會ト云フ
時間ノ規定ガゴザイマスルノヲ、其時間ヲ無視シテ其時間外ニ於テ反對黨ノ氣付カナイ時期ニ
選舉ヲスルヤウナ事ガ往々ゴザイマス、是ハ實例ニ徴スレバ勤クナイコトデゴザイマス、此場合
ニ於テ此選舉ト云フモノハ有效デアアルカ、無効デアアルカト云フノ議論ガ起リマス、此場合ニ如何
ニ之ヲ處理スルカト云フコトニ付テハ、今日迄非常ニ困難ヲシテ居ッタ事實ノアルコトハ、國光
君モ御承知ノ事ト存ジマス、故ニ此ノ如キ不當ナル選舉即チ適法ナラザルトコロノ選舉ハ、宜
シク監督官廳ガ之ヲ取消シテ、更ニ適法ナル選舉ヲ命ズルト云フノガ最モ適當ナルコト、信ズ
ルノデゴザイマス、國光君ノ御議論ハ非常ニ長ウゴザイマシタガ、私ハ此言ヲ以テ國光君ノ議論
ニ酬ユルニ適當ナリト信ジテ是デ壇ヲ降りマス

他ニ討論ナク院議國光君ノ修正動議ヲ否決シ全部委員會ノ報告ヲ採用シ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ
確定セリ即日貴族院ニ送付、同院ハ同月二十三日可決奏上シ四月一日法律第三十五號ヲ以テ公布
セラル

二七 日本興業銀行法中改正法律案

日本興業銀行法中ノ通改正ス

第五條中「四人」ヲ「三人」ニ改ム

第九條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第六號ヲ第七號トス

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第一項 政府提出法律案

第六 爲替及荷爲替

第二十條 日本興業銀行ニ於テ支店代理店ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締結セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

三年二月十六日貴族院ニ提出、同院ハ之ヲ可決シ三月四日本院ニ送付、翌五日第一讀會ヲ開キタルモ本案ニ對スル趣旨辯明ナク直ニ委員ノ選舉ニ移レリ委員選舉ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ヲ可決シ九日報告書ヲ議長ニ提出セリ

同月十二日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長日下義雄君ハ左ノ報告ヲ爲セリ

日本興業銀行法中改正法律案其委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此案ハ誠ニ簡單ナル案デゴザイマシテ、日本興業銀行法中ノ第五條ノ理事四人ト云フモノヲ三人ニ改メタイト云フ希望デゴザイマス、ソレカラ第九條第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘル、詰マリ爲替及荷爲替ヲ取扱ハレタイト云フ希望デゴザイマス、ソレカラ第二十條ニ於キマシテ、新ニ是ハ設ケタノデアリマシガ、日本興業銀行ニ於キマシテハ支店代理店等ヲ設ケ、又ハ他ノ銀行ト「コレレスボンデンス」ヲ締結セントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クベシト云フコトデゴザイマス、是ハ從來興業銀行ニハ爲替及荷爲替等ヲ取扱フ規定ガ無カッタノデアリマスガ、新ニ之ヲ設ケテサウシテ此銀行ノ發展ヲ圖リタイト云フ主意ニ外ナラヌノデアリマス、是ハ諸君モ御承知ノ通り、貴族院ヲ通過致

シテ政府案トシテ衆議院ニ廻ッテ參ッタモノデアリマスル、デ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタカラ、何卒速ニ諸君ノ御賛成ヲ祈リマス

別ニ討論ナク引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ院議原案ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日裁可ヲ奏請シ同日其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス同月二十三日法律第八號ヲ以テ公布セラル

二八 執達吏規則中改正法律案

執達吏規則中左ノ通改正ス

第五條 執達吏ハ所屬區裁判所ノ管轄區域内ニ於テ地方裁判所長ノ指定シタル地ニ役場ヲ設ク

ヘシ

第五條ノ二 區裁判所又ハ其出張所ノ所在地ニ執達吏ナキ場合ニ於テハ地方裁判所長ハ其管轄

内ノ執達吏ニ役場ノ出張所ノ設置ヲ命シ又ハ裁判所書記ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコ

トヲ得

裁判所書記カ執達吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ第十一條ニ掲クル者其他適

當ト認ムル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得

第六條 執達吏ハ其役場ノ所在地ニ住居ヲ定ムヘシ

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第一項 政府提出法律案

第十四條 執達吏又ハ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者其職務ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テハ區裁判所ノ交付シタル證票ヲ携帯スヘシ

第十七條ノ二 第五條ノ二第二項ノ場合ニ於テ臨時職務執行ノ委任ヲ受ケタル者ニハ執達吏ノ受クヘキ手数料ノ十分ノ七以上ヲ支給ス

附則ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

二九 執達吏手数料規則中改正法律案

執達吏手数料規則中左ノ通改正ス

第十八條中「役場」ノ下ニ「又ハ其出張所」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

兩案ハ三年二月二十一日貴族院ニ提出、同院ハ兩案ヲ可決シ三月四日本院ニ送付、翌五日兩案ヲ一

括シテ第一讀會ヲ開キ鈴木司法省法務局長ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

大臣次官ガ差支ガゴザイマスルデ、僭越ナガラ私カラ本案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、御承知ノ如ク現行執達吏規則ニ依リマスルト云フト、執達吏役場ハ裁判所ノ所在地ニ置カナケレバナラヌト云フコトニナツテ居リマスル、然ルニ昨年ノ改革ニ於キマシテ、區裁判所ノ數ハ減少セラレタガタメニ、執行事務ニ大ナル障害ヲ來シタコトニナツタノデゴザイマス、是ニ於キマシテ本案ヲ提出致シマシテ、此不便ヲ救ハンガ爲ニ地方裁判所長ハ適當ナル場所ヲ指定致シマシテ、執達吏役場ヲ設ケセシムルコトヲ得セシメ、或ハ執達吏役場出張所ヲ設クルコトヲ得セシメ、若モ區裁判所若クハ出張所所在地ニ執達吏役場ガ無カッタ時ニ於テハ、裁判所書記ヲシテ執達吏事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得セシメマシテ、以テ執行事務ノ滑カニ行ハレン爲ニ本案ヲ提出シタ次第デゴザイマスル、ソレカラ手数料規則ノ方ハ唯今申上ゲマスル通り、執達吏規則中ニ執達吏出張所ト云フモノヲ設ケマスル結果ト致シマシテ、手数料ノ計算方法ニ付キマシテ執達吏役場出張所ヨリ此旅費ノ計算ヲスルト云フ必要ヲ感ズルニ至リマシテ、手数料規則中ニ「出張所」ト云フモノヲ加フルコトニ改正スルニ至ッタノデゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ御協賛アラントラ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ同一委員議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ三月六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末兩案共ニ之ヲ可決シ同月十二日報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月十三日兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長田代進四郎君左ノ報告ヲ爲セリ

執達吏規則中改正法律案、執達吏手数料規則中改正法律案ノ二案ヲ一括シテ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、執達吏規則中改正點ノ主要ヲ申シマス、現行執達吏規則ニ於テハ、執達吏役場ノ設置場所ガ區裁判所々在地ト云フコトニナツテ居リマスノヲバ、所屬區裁判所ノ管轄區域内ト區

域ヲ廣ク致シマシテ、且ツ執達吏ノナイトコロハ出張所ヲ設ケサセル、要スルニ執達吏ノ事務ヲ執リマス役場及出張所等ヲ區域ヲ擴ゲ、其管内適當ノ地ニ地方裁判所ノ命令ヲ以テ設置サセテ、事務ノ便宜ヲ圖ルト云フ趣意ヲ改正サレテ居ルヤウデゴザイマス、又一方ノ點ヲ申シマスト、從來執達吏ノ事務ヲ行ヒマスニ、制服制帽ヲ用ルコトニナリマス、大分人目ヲ惹イテ成績ガ面白カラヌト云フ上ヨリ、之ヲ廢シテ證票ヲ用ルコト云フ等ノ改正ニナツテ居リマス、執達吏手數料規則中ノ改正ハ、要スルニ此執達吏規則中改正ノ結果トシテ、出張所等ヨリ旅費等ノ里數起點ヲ改メタコトニ過ギナイノデゴザイマス、委員會ニ於テハ僅カニ一回會ヲ開キマシタガ、政府委員トノ間ニ二三ノ質問應答ヲ致シタバカリデ、別ニ本案ニ付テハ討論研究ヲ詳シク致ス餘地モナイ案ト致シマシテ、全會一致ヲ以テ本院ニ於テ可決確定相成ルベキモノト決定致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス

別ニ討論ナク引續キ兩案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ兩案共ニ原案ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日裁可ヲ奏請シ同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知ス、三月三十一日法律第三十號及第三十一號ヲ以テ公布セラル

三〇 取引所法中改正法律案

取引所法中左ノ通改正ス

第八條中「指圖式ノ倉荷證書」及「倉荷證書」ヲ「預證券、質入證券又ハ倉荷證券」ニ改ム

第十條 取引所ノ營業部類ニ屬スル商業ニ従事スル商人ハ定款ノ規定ニ從ヒ其ノ取引所ノ會員

トナルコトヲ得

取引所ノ仲買人トナラムトスル者ハ政府ノ免許ヲ受クヘシ

第十一條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

婦女、未成年者、復權セサル家資分散者及破産者並本法ニ依リ除名セラレ除名ノ日ヨリ五箇年ヲ經過セサル者ハ會員トナルコトヲ得ス

懲役若ハ重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ刑法第二編第十六章乃至第十九章第二十章第三十五章乃至第三十九章、舊刑法第二編第四章第一節乃至第五節第二百六十條乃至第二百六十二條第八章第九章第三節第三編第二章第一節第二節第四節乃至第六節、通貨及證券模造取締法、明治三十八年法律第六十六號、紙幣類似證券取締法、印紙犯罪處罰法、商法第二百六十一條、明治二十三年法律第三十二號商法第三編第九章、同年法律第一百號、保險業法第九十八條ノ三若ハ本法第三十一條乃至第三十二條ノ五ノ規定ニ依リ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ五箇年ヲ經過セサル者ハ仲買人トナルコトヲ得ス前項ニ該當スル者亦同シ

第十一條ノ二 會員第十條第一項ノ要件ヲ缺キ又ハ前條第一項若ハ第二項ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ取引所ヨリ脱退ス

農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ會員トナリタル者又ハ第十條第一項ノ要件ヲ缺キ若ハ前條第一項第二項ニ該當スル者ニシテ會員トナリタル者アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ除名シ又ハ其ノ取引所ヨリ脱退セシムルコトヲ得

仲買人前條第一項又ハ第三項ニ該當スルニ至リタルトキハ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ仲買人タルノ免許ヲ受ケタル者又ハ前條第一項若ハ第三項ニ該當スル者ニシテ免許ヲ受ケタル者アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ除名シ又ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第十一條ノ三 仲買人他ノ取引所ノ仲買人タル免許ヲ受ケタルトキハ前ノ免許ハ其ノ效力ヲ失フ
前項ノ規定ハ仲買人カ取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第十一條ノ四 仲買人ハ第二項但書ノ場合ヲ除クノ外支店、出張所其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス其ノ本店以外ノ場所ヲ以テ賣買取引ノ取扱ヲ爲ス場所ト爲スコトヲ得ス
何人ト雖定期取引ノ委託ノ代理、媒介又ハ取次ヲ營業ト爲スコトヲ得ス但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條ノ二 取引所ハ其ノ定款ヲ以テ會員若ハ仲買人トナルニ必要ナル條件ヲ定メ又ハ仲買人ノ員數ヲ制限スルコトヲ得

第十一條ノ二ノ規定ハ會員若ハ仲買人カ前項ノ要件ヲ缺クニ至リタル場合又ハ之ヲ缺ク者ニシテ會員若ハ仲買人トナリタル者アルコトヲ發見シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ三 仲買人ハ廢業後ト雖其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結了及監督ノ目的ノ範圍内ニ於テハ取引結了後二週間ヲ經過スル迄仍廢業セサルモノト看做ス

仲買人死亡シ若ハ除名セラレ又ハ其ノ免許ヲ取消サレ若ハ效力ヲ失ヒタル場合ニ於テハ其ノ取引所ニ於ケル取引ノ結了ニ至ル迄亦前項ニ同シ
前項ノ規定ハ會員ノ死亡、除名及脱退ノ場合ニ之ヲ準用ス

前三項ノ場合ニ於テ會員又ハ仲買人ノ行爲ヲ爲ス者ナキトキハ取引所ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ代理人ヲ選定シ其ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ得
第十六條ニ左ノ一項ヲ加フ

取引所ノ仲買人トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其ノ取引所又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ役員ト爲スコトヲ得ス

第十六條ノ二 役員前條第四項ニ該當スルニ至リタルトキ又ハ仲買人ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ職ヲ失フ理事長又ハ理事他ノ取引所ノ理事長又ハ理事タル認可ヲ受ケタルトキ亦同シ
農商務大臣ハ不正ノ手段ニ依リ役員タルノ認可ヲ受ケタル者若ハ前條ノ規定ニ違反シテ役員

トナリタル者アルコトヲ發見シ又ハ役員ニシテ第十七條第二項ノ規定ニ違反スル者アリト認メタルトキハ之ヲ解職スルコトヲ得

第十六條ノ三 農商務大臣ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ假ニ役員ヲ選任スルコトヲ得

第十七條 役員又ハ取引所ノ使用人ハ何人ノ名ヲ以テスルヲ問ハス其ノ取引所ノ取引物件ニ付取引所ニ於ケル賣買取引ヲ爲シ又ハ其ノ委託ヲ爲スコトヲ得ス

役員又ハ取引所ノ使用人ハ其ノ取引所又ハ之ト同種ノ物件ヲ取引スル取引所ノ仲買人トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他仲買人ノ營業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得ス

第二十二條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ直取引又ハ延取引ノ違約ヨリ生スル損害ノ賠償ニ付テハ定款ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第二十五條 仲買人ハ委託ヲ受ケタル取引所ノ定期取引ニ付取引所ニ於テ其ノ賣建、買建又ハ受渡ヲ爲サスシテ之ヲ爲シタルト同一又ハ類似ノ計算ヲ以テ委託者ニ對シ其ノ決濟ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ヲ除名スヘシ

第二十六條 取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ公定相場ヲ決定シ及之ヲ公示スヘシ

取引所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ各仲買人ノ賣買高ヲ公示スヘシ

第二十六條ノ二 取引所外ニ於テハ定期取引ト同一若ハ類似ノ取引ヲ目的トスル市場ヲ開キ又ハ其ノ市場ニ於テ取引ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法ノ刑重キトキハ刑法ニ依ル

一 第十二條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二 第十七條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ特別ノ利害關係ヲ生スルコトヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者

三 第二十六條ノ二ノ規定ニ違反シタル者

四 仲買人ニシテ委託者ニ對シ其ノ委託ヲ受ケタル取引ニ關シ虚偽ノ通知ヲ爲シタル者

第三十二條 第十一條ノ四ノ規定ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ二 取引所ノ役員又ハ取引所ニ於ケル受渡物件ノ格付ヲ爲ス者其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第三十二條ノ三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 取引所ノ役員又ハ取引所ニ於ケル受渡物件ノ格付ヲ爲ス者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

二 取引所ニ於ケル相場ヲ偽リテ公示シタル者

三 公示若ハ頒布ノ目的ヲ以テ虚偽ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者

前項第一號ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第三十二條ノ四 取引所ニ於ケル相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虚偽ノ風説ヲ流布シ、偽計ヲ用ヒ又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以上ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條ノ五 取引所外ニ於テ取引所ノ相場ニ依リ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第百八十六條ノ適用ヲ妨ケス

第三十二條ノ六 會員又ハ仲買人ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ

其ノ業務ニ關シ第十一條ノ四若ハ第十二條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ第三十一條第四號ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

附 則

本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

三一 取引所税法改正法律案

取引所税法

第一條 取引所ニハ賣買手数料收入金額百分ノ十五ノ割合ニ依リ取引所營業稅ヲ課ス

第二條 取引所ハ毎月ノ賣買手数料收入金額ヲ翌月十日迄ニ政府ニ申告スヘシ但シ廢業ノトキハ直ニ之ヲ申告スヘシ

前項ノ申告ヲ爲サス又ハ政府ニ於テ申告ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ其ノ課稅標準額ヲ決定ス

第三條 取引所營業稅ハ毎月分ヲ翌月末日迄ニ納付スヘシ但シ廢業ノトキハ直ニ之ヲ納付スヘシ

第四條 會員組織ノ取引所ニハ取引所營業稅ヲ課セス

第五條 取引所ニ於ケル定期取引ニハ其ノ賣買各約定金高ニ對シ左ノ稅率ニ依リ取引稅ヲ課ス

第一種 地方債證券、社債券 萬分ノ二

第二種 有價證券 萬分ノ五

第三種 商品 萬分ノ五

賣買ヲ解約スルモ其ノ税金ハ之ヲ免除セス

第六條 定期取引ニ於ケル轉賣及買戻ニハ取引稅ヲ課セス

第七條 國債證券ノ定期取引ニハ取引稅ヲ課セス

第八條 取引所ノ仲買人又ハ會員ハ毎月分ノ定期取引ノ賣買各約定金高ヲ種別毎ニ記載シタル

申告書ヲ取引所ヲ經テ翌月十日迄ニ政府ニ提出スヘシ

取引所ハ前項ノ申告書ヲ調査シ其ノ當否ニ付意見ヲ付シ前項ノ期間内ニ之ヲ政府ニ提出スヘシ

前項ノ規定ニ依リ取引所ヲシテ申告書ノ調査ヲ爲サシムル爲仲買人又ハ會員ハ第一項ノ期日

前相當ノ期間内ニ申告書ヲ取引所ニ送付スヘシ

申告書ノ提出ナキトキ又ハ政府ニ於テ申告高ヲ不相當ト認ムルトキハ政府ハ其ノ課稅標準額

ヲ決定ス

第九條 取引所ノ仲買人又ハ會員ハ毎月分ノ税金ヲ取引所ヲ經テ翌月末日迄ニ政府ニ納付スヘシ

シ

第十條 政府ハ取引稅ノ納稅告知書ヲ取引所ニ交付シ取引所ハ之ヲ其ノ仲買人又ハ會員ニ送達

スヘシ此ノ場合ニ於テハ取引所ニ交付シタル時ヲ以テ其ノ仲買人又ハ會員ニ送達アリタルモ

ノト看做ス

取引所ハ其ノ仲買人又ハ會員ノ納付スヘキ税金ヲ取纏メ前條ノ納期内ニ之ヲ政府ニ送付スヘシ

取引所前項ノ規定ニ依リ取纏メタル税金ヲ送付セサルトキハ國稅徵收法ニ依リ取引所ヨリ之

ヲ徵收ス

第十一條 取引所ノ仲買人又ハ會員カ廢業脫退其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ資格ヲ失ヒタルトキハ

課稅標準額ノ申告及取引稅ノ納付ハ前三條ノ期限ニ拘ラス直ニ之ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ取引所ノ廢業シタル場合ニ於テ取引稅ニ付之ヲ準用ス

第十二條 取引所ハ其ノ仲買人又ハ會員ノ取引稅ノ納付ニ付保證ノ責ニ任ス

取引所ノ仲買人又ハ會員納期内ニ取引稅ヲ納付セサルトキハ政府ハ取引所ヨリ之ヲ徵收スル

コトヲ得

五百九十二

第十三條 取引所ハ賣買手数料及賣買取引ニ關スル事項ニ帳簿ニ記載スヘシ

取引所ノ仲買人又ハ會員ハ賣買取引ニ關スル事項ヲ帳簿ニ記載スヘシ

第十四條 收稅官吏ハ取引所、取引所ノ仲買人又ハ會員ニ就キ其ノ賣買手数料又ハ賣買取引ニ

關スル帳簿書類ヲ檢査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十五條 取引所第二條ノ申告ヲ怠リ又ハ詐リタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス因リ

テ脱稅シタルトキハ脱稅高三倍ニ相當スル罰金又ハ科料ニ處シ直ニ其ノ税金ヲ徵收ス

第十六條 取引所ノ仲買人又ハ會員第八條又ハ第十一條ノ申告ヲ怠リ又ハ詐リタルトキハ百圓

以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス因リテ脱稅シタルトキハ脱稅高五倍ニ相當スル罰金ニ

處シ直ニ其ノ税金ヲ徵收ス但シ税金二十圓未滿ナルトキハ罰金額ヲ百圓トス

第十七條 取引所法第二十五條ノ規定ニ違反シタル行爲アリタルトキハ取引稅ニ關シテハ取引

所ニ於テ定期取引ヲ爲シテ脱稅シタルモノト看做シ其ノ税金五倍ニ相當スル罰金ニ處シ直ニ

其ノ税金ヲ徵收ス但シ税金二十圓未滿ナルトキハ罰金額ヲ百圓トス

前項ノ場合ニ於テハ委託者ニ對シ約定金高トシテ計算シタル金額ヲ以テ賣買各約定金高トス

第一項ノ税金ニ關シテハ第八條乃至第十條及第十二條ノ規定ヲ適用セス

第十八條

取引所ノ仲買人又ハ會員ノ爲シタル第八條又ハ第十一條ノ申告不當ナル場合ニ於テ

取引所之ヲ正當ナル申告トシテ政府ニ提出シタルトキハ百圓以下ノ罰金又ハ十圓以上ノ科料

ニ處ス因リテ脱稅スルニ至ラシメタルトキハ脱稅高五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ税金二十

圓未滿ナルトキハ罰金額ヲ百圓トス

第十九條 取引所又ハ取引所ノ仲買人若ハ會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ百圓以下ノ罰金

又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス

一 取引所第八條又ハ第十一條ノ場合ニ於テ申告書ニ意見ヲ附セス又ハ申告書ノ提出ヲ怠リ

タルトキ

二 賣買手数料又ハ賣買取引ニ關スル帳簿ヲ調製セス、其ノ記載ヲ怠リ若ハ詐リタルトキ又

ハ帳簿書類ヲ隱匿シタルトキ

三 收稅官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、

之ヲ妨ケ若ハ忌避シタルトキ

第二十條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第

四十一條、第四十八條第二項、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用井ス

第二十一條 取引所ノ仲買人又ハ會員ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ

其ノ業務ニ關シ本法ヲ犯シタルトキハ其ノ仲買人又ハ會員ヲ處罰ス

第二十二條 北海道府縣、市町村及北海道沖繩縣ノ區ハ取引所營業稅ニ對シ本稅百分ノ十以內ノ附加稅ヲ課スルノ外取引所ノ業務ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

附則

本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十二條ノ規定ハ大正四年四月一日ヨリ施行ス
本法施行前ノ賣買取引ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依リ取引所稅ヲ徵收ス
本法施行前ニ爲シタル賣買取引ニ係ル賣買手數料ニシテ本法施行後ニ收入スルモノハ取引所營業稅ノ課稅標準額ニ算入セス

明治三十九年法律第十二號ハ之ヲ廢止ス

兩案ハ三年三月九日本院ニ提出、翌十日順次第一讀會ヲ開キ高橋大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

(三〇) 唯今議題ニ上リマシタ所ノ取引所法改正ノコトニ付キマシテハ多年ノ宿題デアリマシテ、世上ニ於テモ論議セラル、コトガ尠カラヌノデアリマス、加之此案ハ帝國議會ニ於テモ數次問題ニ上リ、又二十五議會ニ於テハ取引所改善ニ付テノ建議案モ提出サレタ次第デアリマス、爾來政府ニ於テハ是ガ調査ニ從事致シマシテ、漸ク成案ヲ得マシテ此度此法案ヲ提出致シタ次第

第ゴザイマス、申スマデモナク取引所法ノ善惡如何ハ、經濟上實際ニ於テ影響スルコトガ甚ダ多イノデゴザイマスルガ故ニ、漫リニ理想ニ走セ或ハ難キヲ強フルガ如キコトハ最モ慎マナケレバナラスノデゴザイマス、故ニ政府ハ既往及現在ニ於ケル取引所ノ實情ヲ察シ、又其利弊ノ因テ生ズル所ノ原因ニ鑑ミマシテ、成ルベク情弊ヲ矯メテ、以テ真正ナル機能ヲ發揮セシメントスル趣意ニ外ナラスノデゴザイマス、今其改正ノ要點ヲ概說致シマスルト、是マデ仲買人ノ選擇ニ於テ、ヨリ以上其範圍ヲ擴張シタルコト、又取引所ノ役員ノ義務ノ施行上成ベク、嚴正ヲ保タシメントシタルコト、又取引ニ伴フ所ノ弊害ヲ成ベク芟除シマシテ、取引所ヲシテ真正ナル公定相場ノ作成ヲ保タシメント云フノニ外ナラスノデゴザイマス、其他ノ條項ニ付テハ數箇條ノ改正ガアリマスガ、茲ニ其說明ニ止メテ置キマシテ、唯政府ニ於テ此改正ヲ致シマスルト云フコトノ大體ノ趣意ヲ申上ゲルニ止メテ置キマス、慎重審議御協贊アランコトヲ希望致シマス

(三一) 取引所稅法改正ノ說明ヲ致シマス、是ハ前ノ議題ニナリマシタ取引所法ノ改正ニ伴ヒマシテ、取引所稅ノ賦課徵收ノ方法ヲ改正シテ、併セテ其稅率ヲ改正スルノ必要ヲ認メマシテ本案ヲ提出シタル次第デアリマス、本案改正ノ要旨ハ取引所稅ヲ營業稅ト取引稅ト此ニ區別ヲ致シマシタ、營業稅ハ取引所ノ營業ニ對シ手數料收入金額ヲ標準ト致シマシテ課稅ヲスル、又取引稅ハ取引所ニ於ケル定期取引ノ賣買約定高ヲ標準ト致シテ、取引所ノ仲買人或ハ會員ヨリ之ヲ徵收スルコト、致シマシタ、而シテ取引稅ノ稅率ハ、從來萬分ノ十二ニアリマシタノヲ輕減致シテ、萬分ノ三乃至五ト致シ、其ノ他脫稅ノ取締ニ關スル制裁ノ規定ヲ新ニ設ケマシテ、以テ此取引所法ノ改正ト相俟ッテ取引所ノ改善ヲ期スルコトヲ目的ト致シタノデゴザイマス、速ニ御協贊アランコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ同委員議長指名十八名ニ決シ議長即日之ヲ指名ス委員ハ三月十一日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末第一案ニ修正ヲ加ヘ第二案ヲ可決シ同月十七日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

取引所法中改正法律案中左ノ通修正ス

第十五條ノ三第四項中「農商務大臣ノ認可ヲ得テ代理人ヲ選定シ」ヲ「定款ノ定ムル所ニ從ヒ他人ヲシテ」ニ改ム

第二十五條第一項中「賣建、買建」ヲ「賣付、買付」ニ改ム

同條第二項中「取引所」ノ下ニ「之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ」ヲ加フ

第二十六條第一項中「及」ヲ削ル

第二十六條ノ二中「取引所外ニ於テハ」ヲ「取引所ニ依ラスシテ」ニ改ム

第三十一條第一項但書及第四號ヲ削ル

第三十二條ノ五中「取引所外ニ於テ」ヲ「取引所ニ依ラスシテ」ニ改ム

第三十二條ノ六中「規定ニ違反シ」ノ下「又ハ第三十一條第四項ノ規定ニ該當スル行為ヲ爲シ」ヲ削ル

即日議事日程ヲ變更シ兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長鶴澤總明君ハ左ノ報告ヲ爲ス

取引所法中改正法律案、並ニ取引所稅法改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、先ヅ取引所法中改正法律案ニ付テ大體ノ經過ヲ申シマス、本案ニ付テ委員會ヲ開キマシタコトガ

前後五回ニ互ツテ居リマス、而シテ此改正案ハ全部二十四箇條ヨリナツテ居ルノデアリマス、ケレドモ取引所ノ改善或ハ仲買人ノ向上ト云フヤウナコトヲ目的ト致シテ居ル案ナルガ故ニ、各委員ノ間ニ於テ種々ナル質問モ出デ、政府委員ノ十分ナル答辯モアリマシテ、圖ラズモ委員會ハ長引イタヤウナ譯デアリマス、是ト同時ニ取引所稅法改正案モ討議ヲ致シタノデアリマスガ、是ニ付テハ割合ニ質問モ少ナイコトデアリマシタ、先ヅ取引所法中改正案ノ大體ニ付テハ、是ハ農商務大臣並ニ政府委員カラ本會ニ於テモ亦委員會ニ於テモ十分ニ其趣意ヲ述ベテアリマス、又委員ノ議論致シマシタ所、質問致シマシタ所ニ付テハ、速記録ニ載ツテ居リマスカラ是ニ付テハ報告ヲ省キマス、先ヅ委員會ハ大體ニ於テ此度ノ改正案ニ付テハ之ヲ以テ完全ニ目的ヲ達スルコトヲ得ルモノデアルトハ認メルコトガ出來ヌケレドモ、併ナガラ大體ニ於テハ是認スベキモノデアアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、從ツテ修正ノ箇條ハ餘リ澤山アリマセヌ此改正案ハ性質トシテハ取縮リノ規定ニ屬シテ居ルノデアリマスカラシテ、修正ノ箇條ニ於テモ同ジク取縮リニ關スル所ノ議論ニ依リマシテ修正ガ成ッタノデアリマス、先ヅ修正ノ點ヲ申シマスト第十條ノ三ノ第四項ニ於テ「前三項ノ場合ニ於テ會員又ハ仲買人ノ行為ヲ爲ス者ナキトキハ取引所」トアリマス、其以下ニ「農商務大臣ノ認可ヲ得テ代理人ヲ選定シ」ト云フノヲ削リマシテ定款ニ定ムル所ニヨリ他人ヲシテ「ト云フコトニ改メタノデアリマス、ソレカラ第二十五條ニ「賣建、買建」トアリマスノヲ「賣付、買付」斯ウ云フ文字ニ改メタノデアリマス、ソレカラ第二十五條第二項ニ「前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ヲ除名スヘシ」トアリマス點ガ、是ガ非常ニ議論ニナリマシタ、結局委員會ニ於テハ「前條ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ」ト云フコトヲ其前ニ一ツ落シマシタ、「前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ、又ハ之ヲ除名スヘシ」ト云フコトニ修正致シタノデアリマス、ソレカラ二十六條ノ二ニ「取引所外ニ於テハ」トアリマスル、取引所外ト云フコトニ付テ取引所外ト云フ事柄ハ是ハ取引所ノ建物デアアルカ或ハ取引所ノ營業デアアルカト云フコトニ付テ、從來裁判例ガ區々ニ岐レテ居ル、ソレガタメニ種々ノ疑ヲ起シマスカラ、是ハ取引所外ニ於テハ

ト云フノヲ削リマシテ「取引所ニ依ラスシテ」ト修正致シマシタ、第三十一條ニ「但シ刑法ノ刑重キトキハ刑法ニ依ル」トアルヲ削リ、第四項ノ「仲買人ニシテ委託ヲ受ケタル取引ニ關シ虚偽ノ通知ヲ爲シタル者」トアルノヲ削リ、デアリマス、此削リ趣意ハ大體此法案ハ取締リノ罰ト云フモノヲ基本ト致シテ居ルノデアッテ、仲買人ノ行爲ニ對シテ取締リヲスルト云フコトガ主タル目的デアアル、之ニ向ッテ必ズシモ刑法ノ罰ヲ科スルト云フ所ノ趣意デハナイノデアリマスカラ、刑法ト交渉ノアル點ハ之ヲ削リタガ宜カラウト云フコトデ之ヲ削リマシタ、第三十二條ノ「五」取引所外ニ於テ」ト云フノヲ「取引所ニ依ラスシテ」ト修正致シマシタ、其理由ハ前ニ述ベタ通りデアリマス、第三十二條ノ六ノ二行目ニ「第十一條ノ四若ハ」トアルノヲ「又ハ」ト改メタソレカラシテ「第十二條第一項ノ規定ニ違反シ」トアリマスル其下ノ「又ハ第二十一條第四號ノ規定ニ該當スル行爲ヲ爲ス」トアルノヲ削ルコトニナッタノデアリマス、以上ガ修正ノ大要デアリマス、ソコデ本案ニ付キマシテ唯ダ一點説明致シテ置キタイ事柄ハ、此取締ニ關シマスルトコロノ點ニ付キマシテモ、餘リ嚴重ナル取締ヲスルトノタメニ、却テ此角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナコトガアッテハ困ルカラト云フヤウナ趣旨デ、餘程此取締ガ緩ヤカニナッテ居リマスル、乍併第三十二條ノ二ニ於キマシテ、是ハ商法ノ改正ノ際ノ問題トナリマシタ、株式會社ノ重役ノ收賄ヲ罰スルト云フヤウナ點ニ付キマシテ、此議院ニモ現ハレマシタガ、是ハ商法改正ノ當時ハ否決ニナッタノデアリマシタガ、取引所ニ於キマシテハ取引所ノ役員デアルトカ、或ハ此取引所ニ於ケル受渡シ物件ノ格付ヲ爲スト云フヤウナ者ハ、是ハ誠ニ大事ナ役員デアルカラシテ、恰モ官吏公吏ニ於ケルガ如ク、賄賂ヲ取ッテ間違ッタコトヲシテハナラナイト云フヤウナ所カラシテ、茲ニ此收賄ノ規定ト云フモノハ明ニ設ケラレテ居ルノデアアル、是ガ此特別法ニ於テ官吏公吏以外ノ身分ノ者ニ對スル收賄ヲ罰スル法律ノ是ガ始メダラウト思フノデアリマス、以上ガ此取引所法中改正案ノ修正、ソレカラ取引所稅法改正法律案ニ付キマシテハ、是モ色々質問モアリマスルシ、殊ニ阪本彌一郎君等カラシテ色々修正案モ出マシタガ、委員會ハ種々討議ノ結果ト致シマシテ全部原案賛成ト云フコトニ決定終了ヲ致シタ次第デアリマス、此段御報告ニ及ビマス

引續キ兩案ノ第二讀會ヲ開キ村田虎次郎君ハ第一案ニ對シ修正動議ヲ提出シ其ノ趣旨ヲ辯明セリ

(修正動議)

第十一條ノ四中「第二項但書ノ場合ヲ除ク外」ヲ削ル

同條第二項但書ヲ削ル

村田虎次郎君ノ演說

私ハ委員會ニ於キマシテ第十一條ノ四ノ修正動議ヲ——渡邊修君ノ動議ニ賛成致シマシタ、不幸ニシテ委員會ニ於キマシテハ原案ノ通り決セラレマシタ、其事ニ付キマシテハ此取締ノ上ニ於キマシテ重大ノ關係アル事柄デアルト確信ヲ致シマス、故ニ吾々ハ第十一條ノ四「但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス」此但書ヲ削除シタイ、而シテ其但書ヲ削除致シマシテ第十一條ノ四ノ法文中「第二項但書ノ場合ヲ除ク外」ト云フ字ヲ削除シタイト云フ意見デゴザイマス、其理由ハ既ニ時間モ切迫シテ居リマスカラ別ニ申シマセヌ、併ナガラ今日ノ場合モ所ニ依リマシテハ非常ナ弊害デアリマス、然ルニ當局者ガ是ニ鑑ミナイト云フノハ吾々ハ頗ル遺憾ニ思フ、故ニ此條項ヲ取消シタイノデ、此動議ヲ提出致シマス

討論終局シ表決ニ及テ村田君ノ修正動議ヲ否決シ次テ兩案共第三讀會ヲ省略シテ全部委員會ノ報告ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日兩案ヲ貴族院ニ送付、同院ハ三月二十三日孰レモ可決奏上シ同月三十一日法律第二十三號及第三十三號ヲ以テ公布セラル

三三 耕地整理法中改正法律案

耕地整理法中左ノ通改正ス

第一條中「區劃形質ノ變更」ノ下ニ、「湖海ノ埋立、干拓」ヲ加フ

第二條ノ二 登記シタル地上權、永小作權、土地賃借權ヲ有スル者又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル豫約開墾者ハ土地ノ所有者及賃貸人ノ同意ヲ得タルトキハ其ノ土地ニ付第三條ノ規定ニ依ル整理施行者又ハ耕地整理組合ノ組合員ト爲ルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ土地ノ所有者及賃貸人ハ其ノ土地ニ付テハ整理施行者又ハ組合員タルコトヲ得ス

第二條ノ三 官有地取扱規則ニ依リ埋立又ハ干拓ノ許可ヲ受ケタル者ハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

耕地整理組合ノ組合員ト爲リ又ハ爲ルヘキ地上權者、永小作權者、賃借權者又ハ豫約開墾者ハ第三十四條、第四十七條乃至第五十條、第五十五條、第五十六條及第五十九條ノ適用ニ付テハ之ヲ土地ノ所有者ト看做ス

第三條中「關係人ノ同意書」ノ下ニ「並第二條ノ二ノ場合ニ於ケル土地ノ所有者及賃貸人ノ同意

書」ヲ加フ

第五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ノ耕地整理ニ關スル權利義務ハ其ノ地上權、永小作權、賃借權又ハ國有林野法若ハ官有地取扱規則ニ依ル權利ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉シ地上權、永小作權又ハ賃借權消滅シタルトキハ土地ノ所有者又ハ賃貸人ニ移轉ス

第七條中「地方長官」ヲ「主務大臣、地方長官」ニ改ム

第九條但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ登記所又ハ土地臺帳所管廳ハ必要アリト認ムルトキハ耕地整理組合ノ組合長、組合副長又ハ臨時代理者以外ノ者ニ付其ノ資格ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第十二條中「適用セス」ノ下ニ「埋立地又ハ干拓地ニ付亦同シ」ヲ加フ

第十三條第二項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第十一條第二項ニ依リ國有地ニ編入シタル土地ノ面積カ同條第一項ニ依リ交付シタル土地ノ面積ヨリ多キ場合ニ於テハ現地價ニ依リ算出シタル地租ノ平均額ヲ其ノ面積ノ差額ニ乗シタル金額ヲ地租ノ合計額ヨリ控除シタル額ヲ以テ地租ノ合計額ト看做ス

同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第四項中「前二項」ヲ「第一項、第二項及第四項」ニ改ム
前二項ノ規定ハ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ第一類地ニ開拓シタル土地、埋立地又ハ干拓地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條 耕地整理ヲ施行スルニ當リ其ノ地區内ノ民有土地總面積ノ五分ノ一以上ニ當ル土地ニ付開墾又ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テハ工事完了ノトキ開墾又ハ變換シタル土地ニ對シ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ修正シ修正地價總額ト之ニ對スル原地價總額トノ差額ノ平均額ヲ五分ノ一ヲ超過スル面積ニ乘シタル額ヲ原地價總額ニ加ヘタルモノヲ以テ前條第一項ノ現地價トス

前項ノ場合ニ於テハ開墾シタル土地ニ付テハ工事著手ノ年ヨリ二十年以上三十年以内、變換シタル土地ニ付テハ工事完了ノ年ヨリ六年ノ耕地整理地價据置年期ヲ許可シ年期明ノ年ヨリ修正地價ニ依リ其ノ地租ヲ徵收ス但シ開墾シタル土地ニシテ年期明ニ至リ工事完了又ハ地味成熟セサルトキハ更ニ工事完了迄又ハ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得
前二項ノ場合ニ於テ開墾ニ等シキ勞費ヲ要スル地目變換ハ之ヲ開墾ト看做ス

地租ヲ課セサル土地ヲ整理施行地區ニ編入シ地租ヲ課スヘキ土地ト爲シタルトキハ第十一條第一項ニ依リ交付シタル土地ヲ除クノ外工事完了ノトキ從前ノ地域ニ依リ其ノ地價ヲ設定シ

前條第一項ノ現地價トス

第二項ノ規定ハ地目變換ヲ爲シタル場合ニ於テ修正地價ニ依リ算出シタル地租額カ原地價ニ依リ算出シタル地租額ヨリ少キ土地ニ付テハ之ヲ適用セス

第十四條ノ二 耕地整理ノ施行ニ依リ其ノ地區内ノ國有ノ森林、原野若ハ荒蕪地ヲ開拓シテ第一類地ト爲シタルトキ又ハ國有ノ水面ヲ埋立テ若ハ干拓シテ民有地ト爲シタルトキハ埋立地又ハ干拓地ニ付テハ五十年以内、其ノ他ノ土地ニ付テハ十年以内ノ耕地整理新開免租年期ヲ許可ス但シ年期明ニ至リ地味成熟セルトキハ更ニ二十年以内ノ年期延長ヲ許可スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ年期明ニ至リ其ノ地價ヲ設定シ其ノ年ヨリ地租ヲ徵收ス

第十五條中「又ハ地目變換シ地價ノ修正アリタル土地」ヲ削リ第一號ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ工事完了ノトキニ於テ地價ノ修正又ハ設定當時ノ現況ヨリ第一類地ノ地目ニ變更シタル場合ニ於テハ開墾又ハ地目變換ヲ爲シタルモノト看做シ第十四條第一項ノ規定ヲ準用ス

第十六條中「第十四條第二項ニ該當スル土地」ヲ「第十四條ニ依リ年期ヲ許可シタル土地」ニ、第十四條第二項ニ定ムル期間中」ヲ「第十四條ニ依ル年期中」ニ改ム

第二十四條ノ二 第十八條乃至第二十一條及前二條ノ規定ハ地上權者、永小作權者又ハ賃借權者ニシテ整理施行者又ハ組合員ト爲リタル者ニ之ヲ適用セス第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ

同意ヲ爲シタル者ニ付亦同シ

第三十條中「告示スヘシ」ヲ「告示シ直ニ其ノ旨ヲ管轄登記所ニ通知スヘシ」ニ改ム

第三十三條 従前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルト

キハ之ニ對スル換地ノ交付ハ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ之ヲ爲スヘシ

第四十二條ノ二 耕地整理施行ノ爲土地ヲ分筆スルノ必要アル場合ニ於テハ組合ハ其ノ所有者

ニ代リ之ニ關スル手續ヲ爲スコトヲ得

第四十三條ニ左ノ二項ヲ加フ

登記シタル地上權又ハ永小作權ノ目的タル御料地又ハ國有地ニ付主務官廳ノ認許ヲ得タルト

キハ其ノ地上權者又ハ永小作權者ヲ組合員ト爲シ其ノ土地ヲ組合ノ地區ニ編入スルコトヲ得

但シ地上權又ハ永小作權ノ殘存期間カ耕地整理組合設立ノ認可申請ノ日ヨリ二十年未滿ナル

モノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條ノ二第二項及第五條第二項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ地上權者又ハ永小作權者カ組合

員ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

土地ノ共有者ハ耕地整理ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲サシムル爲其ノ一人ヲ以テ代表者ト爲シ之ヲ組合ニ通知スヘシ

第七十二條中「解散、合併又ハ地區ノ變更」ヲ「解散又ハ合併」ニ改ム

第七十九條第一項中「組合費又ハ」ヲ「組合費、」ニ改メ「金錢」ノ下ニ「又ハ延滞利息若ハ過怠金」ヲ加フ

第八十八條第一項中「又ハ」ヲ「若ハ」ニ改メ「不服アル者」ノ下ニ「又ハ地上權者、永小作權者、賃借權者若ハ豫約開墾者カ整理施行者若ハ組合員ト爲リタル場合ニ於テ第三十條第一項、第二項ノ處分ニ對シ不服アル土地ノ所有者」ヲ加フ

第九十一條ノ二 耕地整理組合ノ組合長、組合副長、臨時代理者、評議員又ハ組合會議員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第九十一條ノ三 前條第一項ニ掲クル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九十五條中「第十七條、」ノ下ニ「第二十五條、」ヲ、「第四十條、」ノ下ニ「第七十九條、」ヲ加フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

三三 地租條例中改正法律案

地租條例中左ノ通改正ス

第四條第六號中「軌道用地」ヲ「軌道用地、運河用地」ニ、第十六條中「埋立」ヲ「埋立テ又ハ干拓シ」ニ改ム

兩案ハ三年三月九日本院ニ提出、翌十日順次第一讀會ヲ開キ山本農商務大臣及高橋大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

(三二)案ニ對スル山本農商務大臣ノ演說

耕地整理法中ノ改正ニ付キマシテ大體ノ說明ヲ致シマスガ、此耕地整理法ハ明治三十三年ノ一月ヨリ施行ニ相成リマシテ、今日ニ至ルマデ十四箇年ノ年月ヲ經テ居ルノデゴザイマスガ、其耕地整理ヲ進メナケレバ相成ラス情況デゴザイマスルガ、ソレニ付キマシテ現今ノ法ヲ少シク改正シタイト云フ考デゴザリマシテ、其要點ノ一二ヲ申上ゲマス、第一ハ是マデノ耕地整理法デハ海面若クハ湖水ナドノ埋立テ、若クハ其開拓ニ付キマシテハ許シテ居ラヌノデゴザリマス、併ナガラ斯ノ如キコトハ耕地整理ノ目的ヲ達スル上ニ付テハ最モ必要ト思ヒマス、故ニ之レヲ耕地整理法ニ繰入レタイト云フ點デゴザリマス、又第二ハ耕地整理法ニ依リマス、土地ノ所有者ニアラザレバ耕地整理ノ施行者若クハ其組合員タルコトヲ得ナイノデゴザリマス、併ナガラ地上權者又ハ永小作權者若クハ土地賃借權者ノ如キモノハ土地所有者ト殆ド同ジ如キ利害ヲ有ッテ居ルノデゴザリマス、斯ノ如キモノハヤハリ土地所有者又ハ賃借權者ノ承諾ヲ得レバヤハリ耕地整理ノ施行者、若クハ其組合員トナルコトヲ許シタイノデゴザリマス、第二ハ耕地整理法ニ依リマス、開墾若クハ地目變換ノ如キモノニ於キマシテ地租免稅ノ特權ガアリマスガ、之ヲ地租條例ニ依リマスル場合ト比較スルト其間ニ付テ、免稅ノ特權ニ於テ非常ナ懸隔ガアルノデゴザリマスルカラシテ、之ヲバ改正シマシテヤハリ地租條例ト稱、均衡ヲ保ツコトニ致シタイト云フノデゴザリマス、此三點ガ改正ノ必要アル主ナル理由デゴザリマス、其他是マデ本法ヲ施行シタル上ニ於テ經驗シタル取扱上ノ冗長ナル點ヲ省キ、或ハ簡便ナ法ヲ置イテ之ヲ補足スル點モ段々アルノデゴザリマスルガ、是ハ茲ニ說明ヲ省クコトニ致シマス、何卒御協贊アラシムトヲ希望致シマス

(三三)案ニ對スル高橋大藏大臣ノ演說

本案ハ運河用地ノ地租ヲ免ズルノ趣意デゴザイマシテ、即チ運河用地ハ鐵道用地、軌道用地ナドト其性質ヲ同ジウスルモノデゴザリマスルガ故ニ、是ニ對シテ其地租ヲ免除スルヲ相當ト認メ

マシテ、茲ニ地租條例ノ免租規定中ニ之ヲ追加セントスルノデゴザリマス、又先刻農商務大臣ヨリ説明ニナリマシタル耕地整理法ノ改正ニ伴ヒマシテ、用語ノ改正ヲ爲ス必要ヲ認メマシタノデ、本案ヲ提出シタル次第デゴザイマス、併セテ速カニ御協賛アラントヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ同一委員議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ三月十一日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末兩案ヲ可決シ同月十三日孰レモ報告書ヲ議長ニ提出セリ

翌十四日兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ會キ理事木村長君ハ左ノ報告ヲ爲セリ

委員長ガ御不在デゴザイマスカラ私カラ委員會ノ經過及結果ノ概要ヲ簡單ニ御報告致シマス、此耕地整理法中ノ改正案法律案ハ二十數箇條ニ涉ッテ居ルノデゴザイマスガ、其要點ハ三ツアルノデアリマス、即チ從來ノ耕地整理ト云フ範圍ヲ廣メマスト云フコトト、夫カラ特典ト申シマスカ利益ヲ殖シマスト云フコトト、夫カラ第三ニ從來ニゴザイマシタ不備ノ點ヲ補フト云フ三點デアアルデアリマス、其範圍ヲ廣メマスト云フコトハ湖デアリマストカ、或ハ湖水水面デアリマストカラ埋立テマストカ、若クハ之ヲ干乾カシマスト云フ所謂干拓ト云フヤウナコトヲ、耕地整理ト云フ範圍内ニ入レヤウト云フデアリマス、夫カラ特典利益ノ増進ト致シマシテハ、從來ノ開墾若クハ地目變換ニ對シマシテハ、二十箇年トカ或ハ七箇年間ノ地價据置ガゴザイマシタガ、今回ノ改正ニ依リマシテ若シモ其期限ガ到來致シマシテモ、地味ガマダ不十分デ十分ナル收穫ヲ舉ゲルコトノ出來ナイ場合ニハ、更ニ年限ヲ延期シヤウト云フデアリマス、夫カラ第三ノ不備ノ點ト申シマスノハ、從來耕地整理ニ對シテ犯罪不正ノ行爲ノアリマシタ者等ニ對シマシテハ、之ニ對スル制裁ノ規定ガ無カッタデアリマス、之ヲ今回規定致シマシタト云フノデ、條項ガ非常ニ長クナツテ居ルノデアリマスケレドモ、以上申述ベマシタ二箇ノ要點、及ビ之ニ附隨致シマシテ條文ノ改正ヲセラレタデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、二回開會ヲ致シマシテ、時ニ速記ヲ省キマシテ政府ノ意思ノアル所ヲ十分ニ聽取リマシタガ、何レモ耕地整理促進獎

勵ノ爲ニ最モ必要デアルト云フコトデ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデゴザイマス、此段御報告ヲ致シマス、次ニ地租條例ノ方ハ、是ハ極ク簡單デゴザイマシタノデ、從來稅ノ方ニ軌道用ニ浴シテ居リマセナカッタカラ、之ヲ免租地區ニ入レヤウト云フコトト、モウ一ツハ耕地整理法ノ改正ノ結果ト致シマシテ、干拓ト云フ文字ヲ十六條ニ挿入スルト云フノデゴザイマシテ、是モ極ク簡アル、且ツ適當ナ改正デアルト致シマシテ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタノデアリマス、此際ニ一ツ附加ヘテ置キマスガ、大橋君外兩人カラ御提案ニナリマシタ耕地整理法ノ改正案ハ、ヤハリ今回ノ政府ノ提出ニナリマシタ十四條中ノ改正ノ中デ、御提出ヨリ以上ノ希望ガ含マレテ居ルト云フデアリマシタカラ、是ハ別段ニ議決ヲ要セスト云フコトニナツタデアリマス、尙此場合ニ耕地整理ニ付テ委員中ヨリ希望ガゴザイマシタカラ、此條項ダケヲ御報告申上ゲテ置キタイト思ヒマス、ソレハ耕地整理ヲ段々實行致シマスルニ付キマシテハ、低利デ而モ多額ノ資金ヲ要スルコトニナリマスカラ、政府當局者ハ此資金融通ノ途ニ付テ十分ノ力ヲ費サレタキコト、及ビ水利ト云フ關係ガ將來耕地整理ノ施行上非常ナル關係ヲ持ツ次第デアリマスカラ、之ニ就テモ十分ナ考慮ヲ費サレタイト云フコトノ二箇條ノ希望ヲ、是亦全會一致デ希望ヲ述ベテ置イタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス

別ニ討論ナク引續キ兩案ノ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シ孰レモ原案ヲ採用シテ之ヲ確定セリ即日貴族院ニ送付、同院ハ三月二十三日兩案ヲ可決奏上シ同月三十一日法律第十九號及第三十二號ヲ以テ公布セラル

三四 肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル法律案

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第一項 政府提出法律案

第一條 主務大臣ハ肺結核豫防上必要アリト認ムルトキハ肺結核患者ニシテ療養ノ途ナキ者ヲ收容セシムル爲人口三十萬以上ノ市ニ對シ療養所ノ設置ヲ命スルコトヲ得
國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項療養所ニ關シ市ノ支出スル經費ノ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス

第二條 公共團體又ハ公益法人ニシテ肺結核療養所ヲ經營スル者ニ對シテハ國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條第二項ノ範圍内ニ於テ其ノ經費ヲ補助スルコトヲ得

第三條 肺結核療養所ヲ設置シタル公共團體ニシテ本法ノ補助ヲ受ケタル者ハ他ノ公共團體ノ委託アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ途ナキ肺結核患者ヲ其ノ療養所ニ收容スヘシ

附則

本法ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

三年三月九日本院ニ提出、翌十日第一讀會ヲ開キ水野內務次官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス、肺結核病ハ逐年著シク其病勢ヲ加ヘマシテ、今ヤ國家衛生上並ニ經濟上重要ナル問題ニナツテ居ルノデゴザリマス、而シテ政府ニ於キマシテモ是ガ取締リニ關シマシテハ、時々訓令ヲ發シ公衆衛生ノ上是ガ危害ヲ防グコトニ努メテ居リマスルシ、又喀痰ノ取締等ニ付キマシテハ、各種ノ省令ヲ發シテ居リマスルガ、未ダ之ヲ以テ足レリトシテ居ラ

ナイノデゴザリマス、而シテ殊ニ此病氣ノ多イノハ御承知ノ如ク大都市デアリマスルカラシテ、大都市ニ對シマシテ肺結核患者ニシテ療養ノ途ヲ有シナイ者ヲ收容スベキ療養所ノ設置ヲ命ズル方法ヲ設ケマシテ、而シテ其費用ハ國庫ヨリ之ヲ補助スルコトニシタイト考ヘテ居リマス、尙公共團體若クハ公益法人ニシテ自ら進ンデ之ガ療養所ヲ經營ニ任ゼントスルモノガアリマシタ場合ニハ、是亦國庫ヨリ補助ヲ爲シ得ル途ヲ開イテ、以テ肺結核豫防ニ關スル施設ヲ完全ニシタイ考ナノデアリマス、此趣旨ヲ以テ此法案ヲ提出シタ次第デゴザリマス、何卒御審査ノ上御協贊アラントトヲ希望致シマス

質疑應答ノ後委員ノ選舉ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ翌十一日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ヲ可決シ同月十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

同月十七日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長八木逸郎君ハ左ノ報告ヲ爲セリ

肺結核療養所及國庫補助ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、元來此法律案ハ肺結核ハ下層ノ者ニ多イ、而シテ其下層ノ者ハ療養ノ途ヲ失フ、故ニ大キナ都市ニ向ッテ政府ハ勅令ヲ以テ療養所ヲ設置セシメ、施設ヲ入院ヲセシメ肺結核ヲ防グ、斯ウ云フ意味ノ案デアアルノデアリマス、二回開キマシテ政府委員トハ質問應答ヲ重ネマシタガ、此法律ノ文面ニハ表ハレテ居リマセヌケレドモ、此法律ヲ實施スルノハ大正四年一月デアリマスガ、第一ニ大正四年度ニ命ズルハ、東京市、横都市ニ向ッテ、先ヅ政府ガ命ズルト云フノデアリマスガ、第一ニ大正四年度ニ命ズルハ、東京市、横濱ニ命ズル、ツマリ此六大都市ニ命ジテ此療養所ヲ設置セシムルノニ、幾ド七年間ヲ要スルノデアリマス、是ハ餘リトシテ緩慢デアアル、幾ド申譯的デアルト云フコトガ委員會ノ委員全體ノ難論デアリマシテ、爲メニ財政上ノ都合モアリマスガ故ニ、大藏省ノ政府委員モ臨場ヲ請ヒマシテ、種々攻究致シマシテ質問致シマシタ結果、委員會ハ三年間デ此六大都市ニ向ッテ療養所ヲ設置セ

シムルト云フコトノ希望ヲ以テ、滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ大藏政府委員ノ當局モ三年間テ遂行スルコトヲ極力努メル、斯ウ云フ政府ノ言明ガアッタノデアリマス、此段御報告致シマス

別ニ討論ナク引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ院議原案ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日貴族院ニ送付、同院ハ三月二十三日可決奏上シ同月三十一日法律第十六號ヲ以テ公布セラル

三五 巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

巡查看守退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第三條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ後ノ勤績年數ニ付第一條ニ依リ算定シタル退隱料年額本條ニ依リ算定シタル年額ヨリ多キトキハ其ノ額ニ依ル

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

三年二月二十三日貴族院ニ提出、同院ハ之ヲ可決シ三月十日本院ニ送付、同月十二日第一讀會ヲ開キ原内務大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今日程ニ上リマシタトコロノ巡查看守退隱料ノ改正案ハ是ハ誠ニ簡單ナル法案デアリマスルガ、要スルニ巡查看守ガ一度退隱致シマシテ恩給ヲ受ケ、更ニ就職致シマシテ相當ノ年限ニ達シタル折ニ與ヘルトコロノ恩給ガ、前後俸給ノ差ニ依テ前ノ方ヨリモ後ガ不利益ヲ來スコトガアルノデアリマス、此缺點ヲ補ハンガタメニ提出致シタル法案デアリマス、極メテ簡單ナル案デゴザイマスルガ、御審査ノ上速ニ協賛セラレンコトヲ希望致シマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ翌十三日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ヲ可決シ同月二十三日報告書ヲ議長ニ提出シタルモ停會ニ次テ會期終了シ其ノ議決ヲ經ルニ至ラサリキ

三六 大嘗祭齋田ノ土地免租ニ關スル法律案

大嘗祭ノ齋田ニ指定セラレタル土地ノ地租ハ大正三年分ニ限り之ヲ免除ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前項ノ土地ニ對シ大正三年度ニ於テ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

本法ニ依リ免除シタル稅金ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

三年三月十日本院ニ提出、翌十一日第一讀會ヲ開キ高橋大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、謹ンデ惟ミマスルニ、大嘗祭ハ國家ノ大典デゴザイマシテ、悠紀主基ノ齋田ニ指定セラレタル土地ニ付テ、租庸ヲ免ジ給ヘルハ古來ノ典例デゴザイマス、本年此大典ヲ舉行セラル、ニ當リマシテ、齋田ニ指定セラレタル土地ニ對シ、古典ニ則リ地租ヲ免ズルヲ至當ナリト認メマシテ、本案ヲ提出シタル次第デゴザイマス、慎重審議ノ上速ニ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

次テ委員ノ選舉ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ翌十三日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ引續キ審査ノ末本案ヲ可決シ報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ本案ノ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長増田穰三君ハ左ノ報告ヲ爲セリ
本員ハ國家最高ノ大典タル御即位ノ大禮ニ當リ、皇祖皇宗ノ神前ニ供シ奉ル新米ノ耕作地トシテ古例ニ基キ龜トヲ以テ御撰定遊バサレタル齋田ノ免租ニ關スル法律案ノ委員長トシテ、其經過並結果ヲ諸君ノ前ニ御報告致シマスルコトハ深ク光榮ト致スモノデゴザイマス、御承知ノ通リ齋田中悠紀田ハ愛知縣、主基田ハ香川縣ニ御撰定ニ相成リマシタ、各約四段歩合セテ八段歩ト承リマス、此八段歩ニ對シ古例ニ則リ大正三年度分ノ地租及ビ一切ノ公課ヲ免除セラル、御趣意デゴザイマス、聖上陛下御即位ノ大典ニ供セサセ給フ新米ノ耕作地トシテ御撰定ヲ受ケマシタコトハ、永世子孫ニ傳フベキ無上ノ光榮タルコトハ申スマデモナク、其上ニ地租免除ノ恩典ニ浴シマスルハ誠ニ感泣措ク所ヲ知ラザルコト、存ジマス、依テ委員會ハ深厚ナル敬意ヲ表シ、全員一致起立シテ可決確定ヲ致シマシタ、此段謹ンデ御報告ヲ申シマス

別ニ討論ナク引續キ第二讀會ヲ開キ院議全會一致各員起立敬意ヲ表シテ原案ヲ採用シ第三讀會ヲ省略シテ之ヲ確定セリ即日貴族院ニ送付、同院ハ三月二日可決奏上シ同月三十一日法律第十七號ヲ以テ公布セラル

三七 裁判所構成法中改正法律案

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第五十七條 判事又ハ檢事ニ任セラルルニハ第六十五條ニ定メタル者ヲ除ク外試補トシテ一年

六月以上裁判所及檢事局ニ於テ實務ノ修習ヲ爲シ且考試ヲ經タルコトヲ要ス

實務ノ修習及考試ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五十八條 試補ハ成規ノ試験ニ合格シタル者ノ中ヨリ司法大臣之ヲ命ス

前項ノ試験ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十九條 削除

第六十二條 司法大臣ハ試補ノ行狀其ノ地位ニ適セス又ハ修習ノ成績考試ニ合格スヘキ見込ナ

シト認ムルトキハ之ヲ罷免スルコトヲ得

第六十五條第一項中「試験」ノ下ニ「及考試」ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル

第六十七條 判事ハ親任、勅任又ハ奏任トシ終身其ノ官ヲ保有ス

第六十八條 大審院長ハ親任判事ヲ以テ之ニ親補ス

控訴院長及大審院ノ部長ハ司法大臣ノ上奏ニ因リ勅任判事ノ中ヨリ之三補シ其ノ他ノ判事ノ

職ハ勅任判事又ハ奏任判事ノ中ヨリ司法大臣之ヲ補ス

第七十九條第三項ヲ左ノ如ク改ム

檢事總長ハ勅任檢事ヲ以テ之ニ親補ス

檢事長ハ司法大臣ノ上奏ニ因リ勅任檢事ノ中ヨリ之ニ補シ其ノ他ノ檢事ノ職ハ勅任檢事又ハ奏任檢事ノ中ヨリ司法大臣之ヲ補ス

附則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ判事檢事又ハ試補タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖仍其ノ資格ヲ有ス

三八 辯護士法中改正法律案

辯護士法中左ノ通改正ス

第二條第二號ヲ左ノ如ク改ム

第二 裁判所構成法第五十八條ノ試験ニ合格シタルコト

第三條 削除

第四條 左ニ掲クル者ハ試験ヲ要セスシテ辯護士タルコトヲ得

第一 判事檢事タル資格ヲ有スル者

第二 法律學ヲ修メタル法學博士

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ辯護士タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖仍其ノ資格ヲ有ス

三年三月十二日本院ニ提出、翌十三日兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キ奥田司法大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今議題トナリマシタ裁判所構成法中改正法律案及辯護士法中改正法律案ノ此二案ニ就キマシテ、提出ノ理由ヲ簡單ニ述ベテ置キタイト考ヘマス、裁判所構成法中改正法律案ハ、箇條ハ八箇條ニ互ツテ居リマスルケレドモ、其改正ヲ要シマスル所ノ主要ナル事柄ハ唯二點ニ過ギマセヌノデアリマス、第一ハ何デアアルカト申シマス、現行ノ構成法ニ於キマシテハ、皆サンモ御承知アラセラル、如ク試補ノ登用ニ就キマシテ或ル特別ノ資格ヲ有ツテ居ル者ガアツテ、第一回ノ試験ハ之ヲ要セズシテ直ニ試補ニ登用セラル、コトガ出來得ルト云フコトニナツテ、其他ノ者ハ總テ試験ヲ受ケナケレバ試補ニ登用セラル、コトガ適ハヌト云フ現定ニ相成ツテ居ルノデアリマス、然ルニ行政官ノ任用ニ付、或ハ又外交官ノ任用ニ付キマシテ、今日ノ制度ヲ見マスルト、出身ノ

如何ヲ問ハズ總テ皆一定ノ試験ヲ經テ者デナケレバ之ヲ登用スルコトガ出來得ナイト云フコトニ相成ツテ居リマスノニ、獨リ司法官ダケニ限ツテ此特別ノ規定ガ殘存ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是ハ制度ノ統一ヲ缺イテ居ルコトハ、論ヲ俟タヌノデアリマス、ソレ故ニ此制度ヲ統一ヲ致シマスルガ爲メニ、一般ノ行政官若クハ外交官ト同様、司法官ニ付テモ出身ノ如何ヲ問ハズ總テ一定ノ試験ヲ經テ者デナケレバ資格ヲ與ヘヌト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレガ第一點デアアルノデアリマス、ソレカラ第二點ハ、大審院長ニ補セラルベキ判事ヲ親任官ト致シ、檢事總長ニ補セラルベキ檢事ハ、勅任ノ檢事ヲ以テ之ニ充ツルノデアリマスルケレドモ、檢事總長ヲ以テ親補ノ職ト致ス、斯ウ云フノガ第二點ノ改正ノ要デアリマス、沿革ニ徴シテ之ヲ見マスルノニ、明治八年正院ノ職制ヲ定メラレマシタ當時ニ於テハ、左右大臣ノ一人ガ必ズ大審院長ヲ兼任ニナツテ居ッタモノデアリマス、續イテ又種々ノ變革ハアリマシタケレドモ、明治二十四年頃ノ制度ニ依テ見マスルト、今日ニ於ケルガ如ク勅任官中ニ特別ナルトコロノ親任ノ式ヲ以テ任ゼラル、官ト云フモノハ無カッタノデアリマシタ、國務大臣モ亦勅任官ノ中ノ一等官デアッタ、大審院長ニ補セラルベキ判事モ亦同ジク勅任官ノ一等官デアッタノデアリマス、然ルニ其後ニ制度ガ變更セラレマシテ、勅任官中ニ於テ親任ノ式ヲ以テ任ゼラル、トコロノ官ト云フモノガ特別ニ出來マシテ、國務大臣ノ如キハ即チ其一ツニ相成ツテ居リマスルニモ拘ラズ、大審院長ニ任ゼラルベキトコロノ判事ハ、依然トシテ勅任官即チ親任ノ式ヲ以テセラレザルトコロノ勅任官デ、其儘居座リニ相成ツテ來テ居ルノデアリマス、申ス迄モナク、大審院ハ一般ノ法律ノ統一ヲ圖リマスル司法ノ最高府デアリマス、其職責タルヤ固ヨリ重大デアアルノデアリマスルカラ、其職責ノ重大ナル點カラ見マシテモ、亦沿革カラ見マシテモ、大審院長ニ補セラルベキ判事ハ、宜シク今日ノ制度ニ基キマスルトコロノ親任官ニセラルベキノガ當然ナリト考ヘルノデアリマス、又檢事總長ハ司法檢察ノ最高府ニアル者デアリマシテ、其職責ノ重大ナルコトモ論ヲ俟タヌノデアリマスガ、一面ニ於テ唯今述ベマスルガ如ク、大審院長ニ補セラルベキ判事ヲ親任官ト爲シマスル權衡上カラ申シマシテモ、之ヲ以テ親補ノ職トスルコトハ當然ノ結果デアラウト信ジマ

スル、以上述ベマシタ所ノ二點ガ今回此改正案ヲ提出致シマシタル主要ナル點デアリマス、續イテ辯護士法ノ改正法律案ニ就キマシテ一言致シマスル、辯護士法ハ私ノ見マスル所ニ依リマスルト、尙今回提出ヲ致シマシタ改正ノ事項以外ニ於テ、二三改正ヲ要スル點ガアルト云フコトヲ見マスル、然レドモ何分ニモ就任日淺クシテ充分ニ研究ヲ遂ゲル暇ガゴザイマセヌ、ソレ故ニソレ等ノ點ニ付キマシテハ、遺憾ナガラ今回ノ改正案中ニ之ヲ合マセルコトガ出來マセナンダノデアリマス、唯今回ノ改正案ハ、先刻述ベマシタ裁判所構成法中改正ヲ要シマスル所ノ一點タル、試験制度ニ關係ヲ以テマスル條項ニ相伴ヒマシテ、辯護士法中ニ於テモ御承知アラセラル、如ク、或ル特殊ノ者ハ試験ヲ經ズシテ辯護士トナルコトノ規定ガ存在ヲ致シテ居リマスルカラ、是モ亦原則ト致シマシテ總テ試験ヲ經ナケレバ辯護士タルコトノ資格ヲ與ヘヌコトニシマシタ、尤モ此辯護士トシテ試験ヲ經ズトモ成リ得ルダケノ資格ノアルモノト認メ得ラル、分ダケヲ殘シマシテ、其以外ノ者ハ出身ノ如何ヲ問ハズ、判檢事同様試験制度ノ下ニ於テ、試験ヲ經テ者デナケレバ其資格ヲ與ヘヌ、斯様ニ改正ヲ致シマシタノガ今回改正案ヲ提出致シマシタ唯一ノ理由デゴザイマシテ、其以外ノ事柄ニ付キマシテハ、他日ヲ以テ研究ノ上尙ホ改正案ヲ提出スルコトハアルカモ知レマセヌ

質疑應答ノ後委員ノ選舉ハ同一委員議長指名(十八名)ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ翌十四日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末第一案ニ修正ヲ加ヘ第二案ハ之ヲ可決シ三月十九日報告書ヲ議長ニ提出セリ

(委員會報告書)

(小字及——ハ委員會修正)

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第五十七條 判事又ハ檢事ニ任セラルルニハ第六十五條ニ定メタル者ヲ除ク外試補トシテ一年

六月以上裁判所及検事局ニ於テ實務ノ修習ヲ爲シ且考試ヲ經タルコトヲ要ス
實務ノ修習及考試ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五十八條 試補ハ成規ノ試験ニ合格シタル者ノ中ヨリ司法大臣之ヲ命ス
前項ノ試験ニ關スル規則ハ勅令ヲ以テ以テ定ム

第五十九條 削除

第六十二條 司法大臣ハ試補ノ行狀其ノ他位ニ適セス又ハ修習ノ成績考試ニ合格スヘキ見込ナ
シト認ムルトキハ之ヲ罷免スルコトヲ得

第六十五條 第一項中「試験」ノ下ニ「及考試」ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル

第六十七條 判事ハ^{終身官トシ}親任ト勅任又ハ奏任トシ終身其ノ官ヲ保有ス

第六十八條 大審院長ハ親任判事ヲ以テ之ニ親補ス

控訴院長及大審院ノ部長ハ司法大臣ノ上奏ニ因リ勅任判事ノ中ヨリ之ニ補シ其ノ他ノ判事ノ
職ハ勅任判事又ハ奏任判事ノ中ヨリ司法大臣之ヲ補ス

第七十九條 第三項ヲ左ノ如ク改ム

検事總長ハ勅任検事ヲ以テ之ニ親補ス

検事長ハ司法大臣ノ上奏ニ因リ勅任検事ノ中ヨリ之ニ補シ其ノ他ノ検事ノ職ハ勅任検事又ハ

奏任検事ノ中ヨリ司法大臣之ヲ補ス

附 則

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ判事検事又ハ試補タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖仍其ノ
資格ヲ有ス

即日議事日程ヲ變更シ兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長松田源治君ハ左ノ報告ヲ爲ス
ソレデハ裁判所構成法中改正法律案、辯護士法中改正法律案ノ經過並ニ結果ヲ報告致
シマス、是ハ政府カラ提出シタル案ニ係リマシテ、其ノ提出ノ當時ニ國務大臣ガ説明シタル通
リニ、大審院長ヲ親任トシ検事總長ヲ親補官ニスル、ソレカラ第一ニ大學ノ特權ヲ廢止シテ、私
立學校ト同様ニ判検事登用第一回試験並ニ辯護士試験ヲ平等ニ受ケサセルト云フノガ本案ノ眼
目デアアルデアリマス、委員會ニ現ハレマシタ所ノ重要ナルコトヲ二三報告致シタイト思フノ
デアリマス、ソレハ第一ガ司法官試補ヲシテ検事代理ヲ兼ネシメナイヤウニシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ希望ガアルカ
ラシテ、司法官試補ヲシテ検事代理ヲ兼ネシメナイヤウニシテ貫ヒタイ、斯ウ云フ希望ガアルカ
シタ、政府ノ答辯ト致シマシテハ、從前試補ニ任命スルト同時ニ、検事代理ヲ兼ネサシテ居リマ
シタケレドモ、是ハ近來ハ六箇月又ハ一年實務ヲ修習シタ後ニ非ザレバ、検事代理トシテ職ヲ執
ラシメナイ又從來往々検事代理ヲ兼ネシメルコトヲ原則トシテ居ッタ、恰モ検事一人殖スト同
様ニナッテ居リマシタケレドモ、今後ハ絶對ニ斯カルコトハサセナイト云フコトヲ明言致シタノ
デアリマス、ソレカラ第二ニハ判検事ノ待遇ヲ高メル以上ハ、法律ヲ知ラナイ判検事ガアル、無

學ナル判檢事ガアル、又無識ナル判檢事ガアル、又沒常識ノ判檢事ガアツテ、人權ヲ蹂躪スル等ノ事ガ往々生ジテ來ルノデアアルカラシテ、斯カルモノハ其待遇ヲ高メルト同時ニ、充分嚴重ニ監督致シテ斯カル人權蹂躪ノ批難ガ無クナルヤウニ、無識無學ノ判檢事ハ相當ニ處分スルヤウニト云フコトヲ希望致シマシタ所ガ、當局者ハ之ニ付テハ充分注意ヲ致シテ、嚴重ニ部下ヲ監督致シテ、斯カル事ハ無イヤウニ致スト云フコトノ答辯デアリマシタ、ソレカラ委員會全會一致ノ希望トシテ二箇ノ決議ヲ致シタノデアリマス、ソレハ今日ノ裁判所構成法ニ依リマスレバ、五年辯護士ヲシタル人ハ控訴院ノ判事ニナレルコトガ出來ルノデアリマス、ソレカラ十年經テ大審院ノ判檢事ニナレルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ官等俸給令ト云フモノガアリマシテ、始メテ判事檢事ニナル人ハ高等官六等以下ト云フコトデアリマスカラシテ、五年辯護士ヲシテ控訴院ノ判檢事ニナル希望者モ無ケレバ、十年辯護士ヲ致シテ大審院ノ判檢事ニナル所ノ希望者モナイノデアリマスカラシテ、全ク裁判所構成法ノ六十九條ト七十條ハ官等俸給令ト云フ勅令ニ依ッテ此運用ヲ妨ゲラレテ居ルト云フヤウナ結果ニ陥ッテ居ルノデアリマス、ソレデスウ云フ決議ヲシタノデアリマス「裁判所構成法第六十九條第七十條ノ規定ヲ活用シ且之ヲ實行セラルヘキ樣官等俸給令ヲ改正セラレンコトヲ希望ス」斯ウ云フ決議デゴザイマス、モウツノ決議ハ試驗制度ガ勅令ニ依テ統一サレルサウデス、ソレガ統一サレマス、今日受驗資格ガアル人間デモ受驗資格ノ無クナルヤウナ虞ガアリマスカラシテ、ソレニ對スル救濟ト致シテ斯カル決議ヲ致シタノデアリマス「試驗制度統一ト共ニ從前受驗資格アリタル者ニ對シテハ當分ノ間其受驗資格ヲ與ヘラル、ノ途ヲ開カレムコトヲ希望ス」此二箇ノ希望ハ全會一致ノ決議デアッタノデアリマス、之ニ付キマシテハ當局大臣ハ構成法第六十九條ト第七十條ノ規定ヲ活用セシメ、高等文官俸給令ヲ改正スルト云フコトニ付テハ、至當ナルコト、存ジマスカラシテ、微力ノアラン限リヲ盡シテ決議通りニスルコトヲ盡力致スト云フコトデアリマシタ、ソレカラ第二ノ決議ノ答辯ト致シマシテハ、是モ至當ナル希望デアアルカラシテ、試驗規則制定ノ際ニ充分ソレ等ニ付テモ救濟ノ途ヲ圖ッテ調和スルノ途ヲ講ズルト云フ所ノ答辯デアリマシタ、其次ニハ又希望ト致シマ

シテ辯護士會ノ自治ヲ認メテ貫ヒタイ、今日辯護士會ハ檢事正ノ監督ニ屬シテ居ルノデアリマス、又法人デモアリマセス、之ヲ法人ト致シテ直接ニ司法大臣ノ監督ニシテ貫ヒタイト云フノガ希望デアリマス、之ニ付テハ國務大臣ノ答辯ト致シテ、是ハ東京トカ其他多數ノ辯護士ノ在ル所ノ場所デハ、直チニ其組織ヲ爲スコトガ出來マスケレドモ極メテ少數ノ一二人ノ辯護士ガ在ル處モアリマスカラシテ、直チニ之ヲ行フト云フコトモ隨分ムヅカシイカラ、調和方法ハ今後十分研究ヲ致シテ希望ニ充ツルヤウニシタイト云フ所ノ答辯デアリマシタ、ソレカラ裁判所構成法ニ付テハ修正ヲ致シマシタ、其修正ハ第五十七條ニ一番末尾ノ方デスガ「且考試ヲ經タルコトヲ要ス」トアル經タルト云フト何ダカ過去ニナル、且今迄ノ裁判所構成法ノ文例トシテ「經タルコト」トナクシテ「經ルコトヲ要ス」トナッテ居ルカラ「タ」ノ字ヲ削除シテ「且考試ヲ經ルコトヲ要ス」ト云フコトニ修正ヲ致シマシタ、ソレカラ第六十七條ハ原案ニハ「判事ハ親任勅任又ハ奏任トシ終身其ノ官ヲ保有ス」ト云フ文例ハドウモ變デアアル、文例ハ陸軍將校分限令ニアリマスケレドモ、今迄ノ構成法ノ文例トシテハ是ハ頗ル變デアアルカラシテ、法文ノ體裁上斯ウ云フヤウニ改メタ方ガ宜カラウ「判事ハ終身官トシ親任勅任又ハ奏任トス」斯ウ云フヤウニ修正致シマシタ、ソレカラ六十八條ノ一項二項六十九條ノ一二、是ニ付テ「之ニ」ト云フノガアリマス、例ヘバ之ニ親補ストカ之ニ補ストカ云フコトガアル、此「之ニ」ノ「ニ」ヲ「ヲ」ニ訂正スルコトデアリマス、是ダケガ修正デアリマシテ、此修正ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、ドウカ此構成法モ辯護士法中改正案モ、委員會ノ結果通りニ可決アランコトヲ希望致シマス、辯護士法中改正案ハ全部原案ニ可決致シマシタ、此段報告致シマス

質疑應答ノ後別ニ討論ナク引續キ第二讀會ヲ開キ第二讀會ヲ省略シテ兩案トモ全部委員會ノ報告ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日兩案ヲ貴族院ニ送付、同院ハ同月二十三日孰レモ可決奏上シ四月十五日法律第三十九號及第四十號ヲ以テ公布セラル

三九 國庫出納金端數計算法案

國庫出納金端數計算法

第一條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一錢未滿ナルトキハ之ヲ一錢トス

第二條 國稅ノ課稅標準額ノ算定ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

命令ヲ以テ定ムル國稅ノ課稅標準額ニシテ一圓未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ前項ノ課稅標準額ノ基礎タル金額ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノニ一圓未滿ノ端數アルトキハ之ヲ切捨ツ其ノ全額一圓未滿ナルトキ亦同シ

第三條 分割シテ收入シ又ハ仕拂フ金額ノ總額ニ一錢未滿ノ端數アルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

第四條 分割シテ收入又ハ仕拂フ爲ス場合ニ於テ分割金額ニ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ其ノ端數ハ最初ノ收入金又ハ仕拂金ニ之ヲ合算ス但シ地租ノ分納額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五條 賣藥印紙稅及郵便切手ヲ以テ納ムル郵便料金ニ付テハ本法ヲ適用セス

法律ニ別段ノ定アルモノノ外本法ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 本法ハ北海道府縣郡市町村其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル公共團體ノ收入及仕拂ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

第七條 本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八條 明治四十年法律第三十一號ハ之ヲ廢止ス但シ本法施行前納入ノ告知ヲ爲シ又ハ仕拂ノ命令ヲ發シタルモノニ付テハ仍其ノ效力ヲ有ス

三年三月十四日本院ニ提出、同月十七日第一讀會ヲ開キ高橋大藏大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

國庫出納金端數計算ニ關シマシテハ現行法律ノ規定モアリマスガ、地租其他ニ於キマシテハ、尙ホ厘位ヲ存シテ居ルモノモゴザイマス、現今ノ如ク社會經濟ノ進歩ニ伴ヒマシテ、此厘位ヲ切捨テテ錢位ニ止メ、出納事務ノ簡捷ヲ圖ルト云フコトハ官民相互ノ最モ必要トスル所ト考ヘマス、此改正案ハ其主旨ヲ以テ重モナル目的トシ、其他現行規定中些々タル不備ノ點ガゴザイマスデ、之ヲ補正スル目的ヲ以テ此案ヲ提出シタ譯デゴザイマス、協贊ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

質疑應答ノ後委員ノ選舉ハ之ヲ略シ武富時敏君外一名提出會計法中改正法律案外一件ノ委員ニ付託スルニ決シ審査ノ末本案ヲ可決シ同月二十三日報告書ヲ議長ニ提出シタリ

即日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ理事指田義雄君ハ左ノ報告ヲ爲ス

(前略)本案ニ付テ委員長ニ代リマシテ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス、本案ハ計算上ノ簡便ヲ圖リ、事務ヲ簡捷ナラシムルト云フ目的デ、一錢未滿ノ端數ヲ控除スルコト、而シテ此課稅標準等ニ付テハ一錢未滿ノ端數ハ總テ之ヲ控除スルト云フ案デアリマシテ、滿場異議ナク決シマシタノデゴザイマス、ドウゾ御贊成アラシムコトヲ望ミマス

別ニ討論ナク引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ院議原案ヲ採用シ之ヲ確定セリ即日貴族院ニ送付シタルモ停會ニ次テ會期終了シ同院ノ議決ヲ經ルニ至ラサリキ

四〇 會計検査院法中改正法律案

會計検査院法中ノ通改正ス

第三條中「院長及部長ハ勅任、」ヲ「院長ハ親任、部長ハ勅任、」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

四一 行政裁判法中改正法律案

行政裁判法中左ノ通改正ス

第三條中「長官ハ勅任トス」ヲ「長官ハ親任トス」ニ改メ「内閣總理大臣ノ上奏ニ依リ」ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

兩案ハ三年三月十九日本院ニ提出、同日議事日程ヲ變更シ兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キ倉富法制局長官ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今議題トナリマシタ會計検査院法中改正法律案、行政裁判法中改正法律案、此二ツノ法案ノ提出ニ付キ一言理由ヲ申述ベタイト思ヒマス、會計検査院ハ御承知ノ通り官金ノ收支、官有物及國債ニ係ル計算ヲ検査確定シマシテ、其成績ヲ直接ニ上奏致スノデアリマス、ソレデ會計検査院法ニモ會計検査院ハ 天皇ニ直隸シ國務大臣ニ對シ特別ノ地位ヲ有スト云フ規定モアリマス、又行政裁判所ハ御承知ノ通り行政上ノ違法處分ニ對シテ提起セラレタルトコロノ行政訴訟ヲ審判スルトコロデアリマシテ、其當事者トシテハ各國務大臣ガ當事者トナル場合ガアリマス、デ此會計検査院ト云ヒ行政裁判所ト云ヒ、其職務ノ重要ナルコトハ今更改メテ申スマデモアリマセヌ、此二ツノ役所ノ長官トナルトコロノ 職責ハ極メテ重要ナルモノデアリマシテ、今日ト雖トモ既ニ特別ノ待遇ヲ賜ッテ親任官ノ待遇ト云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ其職務ノ重要ナルコトカラ見マスレバ、單ニ親任官ノ待遇ト云フヨリモ眞ノ親任官ニ進メラレノガ適當デアルト云フ考デ、此二ツノ法案ヲ提出致シマシタ譯デアリマスカラ、ドウゾ御協賛下サルコトヲ希望致シマス

次テ兩案ノ委員ノ選舉ハ之ヲ略シ松田源治君外四名提出行政裁判法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案外二件ノ委員ニ付託スルニ決シ審査ニ著手シタルモ兩案共ニ報告ヲ經ルニ至ラサリキ

四二 畜産組合法案

畜産組合法

第一條 本法ニ於テ家畜ト稱スルハ牛馬羊豚ヲ謂フ

第二條 牛羊豚ヲ飼養スル者又ハ馬ノ生産ヲ業トスル者ハ本法ニ依リ畜産組合ヲ設置スルコトヲ得

第三條 畜産組合ハ法人トシ畜産上ノ改良發達ヲ圖リ組合員ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的トス

第四條 組合ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス但シ組合ノ經營上必要アル場合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受ケ畜産上ノ施設ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス

第五條 組合ハ組合員ニ非サル者ニシテ其区域内ニ於テ家畜ヲ所有シ又ハ保管スル者ノ委託ニ依リ委託者ノ費用ヲ以テ家畜衛生上必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得

第六條 組合ヲ設置セムトスルトキハ郡市ノ區域ニ依リ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ定款ヲ作り地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ特別ノ事情アルトキハ郡市ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ家畜又ハ組合員タルヘキ者ノ種類二種以上アルトキハ其ノ種類毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ヘシ

前項組合員タルヘキ者ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 組合ノ名稱中ニハ畜産組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウヘシ

畜産組合ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ畜産組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス
第八條 組合成立シタルトキハ其ノ区域内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ組合員トス但シ特別ノ事情ニ依リ地方長官ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 地方長官必要アリト認ムルトキハ組合ニ對シ種畜ノ供給、種付、家畜ノ系統若ハ能力ノ登錄、家畜衛生ニ關スル施設又ハ家畜市場ノ開設ヲ命スルコトヲ得

第十條 定款ヲ變更セムトスルトキハ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ
定款ノ變更カ經費ノ分賦收入ニ關スルトキハ前項ノ出席者及議決權ノ數ハ家畜又ハ組合員ノ種類毎ニ之ヲ計算スヘシ

定款ノ變更カ區域ノ擴張又ハ家畜若ハ組合員タルヘキ者ノ種類ノ増加ニ關スルトキハ第一項ノ議決ノ外擴張又ハ増加ニ依リ新ニ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ第六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條 組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ所有又ハ保管ニ係ル家畜、畜産物又ハ畜産上

ノ設備ニ付検査ヲ爲シ又ハ試験ノ用ニ供スル爲必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スル
コトヲ得

組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ徴收シ、其ノ違反ニ係ル物品ノ沒收
其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十二條 組合ノ經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

第十三條 組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ組合長ノ請求アルトキハ市町村
ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ組合ハ其ノ徴收金額ノ百分ノ四ヲ市町村
ニ交付スヘシ

前項徴收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村、水利組合其ノ他之ニ準スヘキモノノ徴收金ニ次クモ
ノトス

第十四條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

- 一 經費ノ收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 起債並其ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法
- 四 共濟其ノ他ノ基金ノ積立、支出及利用ノ方法

五 事業報告及收支決算ノ承認

六 訴願、訴訟及和解

七 定款ニ定メタル事項

八 其ノ他組合長ニ於テ重要ナリト認メタル事項

第十五條 前條ノ事項ニ付テハ總會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員ヲ以テ組織スル評議員會ニ
委任シテ議決セシムルコトヲ得

評議員會ニ關スル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 第十四條第一號又ハ第三號ノ事項ニ關シ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト
認ムルトキハ組合長ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認
ヲ求ムヘシ

第十七條 第十四條第一號乃至第四號ノ事項ニ付テハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十九條 總會ハ組合長之ヲ召集ス

組合員其ノ總數ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得會議ノ目的タル事項及召集ノ事由ヲ記載シタル書
面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ十四日以内ニ總會ヲ召集スヘシ

組合長正當ノ事由ナクシテ前項ノ期間内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第二十條 總會ヲ招集スルニハ少クとも七日前ニ會議ノ日時、場所及目的タル事項ヲ記載シテ各組合員ニ其ノ通知ヲ發スヘシ

總會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 組合員ハ總會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ一ヲ超ユサル範圍内ニ於テ二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十二條 總會ノ議事ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外出席者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十三條 組合員ハ總會ニ於テ書面又ハ代理人ヲ以テ議決ヲ爲スコトヲ得前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト看做ス

第二十四條 組合ハ命令及定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ選舉シタル議員ヲ以テ組織スル總會ヲ以テ總會ニ代フルコトヲ得但シ組合ノ解散、合併又ハ分割ノ議決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

總會ニ關スル規定ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外總代會ニ之ヲ準用ス

第二十五條 組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長 一人

組合副長 一人又ハ數人

評議員 數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス但シ組合長又ハ組合副長ハ特別ノ事情アル場合ニ限り組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選舉スルコトヲ得

役員ノ任期ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

役員ハ任期中ト雖之ヲ解任スルコトヲ得

役員ノ選任又ハ解任ハ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス但シ定款ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第二十六條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ管理ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アル場合ニ於テ其ノ代理ノ順序ハ定款ノ定ムル所ニ依ル

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十七條 組合長ノ權限ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條 組合ハ畜産上ノ検査ニ従事セシムル爲検査員ヲ置クコトヲ得

第二十九條 組合長ハ定款、組合員名簿、會議ノ議事録其ノ他組合ニ關スル書類及帳簿ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員又ハ組合ノ債權者ハ前項ノ書類又ハ帳簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テ組合長ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十條 組合ハ左ノ事由ニ因リ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
- 二 總會ノ議決
- 三 組合ノ合併
- 四 組合ノ分割
- 五 組合員五人以下ト爲リタルトキ
- 六 監督官廳ノ處分

第三十一條 組合ニシテ解散、合併又ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ第二項ノ場合ヲ除クノ外之

ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ總會ニ於テ組合員半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決スヘシ

家畜ノ種類ニ依リ組合ノ分割ヲ爲サムトスルトキハ其ノ種類ノ組合員ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ有スル者ノ同意ヲ以テ之ニ關スル必要ノ事項ヲ定メ組合ニ對シ之ヲ請求スルコトヲ得前項ノ請求アリタルトキハ組合ハ其ノ權利義務ノ分割ニ付總會ニ關スル規定ニ準シ他ノ種類ノ組合員ノ議決ヲ經テ請求者ト協議スヘシ協議調ハサルトキハ地方長官之ヲ決定ス

第三十二條 組合ノ解散、合併又ハ分割ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三十三條 組合合併シタルトキハ合併ニ因リテ解散シタル組合ノ權利義務ハ合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設置シタル組合之ヲ承繼ス

第三十四條 組合分割シタルトキハ其ノ定ムル所ニ從ヒ分割ニ因リテ設置シタル組合其ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス

第三十五條 組合解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外清算ヲ爲スヘシ

民法第七十二條、第七十三條及第七十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

民法第七十九條及第八十條ノ規定ハ第三十條第一號、第五號又ハ第六號ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 組合ハ債權者ノ同意ヲ得又ハ異議アル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ

供スルニ非サレハ組合ノ解散、合併、分割若ハ區域ノ除斥又ハ家畜若ハ組合員ノ種類ノ減少ニ關スル定款ノ變更ヲ爲スコトヲ得ス

第三十七條 組合ノ會議ノ議決又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ其ノ議決ヲ取消シ、議員若ハ評議員ノ改選ヲ命シ、組合長若ハ組合副長ヲ解任シ又ハ組合ノ業務停止若ハ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十八條 主務大臣又ハ地方長官ハ組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類帳簿業務ノ執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款又ハ豫算ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ組合ノ合併又ハ分割ヲ命スルコトヲ得

第三十九條 地方長官左ニ掲クル事項ニ付認可ヲ爲シ又ハ前二條ノ處分ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示スヘシ

- 一 組合ノ設置
- 二 組合ノ區域ノ擴張又ハ家畜若ハ組合員タルヘキ者ノ種類ノ増加ニ關スル定款ノ變更
- 三 組合長又ハ組合副長ノ選任又ハ解任
- 四 組合ノ解散、合併又ハ分割

主務大臣前項ノ事項ニ付前二條ノ處分ヲ爲シタルトキハ關係地方長官ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ

第四十條 組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲畜産組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得

畜産組合聯合會ハ法人トス

第四十一條 聯合會ヲ設置セムトスルトキハ定款ヲ作り其ノ區域一府縣以内ノモノニ在リテハ地方長官、二以上ノ府縣ニ互ルモノニ在リテハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條 聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 副會長 一人又ハ數人
- 評議員 數人

第四十三條 畜産組合ニ關スル規定ハ第二條、第三條、第六條、第八條、第十條第三項、第十三條、第二十三條、第二十四條及第二十五條第一項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ聯合會ニ準用ス但シ地方長官トアルハ二以上ノ府縣ニ互ル聯合會ニ在リテハ主務大臣トシ第十一條及第二十五條第二項中組合員トアルハ聯合會ヲ組織スル組合員トシ第三十條第五號中五人以下トアルハ一トス

一府縣以內ノ區域ニ依リタル聯合會ニシテ合併又ハ區域ノ擴張ニ依リ二以上ノ府縣ニ互ルヘキ場合ニ於テハ其ノ認可ハ主務大臣之ヲ行フ

第四十四條 組合又ハ聯合會ノ役員ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第四十五條 組合又ハ聯合會ノ役員又ハ検査員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第四十六條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第四十七條 本法中府縣、郡、市町村トアルハ府縣制、郡制、市制、町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ之ニ準スヘキモノニ該當ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

産牛馬組合法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前産牛馬組合法ニ依リ設置シタル組合又ハ聯合會ハ本法ニ依リ之ヲ設置シタルモノト看做ス但シ其ノ定款中本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スルモノアルトキハ命令ノ定ムル期間内ニ之カ變更ヲ爲シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

三年三月二十三日本院ニ提出、同日議事日程ヲ變更シテ第一讀會ヲ開キ山本農商務大臣ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

唯今議題ニ上リマシタル畜産組合法ヲ簡單ニ申上ゲマス、現行ノ産牛馬組合法ハ甚ダ不完全ナル所ガアリマスル故ニ、之ヲ廢シマシテ之ニ代ルニ畜産組合法ヲ設立シタイト云フノデゴザイマス、ソレデゴザイマス故ニ、ドウカ御協賛アランコトヲ希望致シマス、極ク簡單ニ……

次テ委員ノ選舉ハ議長指名ニ決シ議長ハ即日之ヲ指名シタルモ停會ニ次テ會期終了シ委員長及理事ノ互選ヲ行フニ至ラサリキ

第二項 本院提出法律案

一 營業税法廢止法律案

營業税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二 營業税法廢止法律案

營業税法ハ大正二年分營業税限リ之ヲ廢止ス

三 營業税法廢止法律案

營業税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

四 通行税法廢止法律案

通行税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

五 通行税法廢止法律案

通行税法ハ大正三年三月三十一日限リ之ヲ廢止ス

六 通行税法廢止法律案

通行税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

七 鹽專賣法廢止法律案

鹽專賣法ハ之ヲ廢止ス

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第二項 本院提出法律案

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

八 織物消費税法廢止法律案

織物消費税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

九 石油消費税法廢止法律案

石油消費税法ハ之ヲ廢止ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

以上九案中(一)、(七)及(八)ハ二年十二月二十六日關直彥君外五名、(四)及(九)ハ同日關直彥君外四名、(二)及(五)ハ三年一月二十一日武富時敏君外一名、(三)ハ同月二十四日尾崎行雄君

外二名、(六)ハ同月三十日早速整爾君ノ提出ニ係リ一月二十四日(一)、(二)、(四)、(五)、(七)、(八)及(九)ノ七案ヲ一括シ尙ホ二月五日(六)案ノ第一讀會ヲ開キ各提出者ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

(一)高木益太郎君ノ演說

我國ノ營業稅ハ惡稅中ノ最大惡稅デアル、商工業者ニ向ッテハ殘忍酷薄ヲ極メ、其財產權其人權ヲ蹂躪スル所ノ苛稅デアル、國家トシテハ其興隆ノ基礎タル商工業ヲ阻害スルトコロノ亡國稅デアル、個人トシテハ其營業ヲ不振トナシ、之ヲ萎靡セシメ、之ヲ閉店セシメ、之ヲ自滅セシムルトコロノ廢業稅デアル、又營業稅法ノ各規定ヲ見ルト、不權衡不公平極マルモノガ多クシテ、大正ノ今日、立憲ノ治下ニ於テ、斯ノ如キ世界列國中ニ於テ一箇國モナイ所ノ惡キ規定ト云フモノハ、之ヲ全廢スベキハ勿論デアルト信ズルノデアリマスカラ、茲ニ本員ハ斯カル營業稅法ヲ全廢セラレンコトヲ諸君ニ訴ヘルノデアリマス、其第一ノ理由ハ、世界ノ諸強國ノ商工業者ノ負擔ノ有様カラ見マシテ、我國ノ營業稅法ハ一日モ早ク之ヲ撤廢シナケレバナラヌ必要ナルコトヲ信ズルノデアリマス、歐米諸強國ノ有様ヲ見マスルト、最モ日本ト平和ノ上ニ於テ鬪ッテ居ル所ノ李漏西、東洋ノ膠州灣ニ於テ根據地ヲ有ッテ居ル所ノ李漏西ガ、營業稅ノ負擔ハ何ウデアアルカト云フト、之ヲ獨逸ノ國稅トナサズシテ唯地方稅トシテ負擔シテ居ルノデアリマス、又其他營業稅ノ徵收ノ仕方ハ營業者ノ中ノ協議ニ依テ之ヲ定メルノデアッテ、我國ノ如ク稅務官吏ガ之ヲ決定スルト云フコトハナイノデアアル、佛蘭西ハ營業ノ免許稅ニ止ル次第デアリマスシ、英吉利ニ於テハ稅法ノ中ニ「ビヂチスタックス」ト云フ言葉ガナイ位デアアル、唯一種變タル所ノ所得稅法ガアルノミニ止ルノデアリマス、亞米利加ハ「シャーマンアンチトラスト」ノ或ル一種ノ「トラスト」ヲ組ンデ鐵道、電信、電話、運送業ト云フヤウナ獨占的ノ事業ニ付テ、大資本家ガ小資本家若ハ細民ヲ壓迫スルヤウナコトヲ防グ歴史上ノ理由カラシテ、或ル特種ノ營業ニ向ッテ稅ヲ課スル

ノデアツテ、一般ノ營業稅ト云フモノハナイノデアアル、斯ノ加ク世界ノ強國ハ商工業ナルモノハ一國ノ興隆ノ基礎デアアルカラシテ、之ヲ壓迫シテ之ヲ阻害スルヤウナル所ノ稅法ガナイ、又縱令稅法ガアツテモ地方稅ニ段々傾クト云フヤウナ世界ノ形勢デアアルノニ、單リ我國ニノミ此誅求ヲ極メラル、所ノ營業稅ノ存在ト云フモノハ、我が商工業ノ上ニ於テ非常ナル妨ゲガアルノデアリマスルカラ、世界ノ大勢カラ論ジテ、此營業稅ヲ撤廢スベキモノデアルト云フコトハ勿論デアラウト信ジマス、又第二ニハ假令世界ニアリマシタ所ガ、其歐米ノ諸強國ト云フモノハ、非常ニ富ンダル資本ヲ以テ發達シタル所ノ國民デアアル、此國民ガ重キ負擔ヲシタ所ガ堪ヘラル、ノデアリマスケレドモ、我國ニ於テハ此議會ニ於テモ、議會以外ニ於テモ、正貨ノ流出輸入ノ超過ト云フコトハ朝野ノ政治家經濟學者ガ非常ニ苦心ヲシテ居ル所ノ問題デアアル、之ヲ均ラスノニハドウスルカト云ヘバ、無論商工業ノ發展ヲ計ルヨリ外政策ハナイノデアリマス、富ンタル國ノ人間ガ偶、國稅及地方稅等ニ依ッテ營業稅ヲ負擔シテ居ッテモ、其苦痛ト云フモノハ少ナイノデアアルケレドモ、貧弱ナル所ノ我國ニ於テハ、國稅ニ於テ負擔シテ地方稅ニ於テ附加ヲ受ケルト云フ譯デアリマシテ、直接此營業稅ノ存否ト云フコトハ産業ノ興廢ニ關係ヲスルノデアリマスカラ、又此第二ノ點カラ見マシテモ、營業稅ヲ全廢スルト云フコトガ最モ急務デアルト信ジマス、第三ニハ同一ノ收益ニ對シテ重複ノ租稅ヲ納メル、同一ノ稅源カラシテ前後二重ノ誅求ヲ受ケル所ノモノハ此營業稅デアアル、農業者ニ農民稅ナルモノハナイ、官吏ニ官吏稅ナルモノハナイ、單リ商工業者ト云フモノハ、其商業家工業者デアルト云フ階級ノ爲メニ、格段ナル營業稅ノ負擔ヲナスノデアリマスカラ、一ツノ收益ニ向ッテ所得稅デモ取ッテ置イテ尙營業稅ヲ取ル、前後カラ同一ノ財源ニ向ッテ重複ナル誅求ヲナスト云フコトハ、甚ダ不當極ツタ次第デアリマス、他ノ階級カラ比較シマシテモ、此稅ヲ全廢スベキモノデアルト云フコトハ疑ヒノナイ次第デアルト信ジマス、第四ノ營業稅ノ全廢ヲ求ムル理由ハ、凡ソ租稅ハ果實若クハ利益カラ取ルト云フコトガ原則デアリマスルノニ、營業稅ハ營業行爲カラ取ル、故ニ之ヲ極端ニ論ズルト營業ヲスレバスル程重クナルノデアアル、結局スルトコロ營業稅デハナクシテ廢業稅ニナルノデアリマスカラ其結果ト云

フモノハ、營業上損失ヲ被ッタル場合ニ於テモ尙負擔ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ實ニ泣面ニ蜂デアアルノデアリマス、最近ニ諸君ガ能ク御承知ノ通り、昨暮ノ如キハ一般ノ不景氣ト云フモノハ案外ニ強クシテ、綿絲、生絲、雜穀、羽二重、木材、瓦、砂糖、醬油、酒、玉子其外二十餘種ノ物價ト云フモノハ非常ニ下落ヲ致シマシタ、殊ニ洋鐵ノ如キ又ハ海產物ノ如キ、二割乃至二割五分ノ下落ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ當業者ノ苦痛ト云フモノハ絶頂ニ達シテ、或ハ閉店或ハ破産ト云フヤウナモノモ少ナカラヌノデアリマス、之ヲ他ノ階級ノ役人ノ方ト較ベテ見マスト、役人ハドンドンナニ下落シテモ下落ノ利益ヲ均霑スルダケデアリマシテ、俸給ハ上ッテモ下ルコトハナイ、勳章ハ貰ヘル位階ハ上ル、恩給ハウント取レル、營業稅ハ二千五六百萬圓デアリマスケレドモ、役人ガ隱居ヲシタ場合ニドレ位恩給年金ガ取レルカト云フト、三千萬圓以上取レルノデアリマス、一國デ隱居ヲシテ寢テ居ル人間ガ二千萬圓以上ノ恩給年金ヲ取ッテ、其外大正二年度ノ判事檢事ノ休職給ナドヲ加ヘルト非常ナ額ニナル、本員ハ何モ恩給ガ惡イト云フノデアリナイガ、階級ノ比較ノ上カラ論ズルノデアアルガ、寢テ居テ働カナイ生産ニ直接關係ノナイ者ガ三千萬圓ノ恩給ヲ取ッテ眞ノ血ノ汗ヲ流シテ活動スルトコロノ商工業者ハ高イ稅ヲ納メ、所得稅ヲ納メ、其他各般ノ稅ヲ納メテ尙營業稅ヲシテ活動スルト云フ爲メニ二千五六百萬圓ノ重稅ヲ負擔スルト云フコトハ、實ニ不當極ツタ次第デアリマス、殊ニ唯今申上ゲマシタ如ク、損ヲシタ場合ニ、洋鐵ノ如キ海產物ノ如キハ二割若クハ二割五分、昨年ハ元ガ損ヲシテ居ル、損ヲシタニ尙營業稅ヲ拂フト云フ次第デアリマス、丁度肉ヲ殺ギ骨ヲ削ッテサウシテ尙國家ニ獻納シナケレバナラヌト云フノデアリマスカラ、營業稅ハ實ニ殘忍酷薄ヲ極メタル稅デアルト云フコトハ、頗ル明瞭デアルト信ズルノデアリマス、第五ノ營業稅全廢ノ理由ハ、營業稅ハ同一ノ物件ニ付テ三重四重ニ順次課稅ヲセラレル爲ニ、一般ノ經濟上及ビ社會上ニ惡影響ヲ生ズルト云フコトハ大ナルモノデアアル、營業稅ノ負擔ハ同一ノ物件ニ付テ、諸君能ク御承知ノ通り第一ニ製造元ニ課セラレ、第二ニハ問屋ニ課セラレ、第三ニハ仲買ニ課セラレ、第四ニハ小賣ニ課セラレルノデアアル、此一ツノ物ニ於テ四回モ關門ヲ潛ル、殊ニ仲買ノ多イ時ニハ五回モ六回モ潛ラナケレバナ

ラヌ、一ツノ物ニ於テ斯ノ如キ數同ノ租稅ノ負擔ト云フモノガ、積リ積ッテ何人ガ此負擔ヲスルカト言ヘバ言ハズト知レタ消費者デアリ、消費者ガ此重イ負擔ヲシテ、是ガ爲メニ一般ノ物價ノ騰貴ヲ促シ、人民ノ生活ト云フモノガ愈々困難ニ陥ッテ、就中此下層ノ勞働者ト云フモノガ痛切ナルトコロノ苦痛ヲ感ズルコトニナルノデアリマス、是ハ先覺者タル聰明ナル諸君ガ、經濟上及社會政策上ニ於テ最モ私ハ憂慮スベキトコロノ危險ヲ醸ス一大顯象デアリト信ズルノデアリマス、第六ニ此營業稅ノ全廢ヲ主張スル理由ハ、凡ソ此直接稅ノ原則トシテハ、貧富ノ不均平均ト云フコトヲ緩和スル爲メニ、累進稅ヲ適用スルト云フコトハ、諸君ガ昨年御決議遊サレタルトコロノ、所得稅ノ累進率ノ主義ニ依ッテ疑ノナイ次第デアリマス、然ルニ人ハ自分ヨリハ目下ト云トハ能ク分ルノデアリマスガ、目上ノ者ノコトハ、兎角分リ惡イモノデアリマス、故ニ稅務官吏ニ於テモ大官富豪ニ對スルトコロノ徵稅ノ處分ニ較ベテ見マスト云フト、中流以下ノ細民ニ對スル徵稅ノ仕方ト云フモノガ、周密デアッテ過酷ニ流レル、甚シキニ至ッテハ往々新聞紙デ攻撃ヲスル通り、吞舟ノ魚ヲ逸シテ小前ノ者ノミガ誅求ヲ受ルト云フヤウナ事件ガアッタト云フコトハ、元老某氏ニ對スル所ノ脫稅事件ト云フモノガ、明白ニ之ヲ證明スル次第デアリマス、即チ地位ノ高イ者ニ向ッテハ寬大デアッテ、地位ノ低イ者ニ向ッテハ辛辣ヲ極メル、諸君ハ一面ニ於テ所得稅ニ於テハ累進率ト云フモノヲ課シテ居ルニ拘ラズ、營業稅ハドウカト云フト、小前ノ者ノ比較カラ見ルト、二井ヤ三菱ニ對シテハ嚴重ナル取立ハ出來ナイノデアリ、デアアルカラ、財政學上ノ原則カラ累進率ガ宜イト云フコトヲ議論シテ居ルケレドモ、此營業稅ヲ見ルト、累進率デナク上方へ段々寬大ニナルカラ、累退率ニナル、是ハ直接稅ノ原則上貧富ノ公平ヲ圖ルト云フ點カラ言ヒマシテモ、斯ノ如キ上ニ寬大デ下ニ強イト云フ累退ヲスルヤウナ不當ナル稅率ト云フモノハ、一日モ早ク全廢シナケレバナラヌト云フコトハ疑ノナイ次第デアリト信ズルノデアリマス、第七ノ營業稅ノ全廢ヲ主張スル理由ハ、今日ノ稅法ト云フモノハ、形ニ依リ影ニ依リ、假想ニ依テ規定セラレテアルノデアリマスカラ、實地ノ收益ト少シモ比例ヲ得ナイ稅率ガ頗ル不公平デアリ、例ヘバ現行法ニ於テ物品販賣業ノ上カラ言ヘバ、卸ト小賣ハ、十二ト三十六ノ割合デアリ、

所ガ此物品販賣業ハ、賣上高ト云フモノヲ標準ニ取ッテ居ルノデアリマスガ、賣上高ト云フモノハ、必シモ現收入ニナルモノデハナイ、商賣ニ依テハ現金ノ賣買モアリ、又懸賣ノ賣買ガアリマス、此賣上高ガ少ナイカラト云ッテ、收益ノ多イモノモアリ、賣上高ガ多イカラト云ッテ收益ノ少ナイモノモアルノデアリマスカラ、賣上高ノミヲ以テ直チニ收益ヲ付度スルト云フコトハ、固ヨリ出來ルモノデナイ、殊ニ諸君ニ對シテ深ク訴ヘナケレバナラヌハ、今日ノ商人ノ狀態ト云フモノハ、益々仲間ノ競争ガ激甚ヲ極メ、第一元價ハ新聞デ發表セラレルシ、第二ニハ通信機關タル電信電話ニ依テ相場ノ如何ト云フコトハ、何千里ヲ隔ッテモ分ルト云フヤウナ狀態デアリ、而シテ通信機關ハサウデアアルガ、運輸機關ハドウデアアルカト云フト、品物ヲ運ブ機關ハ頗ル怠テ居ルト云フヤウナ次第デアリマシテ、實ニ商人ハ慘憺タル實況ヲ呈シテ居ルノデアリマス、又金利ガドウデアアルカト云フト、成程國家ハ大藏證券ヲ發行シテ、日歩一錢七厘デアルトカ、或ハ日本銀行ハ手形デ二錢一厘、或ハ二厘位デ融通ヲ計リマスケレドモ、吾々ノ周圍ニ居ル友人等ガ金ヲ使フノハ、ナカクソソナ安イ金利ヲ以テ資本ノ運轉ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアリマス、又雇人ノ給料ノ如キモ、昔ハ小僧ヲ只使フコトガ出來タノデアリマスケレドモ、今日ハ丁稚小僧ニ電車賃ヲ拂フトカ、或ハ賞與金ト云フモノヲウントヤラナイケレバ奉公人ガ働カヌ、其他歩合ヤヤルトカ給料ヲウント増ストカ云フヤウナ、營業上ノ雜費ト云フモノガ、非常ニ殖エテ來タノデアリマス、其上ニ尙品物ヲ出スノニ送狀ヲ出スト、一通ニ付テ三錢印紙ヲ貼ルトカ、判取帳ニモ印紙、仕切狀ニモ印紙、受取書ニモ印紙ト云フ様ナ譯デ、若シ一ツデモ怠ッたら直ニ二十倍ノ罰金又ハ科料ト云フヤウナ工合デ、營業行爲ハ一舉一動悉ク印紙稅トカ何トカ云フモノニ責ラル、ト云フ狀態デアリ、ソコデゴザイマスノミナラズ、手紙一本デ注文ヲ受ケテ、賣ッタモノガ懸賣ニナッテ、ドンナ人物カ能ク分ラヌヤウナ人ニ向ッテ、何千圓ト云フ品物ヲ送ルノデアアルカラ、或場合ニハ殆ド冒險行爲ト云ッテ宜イヤウナ狀態デアリマス、斯ノ如ク雜費ガ多クシテ利益ト云フモノガ之ニ伴ハヌノデアリマスカラ、唯賣上高ガ多イカラ即チ稅ヲ課ス斯ウ云フ事柄ハ不公平極マルト云フコトハ論ヲ俟タヌ筋合デアラウト考ヘルノデアリマス、是ガ即チ營業稅ト云フモノ

ノガ其基本ニ於テ不公平デアツテ、標準トスベカラザルモノヲ標準トシテ居ル、違法ノ最モ顯著ナル次第デアラウト考ヘルノデアリマス、又第八ニ於テ營業稅全廢ノ理由ハ、營業稅ノ標準ノ中ニ從業者ナルモノヲ加ヘテ居リマスケレドモ、是ハ課稅標準ノ上カラ論ジマスルト厭フベキ所ノ人頭稅人身稅デアル、收稅吏ハ實際多ク何ニ依テ取調ベルカト云フト、警察ノ戸口調査ヲ利用致シマシテ、サウシテ此從業者ヲ計算スルノデアリマス、警察ハ非常線ヲ張ツテ強盜ヲ逸スルカモ知リマセヌケレドモガ、良民ニ對スル營業稅誅求ノ道ト云フモノハ、警察ノ戸口調査ヲ稅務官吏ト云フモノハ利用シテ、蟻ノ這出ル道モナイ位ニ嚴重ニ調査スルノデアリマス、殊ニ現行ノ法令ニ依リマスルト、從業者ト云フモノハ營業場ニ居住シテ居ルト否ト、又其使用ガ臨時デアルト常時デアルトヲ問ハズ、總テ之ヲ從業者トシテ加算スルト云フヤウナ規定ニナツテ居リマス、殊ニ甚ダ慘酷ナルコトハ十五歲未滿ノ者ニ向ツテ之ヲ課稅ノ標準トシテ居リノデアリマスカラ、國家ノ政策ト云フモノハ一貫ヲシナイ、農商務省ノ方面ニ於テ工場法ニ於テ十五歲未滿ノ者ニ向ツテハ、特別ノ保護ヲ與ヘル規定ヲシテ居ル、文部省ノ方面ハドウデアアルカト云フト、官立大學ヲ設ケテ二十歲以上マデモ國家ガ多大ノ補助ヲシテ、人材ヲ養成スルノ道ヲ開イテ居ルニ拘ラズ、國家ノ發展ノ原動力デアアル、商工業ニ付キマシテハ、十五歲未滿ノ者デ即チ漸ク食フコトガ出來ルカドウカ、食フダケノ働キガ出來ルカドウカト云フヤウナ人間、サウシテ此人間ト云フモノハ將來獨立シテ自活ヲスル道ヲ覺エル爲ニ、見習ニ來テ居ル人間ニ對シテハ之ヲ虐待シ、之ヲ課稅ノ標準トシテ人頭稅ヲ課ス、是ハ實ニ從業者ノ點カラ論ジマシテモ現行法ト云フモノガ慘酷極ツテ居ル法令デアアル、而シテ又國家ノ政策ト云フモノハ一致ヲ缺イテ居ルト云フコトハ疑ナイ次第デアアルト信ズルノデアリマス、第九ニ營業稅ノ全廢ヲ求メル理由ハ、建物ノ賃賃價格デアリマス、是ハ實際以上ノ評價ヲ致シマス弊ガアリマス歐米ノ文明諸國ニ參リマスルト都市デ建築ノ良イ物ヲ致シマスレバ、政府ハ課稅ヲ免除スルコトニナツテ居ル、然ルニ我國ニ於テハ商人ガ勉強ヲシテ自分ノ店ヲ景氣ヲ宜クスル爲ニ、店舗ノ改良ヲシヤウトスレバ、稅務官吏ハ忽チ來ツテ之ニ向ツテ建物ノ賃賃價格ヲ増スノデアリマスカラ、厭ヤ厭ヤナガラ建物ノ改良ト云フコ

トハ見合シテ、サウシイ汚イ家ニ住ツテ居ルト云フヤウナ、實ニ一國ノ美觀體面ノ上カラ申シマシテモ甚ダ面白クナイヤウナ狀態デアリマス、殊ニ其課稅ノ區域ト云フモノガ、直接營業ニ使用シナイ場所ニ向ツテ課稅ヲスル、苟モ同一ノ區域内ニアル以上ハ、臺所ニ以テ行ツテモ課稅スレバ寢部屋ニ以テ行ツテモ課稅スル、店舗住宅ノ區別ナク同ジ區域内ニアル場合ニ於テハ、稅務官吏ノ認定ヲ以テ賃賃價格ト云フモノヲ評定スル、其結果ハドウデアアルカト云フト、富ンダル所ノ紳商ハ東京デ申シマスレバ或ハ澁谷デアルトカ、千駄ヶ谷デアルトカ云フ處ニ住宅ヲ持ツテ居リマスカラ、午前八時ニ出テ來テ午後五時ニ歸ルト云フ工合デ、其住宅ニ向ツテ課稅ヲ免ル、ノハ固ヨリ無論デアリマスガ、貧シキ所ノ小商人ハ自分ノ寢部屋ニ向ツテモ住宅ニ向ツテモ、課稅ヲ受クルト云フヤウナル實ニ不公平極ツタル狀態デアリマス、殊ニ「デパートメントストア」トカ何トカ云フヤウナ大資本ヲ持ツテ經營シテ居ルモノニ向ツテハ、全部ハ無駄ナ所ガナク、營業稅ノ負擔ノ場所ハ悉ク活キテ用キルコトニナツテ居リマスケレドモガ、小サナル所ノ商人ニ向ツテハ、唯今申上ゲタト同様ナ不公平ヲ見ルノデアリマスカラ、此點カラ申シテモ斯ノ如キ不公平極マル稅法ト云フモノハ、之ヲ全廢スルト云フコトハ勿論デアアルト信ズルノデアリマス、殊ニ同ジ建物ノ中ニ於テモ或ハ時計屋デアルトカ、貴金屬ヲ扱フ者ニ向ツテハ、容積カ少ナイ、併シ炭、薪、材木ト云フヤウナ場所ヲ餘計取ルモノニ向ツテハ當業者ハ重イ負擔ヲスル、斯ウ云フヤウナ規定ハ常識ノ上カラ稅法ノ不當デアルト云フコトハ論ヲ俟タヌ次第デアラウト考ヘル、又吾々ノ經驗ニ徴スルト、今日ノ稅法ハ實際拂フ所ノ賃賃價格ヲ以テ課稅ノ標準ニシテ居ルノデアリマスカラ、東京ナドデハ品ノ宜イ大華族ノ持ツテ居ル場所ノ地代家賃ガ安ク、ソレカラ又第二ニハ副收入ノアル紳士ガ持ツテ居ル所ノ家屋地所ト云フモノハ、比較的家賃地代ト云フモノガ安イ、之ニシ反テ土地家屋ノ賃賃ヲ營業ニシテ居ル信託社トカ何トカ云フモノガ經營シテ居ル所ノ、關係ノアル土地家屋デアルト高ク地代家賃ヲ取ル、同ジ町内デ以テ場所ガ宜クテ安イ地代家賃ヲ拂ツテ、場所ガ悪クテ高イ家賃地代ヲ拂ハナケレバナラヌト云フヤウナ現狀デアアルノデ、今日ノ稅法ノ上カラ言フト、ソレデモ構ハズ現在拂フ所ノ賃賃價格ヲ標準ニシテ之

ニ向ッテ税ヲ課スルト云フノデアリマスカラ、甚ダ不公平ナルコトハ實ニ言葉ヲ以テ盡スコトガ出来ヌノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此點カラ論ジマシテモ營業稅ト云フモノハ、一日モ早ク諸君ガ御廢止ニ御盡力アラムコトヲ願ヒタイノデアリマス、又十二ニ營業稅ノ全廢ヲ求メル理由ハ、此營業稅ハ徵稅手續ノ煩累ト稅務官吏ノ壓迫誅求ノ弊ト云フモノハ甚シイ、殊ニ東京ハマダ軒ヲ並ベテ居ッテ諸君ニ訴ヘル機會ガ輒クアルノデアリマスガ、田舎ノ小サナ村杯ニ參リマスト、小賣屋ハ幾ラモ軒ヲ並ベテ居ナイ、營業稅ノ賃賃價格販賣額從業者ノ決定ノ當否ヲ相談ニ行クコトガ出来ナイ斯ル哀ナル所ノ販賣業者ハ務稅官吏ニ抵抗スルダケノ力ガ無イノデアリマス、無イノデアリマスカラシテ稅務官吏ガ無理ナルコトヲ言フト、已ムヲ得ズ其壓迫ヲ受ケテ、屈從ヲスルト云フヤウナ狀態デアリマス、東京ノ監督局ノ管内デ此營業稅ノ取調ノ手續ヲ申上ゲルト、實業家ノ最モ多忙ナル年末歲始ヲ狙ッテ稅務官吏ガ飛込シテ來ル、殊ニ正月ハ課稅標準ノ届ラスル時デアリマスガ、其前ニ先ヅ年末ニ於テ豫備檢査ヲスルカラト云フノデアリマス、然レモノガアル、ソレカラ正月ニナッテ課稅標準ノ届ラスルト云フト、其届高ノ宜イカ惡イカト云フコトニ就テ又稅務官吏ガヤッテ來ル殊ニ此頃ハ大分不景氣デ物價ガ下落シタノデイロ、苦情ヲ訴ヘルト云フノデ、大抵先ヅ二人三人ノ稅務官吏ガ揃ッテ來ルノデアリマス、サウシテ抽斗ヲ開ケタリ帳面ヲ調べタリシテ、殆ド豫審判事ヨリ以上ノ權力ヲ以テ、商工業者ノ内幕ト云フモノヲ暴露スル、ソレデアリマスカラ一家ノ秘密、商業ノ秘密ト云フモノハ屬吏ノ爲ニ暴露セラレル、商工業者ハ甚シイ所ノ迷惑ト苦痛ヲ感ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ一人ノ稅務官吏ガ來ルト女子供ハソレ青鬼ト赤鬼ガ來タト言ッテ居ル、サウシテ口ニ何ト言フカト云フト、火難盜難稅務署難ト言ッテ居ル、火難盜難ト同様稅務署難ヲ叫ンデ居ルト云フヤウナ狀態デアアル、サウシテ彼等ハ何所マデモ絞ッテ絞リ抜クト云フ様ナ狀態デアリマスカラ、納稅人ハ已ムヲ得ズ色々理窟ヲ言フト、理窟ヲ言フヤツニ向ッテ、ウント竹篋返シヲスルト云フヤウナ有様デアッテ、而シテ何ト言フカト云フト、本官ガヤルコトハ法律ニ從ッテヤルノデアアル、此法律ハ誰ガ作ッタノデアアル、御前達ヲ代表シタ代議士ガ作ッタノデハナイカ、其法律ノ通り本官ガヤルノニ何ノ不

都合ガアルカト、斯ク云ウコトヲ言ウテ彼等ハ此弱キトコロノ人民ニ向ッテ壓迫ノ上ニ壓迫ヲ加ヘルノデアアル、實ニ其狀態ハ諸君モ能ク御承知デアリマセウガ、是ハ立憲國ニ於テ財產權ノ保護人權ノ保護ノ上一日モ稅務官吏ノ行動ヲ今日ノ儘ニ默過スルコトハ出来ナイノデアリマス、而シテ之ヲ他ノ比例カラ見マスルト、氣性ノ確リシタ人ハソソナ目ニ遭ッテ損ヲシテ頭ヲ下ゲ、殊ニ官僚國ニ於テハ商人ト云フモノハドウモ威張レナイ、詰ラヌカラ寧ロ公債證書ヲ持ッテ寢テ居テ食ッタ方ガ宜イ、公債證書デアレバ寢テ居テ贅澤ヲシテ、營業稅所得稅ガカ、ラマノデ餘程宜イト云フ者ガ殖エル計リデアアル一國ノタメニ血ノ汗ヲ絞ッテ働ク人間ガ、ギウ／＼ナ目ニ遭ッテ而シテ公債證書ヲ持ッテ遊ンデ居ルモノハ、租稅ノ負擔ヲ脱ル、ト云フ工合デアリマスカラ、此ノ如キ制度ノ下ニ於テドウシテ國力ノ發展ト商賣ノ繁昌ト云フコトガ出来ル次第デアリマセウカ、故ニ私ハ今日ノ立憲治下ニ於テハ、此ノ如キ徵稅手續ノ煩累稅務官吏ノ壓迫誅求ヲナス法律ハ、速ニ之ヲ撤廢スル必要ガアルト考ヘマス、又第十一ニ此撤廢ヲ求ムル理由ハ、營業稅ハ國民道徳ヲ根柢ヨリ破壞スルモノデアアル、元來負擔力ノナイ者ニ向ッテ無理ニ負擔ヲ課スル次第デアリマスカラシテ、已ムヲ得ズ國民ハ其意ニ反シテ詐欺ノ申立ヲシテ、サウシテ此惡稅ノ負擔ノ輕減ヲ圖ルト云フヤウナ譯デ、詰リ制度ノ惡イタメニ、國民ニ向ッテ其詐欺ノ獎勵ヲズル、其詐欺ノ獎勵ヲシタ間接ノ影響ハドウカト云フト主人ガ先ヅ表面ト内實ノ帳面ヲ作ッテ置ク、主人ガ此ノ如キ次第デアリマスカラ、番頭ガ使込ヲスル、小僧モ棒先ヲ切ルト云フ具合デアリマス、此ノ如キ場合ニ於テモ主人自分ニ弱點ガアルカラ告訴告發スルコトガ出来ヌサウ云フモノデアリマシテ、商業ハツマリ正直ト親切ヲ本トスルモノデアアルノニ、惡稅ノタメニ國家ノ商業道徳ト云フモノヲ完ク破壊スルト云フコトニナルノデアリマス、又第十二ニ今日ハ地方稅ノ負擔ノ上ニ於テ家屋稅戸數割等極點マデ取ラレテ居ッテ、非常ニ地方稅ニ於テ困難ヲシテ居ルノデアリマス、現ニ御手許ニ廻ッテ居ル東京市會ノ決議ヲ御覽ヲ願ヒマスレバ分ルノデアリマスガ、營業稅割ノ地方稅ハ幾ツモ課シテ居ル、或ハ市ノ負擔、或ハ府ノ負擔、或ハ市區改正ノ負擔ト云フヤウナ工合ニ、一ノ營業稅ニ向ッテ幾ツモ負擔ヲシテ居ル、是營業稅ガ幸ニ諸君ノ御評決ニ依ッテ地方稅ニ

移スコトニナッタナラバ、非常ニ地方人民ハ助カルコトデアラウト考ヘマス、是モ營業稅全廢ノ第十二ノ理由ニ舉ゲルコトガ出來ヤウト思ヒマス、第十三ノ理由トシテ舉ゲルコトハ今度ハ利益ヲ舉ゲルノデアリマスガ、營業稅全廢ノタメニ非常ニ商業ガ勃興スルト云フコトハ、勿論物價ニ影響スルコトモ勿論デアリマスガ、玆ニ諸君ガ最モ御心配遊バサル、點、即チ今日ノ不景氣ノ原因ハ有價證券ノ下落ガ一原因デアルト云フコトハ疑ヒナイ、ソレデ現今ノ有價證券ノ高ヲ調ベテ見マスルト、有價證券ハ我國ニ於テ六十億萬圓ゴザイマス、又商會社ノ拂込ノ資本ヲ調ベテ見マスルト、金額ニ於テ十五億萬圓ゴザイマス、今日ハ營業稅ガ重イ、所得稅ガ重イ爲ニ銀行會社ナドノ積立金ニ就テナカナカ當局者ハ苦心ヲシテ居ル、若シ營業稅ヲ全廢スルコトガ出來ルナラバ少クトモ利益ノ配當ヲ一分増スコトガ出來ル、一分増スコトガ出來ルコトデアレバ、株券ノ價額ヲ一割上ルコトガ出來ル、一割上ルコトガ出來ルナラバ十五億ノ拂込ノ資本ハ一億五千萬圓ノ經濟上ノ價値ヲ有ツコトガ出來ル、六十億ノ有價證券デアアルカラ六億萬圓ト云フ價ガ殖ヘルト云フヤウナコトニナル、私ハ此處ニ御出ニナル所ノ山本大臣ノ如キ經濟ノコトニ就テ明ルイ方ガ、ナゼ斯ウ云フ蝦釣ル政策ヲ執ラナイノデアルカ、二千五百萬圓ノ營業稅ノタメ人權ヲ蹂躪シ財產權ヲ蹂躪スル惡稅ヲ廢シ以テ一億五千萬圓拂込ノ資本金額カラ一割直段ヲ上ゲタ六十億ニ對スル六億ノ富ヲ増スコトガ出來ル、何ノ位國民ガ助ルカ知レマセヌカラ、ドウゾ唯海軍ノ擴張陸軍ノ充實バカリ御心配ナサラズニ、一國ノ興ルカ亡ビルカト云フニ付テハ軍事外交バカリテ國際關係ヲ圓滿ニスルト云フコトハ出來ナイ、軍事モ外交モアリマセウガ、又經濟力ヲ以テ國際關係ヲ圓滿ニスルト云フコトモ最モ必要ナル政策ト考ヘマス、今日英米獨ノ商人ガ鄰國ノ支那ニ於テ四億ノ支那人ヲ控ヘテ奮闘シテ居ル此人間ト競争スルノハ何デアルカ、日本ノ商工業者デアアル、其商工業者ガ唯今申上ゲタ如キ非常ニ壓迫ヲ喰ッテ居ルノデアリマス、即チ今日ハ世界ノ競争ノ地點ハ土地ヲ變ヘテ將ニ太平洋ノ東端ニ移ラントスル時機デアリマシテ、我國ノ商工業者ハ唯今申ダヤウナ世界ニ類例ノナイ惡稅ト稅務官吏ノ壓迫ヲ受ケテ、其人權、財產權ト云フモノヲ蹂躪セラレテ、ドウシテ世界ノ商業上ニ向ッテ發展ヲスルコトガ

出來ルノデアリマセウカ、私ハ諸君ガドウゾ此案ニ就テハ深ク國民ガ永イ間苦ンデ居ル狀況ヲ御深察下スツテ、サウシテドウカ本年ハ畏クモ御即位ノ大典ヲ舉ゲラル、目出度年デアリマスカラ、帝國議會ハ惡稅ニ泣クトコロノ人民ニ向ッテ、仁政ヲ施ス好機會デアアル、此機會ニ於テ私ハ營業稅ノ如キ不當極マル稅ノ全廢ニ御盡力アラランコトヲ願ヒタイノデアリマス

(二)及(五)武富時敏君ノ演說

營業稅ガ極メテ不條理ナ稅デアツテ、納稅者ノ苦痛此上モナイト云フコトハ、最早今日デハ説明ノ必要ハナイト信ジマス、是ハ天下ノ認メルトコロデアアル、併シ如何ニ惡稅デモ、政府ノ財政ガドウシテモ立行カストナレバ、國民ハ之ヲ忍バナケレバナリマセヌガ、幸ニ大正元年度ニ於テハ九千萬圓ト云フヤウナ巨額ノ剩餘金ヲ生ジ、大正二年中ニ政府ハ曲リナリニモ行政整理ヲヤッテ少ナカラザル經費ノ節減ヲナシタ、從ッテ政府ノ財政ノ都合ハ今日稍、好況ヲ呈シテ居ル、此時コソ日露戰役後國民ガ蒙ッタル過酷ノ惡稅ヲ廢シテ、聊カニテモ國民ノ負擔ヲ減ジナケレバナラヌト云フコトハ、誠ニ今日絶好ノ機會デアルト信ジマス、然ルニ政府ハ昨年來減稅ノ公約アルニモ拘ハラズ、此議會ニ向ッテ、減稅ノ案ヲ提出シナイト云フハ何事ゾ、殊ニ大正三年度ノ豫算ハ諸君ガ御覽ノ通り更ニ減稅ノ財源ヲ保留シテゴザリマセヌ、況ンヤ大正三年度ノ歲入歲出ハ前年度剩餘金ノ處分ト絡ミ合ッテ、歲入歲出ガ組立テラレテ、六億四千百萬圓ノ歲入歲出ガ一錢一厘ノ違ヒモナイヤウニ、殊更ニ減稅ノ財源ガ無イヤウニ組立テラレテアルト言ハレテモ、政府ノ當局ハ恐クハ辯解ノ途ハアルマイト思フ、ソコデ此減稅ノ財源ガ此處ニ在ルト云フコトヲ私ハ指摘シテ、此營業稅並ニ通行稅廢止ノ理由ニ代ヘヤウト思フノデス、六億四千百萬圓ノ歲入歲出ノ中カラ、剩餘金ノ處分ニ係ル計算ヲ全ク別トシテ、之ヲ引離シテ計算ヲ致シマスルト、歲入ガ五億九千二百萬圓トナリマス、政府ノ豫算ハ歲入ガ六萬四千百萬圓ゴザリマスルガ、是ハ剩餘金ガ這ッテ居リマスルカラ、此剩餘金處分ト切離シテ見ルト、是ガ五億九千二百萬圓ト歲入ガナル、ソレカラ政府ノ豫算ノ歲出ハ、御覽ノ通り六億四千百萬圓、是ニモ亦剩餘金ノ處分ガ絡ミ合

第七草 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第二項 本院提出法律案 六百五十三

ッテ居ル、ソコデ此剩餘金處分ニ係ル歳出ヲ政府ノ豫算カラ引離シテ見ルト、歳出ノ總額ガ、經常臨時部合セテ五億七千六百萬圓トナル、ソコデ五億七千六百萬圓ノ歳出ヲ五億九千二百萬圓ノ歳入ニ比較シテ見ルト、一千六百萬圓ノ歳入超過ヲ生ズルノデス、此歳入超過ト云フコトハ、即チ減税ノ財源ニ充テ、立派ニ減税ガ出來ル財源デアリマス、其上大正三年度ノ豫算ハ政府ガ新規ニ計畫シタ金額モ誠ニ少ナカラヌ、經常歳出ダケデモ千六百有餘萬圓ノ新規ノ増加ガ計上シテアリマス、臨時ノ歳出ニ至ッテモ亦同ジク巨額ノ増加ヲ計上シテアリマス、ソレ故ニ吾々ハ其費目ニ付テ、經常臨時ノ歳出ニ付テ、約一千萬圓ノ節減ヲスル積リデアリマス、是ハ何レ豫算ノ上ニ付テ諸君ト御協議ヲ致シタイト存ジマスガ、ツマリ約一千萬圓ノ査定ヲ此經常臨時ノ歳出ニ向ッテ加ヘル積リデアリマス、此約一千萬圓ノ査定減ト、前ニ申シタ歳入超過ノ一千六百萬圓ト合セレバ、即チ茲ニ二千六百萬圓ト云フ財源ガ生ズル、併シ尙是デハ營業稅ト通行稅トノ兩稅ヲ廢止スルニハ三千百有餘萬圓ニ相成リマスルカラ、此兩稅ノ廢止ヲスル財源トシテハ尙六七百萬圓ノ不足ヲ生ズル、是ニ至ッテ吾々ハ更ニ政府ハ行政ノ整理ヲ致サレンコトヲ主張スル、昨年吾々ガ大正二年度ノ豫算ニ向ッテ提出シタ修正案ノ其整理ノ程度ト、昨年政府ガ決行シタ整理ノ程度ヲ比較スレバ、經常歳出ニ於テ既ニ一千萬圓ノ距離ガアル、吾々ノ主張シタ行政整理ト、此政府ノ決行シタ行政整理ト一千萬圓ホド經常歳出ニ於テ節減額ガ少ナイ、ソレ故ニ更ニ政府ハ此際整理ヲ行ッテ、茲ニ經常歳出ニ大ニ節減ヲ加ヘラレンコトヲ主張スル、併シ吾々ハ今日強テ此政府ニ向ッテ難キヲ責ムルコトハ欲シナイ、難キヲ責メマセヌ、ソコデ最早大正三年度ノ年度開始モ僅ニ二箇月ノ後ニ迫ッテ居リマスルカラ、此際俄ニ行政整理ヲシテ、經常歳出ニ政府ガ節減ヲ加ヘルコトガ出來レバ此上モナイ、誠ニ結構、國家ノタメニ大慶ニ存ジマスガ、ソレガ出來ナイトアレバ、大正三年度ダケハ六七百萬圓ノ歳入不足ニ向ッテハ、前年度ノ剩餘金ヲ繰入レテ、歳入ノ埋合ヲスレバ立派ニ出來ルノデアリマス、大正三年度ダケハドウデモ此剩餘金繰入ニ依ッテ歳入ノ埋合ガ出來ルノデアアル、一年ノ間、政府ニ假スニ一年ノ時日ヲ以テシテ、更ニ行政整理ヲ行ッテ經常歳出ニ於テ六七百萬圓若クハ一千萬圓ノ節減ヲナシテ、更ニ財政ノ基礎ヲ

鞏固ニセシコトヲ努メラレンコトヲ主張スルノデアリマス、斯クスレバ此大正三年度カラ直ニ營業稅ノ二千六百萬圓ト、通行稅ノ四百有餘萬圓ヲ廢止シテ、政府ノ財政ニ於テハ何等差支ナイト云フコトヲ吾々ハ確信スルノデアリマスカラ、此兩稅法ノ廢止法律案ヲ吾々ハ提出シタ所以デゴザリマス、次ノ通行稅廢止法律案ニ付テハ別ニ説明ヲ致シマセヌ、唯今マデノ説明デ兩稅ノ廢止法律案ノ説明ハ盡キタリト存ジマス、成ルベクドウゾ諸君ノ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス

(四) 紫安新九郎君ノ演說

諸君、私ハ日露戰役以來、國民ガ過酷不當且不公平ヲ忍ンデ參リマシタルトコロノ通行稅ヲ惡税ナリトシテ、是ガ廢止ヲ希望スルモノデゴザリマス、我國ノ諸稅ノ中ニハ改廢スベキ惡稅少ナカラズト雖モ、通行稅ノ如キハ私ハ惡稅中ノ恐ラク筆頭ニ位スルモノデアラウト考ヘマス、斯ク申シマスレバ政府委員及之ニ反對セラル、諸君ノ中ニハ、通行稅ハソレホドノ惡稅デナイ、惡稅デナイ證據ハ歐洲文明ノ列國ニ於テモ之ヲ行ッテ居ルデハナイカト唱ヘラル、方ガアルカモ知レマセヌガ、成程英國ナリ、佛蘭西ナリ、獨逸ナリ、露西亞ナリ、伊太利ナリ、奧太利匈牙利ナリノ諸國ハ、通行稅印紙稅又ハ手數料トシテ此稅ヲ徵收シテ居リマス、併ナガラ歐洲ノ諸國ガ此稅ヲ取ルカラト云ッテ、惡稅ト知リツ、我國ガ永久稅トシテ之ヲ取ルノ必要ハナカラウト存ジマス、殊ニ高橋大藏大臣ノ所謂官僚政治ナラザル現内閣ニ於テ、此惡稅ノ廢止ヲ斷行致シマシタナラバ、山本總理大臣ハ申スニ及バズ、高橋大藏大臣ノ大々的手腕ヲ、歐洲列國ニマデモ示スコトガ私ハ出來得ルコトデアラウト存ジマス、而シテ又論者ノ中ニハ通行稅ハ惡稅デナイ、惡稅デナイ證據ニハ通行稅ハ其徵收ガ輕便デハナイカ、且又此徵收セラレルモノハソレ程ノ苦痛ヲ感ジナイト云フ議論ヲ立テルノモアリマス、成程通行稅ハ其金額ヨリ申シマスレバ些少デハアル、些少デハアルケレドモ通行稅ハ通行スル行爲ニ向ッテ課稅スルノデアアル、即チ通行スル行爲其ノモノヲ以テ課稅ノ標準トシテ居ルノデアアル、此點カラ申セバ此税金ノタメニ勢ヒ通行ノ進歩ヲ遮リ、國民ノ活動力ヲ抑ヘ、且又智識ノ普及ヲ妨ゲルト云フコトモ是亦爭フベカラザルコト、考ヘマス、

而シテ通行税ニ於テ更ニ不公平デアルト思ヒマスルノハ、其通行税ノ納税ノ上ニ於テ貧者ト富者トノ間ニ、納税ノ力ニ副ハシムルコトガ出来ナイト云フコトモ、是ハ通行税ニ對スル不公平デアラウト思ヒマスル、而シテ我國ノ通行税ノ方法ヲ見マスルト、此通行税ヲ徵收致シテ居リマスル各國ガ、賃金ニ比例致シマシテ、即チ賃金ノ割合ニ應ジテ取ツテ居リマスルノトハ反對ニ、我現行法ハ其距離其等級ヲ標準ト致シテ取ツテ居リマス、此課税ノ方法ニ於テ距離ト等級ヲ標準トスルト云フコトハ、賃金ノ割合ニ應ジテ徵收スルヨリハ、一ノ特徴デアアル、是ハ何デアアルカト云ヘバ、賃金ノ變動ニ依ッテ税額ヲ加減スルノ手數ヲ省クト云フコトダケハ、確ニ此等級ト距離トヲ標準トシテ課税スルトコロノ特徴デアアル、併ナガラ此ノ等級ト距離ニ依ッテ税率ヲ定メマシタ結果、短距離ト長距離トノ間ニ權衡ヲ得ナイ所ヲ見ルノデアリマス、殊ニ長距離ニ輕クシテ短距離ニ重イト云フ著シキ不公平ヲ見ルコトガ出来ルノデゴザイマス、ソレハ皆サンモ御承知ノ通り、市内ノ電車ニ課税セル點ニ於テ、明カニソレヲ見ルコトガ出来ルノデゴザイマス、此通行税ノ中ニ付キマシテモ最モ私共ガ不公平デアアル最モ苛酷デアルト考ヘマスノハ、市内ニ於ケル電車ニ課税セルコトデアリマス、私ハ大阪市選出ノ者ナルヲ以テ其點ニ於テハ東京市ノ諸君、京都市ノ諸君、横濱市名古屋市神戸市ノ諸君ト共ニ、其感ヲ深クスル者デゴザイマス、市内ノ電車ニ對シテハ五十哩以下ト同一ノ税率ヲ以テ徵收致シテ居リマス、東京市ノ電車大阪市内ノ電車ハ、皆賃銀ヲ均一ニシテ一回ノ賃金ハ四錢デゴザイマス、此四錢ニ對シテ一錢ノ通行税ヲ課シテ居ル、即チ是ハ二割五分デアアル、其割引料金ニ對シマシテ五割ノ税金ヲ課シテ居ル、又更ニ甚ダシイノニナリマスト東京ノ隅田川ニハ、彼ノ一錢蒸汽ナルモノガアル、此一錢蒸汽ハ一區一錢デアアル、一區一錢ノ賃金ニ對シテ一錢ヲ課シテ居ル、即チ十割ノ課税デアアル、十割ノ課税ト云フガ如キ高率ノ税金ハ、他ニ類例ヲ見ザル所デアリマス、殊ニ私共ガ市街ノ電車ニ對シテ課税セラル、賃金ハ、社會政策ノ上ヨリ見マシテモドウシテモ是ハ廢サナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ感ズルノデアリマス、現今何レノ都市ニ致シマシテモ、都會ハ益盛ニナッテ來ル、益盛ニナッテ來ル結果、工場ハ總テ市街ヲ離レタル所ニアル、又都會ガ益盛ニナル結果、借

地料借家料其他一般ノ物價モ騰貴ヲ來シ、其結果トシテ勞働者ハドウシテモ市内ノ真中ニ住ムコトガ出来ナイ、真中ニ住ムコトガ出来ナイカラシテ市内ノ片隅トカ、或ハ郊外ニ生活シテ居ル、勞働者ノ多クガ市内ノ片隅トカ或ハ郊外ニ生活スルト云フコトハ、勞働者ノ衛生上ヨリ見テモ最モ必要ナコトデアアル、且又勞働者ヲシテ成ルベク健康ナ處ニ住マシメルト云フコトハ、勞働者ノ勞力ノ減少スルノヲ防グト云フ點カラ云ツテモ、是ハ寧ろ獎勵スベキ事柄デアアル、然ルニ此勞働者ガ日々自分ノ職ヲ執ルニ付テハ、通行税ナル石ノ如キ重リヲ其通行スルニ當ッテ課セラレテ居ルノデアアル、政府ハ昨今ニ於テハ社會政策ノ一端トシテ、工場法案トカ或ハ庶民銀行トカイロノナ企ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、政府ニシテ眞ニ社會政策上ニ何等カ貢獻セント欲セバ、ドウシテモ此通行税ノ如キモノヲ廢シマシテ、其社會政策上ヨリ受ケル恩典ヲ一般ノ者ニ均霑セシムル政策ヲ取ルコトガ私ハ必要デアラウト思ヒマス、殊ニ此通行税ニ於テ甚ダ不當ナルコトハ、自動車デアルトカ、石油發動機デアルトカ、或ハ馬車デアルトカ、及ビ人力車デアルトカ、是等ヲ以テ通行スル者ハ課税セラレズ、最モ便利ニシテ其賃金ノ廉クシテ中流以下ノ者ノ最モ利用スルトコロノ電車ニ課シテ居ルト云フコトハ、是ハ一方ノ比較的ノ富者ニ厚クシテ、比較的ノ貧者ニ薄シト云フコトヲ明白ニ證明致シテ居ルモノデゴザイマス、故ニ斯ノ如キ税法ハドウシテモ廢センケレバナラヌト考ヘマス、今之ヲ廢スルト致シマスレバ、明年度ノ豫算ニ於テ四百五十萬圓ノ缺陷ヲ生ジマスル、此缺陷ニ對シマシテハ政府ハ前年度剩餘金其他行政財政ノ整理ニ依レル金ヲ澤山握ッテ居ルノデアアルカラ、此場合ニ於テ政府ハ十分ニ振り掛ケント欲スレバ振り掛ケ、其缺陷ヲ充スコトハ易々タルコトデアラウト存ジマス、私ハ以上述べマシタル理由ニ依ッテ、此税金ノ廢セラレントコトヲ切ニ希望シテ措カザル者デアリマス

(六) 早速整爾君ノ演説

通行スル者ニ向ッテ課税スルト云フコトハ、此位野蠻極マル制度ハナイト本員共ハ考ヘテ居リマス、交通往來ノ利便ヲ圖ルコト倍々急ナルノ今日、社會人類ノ活動ヲ倍々獎勵シナケレバナラヌ今

日、此通行ニ向テ稅ヲ課スルト云フコトハ、如何ニモ非立憲的ナヤリ方デアルト謂ハナケレバナラヌ文明ノ利器汽車、汽船、電車ノ如キ、此文明ノ利器ヲ活用スル者ニ向テ課稅ヲスルハ、非文明ノ甚シキモノデアルト言ハナケレバナラヌデアアル、學生勞働者ノ如キ者ガ廉價ナル交通機關ニ乘ツテサヘ、大ニ交通ニ課稅スルト云フコトハ全ク社會問題デアアル、要スルニ此通行稅ト云フモノハ非立憲極マル、此非立憲極マル野蠻極マルトコロノ課稅デアルト云フコトハ、固ヨリ多言ヲ費スマデモナイノデゴザイマス政府モ此點ニ於テ必ズヤ御同意デアラウト思フ、多數黨ノ諸君モ必ズヤ此點ニ於テハ御同意デアラウト思フノデゴザイマス、財源問題ハ豫算會其他ノ特別委員會等ニ於テモ、昨今頻リニ論議セラレテ居ルノデアリマスカラシテ、宜ク政府ニ誠意アル以上ハ、此ノ如キ惡稅ヲ全廢スルト云フコトニ付テ、財源ヲ見出スコトハ頗ル容易デアルト本員ハ斷言ヲ致シマス、他ノ黨派カラモ此通行稅等ノ全廢案ハ既ニ提出セラレテ居ル今日デゴザイマスルガ、此案ニ對シマシテハ全會一致ヲ以テ可決セラレンコトヲ望ミマス、更ニ政府モ此ノ如キ惡稅ノ廢止案ニ對シテハ、進ンテ贊成ノ意ヲ表セラレンコトヲ希望致シマス

(七)人見米次郎君ノ演說

鹽專賣法廢止法律案、諸君、此鹽專賣法廢止法律案ハ殆ド每期ノ議會ニ提出サレテ居リマス、最早今日マデニ其廢止ノ理由ハ幾度モ繰返ヘサレテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今日私ガ此提出ノ理由ヲ述ベマスルニシテモ、至テ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、如何ニ世ノ中ガセチ辛クナリマシタト云ヘ、下等ノ勞働階級ニ在ル人々ノ最モ必要ナル此鹽ニ稅ヲ掛ケマシテ、勞働階級ノ人々苦シメルコト今日ノ如ク甚シキノハ、實ニ聖代ニ於ケル大缺點ト私ハ思フノデアリマス、殊ニ此鹽ナルモノハ人ノ健康ヲ保チマスル上ニ付テ、最モ必要ナルモノデアリマシテ、是ナクンバ一日モ人間ノ生命ノ堅固ヲ圖ルコトハ出來ナイノデアリマス、殊ニ此勞働階級ノ人々最モ多ク之ヲ用ル程健全ナモノデアリマスルガ、之ヲ高ク買ハセルト云フコトハ甚ダ不穩當ナルコトデアリマス、又一面ニハ此化學工藝用ニ使用スルノデアリマス、殊ニ曹達ノ製造ニ於テハ

此鹽ヲ多量ニ用ルコトデアリマスルガ、此鹽ガ高イ爲ニ化學工藝用ニ少ナカラヌ影響ヲ來シテ居ルノデアリマス、政府ノ當局者ノ言フトコロニ依リマスレバ、斯ウ云フ化學工藝用ニ使用スルトコロノ鹽ハ、元價デ販賣ヲスル即チソレニハ利益ハ掛ケナイト云フコトニナツテ居リマスガ、併シナガラ是ガ專賣ナルガ爲メ——專賣ナルガ爲ニヤハリ高イモノヲ買ハネバナラヌノデアリマス、若シ此鹽ガ個人ノ營業ニ依ツテ、自由ニ競争ニ依ツテ、安ク求ムルコトガ出來マスレバ、尙ホ今日ヨリ以上ニ此化學工藝用ニ於テハ餘程利益ヲ得ルコトデアリマス、所ガ此專賣ナルガ爲ニ非常ニ不利益ヲ被ツテ居ルノデアリマス、是等ノ理由ニ依リマシテ、政府ノ方ニ於キマシテハ、已ニ業ニ此鹽ノ減價ト云フコトニハ同情ヲ表サレマシテ、昨年ノ九月ニ價格ノ引下ゲヲ實行サレタノデアリマス、併シナガラ遺憾ナルコトニハ價格ノ實行ハサレマシタケレドモ、漸クニ百萬圓ニ過ギヌノデアリマス、即チ政府ノ利益金ニ對スル漸ク一割ニ當ルノデアリマシテ、全體ノ金額カラ打算ヲ致シマスレバ、一割ニ届カヌノデアリマス、國民ノ今日要求シテ居ルモノハ此ノ如キ小サナルモノデハナイノデアリマス、此政府ノ二百萬圓ノ恩惠ト云フモノハ、政府デ言ヘバ二百萬圓デアリマスルガ、之ヲ樹目ニシテ勘定ヲ致シマスレバ、一升ノ鹽ニ對シテ僅ニ三厘六毛乃至七毛ノ減額デアリマス、國民ノ今日ノ要求ハ僅ニ一升ニ對スル三厘六七毛ノ減額ヲ以テ甘ンズルモノデハナイノデアリマス、恰モ此恩惠ト云フモノハ一車ニ積ンダル薪木ノ火ニ向ッテ、一握ノ水ヲ掛ケルヤウナモノデアアルノデアリマス、折角政府ハ二百萬圓ヲ之ニ充テラレマシタケレドモ、此恩惠ハ深ク貫徹致シテ居ラヌノハ、誠ニ遺憾トスル次第デアリマス、ソレカラ又一面此專賣法ノ性質ノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、凡ソ此專賣ナルモノハ、元價ノ安イモノヲ擇バネバナラヌノデアリマス、元價ノ安イ物ヲ擇バネバナラヌモノデアリマスルガ、此鹽ノ元價ナルモノハ何デアアルカト云フト、一ツハ勞働ノ賃銀一ツハ燃料薪木或ハ石炭ノ價デアリマス、所ガ近來此燃料ハ非常ニ騰貴ヲ致シマスル、又勞働賃銀モ非常ニ騰貴致マシテ、ドウシテモ此鹽ノ元價ガ自然ニ高クナツテ參ッタノデアリマス、是故ニ政府ノ利益ヲシテ年々歳々同一ノ利益ヲ收メヤウトシタナラバ、勢ヒヤハリ賣價段ヲ高クセテバナラヌ、之ヲ引下ゲヤウトシタナラバ、政府

ノ方ノ元價ニ於テ損ガ行クト云フヤウナ結果ヲ見マスヤウナコトニナリマス、ソレ故ニ是ハ根
 本カラ專賣トシテハ不適當ナモノデアリマス、斯様ナ譯デスカラ此鹽ノ專賣ト云フモ
 ノハ一日モ早ク廢セネバナラヌ理由ノアルモノト信ジマス、殊ニ是等ノモノハ他ノ奢侈品或ハ
 「アルコホル」トカ、或ハ煙草トカ、或ハ樟腦ダトカ云フヤウナ類ヒノモノト餘程性質ヲ異ニ致シ
 テ居ルノデアリマスカラ、此鹽ニ向ッテハ是非トモ此廢稅ヲ實行シタイト思フノデアリマス、所
 ガ今日マデノ政府ノ口實トスルトコロニ依リマスルト、如何ニモ鹽ノ專賣法ハ惡イ、是ハ宜クナ
 イ方法デアルケレドモ、獨リ如何セン之ニ向ッテ財源ガナシ、今日マデ總テノ内閣ノ言ウテ居ラ
 レマシタトコロハ、實ニ此財源ガ無イノ一點張リデアッタデアリマス、所ガ今回ハ大藏大臣發
 表セラレマシタル數ニ依リマス云フト、政府ノ剩餘金ガ一億一千六百五十七萬圓ト云フモノ
 ハ、此大藏大臣ガ既ニ吾々ニ向ッテ言ハレタデアリマス、其内ニ一時的ノ剩餘金モアリマス、
 併シナガラ恆久的ノ剩餘金モ、此鹽ノ廢稅位ヲ行フ餘裕ハ十分デアアルノデアリマス、デスカラ今
 回此鹽ノ廢稅ト云フモノハ、是非トモ實行シテ貰イタイノデアリマスガ、之ヲ要スルニ政府ニ於
 キマシテモ、是ダケ位ノモノハ實行ガ出來ヌコトハナイデアアルガ、何故ニ今日マデ之ヲセナシ
 ダカト言ヒマスルト、先ヅ人情ノ弱點トシマシテ、一旦手ノ中ニ取ッタモノデ今日マデ國民ヲシ
 テ此ノ如クニシテ納稅セシムル、負擔セシムルトコロノ責任ヲ馴致シテ來タモノデアアル、之ヲ一
 朝一夕ニ廢メテシマッタナラバ後々再ビ取ルコトハ甚ダ困難デアアル、即チ手ニ握ッタ玉ヲ放スヤ
 ウナモノデアッテ、残り惜イヤウナ心持ガスル爲ニ、政府ハ之ヲ廢稅ニシナイダラウト存ジマス、
 ソレドドウカ此事ハ是非トモ實行シタイノデアリマスガ、我黨ノ昨年度ニ於キマスル此豫算ニ
 對スル査定ノ方針ハ、尙ホ本年モ持續致シマシテ深ク切込シテ査定スル積リデアリマスルガ、
 サウ致シマスルト云フト、優ニ是等ノ總テノ惡稅ト云フモノヲ廢スル餘地ハ十分ニ出ルノデア
 リマス、尙終リニ臨ンデ諸君ニ爰ニ一ツ訴ヘルコトガゴザイマスルガ、如何ニ此鹽ノ專賣ノ爲
 ニ下ミノ者ガ苦ンデ居ルカト云フ一例ヲ御話ヲ致シマス、私ノ滋賀縣ニ於キマシテ、湖水ノ沿岸
 ニ出來マスル大根デアリマス、湖水ノ沿岸ニ出來マス大根ハ是ハ漬物ニヨリスルコトガ出來ヌ

ノデアリマスガ、是ガ近來鹽ガ高イガ爲ニ此大根ト云フモノハ非常ニ安イノデアリマス、此大根
 ヲ湖水デ洗ッテ車ニ積ンデ市中ニ賣捌イテ參リマス、百本ノ價ガ僅ニ八錢デアリマス、諸君ガ吸
 フトコロノ敷島一ツマデ及バヌノデアリマスガ、此ノ如ク此鹽ノ爲ニ到ル處ニ大影響ヲ來タシ
 テ居ルト云フコトハ、實ニ哀レナ状態デアラウト思ヒマス、内閣ノ諸公ナリ紳士諸君ハ肥馬輕
 裘ニ鞭ッテ下等ノ細民ガ此苦ヲ爲シテ居ルト云フコトハヨモヤ御承知ハゴザイマス、ケレド
 モ實際此ノ如ク鹽ノ高イ爲ニ總テノ方面ニ於テ漬物ヲ節約スル——漬物ヲ節約スルガ爲メニ
 大根ガ賣レナイト云フ結果ニナッテ居ルノデアリマス、此點マデ御考ヘ下スッタナラバ、下等ノ細
 民ヲ苦メテマデモ尙且ツ本年ノ剩餘金ヲ他ノモノニ振り向ケル必要ハナカラウト思フノデアリ
 マス、私ハ此理由ニ依ッテ本案ヲ提出致シマスガ、諸君ドウカ深ク御同情ヲ賜ッテ、之ヲ通過セシ
 ムルコトニ御盡力アラムコトヲ希望致シマス

(八) 清水仁三郎君ノ演說

諸君、本員ハ多年當議會ノ懸案ニナッテ居リマシタ此漬物消費稅法ノ全廢ニ付キマシテ、一言簡
 單ニ提出ノ理由ヲ述ベタイト思フノデアリマス、元來諸君モ御承知ノ通り、先年ノ大戰役ニ於キ
 マシテ、國家ノ大事ノ折柄國家ノ存亡ヲ眼前ニ控ヘマシテ、戰時稅トナッテ其儘ニ今日ニ繼續シ
 テ居リマスガ故ニ、今日其機會ヲ得テドウシテモ之ヲ改廢シナケレバナラヌ性質ノ稅法デア
 ノデアリマス、併ナガラ前年ニモ島田君カラ此廢止案ヲ熱心ニ論究サレタコトガアッタト思ヒマ
 ス、其後政府ハ之ニ換フルノ財源ガナイト云フノガ、政府ノ此廢止ノ出來ナイ理由デアアルノデア
 リマス、先刻武富君ノ言ハレタ如ク、丁度是ガ稅制ヲ整理致シマスルノニハ、誠ニ最好ノ時期デ
 アラウト思フノデアリマス、我黨ノ政策カラ行キマセヌデモ、先刻武富君ノ政策ニ依リマシテモ
 尙政府ハ此歲入ガ増スノデアリマス、自然增收ノ如キハ同志會ノ諸君ハ御話モナカタノデアリ
 マスガ、其等ヲ含ンデモ十分ニ出來ルト云フコトヲ本員ハ信ズルノデアリマス、斯ウ云フ譯デ、
 兎ニ角財源ガ無イガタメニ此稅ヲ廢スルコトガ出來ナイト云フコトヲ政府ハ主張シタノデアリ

マスガ、現内閣ハ多年國民ノ希望シテ居タ所ノ制度ノ整理、未ダ充分満足ニハ至リマセヌガ、兎ニ角制度整理ノ實ヲ舉ゲタノデアリマス、是ニ於テ吾々ハ多年ノ希望ヲ満足スコトヲ出來得ルト信ジテ居タノデアリマス、然ルニ何ゾ圖ラン政府ハ此恆久的ノ財源ヲ國民ノ民力休養ニ充テズシテ、海軍ノ擴張ノ費用ニ充テ、其他新事業費ニ之ヲ充テントスル計畫デアリマス——織物稅ハカリノコトヲ云フノデアリマセヌ、吾々ハ反對黨ノ諸員ハ決シテ此稅ヲ廢スルコトハ相成ラヌト云フノデアリマセヌ、今日マデ此國民ガ多年希望シタ廢稅ノ行ハレナカッタノモ、反對黨ガヤラレヌノデアアル、國民ハ之ガタメ非常ノ不幸ニ至ッタノデアリマス、吾々ハ其財源ニ付キマシテハ更メテ數字ヲ舉ゲテ御話申上ゲマス、議會ハ國民ノ休戚ニ關シマシテハ大ナル委任ト責任ヲ有ッテ居ルノデアリマス、故ニ是等ノ多年國民ノ希望スル所ノ實ヲドウカ舉ゲタイト云フノガ吾々ノ責任デアラウト思フノデアリマス、此時ヲ失シテ復ト此廢稅ヲスル機會ヲ見出スノハ甚ダ難イト思フノデアリマスカラ、吾々ハ幸ニ此現政府ガ國民ノ多年ノ希望ヲ容レテ、聊カ制度ノ整理ヲ行ハレタノデアリマスカラ、尙一層進デ制度ノ整理ヲ繼續シ、十分國民ノ希望ヲ滿タサレンコトヲ望ムノデアリマス、此案ニ付キマシテ諸君ノ贊成ヲ得タイ、本議會ニ於キマシテハ十分御審議アラレンコトヲ希望スルノデゴザリマス、此織物消費稅法ニ關シマシタ弊害ハ、イロ／＼事項ヲ舉ゲテ申上ゲタイノデアリマス、併チガラ大分御退窟カ存ジマセヌガ、私ハ演說ガ下手ノセイカ一向御聽取ガナイヤウデアリマス、却テ議場ヲ騷ガセルヤウデアリマスカラ、是ニ於テハイロ／＼細カニ取調ベタ事ヲ逐一申上ゲタイト心得マスガ、是ハ諸君ニ御諮リスルノデアリマス、之ヲ御話シ致シマスレバ、餘程長クナリマスガ一端ヲ述ベテ見マセウカ、私ハ京都ノ西陣ノ織物業者ニ就キマシテ、イロ／＼此織物稅ノ査定ニ付テ意外ナコトヲ見タノデアリマス、此織物稅ハ御承知ノ通り此惡稅ノコトハ、先刻紫安君ノ述べラレタ如ク、通行稅ノ如キハ貧富ノ別ナク是ガ課稅サルモノデアルト云フコトヲ申サレマシタ、此織物消費稅ナルモノハ寧ロサウデナイ性質ヲ帶ビテ居ルノデアリマス、ナゼカナラバ織物ノ産地ニ行ッテ取調ベテ見マスト、此所謂生産業ノ大資本家ハ比較的此稅ガ輕クナッテ居ルノデアリマス、又小資本家ハ非常ニ稅ガ過

重ニナッテ居ルト云フ傾ガアルノデアリマス、ソレハ稅率ニハ不公平ハナイノデアリマスガ、資本家ト云フモノハ御承知ノ通り大資本家ハ稅務署ヘ一日其査定價格ニ對スル納稅ヲ致シマセヌデモ、其査定ヲ受ケテ賣出スコトガ出來ルノデアリマス、小資本家ハ——小資本家ト申シマシテモ諸君ニハ御分リガナイカモ知レマセヌガ、二三ノ機ヲ有シテ、或ハ自分ガ織屋ト稱シテ一人デ以テ機ヲ織上ゲテ、サウシテ其織上ゲタ二三ノ反物ヲ他ニ輸出致シマスニハドウシテモ此檢閲ヲ受ケナケレバナラヌノデアリマス、是ニ於テ檢閲ヲ受ケルニ付テハ納稅ヲシナケレバナラヌ、納稅ヲスルニハ資金ガ乏シイト云フノデ、此資金ノ乏シイ者ハ其内ノ一本ノ反物ヲ他ニ抵當ニ入レルトカ、或ハ之ヲ質入スルトカ云フヤウナ工合ニ依ッテ金ヲ借りテ、サウシテ二本ニ對スルモノノ納稅ヲスルノデアリマス、ソレハ納稅ヲ終ラザル物ヲ質入スルコトハ絶對法規ノ上デ出來ナイノデアリマスガ、事實上已ヲ得ナイカラサウ云フコトヲスルノデアリマス、ソレガタメニ、或ハ此處罰ヲ受ケテ二十倍ノ科料ヲ受ケルノデアリマス、斯條ヲ譯デ一々舉ゲテ見マシレバ、私ハ高木君ノ十三箇條位デナイノデアリマス、非常ナ箇條ガアルノデアリマスガ、諸君ガ非常ニ倦ンデ御聽取ニナラヌケレバ、私ハ此議場ニ諮ルノデアリマスガ、一々是ダケノ大冊ヲ舉ゲテ讀了ルマデ御聽取下サルカ、ソレデハ私ハ取調ベタ事項ニ付キマシテハモウ申上ゲマセヌ、前年來此問題ハナカ／＼議會ノ懸案ニナッテ居ルノデアリマスカラ、諸君モ十分御耳ガ聒抵ニナッテ居リマス、吾々ガ下手ナ演說ヲ以テ御話申上ゲマセヌデモ、十分御諒知ノコト、思ヒマスカラ申上ゲマセヌガ、ドウカ是等ノ惡稅ヲ十分廢止ニ御盡力アラントヲ希望シテ止マヌノデアリマス、終リニ臨ミマシテ自分ノ調ベマシタコトヲ、如何ニ諸君カラ反對ノ聲ヲ聞キマシテモ十分是ハ朗讀ヲシタイト思ヒマシタガ、如何セン諸君ノ妨害ニ依ッテ私ハヤリ得マセヌカラ、是ダケハドウカ記録ニ存シテ戴キタイコトヲ希望シテ置キマス

(九) 増田義一君ノ演說

諸君、私ハ石油消費稅廢止法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、此石油消費稅ハ明治四十一年三月

十六日法律第二十一號ヲ以テ發布セラレタノデゴザイマシテ「ボーマー」氏ノ比重二十八度以上ノ石油ニ向テハ、一石一圓ノ課稅ヲセラレテ居ルノデアリマス、元來内地ノ石油業ハ御承知ノ如ク近年大分發達シテ來マシタガ、昨年ハ原油トシテ百八十萬石出來マシタ、其中デ精製シテ燈火用ニナルモノガ六十萬石、而シテ内地ノ燈火用ノ消費高ハ幾ラデアルカト云ヘバ、チヨット内地デハ外國ノ輸入ノ三分ノ一ニマデ足リナイノデアリマス、隨ッテ内地石油業ノ發達ト云フモノ、必要ナルコトハ言フマデモゴザイマセヌ、殊ニ此石油ノ用途ガ近年大分變化シテ來テ居リマシテ、言フマデモナク燈火用ト燃料トデアリマスガ、其中燈火用ノ分ハ近年此瓦斯、ソレカラ電燈事業ノ發達ニ連レマシテ大分蠶食セラレマシタ、殊ニ此都會ノ地ニ在ッテハ極メテ細民、又否ラズンバ文明ノ恩澤ニ浴シテ居ラヌトコロノ寒村僻地ノ細民ガ、石油ヲ燈火用ニシテ居ル有様デアリマス、又近年動力用トシテ燃料ニ使ハレタコトガ著シクナッテ來マシテ、其石油發動機ニ使ハレル中デ、多クハ下等ノ石油デアッタノガ、近年外國カラ輸入スルトコロノ精良ナル石油發動機デアリマス、ヤハリ燈火用ニ使ハレルヤウナ今申シタ課稅セラル、範圍ノ石油ガ動力トシテ用非ラレテ居ルノデアリマス、ソレデ其石油發動機ハ如何ナル方面ニ多ク用非ラレテ居ルカト云ヘバ、第一工業用ニ用非ラレテ居ル、其中デモ機械又精米機械是等ニ最モ多ク使ハレテ居リマスガ、此機械又精米機械ニ使ハレテ居ルモノニ至ッテハ、石油ノ價ノ高下ニ依ッテ廉イ木綿ノ機業ニ非常ナ影響ヲスル場合ニナッテ來テ居リマス、次ニ又漁業用ノ方ヲ調ベテ見マスルト、少シク遠洋漁業ニ從事スル者ハ、皆石油發動機ヲ使フヤウニナッテ來マシタ、而モ五馬力、十五馬力、若クハ二十馬力ニ止ッテ居タノガ近年二十馬力カラ四十馬力ノモノヲ漁業用船ニ使フヤウニ進ンデ參ッタノデアリマス、ノミナラズ動力ノ外ニ篝火トシテ船中デモ使ッテ居リマス、是ハ漁業ノ方面現ニ遠州ノ海岸ノ如キハ、最モ其著シキ一例デアリマス、其次ニ農業用トシテ石油ガ如何ニ使ハレテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見マス、灌溉排水ノ工業用ノ場合ニハ石油發動機ヲ使ッテ居リマス、又蟲害驅除ノ場合ニモ石油ヲ使フ、尤モ蟲害ノ場合ニハ下等ノ石油ヲ使フノデアリマスガ、浮塵子ノ如キ一朝俄ニ蕃殖スルトコロノ蟲害ニ對シテハ、附近ニ於ケル重油其他ノ下等

ナ石油ガ間ニ合ハヌノデ、已ムナク燈火ニ使フ、石油ヲ水田ニ撒イテ蟲ヲ落シテ殺スト云フヤウナコトヲヤッテ居ル、ノミナラズ蟲害ノ種類ニ依ッテ水田ノ間ニ燈ヲ點ジテ蟲ヲ集メテ殺ス、是ニモ石油ヲ使フ場合ガアル、故ニ農業ニモ用非テ居ル、ソレカラ近年世界何レノ國モ石油發動機ヲ船舶ニ使用スルトコトニナッタト云フコトハ、特ニ諸君ノ御注意ヲ煩シタイ項目デアリマス、是ハ交通運輸ノ上カラ見テ船舶界ノ一大革命デアリハシナイカ、延イテハ軍艦ニ向テ一ツノ新生産デハナイカトマデ言ハレテ居ル、其譯ハ石油ハ石炭ニ較ベテ動力トシテ使フ場合ニ、特ニ三ツノ特色ヲ持ッテ居ル、是ハ第一石油ヲ使フ場合ニハ機關ノ容積ガ少ナクテ済ム、第二ニ燃料ヲ積ムトコロノ容積ガ小サクテ済ム、第三ニハ其機關ノ容積ト燃料積載ノ容積ト少クナルダケ、ソレダケ動力ヲ多ク増スコトガ出來ルト云フ、此三大特徴ハヤガテ船舶界ニ向ッテ一大革命ヲ企ルガ如キ有様ニナッテ來タノデアアル、ソレデソレナラバ蒸汽機關ト石油發動機ト同一馬力ノモノトシテ燃料ノ力又經濟的效力ヲ較ベテ見マスルト、同一馬力デアレバ、機關ノ容積ニ於テ約三割減少スルトコトガ出來ル、又同一燃料ノ重油デアラバ、石油發動機ノ方ハ約六倍ノ航海日數ヲ保テルト云フコトデアアル、是ガ即チ船舶界ノ大變化デアアル、サテ以上述ベマシタヤウナ譯デアリマスカラ、石油ノ用途ニ變化ヲ來シタト同時ニ、産業上ニ重大ナ關係ヲ有スルニ至ッタノデアリマス、即チ工業用漁業用農業用交通運輸ノ上ニモ關係ガアリマスカラ、石油ノ消費稅ヲ廢スルト云フコトハ、是ハ産業ノ發達ノ上ニモ至大ナ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、次ニ又石油消費稅ノ不公平デアルト云フコトヲ此處ニ特ニ申シテ置カナケレバナラヌ、動力用トシテ石炭ニ課稅ハアリマセヌ、瓦斯モ電氣モ課稅ハサレマセヌ、燈火用トシテハ電燈瓦斯ニハ課稅サレテ居リマセヌ、殊ニ電燈瓦斯ハ富者ノ使フモノデ、貧者ノ使フ細民ノ用ユル石油ノ方デ稅ガアルト云フコトハ、是ハ富者ニ輕クシテ貧者ニハ重イ、不公平デアアル、ソレカラ又同一ノ石油デアッテモ外國カラ輸入スルトコロノ品質ノ良キ石油ノ方ハ、從量稅デアルタメニ却テ價ニ比シテ稅ガ輕イ、内地ノ精製シタ方ガ比較的稅ガ重イ、是モ内外石油ニ對シテノ不公平デアアル、況ヤ燈火動力、斯様ナモノニ向ッテ課稅スルト云フコトハ、非文明ノ甚シキモノデアアル、故ニ此今日財政ノ裕

カナル場合ニ於テ、僅ニ二百萬圓ノ石油消費稅ヲ廢スルガ如キハ、是ハ一舉手一投足ノ勞ト見テ差支ナイト思ヒマス、冀クハ此ノ如キ産業ノ發達ニ關係アル細民ノ苦シム——細民ノ生活狀態ニ觸ル、石油消費稅ノ如キモノハ、此際斷ジテ全廢セラレムコトヲ切望スルノデゴザイマス

各案ハ議長指名(二十七名)同一委員ニ付託スルニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、(三)案ハ一月二十四日提出者ノ希望ニ依リ趣旨辯明ヲ省略シ直ニ、(六)案ハ二月五日孰レモ本委員ニ付託セラルル委員ハ同月二十六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末各案ヲ悉ク否決シ二月十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

即日議事日程ヲ變更シテ各案ハ政府提出營業稅法中改正法律案ト共ニ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ翌々十六日前會ノ續會ヲ開キ政府提出營業稅法中改正法律案議決ノ結果(一)、(二)及(三)ノ三案ハ自然消滅シタリ(本章第四款第一項第六號參看)

同月十七日(四)乃至(九)ノ各案ヲ一括シテ續會ヲ開キ議長ハ先ツ通行稅法廢止法律案三件ノ通告者ヨリ發言ヲ許ス旨ヲ告ケ村松恆一郎君、早速整爾君ハ三案ニ贊成、渡邊修君、友常毅三郎君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ

村松恆一郎君ノ演說

諸君、本員ハ委員長ノ報告ニ反對シマシテ、此通行稅ノ全廢、即チ本案ヲ維持シ且ツ是ガ通過ヲ

希望スルモノデアリマス、此通行稅ノ全廢ト申シマスルコトハ必シモ今日ニ初ツタ問題デアリマセヌノデ、數年來吾々同志ガ交ル々提出サレタ案デアリマスノデ、此事ニ付テハ詳シク理由ヲ述ル必要ハナイト存ジマスノデ、本員ハ極メテ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、唯茲ニ一言附加ヘテ置キタイノハ、吾々ガ通行稅廢止案ヲ初メト致マシテ、營業稅織物稅或ハ鹽專賣等各種ノ惡稅ノ廢止ヲ主張スルト云フコトハ、一ツノ理由ガアルノデアリマシテ、是ハ吾々ガ惡稅ノ廢止ヲ主張スルノハ唯此負擔ガ重イトカ、或ハ誅求ガ苛酷デアルト云フコトノミニアラズシテ、更ニ租稅ノ種類ノ多イト云フコトガ吾々ノ甚ダ喜バザル所デアリマス、此負擔ノ重シト云フコト、誅求ノ苛酷ナリト云フコト、是ガ國民ノ最モ苦ム所デアリノハ勿論デアリマスガ、同時ニ此租稅ノ種類ノ多イト云フコトハ、徵收ノ上ニモ非常ニ手數ヲ要スルノデアリマスカラ、之ヲ納付スル上ニ付テモ國民ハ煩雜ニ堪ヘナイノデアリマス、ノミナラズ稅ノ種類ガ多ケレバ自カラ重複ノ結果ヲ來スノデアリマシテ、ソレガ爲メニ國民ハ更ニ不必要ナル餘計ナル負擔ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、隨分反對論者ノ中ニハ昨日來伺ヒマシタ所デモ、外國ニアルカラト云フコトヲ多ク證據トセラル、ヤウデアリマスケレドモ、種類ニ依リ事柄ニ依リマシテハ外國ニアルモノヲ日本ヘ之ヲ應用スルト云フコトモ結構デアアルカ知レヌガ、此租稅ノ如キハ外國ニアルカラト云フテ、各列國ニアルモノヲ悉ク取來ッテ之ヲ日本ニ用非ル、即チ殆ド世界列國ノ租稅ノ共進會ヲ日本デ開クト云フガ如キハ、餘リ名譽デモアルマイト思フ、當ニ名譽デナイノミナラズ國民ノ不幸デアルト思フ、今日此租稅ノ種類ヲ成ベク少クシテ負擔ノ權衡ヲ保ツト云フコトハ、學者モ政治家モ共ニ認メテ居ル所デアリマス、ソレガ爲メニ或ハ單稅說サヘ唱ヘル者ガアルノデアリマス、今日ノ場合ニ於テハ負擔ヲ輕クスルト同時ニ、租稅ノ種類ヲ少クスルト云フコトガ必要デアアル、此點ヨリ致シマシテ吾々ハ成ベク惡稅中ノ惡稅ヲ擇ンデ、之ヲ全部廢スルト云フコトガ吾々ノ主義デアアル、此點ガ政友會諸君ノ減稅主義トハ全ク反對デアアル、今回政友會諸君ノ御計畫ヲ伺ヒマスト、千五六百萬圓ノ金ヲ以テ各種ノ稅ニ少シツ、總花主義デ振蒔イテ御茶ヲ濁スト云フ方針デアアルガ如クニ伺ヒマス、吾々ノ希望スル所ハ、此金額ヲ成

ベク多クスルノハ勿論必要アリマスガ、其金額ヲ一所ニ集注シテ吾々ノ希望スル全部が假ニ行レナイト致マシテモ、免ニ角税ノ種類ヲ一ツノ減シテ行クト云フコトが最も必要デアルト信ズルノデアアル、其點カラ申マスルト此通行税ハ性質ニ於テ既ニ非常ナル惡税デアアル、一種ノ貧民税デアルト同時ニ、其金額ハドウカト云ヘバ僅ニ四百萬圓内外ノモノデアアル、之ヲ廢スルコトハ今日ノ財政ノ上ニ於テ何デモナイ話デアアル、現ニ政友會ノ諸君ハ此大正三年度ノ豫算案ニ於テ一錢一厘ノ減税ノ餘地モナキ豫算ヲ御賛成ニナシテ、其傍ニ於テ營業税ニ於テハ大正三年度若干ノ減税ヲスルト云フ案サヘモ御提出ニナシタ位デアアルノデアアル大正四年度デハナイ、大正三年カラ實行スルコトガ書イテアル、此金額ニ於テモ僅ニシテ性質ニ於テモ最モ惡シキトコロノ此通行税ヲ廢スルト云フコトハ、恐ラク諸君ニ於テモ内心御賛成デアラウト思フ、然ルニ政友會諸君ガ此通行税ニ對スル計畫ヲ伺フ所ニ依レバ、僅ニ三十六萬圓トカラ減ジテ、而モソレヲドウスルカト云ヘバ、勞働者若クハ學生ノ如キモノ定期ノ約束ヲシタ者ニ向ッテ減税ヲシテヤルノデアアルガ、是ハ實際ニ果シテ行ハレルカドウデアアルカ、成程學生ノ如キハ學校ノ證明ヲ取レバ或ハ是ガ身分ヲ明カニスルコトガ出來ルガ、一般勞働者ノ如キハ其範圍ヲ何處カラ何處マデトシテ、如何ニシテ決定スルノデアアルカ、此事ニ付テハ會テ此電車ノ私營時代ニ於テ、東京市ニ於テモ問題トナッタコトガアル、ドウシテモ勞働者ノ區別ト云フモノヲ付ルコトガ出來ナイタメニ、今日ノ如ク時間ニ依テ朝ノ七時マデハ割引ヲスルト云フ如キ不完全ナル方法ヲ執ッテ居ルノデアアル、是ハイツレ政友會ノ案ガ議場ニ上レバ御説明モアリマセウガ、私共ハ甚ダ實行ノ不可能ナル案デアアルト思フ、ノミナラズ學生勞働者ニ對スル減税モ至極結構デアアルケレドモ、既ニ學生勞働者ニ對シテ減税ノ必要ヲ認メルナラバ、何ガ故ニ一歩ヲ進メテ全體ニ之ヲ廢止スルコトヲシナイノデアアルカ、此通行税ハ中流以下ノ人間ノ最モ多ク負擔スル所ノ税デアアル、既ニ學生勞働者ニ對シテ課税スルノハ氣ノ毒デアアルト云フナラバ、其他ノ貧民ニ向ッテ課税スルコトモ共ニ氣ノ毒デナケレバナラヌ、實ニ論理ノ一貫シナイ議論ト言ハナケレバナラヌノデアアル、此通行税ニ付キマシテハ現ニ第二十六議會ノ時ニ於テ總テノ減税論、廢税論ニ對シテハ財源無シト言ッタ桂内

閣サヘモ、市内通行税ダケハ之ヲ廢止スルト云フ案ヲ出シタノデアアル、政府ハ何レノ場合ニ於テモ減税廢税ニハ多ク反對ヲスルノニ、桂内閣自ラ市内通行税ヲ減ズルト云フ案ヲ出シタノニ、其當時ノ政友會諸君ハ之ヲ否決シタノデアアル、其理由ハ何デアアルカト云ヘバ、市内通行税ヲ廢スルノハ宜イカモ知レナイガ、サウスルト郡部ノ者ニハ何等ノ恩惠モ及バナイ、是ハ不公平ナル平均ナルモノデアアルカラ否決スルト云フコトデアッタ、如何ニモ私ハ其論理ガ分ラヌト思フ、市内通行税ヲ廢スルコトノ必要ヲ認メルト云フナラバ、モウ一步進ンデ彼時何故全部廢スルト云フコトヲシナカッタノデアアル、然ルニ政府ガ減税スルト云フモノヲ議會タルモノガ、ソレニハ及ビマセヌト云フコトハ甚ダ國民ニ對シテ不親切ナル遣リ方デアルト思フ、今日既ニ政友會諸君ガ學生勞働者ニ對シテ免税スルト云フコトヲ認メラレタノハ、此通行税ガ惡税デアルト云フコトヲ認メラレタ證據デアアル、然ラバモウ一步進ンデ全部之ヲ廢止スルコトニナサッタナラバ、此所デ少シハ政友會ノ面目モ立ツダラウト思フ、一體政友會諸君ノ遣リ方ハ甚ダ姑息デアルト思フ、失禮ナガラ——政友會諸君ハ國論ニ動カサレテ今日此一千五六百萬圓ノ減税ヲスルト云フコトヲ出サレタノデアアルガ、恐ラク諸君ノ心中ニ立入ッタナラバ、吾々ト同ジク惡税ノ廢止ハ御賛成デアラウト思フ、唯政友會タル立場ト政府ノ御都合トニ餘儀ナクサレテ、此姑息ナル減税ヲ行ハレルモノデアラウト思ハレル、政友會諸君モ國民ノ代表者デアラナラバ、モウ少シ國民ノ痛苦ヲ察シテ、サウシテ此惡税ノ廢止ト云フコトニ付テハ、モウ少シ誠意ヲ以テ、モウ少シ親切ヲ以テ之ヲ議セラレテ、サウシテ國民ノ希望ヲ達スルコトニ御盡力アルガ當然ノ事デアルト思フ、此通行税ノ如キ金額ニ於テモ僅カナ而モ其性質ニ於テ惡税タルモノハ是非之ヲ全部廢止スルコトニ御賛成アラントコトヲ希望致シマス

渡邊修君ノ演說

諸君、私ハ通行税廢止案ニ反對スル者デアリマス、即チ委員長ノ報告ニ賛成スルノデアリマス、今其理由ヲ簡單ニ陳述シマシテ諸君ノ御清聽ヲ煩シマス、私ハ元來理想ト致シマシテハ、税ニ

ハ善税モ惡税モ無イト思フノデアリマス、何税デモ餘リ難有クナイ、税ハ成ルベク少イ方ガ宜イノデアアル、出來得ベクンバ税ノ無イ方ガ宜イノデアリマス、併ナガラ苟モ國ヲ成シテ居ル以上ハ、税ノ無イト云フ譯ニ行カナイ、況ヤ我帝國ノ如ク日清日露ノ兩大戰役ヲ經マシテ、世界ノ一等國ニ班ヲ列シ、隆々トシテ發展シツ、アル所ノ國ニ於キマシテハ、國民モ成ルベク此國ノ發展ノ上ニハ税ハ忍バナケレバナラヌノデアアル、併ナガラ今日我國ノ税ハ決シテ輕キトハ申シマセヌ、寧ロ重イ方デアリマセウ、故ニ財政ノ許ス限リ事情ノ許ス限リ、吾々ハ減税ヲシタイト云フコトニ付キマシテハ、及バズナガラ微力ヲ盡シテ居ルノデアリマス、假ニ世間ニ唱ヘマス如ク此税ニ若シ惡税或ハ善税良税ト云フモノガアルト致シマスレバ、是ハ如何ニシテ區別スルカト云ヘバ、私ハ此徵稅上ノ手數、或ハ費用ノ多少、或ハ又納稅者ノ痛苦ノ大小ニ依テ之ヲ區別スルコトガ出來ルダラウト思フ、即チ徵稅ガ極メテ簡便ニシテ費用モ掛ラナケレバ手數モ要シナイ、或ハ納稅者ガ比較的痛苦ヲ感ジナイト云フ者ハ、是ハマア善税デアアル、之ニ反スルモノガ即チ惡税デアルト云フモ宜カラウト思フノデアリマス、是ハ經濟上ニ於ケル租稅ノ原則デアリマシテ、今私ガ此處デ申述ベナクトモ經濟書ノ一冊モ讀ンダ人ハ必ズ知ツテ居ル理窟デアリマス、而シテ通行稅ハ果シテ如何ナルモノデアアルカ、私ハ通行稅ハ今述ベマシタ原則ニ依リマス、極メテ是ハ善税デアルト云フ解釋ヲ下スコトガ出來ルト思フ、其故ハ通行稅ハ徵收ハ極メテ簡便デアリマス、少シモ手數ガ掛リマセヌ費用モ少シモ掛ラヌノデアリマス、此國稅ノ徵收ノ費用ノ平均ハ今日百圓ニ付テ二圓三十五錢掛ツテ居ルノデアリマス、又徵收ノ最モシ易イト云フ地租ノ徵收ニ對シテモ、百圓ニ付テ二圓六錢ノ費用ガ掛ツテ居ルノデアリマス、然ルニ通行稅ハ百圓ニ付テ十八錢七厘ヨリ費用ガ掛ツテ居ナイノデアリマス、以テ其簡易ナルコトヲ知ルノデアリマス、併ナガラ今日汽船電車鐵道等ノ營業者ガ徵收シテ居リマスガ、之ニ向ツテ一文モ手數料ヲ出サナイト云フノハ宜シクナイト云フノデ、即チ今日吾々ガ此電車汽船鐵道ノ營業者ニ對シテ、百分ノ一手數料ヲ與ヘルト云フ案ヲ、諸君ノ御手許ニ殆ド廻ツテ居ル筈ト思ヒマスガ、サウ云フ案ヲ出シタノデアリマス、假リニ此案ノ如ク致シマシテ、即チ百分ノ一手數料ヲヤルト致シマシテ

モ、尚ホ通行稅ニ對シテノ費用ハ一圓十八錢七厘ヨリ掛ラヌノデアリマス、斯ノ如キモノデアリマシテ、極メテ是ハ簡便ナル所ノ稅デアリマス、又第二ノ納稅者ノ痛苦ハドウデアアルカト云フコトヲ考ヘマス、一向痛苦ハ感ジナイ稅デアアル、人ガ知ラヌ中ニ此稅ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り今日ノ通行稅法ハ二百哩以上ハ一等ガ五十錢、二等ガ二十五錢、三等ガ四錢デアリマス、東京カラ下ノ關マデ行クトコロノ人ガ三等ニ乘ツテ四錢ノ通行稅ヲ拂ツテ何ノ痛苦ガアル、一等ニ乘ル人ガ五十錢ノ通行稅ヲ拂ツテ何ノ痛苦ガアリマス、「ボーイ」ニデモ一圓ヤ五十錢ノ心付ハヤルノデアリマス、又一番短距離ノ五十哩未滿ハ一等ガ五錢、二等ガ三錢、三等ガ一錢ト云フ通行稅ニナツテ居リマスガ、是デモ一錢ノ通行稅ヲ出シテ一向痛苦ハ感ジナイ、誰モ何時通行稅ヲ拂ツタカ知ラナイト云フヤウナ稅デアリマスカラ、此第二ノ即チ納稅者ノ痛苦如何ト云フ點カラ考ヘマシテモ、私ハ是ハ決シテ惡イ稅デハナイト云フコトヲ感ジテ居ルノデアリマス、私共ガ常ニ旅行ヲ致シマシテ汽車ニモ乘リ、汽船ニモ乘リ、電車ニモ乘リ、或ハ又有ユル階級多クノ人ニ實際ヲ致シマスガ、是マデハ通行稅ガ多クテ困ル、通行稅ノ痛苦ニ堪ヘヌナド、云フ話ヲ一遍モ聞イタコトガナイ、世間デ彼ノ稅ガ重クテ困ル、此ノ稅ガ重クテ困ルト云フコトハ聞キマスガ、通行稅ニ對シテハ是マデ通行稅ニ堪ヘナイ杯ト云フ議論ヲ聞イタコトガナイ、夫カラ又斯ウ云フ說ガアル、此二錢ノ賃銀ニ對シテ一錢ノ稅ヲ課スルト云フコトハ非常ニ重イ、即チ五割ノ稅ニ當ルカラ斯ウ云フ重稅ハナイト云フ議論ヲ聞クコトガアリマスガ、是モ私ハ議論ニナラヌト思フ、ト云フノハ外國ノ通行稅ハ其標準ヲ賃銀ニ依テ居ルノデアリマスケレドモ、日本ノ通行稅ハ賃銀ニ依テ居ルノデアリマセヌ、ソレデ稅金ト云フモノト賃銀ト云フモノハ稅ノ本體ト致シマシテハ關係ハ持タヌノデアリマス、唯其負擔ガ出來得ルカドウカ、負擔シ得ルヤ否ヤト云フコトカラ割出シテ居ルノデアリマスカラ、二錢ノ賃銀ニ對シマシテ一錢ノ稅ヲ取ツテモ、稅ノ本體カラ論ズレバ決シテ之ヲ重イト云フコトハ出來ヌト思フ、ソレカラ斯ウ云フ議論ガアル、旅行ヲスルノニ稅ヲ課スル、即チ人間ガ活動スルノニ稅ヲ課スルノハ是ハ怪シカラヌト云フヤウナ議論ガアリマスガ、併シ人間ノ活動ト云フモノハ唯動クバカリガ活動デハナイ、人間ニ一日モ缺

クベカラザル米モ食ハナケレバナラヌ、著物モ著ナケレバナラヌ、鹽モ嘗メナケレバナラヌノデアル、併シ是等ノモノニ皆税ヲ課シテ居ルノデアル、即チ此活動ニ税ヲ課スルガ詰ラヌト云フケレドモサウ云ヘバ何モ斯モ税ト云フモノヲ無クシナケレバナラヌ、何モ斯モ税ヲ無クシナケレバ活動ガ出來ヌト云ヤウナ論結ニナルノデアリマスカラ、是等モ即チ活動スル人ニ税ヲ掛ケルハイカヌナド、云フコトモ、私ハ議論ニナラヌト思フ、併ナガラ學生トカ或ハ兵卒勞働者等ニ對シマシテハ、成ベク是等ノ負擔ヲ輕減シテヤリタイノデアアル、故ニ社會政策上カラ考ヘマシテ、ソレラハ必要デアルト思ヒマスルガ故ニ、吾々ハ即チ此學生勞働者兵卒等ニ對シマシテハ、即チ減税ヲスル——通行税ヲ成ベク無クシタイト云フ考ヘヲ以テ今日提案ヲシテ居ルノデアリマス、吾々ノ提案致シマシタ改正案ノ如ク致シマスルト云フト、學生兵卒勞働者ニ對シマシテ、賃錢ノ割引歩合ニ準ジテ税金ヲ割引スルト同時ニ、税額一錢未滿ノモノヲ徵收セザルコトト爲ストキハ、賃錢ノ割引ヲ受クル學生勞働者ノ五十哩未滿ノ旅行ニ對シマシテハ、事實通行税免除ノ結果ニナルノデアリマス、是等ハ極メテ私ハ穩健ナル所ノ修正デアリマシテ、斯ノ如クスレバ通行税ニ對シテハ澤山デアルト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ能ク外國ノ例ヲ云々スル人ガアル、或ハ物識額ニ頻リニ外國ノ例ヲ引イテ、外國ニアルトカ無イトカ、歐羅巴ニハ斯ウデアルトカ云フヤウナ議論ガアルノデアリマス、併ナガラ私共ハ外國ノ例ヲ云々スル必要ハナイト思フ、外國ノ例ガアラウガアルマイガ、適當ノコトデアラバ之ヲ行ッテ宜シイ、又假令外國ニ幾ラ例ガアッテモ惡イコトナラ之ヲ行ハナイ方ガ宜イ、ダカラ外國ノ例ノ有無ヲ言フ必要ハナイノデアリマス、併シ隨分外國ノコトヲ氣ニスル人ガアリマス、故ニ私ハ此外國ノ例ノアルト云フコトヲ二三申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、即チ通行税ハ英吉利ニモアレバ、佛蘭西ニモ、獨逸ニモ、奧太利ニモ、匈牙利ニモ、露西亞ニモ、伊太利ニモアル、各國ニモ皆アルノデアリマス、殊ニ租税制度ノ完備セルヲ以テ誇トシテ居ルトコロノ獨逸帝國ニ於テハ、最近千九百六年船車乘客ニ對シマシテ通行税ヲ新設シ、最低五片即チ二錢、最高ガ八十馬克即チ四十圓ノ税ヲ課シテ居ルノデアリマス、其他各國ノ例ヲ調ベタモノガ澤山アリマスガ、煩雜デアリマスカラ一々申

シマセヌ、斯ノ如キ有様デ外國ニモ例ガアリマスカラ、外國ノ事ヲ氣ニスル人モ御安心デアラウト思ヒマス、之ヲ要スルニ通行税ハ總額ニ於テ四百五十萬圓ノ税デアリマス、故ニ論者ノ言ハレル如ク非常ニ惡税デアアル、是ガ爲ニ實業ヲ阻碍スルト云フヤウナコトガ事實アリマシタナラバ、吾々モ全廢ニ同意スルノデアアル、併ナガラ前來申述ベマシタル如ク、徵收ハ簡易ニシテ、而シテ納税者ガ少シモ痛苦ヲ感ジナイト云フ經濟上ノ原則ニ適ッテ居ルトコロノ誠ニ取り易イ税デアアル、故ニ私ハ是等ノ原則ニ適ッタ税ハ寧ロ良税デアアル、故ニ如何ニシテモ廢税ノ說ニ同意スルコトハ出來ヌノデアリマス、宜シク廢税論者ノ再考ヲ希望致シマス

早速整爾君ノ演說

諸君此數多キ惡税廢止案ハ、何レモ不十分ナル審査ノ儘ニ此本會ニ廻サレタノデアリマスカラ、不十分ト云フヨリモ此通行税ノ問題ノ如キハ、特別委員會デハ全ク審査ヲ經テ居ラヌノデアリマス、斯様ナル不眞面目ナル特別委員會ニ依ッテ、唯押付ニ之ヲ否決シテ本會ヘ廻サレタノデゴザイマスカラ、唯今ノ渡邊君ノ如キ間違ッタ議論モ此席ニ於テ初メテ承ッタノデアリマス、通行税ガ明治三十八年第二次非常特別税實施ノ際ニ、織物消費税竝ニ米及穀輸入税ト共ニ之ヲ創設セラレマシタ當時、既ニ此通行税ガ惡税デアルト云フコトハ全國ノ識者何レモ之ヲ唱ヘタノデアアル、今日ニ至ル迄通行税ガ良キ税デアルト云フコトハ私ハ渡邊君ヨリ初メテ之ヲ承ッタノデアリマス、曾テ政友會ノ諸君モ通行税廢止ニ關スル建議案ヲ大分前ノコトデハゴザイマスガ、此議會ニ提出セラレタト私ハ記憶致シテ居ルノデアリマス、多數黨ノ諸君モ曾テハ此通行税ノ惡税タルコトヲ認メテ居ラレタ國民ノ聲ハ幾十ノ惡税ニ向ッテ其廢止ヲ叫ンデ居ルノデゴザイマス、ケレドモ通行税ノ如キハ其中ニ就テモ、最モ惡シキ税トシテ受取ラレテ居ルノデアリマス、徵税ガ頗ル簡便デアアル、納税者ノ苦痛ガ餘程輕イカラ是ハ惡税デナイト云フ風ノコトガ、唯今渡邊君ヨリ漏レタノデアリマス、此徵税ガ頗ル簡便ナト云フコトガ即チ此税ノ不公平ナルト云フコトヲ證據立テ、居ルノデアリマス、成程日本ノ現行ノ通行税ハ徵收スル上ニ於テハ、頗ル簡單デ

アリマス、ソレカラ比較的納税者ノ苦痛モ輕イノモ事實デアリマス、併シ性質ト致シマシテ交通ノ行爲ニ向テ課税ヲスルト云フコトハ、果シテ善キコトデアルカドウカ交通ノ行爲ニ向テ課税ヲスルモノデゴザイマスカラ、勢ヒ是ガ交通ノ發達ヲ妨害スルト云フコトハ無論ノ話デア、交通ノ發達ヲ妨ゲルト致シマスレバ、ソレガ相延イテ知ラズ識ラズノ間ニ産業ノ發展ヲ阻碍スルト云フコトモ、是亦勿論ノ話ト私ハ思フ居リマス、人類ノ活動ヲ抑制スルト云フ虞ハナト云フ渡邊君ノ言葉デゴザイマスケレドモ、交通ノ行爲ニ向テ課税ヲスル以上ハ、知ラズ識ラズノ間自然ニ人類ノ活動ヲ阻碍スルト云フコトハ、立派ニ之ヲ推測スルコトモ出來ルデアリマセヌカ、隨テ又一般ノ智識ノ普及ヲ妨ゲルト云フコトハ、此通行税アルガ爲メニ免ルベカラザルトコロノ結果デアルト私ハ信ジテ居リマス文明ノ利器ヲ利用スル者ニ向テ課税ヲスル、文明ノ利器ハ何處マデモ其利用ヲ獎勵シナケレバナラヌ、智識ノ普及ヲ計ルガタメニ人類ノ活動ヲ敏捷ナラシムルガ爲メニ、産業ノ發展ヲ獎勵スルガ爲メニ、文明ノ利器ヲ利用スルト云フコトハ御互ニ之ヲ獎勵シナケレバナラヌ今日デアルノニ、此文明ノ利器タル汽車汽船電車ノ如キモノヲ利用スル、其行爲ニ向テ課税スルトハ果シテ何事デアルカ、性質ニ於テ非文明ノ甚ダシキモノデア、野蠻的ノ甚ダシキモノデア、私ハ斷言ヲ致スノデアリマス、殊ニ此通行税ハドウシテモ公平ヲ期スルコトガ出來ナイ、公平ヲ保ツコトガ出來ナイ、貧シキ者ト富ミタル者トノ納税力ニ副ハシムルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、結果ハ却テ富ミタル者ニ輕クシテ貧シキ者ニ重キト云フ結果ヲ生ジテ來ルノデアリマス即チ私ガ前ニ申述ベマシタル如ク徵税ノ方法ガ簡單ナト云フコトハ、偶、以テ此通行税ト云フモノガ不公平ニ傾クト云フコトヲ證明スルニ足ルノデア、此點ハ經濟上ノ原則ニ反シ、租税ノ大原則ニ反スルト云フコトハ、私ハ渡邊君ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、外國ノ例ヲ引ク必要ハナイト言ヒナガラ外國ノ例ヲ御述ベニナリマシタ、成程諸外國ニ於テ此通行税ガ行ハレテ居ルト云フコトハ事實デア、併ナガラ先進ノ國ニ於キマシテ、近年此通行税ハ漸次ニ之ヲ廢止スルト云フ大勢ニ傾イテ居ルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、殊ニ何レノ國ニ於キマシテモ、通行税ニ就テハ其課税ノ範圍ヲ縮小シ、

現ニ市内ノ通行税ノ如キハ殆ド全ク其迹ヲ絶タントシテ居ルノガ今日ノ事實デアリマス外國ノ事例ニ於キマシテ渡邊君ノ述ベラレタル所ハ聊カ私ノ見ル所ト異ツテ居ルノデア、英吉利ハ千八百三十二年以來鐵道ノ乘客ニ向テ通行税ヲ課シタノデゴザイマスケレドモ、最近ニ至ツテハ之ヲ廢シテ居ル、亞米利加ガ通行税ヲ課シタノハ千八百九十八年米西戰爭ノ當時ニ、戰時稅トシテ一時之ヲ課シタニ止ルノデア、戰後ニ於テハ直ニ此通行税ハ廢シテ居ルノデアリマス、斯様ナル有様デアツテ、外國ニモ斯ノ如キ例ガアルト云フコトハ勿論我國ニ於テ通行税ヲ存置スベキ理由トハ全ク相成ラヌノデア、外國ノ例ニ學ベバ我國モ今ニ當ツテハ進んで此非文明ナル野蠻ナル課税ト云フモノハ廢スルト云フコトガ、時務ノ最モ急ナルモノデア、本員ハ信ズルノデアリマス是デモ尙ホ且ツ通行税ヲ惡税ニアラズト云フコトガ出來ルデアリマス今日ノ狀況ヲ申シマスレバ、惡税ノ廢止ト云ヘルコトハ正シク國民ノ聲デア、天下ノ輿論デア、唯政府ト多數黨ノ結託ノタメニ此輿論ノ遂行ヲ遮ギラントスルト云フ事實ハ、私ハ政治上ノ罪惡ト言ハナケレバナラヌノデア、一時的ノモノトシテ特別稅トシテ課セラレタルコロノ過酷ノ課税、濫リニ永久稅トシテ今日ニマデ存在セシメ、國民ヲ苦メルコト頗ル甚ダシク、忽ニシテ二倍三倍ト云ヘル彼ノ龐大ナル財政計畫ヲ立テタノハ、其責任何レニアルニセヨ、今日ニ至リテハドウシテモ根本ニ於テ之ヲ整理シナケレバナラヌ、増税ニ億萬圓ハ是ハ決シテ輕微ナルモノデアゴザイマセヌ、國民ノ負擔トシテハ誠ニ過重極マルモノデア、ト言ハナケレバナラヌ、之ニ向テ輕減ヲシナケレバナラヌ、國民ノ負擔ヲ輕クシテ民力ノ休養ヲシナケレバナラヌコト云フコトハ、決シテ今日ニ始マリタル國民ノ聲デハナイノデアリマス、殊ニ今日ノ政府ハ此ノ如キ増税ヲ國民ニ課シタル其以外ニ於テ、法律ニ據ルニアラザルモ年々歳々間斷ナク一種ノ増税ヲ行ツテ居ルデアリマセヌカ、所謂苛斂誅求、法律ノ改正ニ依ルニアラザルモ間斷ナク増税ヲ行ツテ居ルト云フ今日ノ狀況デアリマスカラ、我國民ノ苦痛困難ト云フモノハ年々歳々益々甚ダシキヲ加フルト云フ狀況ニ陥ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ狀況デア、拘ラズ、國民ノ利害ヲ度外ニ措イテ政治ヲ行ハントスルコトハ、私ハ所謂政治上ノ罪惡ニアラズシテ何ゾヤデア、大藏大臣ハ

前日豫算委員會ニ於テ、私ノ質問ニ對シテ減稅ヲ行ハントスルモ歲入無シト明言ヲセラレタ
 ノデアリマス、此點ニ付テハ前日來諸君ノ中ニモイロク御議論ノアツタコトヲ承タノデアリ
 マス、勿論財源無キニアラズ、財源無カラシムルノデアアル、間違タル豫算ノ編成ヲシテ減稅ノ財
 源無キガ如ク裝ウテ居ル以上ハ、何時マデ經テモ財源ノアルベキ筈ハナイノデアリマス、歲
 入ヲ過少ニ見積ッタト云フ議論ハ多數黨ノ諸君モ既ニ之ヲ認メテ居ラレマス、豫算委員會ノ分科
 會等ニ於テ、多數黨ノ諸君ノ議論トシテ歲入ヲ過少ニ見積ッタト云フコトハ屢々之ヲ口ニセラレ
 テ居ルデアリマセヌカ、吾々ノ計算スルトコロニ依ルト、歲入ヲ過少ニ見積ッテ置クト云フ點
 ダケニ於テモ、少クとも二千萬圓ト云フ金額ノ此財源ガ其間ニ隱蔽セラレテ居ルト云フコトヲ
 私ハ申シタイト思フノデアリマス、財源ガ無イノデアリナイ、財源ヲ隱シテ居ルトハ何事デアルト
 私ハ問ハザルヲ得ナイノデアリマス、昨年行政整理ヲ行ッタト云フ、此行政整理ニ依テ生ジタル
 財源ハ政府ハ果シテ何ニ使ッタカト云フコトヲ考ヘテ見ナケレバナラヌ、元ト行政整理ヲ行フ
 トコロノ趣意ハ、一方ニ於テ國費ニ節約ヲ加ヘ、財政上ノ根本ヲ整理シテ、國民ノ負擔ヲ輕減ス
 ルト云フコトハ又其目的ノ一デアッタノデアリマセヌカ、然ルニモ拘ラズ行政整理ニ依テ生ジ
 タル大正三年度ニ於ケル財源ノ如キ、少クモ之ヲ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フ方面ニ向ッテ使
 テハ居ラヌノデアリマス、私ハ大正三年度ノ豫算ノ總體ヲ見テ、大體ニ於テ驚カザルヲ得ナイノ
 デアル、六億四千一萬圓ノ此歲計、無論大正二年度ノ豫算ニ比較スレバ八千七百萬圓ノ増加ヲ
 示シテ居ル、是ハ彼ノ剩餘金ノ處分ガ加ッテアルノデアリマスガ、之ヲ別ニ致シテモ經常歲出ニ
 於テ即チ四億二千五百萬圓ト云フ金額ハ、大正二年度ノ彼ノ實行豫算ニ比較シテ千四百萬圓ノ
 増加ヲ示シテ居ルノデアリマス、而シテ臨時費ノ歲出ニ至リマシテハ、諸君ガ御承知ノ如ク實
 行豫算ニ比較シテ三千萬圓ト云フ膨脹ヲ示シテ居ル、而モ其三千萬圓ノ中二千萬圓マデハ軍事
 費ニ屬スルモノデアッテ、而モ此軍事費ニ屬スルモノハ何レモ繼續費トシテ計上セラレテ居ル
 デアリマス、財政ヲ整理セナケレバナラヌ、行政ヲ整理セナケレバナラヌト稱スルトコロノ政府
 ガ、折角行政整理ヲ行ッタケレドモ、其財源ハ總テ之ヲ不急ノ事業費ニ投ジテシマッテ、豫算ハ前

年度ノ實行豫算ヨリモ此ノ如キ膨脹ヲシテ居ルト云フ事實ハ、諸君、國民トシテハ何ト之ヲ觀察
 シテ宜シイノデアアルカ此ノ如キコトヲ致シテ折角整理ヲ行ッテモ、不急ノ事業費ニ之ヲ投ズ
 ル、急ガザルトコロノ不生産的ノ事業ニ投ズルト云フニ至リテハ、何時マデ經ッテモ國民ニ向ッテ
 安心ヲ與ヘルト云フ計畫ヲ立テル時機ハナイノデアリマス、所ガ此大藏大臣モ最初ハ財源無シ
 ト突張ッテ居ッタノデアリマス、ガ近頃ニ至リテ少シク財源ガアリサウナ口吻ヲ漏スニ至ッタノデ
 アル、私ハ幾ラカ大藏大臣ハ反省セラレタノヲ喜ブノデアリマス、ケレドモ併シ驚クベキハ特別
 委員會ニ於ケル大藏大臣ノ答辯デアリマス、多少財源ガアルラシキ口吻ヲ漏ラシテ、曰ク財源ガ
 生ジタル場合ニハ國防ノ必要ヲ認ムルガ故ニ先ヅ之ヲ先キニシテ、而シテ減稅ニ及ボスノホカハ
 ナイト云フヤウナ言葉ヲ吐カレテ居ルノデアリマス、又他ノ場合ニ於テハ、日本ノ今日ノ國ノ地
 位ハ武力ニ依テ之ヲ維持シテ居ルモノデアアルカラ、國防ニ對シテ力ヲ注グト云フコトガ一番急
 要デアルト云フコトノ意味ヲ漏ラシテ居ラレルノデアリマス、是デアアル、初ハ財源無シト唱ヘ後
 ニ至リテ財源ガ有ルト云フコトヲ認メタ場合ニハ、其財源ハ先ヅ之ヲ陸海軍ノ擴張費ニ投ジナ
 ケレバナラヌト言フ、斯様ナル意味ヲ特別委員會ニ於テ言明セラレテ居ルノデアリマス、折角財
 源ガ出來テモ、總テ之ヲ不生産的ノ消費ニ當テルト云フコトニ相成リマスレバ、何レノ時ヲ待
 テテ財政整理ト云フコトヲ實行スルコトガ出來ルノデアリマスカ大藏大臣ハ軍備ノ充實ト云ヘ
 ルコト、國力ノ充實ト云ヘルコトヲ混同シテ居ルノデアアル、獨リ陸海軍ヲ擴張シテ、一方ニ於テ
 國民ノ疲弊ヲ顧ミナイト云フ政策ガ果シテ日本ノ國力ヲ充實セシムル所以ノ途デアリマセウ
 カ私ハ斯ノ如キ大藏大臣ノ政策ヲ以テ、雷ニ國力ノ充實ヲ圖ルニアラザルノミナラズ、全ク我ガ
 國民ノ活力ヲ殺グトコロノ惡政策ナリト斷言ヲシヤウト思フノデアリマス、大藏大臣ハ斯様ニ
 シテ財源ガアレバ陸海軍ノ擴張費ニ使フ、國民ニ向ッテ減稅ヲ行フト云フコトハ第二デアアル、遂
 ニ此財政ト云フモノガ益々紊亂ヲシタ曉ニ、大藏大臣得意ノ借金政策ヲ以テ一時ヲ彌縫スルト云
 フ考デアアルカハ知ラナイケレドモ、我國民トシテハ實ニ此惡政策ニ付テ忍ブコトガ出來ナイノ
 デアリマス、ソレデモ大藏大臣ハ言フ、財政ト經濟ノ調和ヲ圖ル、財政ノ基礎ヲ鞏固ニシタト言

フ、大藏大臣ハ、財政ト經濟トノ調和ト云ヘルコトヲ知ラナイ人デアアル、財政ノ基礎ガ何レニアルカト云フコトヲ知ラナイ人デアリマス、我ガ國民ノ活力ヲ殺イデ、國民ヲ困難セシメテ何處ニアル政ノ基礎ガ鞏固ニナルノデアリマスカ、ソコデ私ハ政府並ニ多數黨諸君ノ反省ヲ求メタイノデアリマス、財源ハアル、即チ誠意ヲ以テ減稅ヲ行ヘバ之ヲ行フ途ハ幾ラモアルノデゴザリマセウ、廢稅ノ財源ハ綽々トシテ餘裕アルノデゴザリマスルカラ、今日ノ如キ場合ニ於テハ斷ジテ此廢稅ノ意見ニ御賛成ヲ仰ギタイノデアリマス通行稅ノ如キ非文明ナル野蠻極マル所ノ課稅ヲ善キ稅ナリト稱シテ、此廢稅ニ大賛成ヲシナイ人ガアルト致シマスレバ、私ハ是コソハ國民ノ利害ヲ眼中ニ置カザルトコロノ多數黨ノ諸君ナリト斷言シナケレバナラナイノデアリマス、私ハ多數黨ノ諸君ガ會テ通行稅廢止案ヲ建議セラレタル當時ノ良心ニ立返ッテ、財源ハ僅ニ四百五十萬此位ノ財源ヲ得ルト云フコトハ素ヨリ容易デゴザリマスカラシテ、セメテモ此通行稅ノ廢止案ダケニ對シテハ多數諸君ノ御同意アラントコトヲ希望致シテ此壇ヲ降りマス

友常毅三郎君ノ演說

私ハ本案反對ヲ申シタイト思フ、唯今村松君並ニ早速君ノ此廢止スベキ理由ノ御演說ガアリマシテ、殊ニ早速君ハ此本間ニ對シテ本間以上ノ財源ニ對シテ御辯明ガアリマシタガ、此事ニ對シテハ本間ニ直接關係致シマセヌカラシテ、早速君ノ終リノ方ハ辯駁致シマセヌガ、第一ニ村松君ノ方カラ申上ゲマスガ、村松君ハ御自分デ此稅ハ負擔ガ重イコトハナイガ、兎ニ角モ惡稅デアアルカラ之ヲ廢サナケレバナラヌト、ソレデ抑、一國ノ此徵收ノ法ト云フモノハ稅ノ口數ガ多イカラ、徵收上ニ大變差支ガアッテ煩雜ヲ來スカラ、御自分デハ一々此惡稅ヲ一ツ宛減ラシテ往カウト云フノガ、是ガ趣意デアアルヤウデアリマス、ソコデ此通行稅ナンゾハ是ハ獨リ中流以下ノ人間ノミナラズ、上流ノ人間ニ對シテ或ハ下流ノ人間ニ對シテモ、一般ニ租稅ヲ拂ハナケレバナラナイモノデアアルカラシテ、縱シヤ此徵收法ガ簡便デアルトモ、是ハ兎モ角モ惡稅デアルト云フノガ、是ガ村松君ノ御說デアアル、ソコデ最後ニ至リマシテ此稅ヲ廢スルニ反對スルトコロノ此政友

會ノ人間ハ、即チ政府ノ御都合ニ依テ之ヲ維持スルト云フヤウナ御趣意デアアルノデス、又早速君ノハ摘ンデ申シマスルト、收稅ノ簡易ナカラシテ、渡邊君ハ是ハ惡稅ニアラズ、即チ負擔ノ輕イコトニ收入ノ多イコトト、又實ニ容易ク稅ガ取レルカラシテ、是ハ惡稅デナイト云フ渡邊君ノ說ニ對シテ、早速君ハ收稅ノ簡ナルダケソレダケ不公平ナルトコロノ是ハ稅デアアル、ソコデ通行稅ノ此徵收ト云フモノハ、人民ニ對シテ通行ノ發展ヲ害シ、從ッテ產業ノ發展ヲ害シ、智識ノ發展ヲ妨害スルト云フヤウナ御趣意デアアルヤウデス、文明ノ是ハ利器デナイ、非文明的ノモノデアアル、尙又此稅ハ公平ヲ缺クトコロノ稅デアルト云フトコロノ反對デアアル、凡ソ此通行稅程稅ノ徵收ニ於テハ簡易ニシテ、又見込ヨリハ多ク這入ルト云フトコロノ反對デアアル、即チ上下ノ差別ナク一般カラ稅ヲ取ルト云フトコロノ是ハ多ク這入ルト云フトコロノ反對デアアル、即チ上下ノ差別ナクト申シマスルト、即チ先ヅ汽車デ申シマスルト云フト、一等ニ乗ルトコロノ人ハ假リニ五十錢拂ヒ、或ハ二等ガ三十錢拂ヒ、或ハ三等ガ四錢拂フト云フトニナッテ、即チ上中下ノ差別ヲ以テ一般カラ公平ニ稅ヲ取ッテ居ル、極ク見易イトコロノ稅デアアル、ソコデ此公平ナル稅ト云フモノハ、是ハ不公平デナイト云フトコロノ立證ガ出來ルトコロデアリマス、是ハ文明ノ利器デアッテ若シ之ニ稅ヲ課スレバ即チ交通ノ發展ヲ妨害シ、產業ノ發展ヲ阻碍スルト仰シヤイマシタガ、僅カ此處カラ假リニ下關マデ參ルニ對シテ、労働者ガ四錢ノ稅ヲ拂ッテ、ソレデ產業ノ發展ヲ害シ交通ノ發展ヲ害スルト云フトガ出來マセウカ、我國ハ斯ノ如キマデ疲弊シテ居ルト思ヒマセヌ、先ヅ假リニ四錢ノ稅ヲ全廢スルト見テ、僅カ敷島二本カ三本ヲ以テ其稅デ下關マデ行ケル、斯ノ如キトコロノモノヲ以テ惡稅ト云フトハ出來マスカ、吾々ハ等シク稅ヲ廢ス或ハ村松君ノ如ク一ツ々々稅ヲ減ラシテ行クト云フトハ吾々モ賛成致シマスガ、併ナガラ一ツ々々廢シテシマッタラ遂ニハ無クナッテシマフ、國家ハドウシテ維持ガ出來ヤウカソコデ吾々ノ政友會カラ出シマシタ案ト云フモノハ、先刻諸君ハ御配付申上ゲマシタガ、是ハ今マデノ通行稅ニ於キマシテ大正元年度ノ調デアリマスガ、先ヅ四百五十萬圓通行稅ニ取ッテ居ル、内二百三十四萬圓ト云フモノハ電車ノ稅デアアル、東京市内ノ電車ノ稅デモ百萬圓バカリアル、是デ割引ヲシマシテ、今

マデヤッテ居ルトコロノ此方法ニ對シテハ、ツマリ精シイ案ハ諸君ノ御手許ニアリマスガ、一錢以下ノモノニ對シテハ稅ヲ課セナイト云フコトニナリマス、サウ致シマス、スト云フト先ツ全體ニ於キマシテ、市内ダケデモ此稅ノ總額ニ對シテ二割五分カラノ稅ヲ減スコトニナリマシテ、即チ東京市内ノ電車デモ二十五萬圓以上ノ輕減ガ出來マス、是ガ即チ兵隊學生勞働者ニ對シテ恩典ヲ施スコロノモノデアリマス、ソコデ此問題ハ深ク辯論ヲスル價値ハナクシテ、極ク簡單ナモノデアリマス、ツマリ吾々ガ主張スルトコロノモノハ一般ニ對シテ公平ニ稅ヲ取ルコトガ出來テ、即チ負擔ガ輕クアッテ上下ノ差別不公平ガナク、徵收ニ手數ガ掛ラナイデ、最モ容易ク取レルトコロノ稅デアルカラシテ、是ガ廢稅ハ不贊成デアアル、即チ此廢止ニ對シテハ吾々ハ不贊成デアアルノミナラス、新ニ吾々カラシテ提出シマシタトコロノ此勞働者、並ニ學生兵卒ニ對シテ恩典ヲ與ヘルトコロノモノハ、實ニ東京市内ノ電車ニ於キマシテ二十五萬圓以上ニナルノデアリマス、之ニ對シテ諸君ハドウガ御贊成ヲ願ヒタイ、最早吾々ハ長ク申上ゲル程ノ必要ガゴザイマセヌカラシテ、ドウカ吾々ガ提出シマシタトコロノ議案ニ對シテ御贊成ヲ願ヒマス

質疑應答ノ後討論終局シ表決ニ及テ院議三案共ニ之ヲ否決シタリ

次テ(九)案ノ討論ニ移リ紫安新九郎君ハ本案ニ贊成、森川源吾君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ

紫安新九郎君ノ演說

諸君、本員ハ我國ノ財政政策ニ付キマシテハ、其根本的ニ於テ大矛盾セルコトノアルコトヲ信ズル者デアリマス、之ヲ概括シテ申シマスレバ、其課稅ノ方法ガ比較的富者ニ輕クシテ比較的貧者ニ重イト云フコトデアリマス、此理由ヨリシテ石油消費稅ノ廢止ヲ——廢稅ヲ主張セントスル者デアリマス、何トナレバ都會ニ住ンデサウシテ中流以上ノ人ノ多ク使用シテ居ルトコロノ、電燈デアルトカ瓦斯デアルトカ、是等ノモノニ對シテハ課稅セラレズ、而シテ山間僻地ニ住ヒ、文明ノ餘澤ニ浴セズ、文明的器械ヲ使用セザル所ノ即チ石油ヲ使用シテ居ル、此石油ニ對シテ課

稅シテ居ルト云フコトハ、財政政策ノ上カラ言ッテモ論理ノ一貫セザルモノデアルト云フコトヲ信ズル者デアリマス、ソレカラ第二ニハ政府ノ産業獎勵ノ上ニ於テ一大矛盾セルコトヲ信ズルノデアリマス、何トナレバ政府ハ幾多ノ産業ヲ獎勵スルガタメニ、國民經濟ノ發展ヲ圖ルガタメニ、イロ／＼ナル補助金ヲ交付シテ居ルノデアアル、又直接補助金ヲ交付セザルモ、或銀行會社ニ對シテ獨占權ヲ與ヘテ間接ニ保護シテ居ルノデアアル、即チ水道事業デアルトカ、治水事業デアルトカ、耕地整理事業デアルトカ、或ハ航海獎勵費デアルトカ、或ハ蠶業試驗費デアルトカ、此等ノモノヲ合計スレバ二百萬圓以上ニ達スルモノヲ政府ハ使ッテ居ルノデアアル、而シテ又日本銀行デアルトカ、興業銀行デアルトカ、橫濱正金銀行デアルトカ、是等ノモノニ獨占的ノ權利ヲ附與シテ間接ニ其事業ヲ援助シテ居ルノデアアル、然ルニモ拘ラズ、一方ニハ産業ノ發達ニ最モ妨害トナルベキ行爲ヲヤッテ居ルノデアアル、此石油ハ今日ニ於テハ細民ガ使用スルノミナラズ、工業用トシテモ随分盛ンニ使ハレテ居ルノデアアル、即チ石油發動機ニ於テ工業用ニモ澤山使ハレテ居ル、沿海漁業用トシテモ使ハレテ居レバ、又農業家ニ於テモ灌溉排水ノタメニモ随分使ハレテ居ル、又交通運輸ノ點ニ於テモ隨分使ハレテ居ルノデアアル、然ルニ之ニ課稅スルト云フコトハ一方ニ於テ産業ヲ獎勵シテ居ルトコロノ趣意ト矛盾シテ居ルノデアアル衝突シテ居ルノデアアル、此政府ノ財政政策ニ於テ矛盾シ、又産業獎勵ノ政策ニ於テ矛盾スルト云フトモ、財政ニ餘裕ガ無カタナラバ國民ハ甘ンジテ之ヲ忍ビマス、併ナガラ今日ハ此石油消費稅ノ二百萬圓位ナモノヲ減ズルト云フコトハ、誠ニ易々タルコトデアアル、何トナレバ是ダケノ稅金位廢シテモ何等差支ノナイ政府ノ懷合デアアル、殊ニ又此富者ニ課稅ガ輕クシテ貧者ノ課稅ガ比較的重イト云フ事實ニ付キマシテハ、官僚政府内閣デアッタナラバ、是ハ當然ノコト、シテ餘リ多クノ人ハ怪マヌカモ分ラナイ、所ガ現内閣ハ政黨内閣ト稱シテ居ルノデアアル、此政黨内閣ニシテ斯ル矛盾セルコト、斯ル衝突セルコトヲ平然トシテヤッテ居ルト云フコトニナレバ、政黨内閣ノ價値亦知ルベキノミト本員ハ斷言スルニ躊躇シナイノデアアル何レノ點ヨリ見マシテモ僅ニ二百萬圓内外ニ過ギナイ稅金ヲ而モ不公平ヲ極メテ居ルトコロノ稅金ヲ、今ノ政府ノ財政ニ於テ課セント欲ス

レバ課シ得ラル、ト云フコトハ多言ヲ要シナイコトデアアル、此點ニ於テ本員ハ石油消費稅ノ廢止ヲ唱ヘル者デアリマス

森川源吾君ノ演說

私ハ石油消費稅廢止論ノ反對演說ヲ爲スベク登壇ヲ致シマシタ、唯今紫安君ガ述ベラレマシタトコロノ御論、又此本案ガ初メテ出マシタトキニ確カ増田君デゴザイマシタカ、提出ノ理由ヲ御述ベニナリマシタ議論ヲ綜合致シマシテ、此石油稅法ノ廢止ヲ主張セラレマスルトコロノ御論ハ何デアアルカト申シマスルト云フト、チヨット聞キマスルト尤モラシキ證據モ段々アルノデアアル紫安君ガ本日モ一番最初ニ申サレマシタトコロノ、此石油消費稅ノタメニ産業ノ發達ヲ害ズルト云フコトガ一ツニ數ヘラレテ居ルノデアアル、ソレカラ又第二ノ理由ト致シマシテハ、他ノ電氣ダトカ瓦斯ダトカ云フヤウナモノヲ比較ヲ致シマシテ、斯ノ如キ無稅ノモノト比較シテ不公平ダト云フコトガ、第二ノ理由ニ數ヘラレテ居ルノデアアル、又是ハ第三ノ理由トシテ數フベキカ否カハ、分類ノ方法ノ誤マレルヤ否ヤハ別問題ト致シマシテ、石油ハ主モニ此寒村僻地ノ貧民ノ用井ルモノデアアルト云フコトヲ、又證據トシテ居ラレルノデアリマス、本日紫安君ノ御演說ノ中ニハアリマセヌデゴザイマシタガ、確カニ増田君ノ御演說ノ中ニハ外國カラ輸入致シマスルトコロノ此石油ニ關スル稅金ト比較致シマシテ、此内國油ガ稅金ガ重イト云フコトヲ言ハレタ、是モ確カ一ツノ理由ニナッテ居ルノデアリマス、最後ノ理由ト致シマシテハ、財政ハ餘裕ガアルガ故ニ、斯ノ如キ稅金ヲ廢スベシト云フ御論ニナッテ居ル、是ダケノ詰リ證據ヲ以テ此石油稅法ノ廢止ヲ主張セラルルノデゴザイマスルガ、諸君、最モ此重イトコロノ理由トナッテ居リマス所ノ財政ノ餘裕アリヤ否ヤト云フガ、コトガ一番大切ナ問題デゴザイマスルガ、是ハ反對派ノ諸君ト吾ト全ク見解ヲ異ニスルノデアアル、一昨昨年來、朝野ノ努力ニ依リマシテ行政財政ノ整理ヲ致シマシテ、澤山ナ財政ノ餘裕ガ出來タノデアアル、併ナガラ是ハ一部ニ於キマシテ國家ノ——國家機關ノ欠缺ヲ補ヒ、又一部ニ於テモット急ナルトコロノ減稅ニ充テラレルノデアリマス、是等ノ

詰リ國家ノ機關ニ充ツベキトコロノ財政ノ餘裕、ソレカラ又他ノ必要ナルトコロノ減稅ニ充ツベキトコロノ財政ノ餘裕ヲ控除致シマシテ、最早一厘モナインデアリマス、斯ノ如キモノニ充ツベキモノガ無イト云フノデゴザイマスカラ、此最モ根本デアリマスル所ノ第一ノ財政ニ餘裕アリト云フトコロノ理由ガ全ク壞レテシマフト致シマスルト、他ノ論點ヲ研究致サズシテ、而シテ此案ノ到底通過スベカラザルコトヲ斷言シ得ルノデゴザイマスルガ、併ナガラ本員ハ更ニ進ミマシテ曩キニ段々申上ゲマシタトコロノ、此諸君ガ申サレマスルトコロノ本法ノ廢止ノ理由ニナッテ居リマスルトコロノ、其理由ナルモノハ、更ニ根據ノナイモノデアアルト云フトコトヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、諸君第一ノ理由ニ數ヘラレテ居リマスル所ノ石油消費稅ノ爲メニ産業ノ發達ヲ害スルト云フ理窟デアアル、石油ガ或ハ機械ニ用弗ラレ、或ハ動力ニ用ヒラレ、其他ノイロノ産業上ノ爲メニ、若クハ殺蟲油ナドニ百姓ナドガ用ヒマス、殺蟲油ナドニ使ハレル爲メニ之ヲ課稅スルコトハ産業ノ發達ヲ害スルト言ハレルノデアアル、凡ソ一ノ法律ノ廢止ヲ主張セラレマス上ニ於キマシテ、此ノ大ナル間違ヒノ爲メニ、間違ヲ根本トシテ、苟モ一國ノ法律ノ廢止ヲ唱ヘルトハ何事デアアル、何タル無責任デアアル、アノ機械ニモ用弗マスルモノ又動力ニ用弗マスルモノ、殺蟲ニ用弗マス彼ノ輕油ト謂ヒ重油ト謂ヒ、一厘モ稅金ハ掛ッテ居ラナイノデアリマス、稅金ノ掛ッテ居ルノハ燈火油バカリデアアル、重油トカ輕油トカ、機械若クハ動力其他殺蟲油ニ用ユル石油ニハ一厘モ掛ッテ居リマセヌ、一厘モ掛ッテ居ラヌモノヲ稅ガ課シテアルトハ何事デアアル、此ノ如ク無責任ナル間違ッタ事實ヲ證據ト致シマシテ、一國ノ法律ノ廢止ヲ叫ブニ至ッテハ、其無責任眞ニ吾々ハ慨嘆ノ至リデアリマス、ソレカラ第二ノ理由ニナッテ居リマスルトコロノ、瓦斯電氣ナドノ無稅ニ比シテ、石油ニ消費稅ヲ課スルノハ不公平デアアルト云フ理論デアアル、是ハチヨット聽キマス尤モラシク聞エマスケレドモ、諸君甲ノ負擔ナキ理由ヲ以テ乙ノ負擔ヲ免除スル理由ニハナリマセヌゾ、若モ此ノ如キ議論ヲ是認スルナラバ、石油ニ稅ヲ課スルナラバ電氣若クハ瓦斯ニモ稅ヲ課セネバナラヌ證據ニナルノデアアル、是ハ苟モ論理學ヲ學ンダ者デアアルナラバ、瓦斯トカ電氣トカ云フモノニハ稅ガ掛ッテ居ナイカラ、其議論ヲ前提ト致シマシテ、直チニ

石油ノ稅ヲ免除スルト云フ結論ヲ得ルト云フコトハ、ドウシテモ出來ナイノデアラカラ、是ハ其點ニ於テ誤ッテ居リマスガ、更ニ進ンデ此電氣トカ瓦斯トカ石油トカ云フモノニ於キマシテハ、消費稅ハ必ズシモ石油ノミヲ使用シナケレバナラヌモノデハゴザイマセヌ、此ノ如キ燈火用ノ電氣瓦斯及石油ノ場合ニ於キマシテハ、使用者ハ何レヲ使用スルモ、選擇ノ自由ヲ持ッテ居ルモノデアアル、ソレデアリマスカラ獨リ石油ノ價ガ割高デアリマスニモ拘ラズ、其石油ヲ強フルト云フモノデアリマセヌ、凡ソ何モノニ限ラズ、經濟上ノ法則ニ依テ物ノ效用ト價格ト云フモノハ、常ニ均衡ヲ保ッテ參ルモノデゴザイマスガ、此石油ナルモノガ段々諸君カラ色々ナ非難ヲ受ケマスケレドモ、此一石ニ付テ一圓ノ消費稅ガ掛ッテ居リマスケレドモ、此石油事業ナルモノガ段々發達シテ參ルト云フコトニ徴シマシテ、是ガ決シテ不公平デモ亦負擔ノ過重デモナイト云フコトヲ、私ハ事實ニ於テ證明セラル、デアラウト信ズルノデゴザイマス、而シテ又第三ノ理由ト致シマシテ、石油ナルモノハ山間僻地ノ貧民ノ消費スルモノデアルト云フコトヲ言ハレルノデアアル、諸君、此石油ナルモノガ燈火用トシテ用キラレマスノハ主ニ電氣瓦斯ノ無イ所ノ村落ニ於テ用非ラレルノガ主デアリマスガ、此ノ村落ニ於テ用非ラレマス所ノ石油ナルモノヲ使ヒマスル所謂村落ナルモノハ、諸君ノ言ヒマスルガ如ク貧民バカリデゴザイマセウカ、決シテサウデハゴザイマス、村落ト雖モ富者モアリマスシ、中産階級ノ者モアリマスシ、貧民モアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ此石油ナルモノヲ用非マス者ハ、悉ク貧者ノ階級デアアルガ如ク申サレルノハ全ク間違デアアル、電氣及瓦斯ノ無イ場合ニ於テ、石油ヲ消費スル村落ナルモノハ、富者モアレバ中産階級モアリ貧民モアルノデアリマスガ、最モ多イノハ是ハ中産階級デゴザイマス、電氣ノ無イ所ノ村落ニ於テ石油ヲ用非ラレマスル最モ多イノハ中産階級ノ者デゴザイマス、更ニ諸君此村落ニ於キマシテ電燈瓦斯ノ無イ所ノ村落ニ於キマシテ石油ヲ消費致シマスル者ノ實況ヲ見マスルト、實際ニ於テ貧民ナドハ僅カシカ使ヒマセヌ、丁度此富ノ程度ガ上ルニ從ッテ、石油ヲ消費スル額ガ多イノデアリマス、他ノ消費稅ト異リ、全ク此點ニ於テ燈火用ト云フモノハ一般ノ稅源ト致シマシテハ、消費稅ノ稅源ト致シマシテハ、却テ適當ナル性質ヲ持ッテ居ルト私ハ

信ズルノデゴザイマス、石油ヲ消費スル者ハ寒村僻地ノ貧民ダトカ、村落ニ住ンデ居リマスモノヲ一概ニ何ダカ貧乏ノヤウニ申シマスルコトハ、全ク此點ニ於テ誤ッテ居ルコトヲ私ハ確信スル者デアリマス、本日ノ御演說ノ中デ紫安君ノ演說ノ中ニハ伺ハナカッタノデアリマスガ、曩ニ増田君ノ御說明ノ中ニハ確カ外國油ニ比シマシテ、日本ノ内國ノ消費稅ガ高イト云フヤウナ御論ガアッタヤウニ伺ヒマシタガ、サウ云フ意味デゴザイマスト全ク間違ヒデアアル、外國カラ輸入致シマスル所ノ石油ナルモノハ、關稅ヲ徵シマスル外ニ尙消費稅ト云フモノモ内國油ト同ジヤウニ取ッテ居リマス、外國カラ輸入致シマスル石油ニ就キマシテハ、所謂内地ニ於キマスル石油消費稅ヲ免除致シマスル所ノ理由ハ、ドウシテモ發見スルコトハ出來マセヌノデアリマス、此點ハ後ニ増田君カラ御演說ガアルサウデゴザイマスガ、曩ニ御提案ニナリマシタ理由ヲ速記録ニ依テ見マスルト、何ダカソレガ理由ニナッテ居ルヤウデゴザイマシタガ、若シ理由ニナッテ居ルナラバ全ク間違デアアル、之ヲ要シマスルト色々ト尤モラシイ御議論ヲナサイマスケレドモ、石油消費稅ヲ廢シマスル所ノ理由ト申シマスルモノハ、縦カラ見テモ横カラ見テモ、全ク私ハ無イト考ヘマス、此ノ如キ理由ヲ以テ私ハ此石油消費稅ノ廢止ノ法律案ニ反對致スノデゴザイマス

討論終局シ表決ニ及テ院議本案ヲ否決シタリ

次テ(八)案ノ討議ニ移リ人見米次郎君、高木正年君ハ本案ニ賛成、武藤金吉君、大橋松二郎君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ

人見米次郎君ノ演說

本案ハ第二十五議會以來度々提出ニナリマシタモノデアリマシテ、既ニ此織物稅ノ廢セザルヲ得ザル理由ハ度々繰返サレテ居ルノデアリマス、多數黨ノ諸君ニ於テモ從來此ノ稅ニ對シテハ廢稅ノ主義ニ對シテハ餘リニ反對ノ聲ヲ聞カナカタノデアリマス、尙本員ガ今日此處ニ登ッ

テ其理由ヲ深ク述ベザルヲ得ザルハ實ニ悲ム次第デアリマス、本來此織物稅ナルモノハ課稅ノ性質ニ於キマシテ、到底公平ヲ得ナイト云フ性質ノモノデアリマス、其理由ヲ述ベマスル一端トシテ申シマスルガ、例ヘバ此素地物ト、夫カラ縞物、柄物ノ此類ノ物ヲ比較致シマスト云フト、頗ル公平ヲ失ッテ居ルノデアアル、即チ此白縮緬或ハ白絹地ノ如キ、染地トナルベキモノハ染地其儘デ課稅ヲサレ、夫カラ又此縞物トナリ或ハ又友禪ノ如キ柄物トナリマスルモノハ、夫ニ向ッテ課稅ヲサレルノデアリマス殊ニ此縮緬ノ類ノモノニナリマスト云フト、目方ヲ以テ絲ノ量目ニ依テ各、課稅ヲサレマスガ故ニ、外ノモノト違ッテ非常ニ嚴重ニ失シテ居ルノデアリマス、夫カラ此柄物縞物ノ類ノ物ハ主ニ流行圖案ニ依リマシテ代價ノ定マルモノデアリマシテ、原料ノ絲ノ如キ物ニハ左程變リハナイノデアリマス、所ガ此見立ニ依リマシテ非常ニ價格ガ變ッテ來ル、例ヘバ帶地ノ如キモノ一本五十圓ノ帶地モ三百圓ノ帶地モ、素人ガ見タトキニハ左程變リハナクテモ、稅ノ上ニ於テ餘程非常ナ喰違ヒヲ生ジテ來ルコトガ出來マシテ、是等ノ原因カラ到底公平ヲ得ルコトガ出來ヌト云フノガ、理由デアリマス、夫カラ此第二ノ理由ト致シマシテハ、此稅務署ニ於キマシテ營業者ニ命ジテ價格ノ評價ヲセシメタル際ニ當ッテ、圖案ヲ盜マレルヤウナ場合アルノデアリマス、非常ニ圖案ヲ保ツ上ニ付テ營業者ガ苦ムコトガアル、夫カラ又其納稅ノ上ニ於テ商賣ニ掛ルト云フ際ニ、或ハ日曜日其他大祭日等ノ場合ニ於テ、營業者ト取引ノ延期ヲ來シマスノデ、爲メニ商機ヲ失フヤウナ困難ナコトモアルノデアリマス、ソレカラ輸出品トナリマスモノハ戻稅ガアルノデアリマスケレドモ、其戻稅ヲ受取ル手續ガ非常ニ煩雜ナルガ爲メ、營業者ハ之ヲ厭フノデアリマス、此三ツノ理由ノモノガ此本稅ノ爲メ營業者ヲ苦メルコトガ著シイモノデアリマス、夫カラ第三ニハ一般ニ普及スル所ノ普通ノ木綿物及麻物等ニ至リマシテ、最モ此稅金ガ苛酷ナ重イ稅金ニ失シテ居ルノデアリマス、此重イト云フ一例ニ付キマシテ、麻布帷子ニ付キマシテノ一例ヲ分析ヲ申上ゲマシタガ、白麻布即チ晒布ニ於キマシテ、滋賀縣ノ產出品タル晒布ニ於テ中幅「コロク」ト申シマスモノニ付テ一例ヲ取ッテ申シマスト云フト、一段一圓ヲ以テ賣却サレル所ノ麻布ガ、原絲ガ何程掛ッテ居ルカト云フト七十四錢デアアル、夫カラ織賃

ガ十二錢デアアル、夫カラ雜費ガ四錢デアアル、是等ニ課スル稅金ガ何程カト云フト、七錢稅金ガ掛ッテ居ッテサウシテ合計九十七錢ト云フモノガ原價ニナッテ、漸ク營業者ハ三錢ヨリ利益ヲ得ナイノデアアル、三錢ノ利益ヲ得ルガタメニ七錢ノ稅金ヲ拂ッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ「コロク」ト申シマスモノニナルト、一段ガ六十五錢、即チ是等ハ疊ノ縁ニ使フモノデアリマシテ、最モ廣ク消費サレルモノデアリマスガ、其六十五錢ノ内ニ就テ原絲代ハ僅ニ五十錢、ソレカラ織賃ガ六錢五厘、雜費ガ三錢稅金ハ六錢五厘ヲ徵收サレルノデアリマス、之ニ對シテ五厘ノ損失ヲ爲スノデアリマス、ソレカラ縞物ノ如キモノニナレバドウ云フ勘定ニナルカト申シマス、一圓二十五錢ニ賣却サレルモノガ其中デ絲代一圓拂ヒマシテ、サウシテ織賃ガ十二錢、雜費ガ六錢デ、其處ヘ稅金ガ十錢掛ッテ一圓二十八錢トナッテ、三錢ノ損トナル、ソレカラ又縞物ノ中ニモ其次ノ分デ一圓三十七錢五厘デ賣却サレルモノガ、普通一般ニ行ハレルモノデアリマス、其中ノ原絲代ガ一圓五錢デ、ソレカラ織賃ガ十二錢、ソレカラ雜費ガ六錢デ、其上稅金ガ十二錢掛カルト云フ次第デアリマス、如何ニ稅金ガ是等ノモノニ對シテ重イカト云フコトハ能ク御分リニナルデアラウト思ヒマス、是等ノモノハ總テ農家ノ副產物トナリマシテ、農家ノ娘達ガ婚嫁ノ費用ニ充テマスタメニ副產業トシテ多ク造ルモノデアリマス、所ガ斯様ナ僅カニ僅カニ三錢ノ利益ヲ得ルガ爲メ、或ハ十錢十二錢ト云フ重イ稅金ヲ掛ケラレルト云フコトナッテ來マスルト、非常ニ副產物ヲ害スルコトニナルノデアリマス、殊ニ此絹織物ノ一段ニナッテ來マスルト、日本ハ生絲ノ國デアリマシテ、ドウシテモ生絲ノ原料ノ儘デ、輸出セヌデ製作ヲ加ヘテ絹物トシテ外國ニ輸出シタナラバ大ニ利益ニナル等デアアル、所ガ縞物ニ向ッテ重イ稅金ヲ課スルコトニナリマスルト、非常ニ織物業ヲ萎縮セシメマス、尤モ外國ニ輸出スル品物ニ對シテ政府ハ稅金ハ徵收致シマセヌケレドモ、織物業者其者ヲ萎縮セシメタ結果ハ、ヤハリ一般產業ヲ阻碍スルコトニナッテ來ルノデアリマス、元來政府當局者ノ中ニ於キマシテモ、農商務省ナドハ努メテ產業ノ發達、農家ノ副產物ノ進歩ト云フコトニ付テハ非常ニ獎勵ヲ加ヘラレテ居ル、ソレニモ拘ラス一面ニ斯ル重イ稅金ナリ不公平ナル稅金ヲ徵收サレマスト云フト、折角獎勵サレテモ何等效力ガ無イコトニ

ナルノデアリマス、斯ル理由ヲ以テ私共ハ從來全廢ヲ唱道シテ來タ者デアリマスガ、茲ニ時ニハ往々誤マレル論者ガアリマシテ、或ハ木綿物ハ重イモノデアラウ、麻物ハ重イモノデアラウガ、絹物ハ税金ヲ課シテモ宜カラウト云フ論モアルノデアリマス、是亦大變ナ間違デアリマス、絹物ノ中ニ於キマシモ代價ノ廉イモノハ五圓六圓位ノモアリマセウ、夫カラ又木綿物ニ致シマシテモ或ハ久留米紵ノ如キモノハ一段八九圓ノモノモアリマセウ、ソレ故ニ性質ガ木綿ダカラ免稅スル絹物ダカラ課稅スルト云フコトハ理由ニナラヌノデアリマス、ソレカラ又近年木綿ト絹トノ交織、木綿ト毛織ノ交織、木綿ト紙トノ交織、種々ナ交織ガアル、殊ニ絹絲ニ於テハ人造絹絲ヲ交織ニシタモノハ、或ハ分析シテ見ナケレバ非常ニ鑑定上ニ困難ヲ感ズルモノガアリマス、ソレ故ニ木綿ハ免稅ニスル、麻ハ免稅ニスルガ、絹物ハ課稅スルト云フコトニナリマスト非常ニ困難ナ話ニナリマス、ソレカラ又時ニ依リマスト云フト、イロ／＼サウ云フ交織物ヲ鑑定ヲシタナラバサウ云フモノハ分ルデアラウト云フコトガアリマスケレドモ、當業者デサヘモ此鑑定ヲスルニ非常ニ苦ム場合ガアリマスカラ、之ヲ以テ此稅ヲ輕メルト云フコトノ理由ニハナラヌノデアリマス、私ハ寧ロ稅ノ性質上ヨリ斯ル産業ヲ阻碍スベキモノハ、早ク廢稅ニシテシマッタ方ガ宜カラウト思フノデアリマス、所ガ又輕薄ナル論者ガアリマシテ、斯ウ云フ税金ガ惡イ、惡イ稅金ニ付キマシテハ、不平ヲ言フ様ナモノ即チ織物業者ニ對シテ、多少慰撫スルトコロノ方法ヲ執ツテ成ハ戻稅ヲヤル、即チ其口實トスル所ハ何デアルカト申シマスルト、組合ノ事務所ヲ以テ此徵稅ノ場所ニ充テルトカ、或ハ徵稅ノ事務ヲ補助セシムルトカ云フ口實ヲ藉ツテ、以テ僅カナ稅金デ彼等ノ歡心ヲ買フト云フヤウナ姑息ノ手段ヲ執ル者モアルノデアリマス、是ガ本來廢稅ノ趣旨ニ對シテ害ヲ爲スノデアリマス、彼等ノ所ニ於キマシテハ斯ンナ事デ稅法ノ不備ナルモノヲ補フコトガ出來ルモノト思ウテ居リマシタナラバ、ソレハ大ナル誤解デアラウト思フノデアリマス、私ハ斯ル理由ヲ以テ本案ニ贊成セラレンコトヲ希望致シマス

武藤金吉君ノ演說

織物稅金廢案ニ反對ヲ致ス演說ヲ致ス積リデアリマス、此案提出ノ當時ニ於キマシテ、國民黨ノ清水君ハ、其說明ニ於テ私共聽キ足ラナイ所ガアッタノデアリマス、今日人見君ノ御演說ニ依テ其趣意ノアル所ヲ承知シ得ルコト、喜ンデ居リマシタトコロガ、何ゾ圖ラン、人見君ノ御演說ハ全廢ノ理由トシテハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、私ハ其理由ノ材料ノ不足ナルヲ遺憾ニ感ズル者デアリマス、此問題モ十年ノ間天下ノ大ナル問題ノ一ツニ算ヘテアル事柄デアリマスカラ、此問題ニ對シテ我黨ノ所見ヲ公ニスル必要ガアリマスカラシテ、反對ノ論ニ矢ヲ向ケル必要ハ殆ドナイガ、我黨ガ織物稅ニ對シテ如何ナル所見ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ滿天下ニ知ラスルタメニ、本員ハ演說ヲスルノデアリマス諸君、織物消費稅ハ惡稅ト稱ヘラレテ居ル、其惡稅ノ名前ヲ付ケラレタルトコロノ御方ハ島田三郎君デアアル、島田三郎君等ガ既往十箇年ノ間ニ於テ廢稅問題ヲ土臺ニシテ選舉民ヲ煽動シ天下ニ呼號シテ居ル、其島田三郎君ハ此前ノ石油稅全廢ノ議論ニ、是ト同様ニ唱ヘラレテ居リナガラ、全廢論ニ立タヌデハナイカ、又今日織物稅ノ議事ニ當ツテ、今此席ニ居ラレヌト云フ狀態ニナツテ居ル、殆ド敵ハ自ラ潰ヘテ矢ヲ放ツ必要ガナイ狀態ニナツテ居ルノデアリマス諸君、惡稅トハ何ガ惡稅デアルカ、徵收ノ方法ガ惡イカラ惡稅ト云フノデアリマセウ、吾々ハ全廢ニ反對デアアルケレドモガ、之ヲ減稅スル整理ヲスル法律ヲ改正スルト云フコトニ付テハ大ニ注意ヲ要スル點ガアルト思フノデアリマス即チ今人見君ガ言ハレタ點ハ、即チ整理減稅ヲスルト云フ所ノ趣意ナレバ相當スルノデアアルガ、廢稅ヲスルト云フ所ノ趣意ニハナラヌノデアリマス而シテ進歩黨ノ——國民黨ノ諸君ハ、織物稅ニ對シテ全廢ヲ呼號スルケレドモガ、織物稅ノ御調査モナク、織物當業者ノ事情モ少シモ御存ジナク、唯人氣ニ投ゼンガタメニ此議案ヲ出サレテ居ルノデアアル、諸君、今ヤ諸君ハ國民ノ要求、輿論ト稱シテ居ルケレドモガ、國民全體ノ聲モ當業者モ諸君ニ惘レテ居ルノデアリマス諸君ヲ相手ニシナイノデアリマス、故ニ今日是迄廢稅論ヲ唱ヘタ所ノ論者ハ、氣耻カシクテ、今日此演壇ニ立ツコトガ出來ヌヤウナ狀態ニナツテ居ル極ク最近ニ於テ斯ウ云フ手紙ヲ全國ニ配布サレテ居ル、能ク御聽キナザイ「織物消費稅ノ撤廢ニ關シテハ爾來十箇年間或者ノ教唆ニ依リ努力奮闘モ何等效果ナキ

ハ御同様此上モナキ恨事ニ御座候へ共顧ミレバ我等同業者ハ國論ノ中心タル議院ニ多數ヲ有スル政友會ト脈絡ノ缺如シタル結果主旨ノ通徹セザルモノニ外ナラズト確信仕リ候因テ吾々同業者ハ從來ノ方針ヲ捨テ「能ク聽ケ」減稅的徵收法ノ整理ヲ期待センコトヲ望ミ申候幸ニ政友會ハ國家ノ爲メ斯業ノ爲メ穩健ナル公平ナル誠意ヲ以テ本問題ノ解決ニ盡力セラル、ニ至リ候事感謝ニ不堪候我國財政ノ状態ハ今俄ニ約二千萬圓ノ本稅全廢ヲ許サザル事情有之ヲ如何ニセン然ルニ徒ラニ之ヲ主張ノミニ走ルハ所謂百年河清ヲ待ツノ類ニ屬シ到底不可能ノ事タルベキハ火ヲ賭ルヨリモ明ナル事實ニ御座候「織物稅廢止同盟會」々々長西澤善七君ガ、全國ノ幾萬ノ當業者ニ配布セラレタル是ハ手紙デアリマス既ニ當業者ニ斯ノ如キ手紙ヲ出シ、又我黨ハ多數國民ヲ代表シテ居ル以上ハ諸君ノ唱ヘル輿論ハ何レニアアルデアアルカ、國民黨少數ノ三十有餘名ノ言論ガ天下ノ輿論デアリマスカ、又同志會諸君ハ昨日ノ事ヲ忘レタルガ如ク廢稅ヲ耻カシク思ヒ、錚々ノ御方ガ島田君首メ道ゲテ居ルト云フコトハ如何ナル有様デアアルカ既ニ織物稅ハ大體ニ於テ唯今申ス通りノ成行デアリマシテ、我黨ハ適當ノ減稅ヲ爲シ整理ヲスルノ必要ヲ認メマシテ一千九百萬圓ノ織物稅——此課稅率ハ十一分ノ八ニナツテ居リマスモノヲ、十一分ノ七ニ減ジマシテ、サウシテ約二百二十萬圓ヲ減稅ヲスル積デアリマスソレカラ又取扱費ト致シマシテハ從來織物稅ハ此稅務署ガ……サウシテ唯今デハ此評價ヲ致シテ居ルデアアル、即チ人見君ノ言ハレル徵稅ノ方法ガ惡イト云フノハ、私モ人見君ト同感デアリマス、此點ニ付キマシテハ組合ニ相當ノ手數料ヲ交付致シマシテ、サウシテ今日ノヤウニ不公平ナル課稅ノ標準ノナイコトヲ期スト云フコトガ、織物稅ヲ整理スルノ第一ノ要務ト確信ヲスルデアリマス、此點ニ付テハ人見君ハ滋賀縣ダケノ例ヲ引カレテアリマスケレドモ、全國皆然デアリマス、是ハ此地方々々ニ依リマシテ、例ヘバ八王子ニシテモ京都ニシテモ、愛知ニシテモ桐生ニシテモ、足利ニシテモ亦山梨ニ致シマシテモ、松山ニシテモ博多ニシテモ、其原料ヲ違ッタモノ、又麻絹木綿總テノモノニ違ッタ課稅ヲ致シマスカラシテ、之ヲ協定スルコトハナカク、困難デアリマスカラ、寧ロ是ハ組合ニ託シテ、組合ニ手數料ヲ交付シテヤルト云フコトニナリマシタナラバ、全國負擔ノ公平ヲ期スルコト

トガ出來ルノミナラス、一面ニ於テハ脫稅通稅ヲ防グコトガ出來ルデアリマス、尙又一面ニ於テハ生産獎勵ノ方法ヲ助ケマシテ、輸出絹物ヲ盛ナラシムルト云フコトガ出來ルデアリマス、諸君、我國ノ輸出織物ハ御承知ノ通り明治二十六年ニハ僅ニ二百五十萬圓シカ絹織物ハ輸出シテ居リマセヌガ、今日ハ羽二重ト加工染織シタモノヲ合セマスレバ、昨年度ニ於テハ約五千萬圓ニ垂ントシテ居ルデアリマス、此方法ハ實ニ我國ノ生産業ヲ發達スル上ニ於テハ大關係ヲ有ッテ居ル次第デアリマス、即チ人見君ガ説イテ及バザリシモノハ、此點ニアルト信ズルデアリマス、諸君、故ニ此取扱ノ手數費トシテ百分ノ一ヲ交付スルト云フコトハ、頗ル私ハ至當ナル方法デアッテ、内ニ於テハ此生産ヲ獎勵致シ負擔ノ公平ヲ期スルト云フコトニナルデアアルト信ズルデアリマス、其次ニハ取扱方法ヲ統一スルコトデアリマス、取扱ノ方法ハ課稅ノ標準ト致シマシテハ唯今申シタ通り千差萬別デアリマス、例ヘバ原料ヲ基トシ或ハ意匠ヲ基トシ、或ハ時價ヲ調査シ、或ハ稅務官ノ獨斷ヲ以テスルモノモアル、或ハ賣買價格ニ依テ決定スルモノモアル、地方ニ依テ少シモ統一ガ著イテ居リマセヌカラ、是ハ是非共此統一ヲ著ケルト云フコトニシナケレバナラヌデアリマス、又更ニ納稅擔保トシテハ、從來ハ有價證券ダケガ許サレテ居ッタノデアリマスガ、此範圍ヲ擴張致シマシテ、彼ノ酒造稅ノ如ク不動産ヲ擔保ニシテ納稅擔保トスルコトノ出來ル便宜ヲ取ルト云フコトハ、斯業ヲ發達セシメテ當業者ヲ獎勵スルニ最モ肝要ナルコトデアアルト信ズルデアリマス、斯ノ如ク我黨ハ織物稅ノ全廢ニハ反對デアリマスケレドモ、減稅及整理、又斯業ヲ發達セシムル上ニハ、將來我國ハ他ノ半製品ノ絹絲ヤ半製品ノ羽二重ヲ輸出スルヲ以テ、満足スルモノデアリマセヌ、此等ノ點ハ我黨ガ生産獎勵ノ上ニ於テ、積極政策ノ上ニ於テ將ニ取ル所ノ方針デアリマシテ、即チ全廢ニハ反對デアリマスガ、此整理即チ減稅ト云フコトヲ斷行シヤウト思フノデアリマス、此等ノ法律案ニ付キマシテハ、既ニ我黨カラ法律ノ改正案モ出テ居ル次第デアリマスカラ、法律ノ改正案ニ付テハ、更ニ我黨カラ説明ヲスル等デアリマヌ、斯様ナ理由デアリマシテ諸君、今ヤ天下ノ空氣ハ廢稅論ヲ望ム者ハ當業者ニハ殆ド一人モナイ又天下ノ織物稅廢止ト云フ聲ハ殆ド打切ニナツテ居ルニモ拘ラズ、諸君ガ行懸リノ上カラ絮

說暴論ヲ逞シクシテ、國民ヲ惑ハシ其歡心ヲ買ハントスルガ、御氣ノ毒ナガラ諸君ノ御議論、諸君ノ絮說暴論ハ國民ノ容ルル所トナラナイト確信致シマシテ、全廢ニ反對スル次第デアリマス
高木正年君ノ演說

私ハ織物稅ノ廢止法律案ニ對シテ、本日ハ演說ヲ致サヌ考デアッタノデス、然ルニ唯今敬愛スルトコロノ武藤金吉君ハ、國民黨ノ廢止法案ニ對シテ論辯ヲ試ミラレマシタガ、如何ニモ其御論ハ吾々ノ期待シタ所ヨリ小ナル根據ニ依テ論辯ヲセラレタノデアリマス、而モ事實ニ於テ全ク我國ノ産業ノ發展ヲ無視セラレテ居ル御論デアルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、此ニ於テ私ハ己ムナク此壇上ニ立ッタノデアリマス、私ノ壇上ニ立ッタニアラズシテ武藤君ガ私ヲシテ立タシメタノデアルト、斯様ニ私ハ思ッテ居ルノデアリマス、私ハ失禮ナガラ武藤君ノ如キ少サナ議論ヲ阻止セラレタカト云フト、昨日ノ營業稅法案ニ於テ申上ゲタルガ如ク、煩瑣ナル稅法ノ障礙ニ依テ、總テノモノガ悉ク其前途ヲ妨ゲラレテ居ルノデアリマス、殊ニ織物稅ニ於テ然リト申サナケレバナラヌノデアリマス、一體我國ノ輸出貿易ハ如何ナルモノニ依テ形ヅクラレテ居ルカト申スト、甚ダ殘念ナガラ我國ノ輸出貿易中ニ於テ原料ヲ我國ノ供給ヲ受ケテ海外ニ之ヲ加工シテ出スモノハ頗ル少數デアアルノデアリマス、六億ノ輸出品中、生絲若クハ生絲ニ關係ノ輸出品ニ於テ一億九千萬圓ニ達スル外ハ、第二第三ニ居ル所ノ輸出品ノ中デ原料ヲ我國ニ求ムルモノハ、水産物ノ幾何、製茶ノ幾何、麥稈眞田ノ幾何、經木眞田ノ幾何ト云フガ如ク、誠ニ些細ナモノデアアルノデアリマス、其多クハ海外ニ材料ヲ仰ガネバナラヌト云フ状態ニナッテ居ルノデアリマス、輸出ヲ力メントスレバ先ヅ輸入ガ増加スル、棉絲貿易ノ如キハ即チ此類デアリマス、毛織物ノ如キハ即チ此類デアリマス、此ニ於テ唯獨リ生絲若クハ生絲關係ノ品ガ、我輸出貿易ノ中ノ漸クニシテ三分ノ一ノ數ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ我國ノ此原料ヲ有スル所ノ輸出品ハ、總

テノ輸出品ノ多クガ外國ノ品ニ依テ加工シテ、僅ニ我國ニ貨銀ヲ落シテアルニ拘ラズ、我國ニ原料ヲ有シナガラ之ヲ加工セズシテ外國ニ出スト云フコトノ不利益ハ幾何デアアルカト云フコトヲ考ヘ見ネバナラヌノデアリマス、諸君、一體原料ノ儘ニ物産ヲ出スト云フ國ガ、世界ノ工業的文明國デアリマスカ、斯様ニ申シタナラバ米國ガヤハリ棉花ヲ輸出スルノデハナイカト云フ御叱リヲ受ケルモ知レヌノデアリマス、併シ米國ガ棉花ヲ輸出スルハ、自國ノ製造者ニ於テ製シ得ラ、ダケケヲ製シタ後ノ餘リヲ輸出スルノデアリマス、我國ガ生絲ノ總テトハ申シマセヌ、セメテ生絲産出ノ半ダケデモ之ヲ織物トシテ海外ニ出スコトヲ得マシタナラバ、武藤金吉君ノ所謂五千萬圓ハ進ンデ一億圓トナラネバナラヌノデアリマス、正貨ノ補充、年々少クモ一億圓ノ補充ヲ爲ス正貨ノ半ハ、今後織物ノ上ニ於ケル發展如何ニ依テ、之ヲ補充セラル、ノデアリマス、斯様ニ考ヘテ見レバ織物ノ發展ト云フ程我國ニ大切ナ問題ハ、無イノデアリマス、然ルニ今日ノ輸出状態ハドウデアアルカ、武藤君ハ僅カニ十一割ヲ六割ニ減ジテ、是デ輸出ノ獎勵ニナルト云フコトハ如何ナ事デアリマス、是ハ機業地ニ關係ノ武藤君トシテハ甚ダ説明ヲ誤ラレタルモノト私ハ言ハネバナラヌノデアリマス、是ヨリ其事情ヲ申シテ見マセウ、今日輸出ニ於ケル織物ガ如何ナル爲メニ其前途ヲ阻礙セラル、カト云フコトハ、武藤君御承知デナケレバナラヌノデアリマス、武藤君ハ然モ御洋行ヲナサルトキニ織物ノ見本マデ持ッテ行ッテ、海外ヲ能ク御調べニナッタルヲ篤志者デアアルノデアリマス、近來日本固有ノ織物ガ歐羅巴ニ稍賣行ク形勢ヲ持ッテ居ルト云フコトモ、亦武藤君ハ御承知デアリマセウ、然レドモ日本織物ヲ海外へ出スニ於テハ、必ズヤ所謂試賣ヲ爲サネバナラヌ、試ミニニ之ヲ海外ニ送ッテ彼ノ華客ノ意向ヲ聽カナケレバナラヌノデアリマス、此ニ至ッテ我織物ノ輸出ノ前途ハ、常ニ織物稅ニ妨ゲラレテ居ルノデアリ、斯様ニ申スト高木正年ハ戻稅ノアルコトヲ知ラヌカト云フ御叱リヲ受ケルカモ知レヌ、固ヨリ知ッテ居ルノデアリマス、戻稅ハアルガ若シ試賣ヲ爲シテ、其品ノ賣レザルトキハドウナルノデアリマス、多クノ資本ヲ掛ケテ、然モ唯僅ニ日本ノ布ノ少シ位ヲ海外へ持ッテ行ッテ、是ガ試賣トナルモノデアナイノデアリマス、歐羅巴若クハ米國邊リノ取引所ト云フモノハ、其産地ニ於テ多額ノ品ノ出來

ルト云フコトノ保證ガ無ケレバ、容易ニ其販賣ヲ引受ケナイノデアリマス、是ハ幾ラモ是マデ日本ノ産物ノ上ニ例ノアル事デ、今其事ヲ一々申上ゲマセヌガ、鐘詰業ノ如キニ於テモ、嘗テ之ガ賣レナカッタノハ正シク我國ニ於ケル生産額ガ幾何デアルカト云フコトノ證明ガ分ラナイ爲メニ、大ニ取引ヲシナカッタノデアリマス今日ハ漸ク是等ハ我國ニ多額ノ物ガ出來ルト云フ證明ヲ得テ、鐘詰杯ハ米國邊リヘ盛シニ行クヤウニナッタノデアリマス——出來ナツカコトヲ申セバ今自分ノ記憶ヨリ十分是等ノ事ヲ申サレマスガ、枝葉ニ涉リマスカラ此處ニ於テハ申サヌノデス、申セト仰セガアレバ申シマス斯様ナ状態デアッテ多クノ資本ヲ掛ケテ試賣ヲ爲ス、試賣デアルカラ必シモ是ガ賣行クト云フコトハ無イノデアリマス、若シ賣行カザルトキハ内地ニ戻ッテ來テ、ソコデ織物稅ヲ取ラレルノデアリマス、賣レズシテ損ヲシテ、其品ヲ持餘シテ而モ内地デ賣レナイ所ノ品、歐羅巴向キノ品ヲ造ッタモノガ賣レズシテ歸ッタトキハ、此品ヲ引取ル爲メニ稅ヲ拂ハネバナラヌ、斯様ナ事ガ事實織物ノ前途ニ大ナル妨ヲナシテ居リマス今迄十一割ノ七デアタモノヲ、十一割ノ六ト爲シタカラ織物ノ將來ニ於テ輸出ガ獎勵サレルト云フガ如キハ、殆ド根據ナキ御論ナリト私ハ評サネバナラヌノデアリマス 織物稅ハ各産地毎ニ依テ七半モアレバ又八モアリ、八以上ニ行ッテ居ル所モアル、此位不公平ナ此位不平均ナ稅ハ無イノデアリマス、是ハ申上ケズトモ武藤君ハ御承知デアアル譯デアリマスガ、御尋デアルカラ申上ゲテ置クノデアリマス、一體我國ノ人口ノ上ヨリ考ヘテ見マシテモ、年々五十萬乃至六十萬ト云フ人口ガ増加スル、其半ハ女子デアアルト云フコトノ御記憶ヲ願ヒタイ、斯ノ如ク増加スル人口、男子ハ之ヲ海外ニ出スコトガ出來ル、女子モ亦海外ヘ出スコトハ出來ルガ、比較的女子ハ海外ヘ出ルトコトガムツカシイノデ、女子ノ副業ト云フコトハ確ニ國ノ生産ノ上ニ付テ大ナル力ヲ有スルト同時ニ、若シ之ヲ研究セザルトキニ於テハ、大ナル損失ヲ受ケネバナラヌト云フコトヲ覺悟セネバナラヌノデアリマス、女子ノ職業トシテ織物ガ最モ良イト云フコトヲ考見ナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ我國ノ機業地若クハ半機業地ニ於ケル織物ノ状態ハドウデアアルカト云フト、成程機業地ニ於テハ組合モ出來テ居リマス、是等ハ武藤君ノ期待セル所ニ依ッテ幾何カ收稅ノ手段ヲ省ク

コトガ出來ルカモ知レヌノデアリマス、併シ半機業ニ在ッテ僅ニ幾時間ヲ機織ニ費シ、若クハ夜間乃至暑中午睡ノ時ヲ利用シテ、一日一時間カ二時間ヲ以テ此木綿機織、若クハ其他ヲ爲ス者ノ上ニ在ッテハ、煩シキ稅務吏ノ監督ト云フモノニ對シテ、是マデ殆ド其弊ニ懲リテ居ルノデアリマス、是等モ組合ニ入レバ宜イデヤナイカト言フガ、僅カ一年二十段カ二十段ヲ織ル、斯カル機織女子ニアッテハ、組合ニ入ッテ多額ノ組合費ヲ負擔スルヨリモ、面倒ナル組合規則ノ下ニ束縛セラレ、ヨリハ、何方カト云フト織物ヲ廢シタ方ガ宜イト云フ傾向ヲ持ッテ居ルノデアリマス、織物ハ獎勵シナケレバナラヌト言フガ、一方ニ於テハ織物稅ノ爲ニ之ヲ壓迫シ、之ヲ禁制スル形ニナッテ居ルト云フコトハ、決シテ其發達ノ上ニ付テ利益アル行動ナリト申スコトハ出來ナイノデアリマス、諸君ハ我國ノ織物ハ發達スベキ素質ヲ有ッテ居ルヤ否ヤト云フコトニ付テモ、御參考ニ申上ゲネバナラヌノデアリマス、初メニ申上ゲタ如ク、我國ガ原料ノ儘外國ニ輸出スル、是ハ文明的工業國トハ言ハレヌノデアリマス、彼ノ伊太利ノ如キハ如何デアリマス、武藤君ハ親シク伊太利ヲ見聞セラレタ人デアリマスガ、伊太利ハ日本ノ絲若クハ支那ノ絲ヲ多ク入レテ居ルノデアリマス、就中日本ノ絲ヲ最モ多ク入レテ居ルノデアリマス、自國ノ絲ヲ以テ之ヲ佛蘭西ノ機ニ供給スル以上ニ、日本ノ多クノ絲ノ供給ヲ受ケテ居ルノデアリマス、而シテ是ハ如何ニシテ伊太利ノ關門ヲ經テ佛蘭西ニ是ガ行クカト申スト、伊太利ハ日本ト同ジク火山國デアッテ、清ラカナ湖水ニ富ミ、清ラカナ水ニ富ンデ居ル國デアリマス、唯日本ト異ルノハ、彼ハ半島國デアッテ、我ハ島國デアアルト云フ違デアリマス、伊太利ハ何ニ依テ日本ノ絲ヲ需要シ、而シテ之ヲ佛蘭西ニ更ニ供給スルカト云フト、伊太利ハ天然ノ清ラカナ水ニ依テ之ヲ染メ、練リ且ツ濯イテ、之ヲ佛蘭西ニ供給スルノデアリマス、セメテ日本ガ伊太利ノ如ク之ヲ染メテ海外ニ出スト云フコトニナッテモ、利益ハ増加スルノデアリマス、水ト織物ト云フモノハ、斯様ナ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマス、水ト絲トハ、斯様ナ關係ヲ持ッテ居リマス、我國ニ於テモ人見君ノ郷里ナルトコロノ滋賀縣ハ、即チ琵琶湖ナルトコロノ湖水ガアルノデアリマス、我國貿易品ノ最モ良好ナリトスル長野縣ニ於テハ、所謂諏訪湖乃至ハ、長野縣ヲ中心トシテ流出スル所ノ多クノ河川ノ清ラ

カナル水ニ依テ、製絲業ハ營マレツ、アルノデアリマス京都ノ如キモ其通り、武藤君ノ御郷里ノ如キモ利根川ナル水ニ依テヤハリ織物ハ出來ルノデアリマス、織物ト水ノ關係ハ斯ノ如クデアリマス、是ハ獨リ今日ノ機業地ノミデハナイノデアリマシテ、到ル處清ラカナル山川、清ラカナル湖水ガアル我國ニ於テ、此天然ノ水ヲ利用シテ織物ヲ發達サセルト云フコトハ、日本ガ工業國タル希望ノ上ニ於テ、是非共貫徹シナケレバナラヌ事柄デアラウト思ヒマス、所ガ今日マデ水ノ害ヲ受ケルガ、水ヲ利用スル織物ヲ妨ゲルト云フコトハ、何タル事デアリマス、何デ水ノ害ヲ受ケルカ、島國デアッテ、火山國デアッテ、水ニ富ンデ居ル代リニ、三年五年ノ間ニハ常ニ水ガ出テ多大ノ損失ヲ受ケラ居ル、セメテ此代リニ織物デモ發達セシメテ水ニ失フトコロノモノヲ工業ヲ發達セシメテ、我國ノ產物ヲ増加スルト云フコトハ、一方ニ於ケル水ノ損害ヲ償フ上ニ於テモ、最モ好キ手段ト言ハネバナラヌノデアリマス、斯様ナ天然ノ素質、斯様ナ我國人口増加ノ上ニ自ラ備ハルトコロノ良好ナル婦女子ノ職業ヲ、織物稅ナル煩瑣ナル稅ノ壓迫ト其規則トノ束縛ニ依テ、是ガ發達ヲ妨ゲルト云フコトハ、一日モ之ヲ躊躇スルコトノ出來ナイノデアリマス、織物稅ハ斯様ニ申上ゲマスレバ、オ前ノ議論ニハ服スルガ、財源無キヲ如何セント云フ御論ニナルカモ知レマセヌガ、ソレハ過日モ營業稅ニ付テ申上ゲタ通、所謂政府ガ財政ノ按排如何ニ依ッテ出ルノデアリマス、三年度ノ豫算ハ通過シテモ、此豫算ノ上ニ現ハレ來ルトコロノ總テノ財源ト云フモノハ、政府ガ誠意ヲ以テ第二期ノ制度整理ヲ行ヒ、假令行ハザルモ歲入ノ自然増加ニ依ッテ、必ズヤ一千万——獨リ二千萬圓ノミデハナイ、營業稅全廢ト共ニ他ノ多クノ廢稅案マデ産ミ出スコトガ出來ルノデアリマス、昨日政友會ノ諸君ニ申上ゲマシタ通、政友會ノ諸君ガ眞ニ國民ヲ代表シ、國民ノ痛苦ヲ思ヒ、今日最モ困難ニ陥ルトコロノ我國ノ財政狀態ヲ改善スルト云フ御手腕ト、此御誠意ガアッタナラバ、何故ニ自ラ内閣ニ立チ自ラ次官トモナッテ、今日ノ財政ヲ調理ナサレザルカト云フコトヲ、昨日申上ゲタノデアリマス、其通り諸君ガ一タビ御奮發ニナレバ、此廢稅ナドハ何デモナイ、ワザ／＼私ノ演說ニ反對スル程ノ暇ヲ御潰シニナラヌデモ、直ニ此事ハ決行スルコトガ出來ルノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマシタラ、武藤君ニ對シテ御

答スルニ足リルト思ヒマスカラ、私ノ演說ハ此處デ止メテ置キマス

大橋松二郎君ノ演說

私ハ此壇上ニ立チマシテ餘リ長イ御話ヲシテ諸君ヲ苦シメルガ如キコトハ、致サナイ積リデアリマス、唯此織物稅ノ廢稅ノ高木君其他ノ人見君アタリノ御意見ニ對シマシテ、聊カ吾々ノ信ジテ居リマスルトコロノ所見ノ異ナルトコロヲ述ベテ、以テ此廢稅論ノ諸君ニ御反省ヲ乞ヒタイ積リデアリマス、私共ハ斯様ニ存ジマス、元來此稅ト申シマスルモノハ、三億四千萬圓ノ唯今十六種ノ稅、此稅ヲ實ニ是ハ輕キニ過ギル、コンナ結構ナ良イ稅デアルト云ッテ拂ッテ居ル人ハナイト思フ、若モ他ニ一人モ不服ノナイ方法ヲ以テ取り得ルナラバ、此十六種ノ稅ヲ盡ク廢シテ、サウシテ國民ノ中一人モ不平ノナイトコロノ其方法ニ依テ徵收スルガ宜カラウト思フ、併ナガラ斯ノ如キコトハ、到底發見スルコトハ出來ナイノデアアル、今ノ廢止ノ案ニナッテ居リマストコロノ織物消費稅ト申シマスルモノガドウデアアルカト云フト、二千萬圓ト云フ金高デアアル、此二千萬圓ト云フ金高ハ、唯今ノ帝國ノ歲入ノ中ニ於テ、第五位カ四位ニ屬スルトコロノ程ノモノデアルト存ジマス、而シテ此性質ハドウデアアルカト申シマスルト、先刻人見君アタリノ御意見カラ伺ヒマス、此一面ニ於テノ手續、此事ニ付テハ武藤君カラ辯解サレマシタヤウデゴサイマシタガ、滋賀縣ハ白布ノ出來ル所デアッテ、サウシテ此上ニ於テ甚ダ薄利デアアル、一段ニ就テ十錢内外ノ稅ヲ課セラレルトコロノモノニ於テ、動モスレバ其稅程モ製造家若クハ取扱フトコロノ者ガ利益ノ無イモノガアル、斯様ナルコトヲ言ハレマシテ、此織物稅ハ即チ惡稅デアアルカノ如ク言ハレテ居リマス、是ハ私ハ考ヘマスルニ、此織物ノ上ニ詰リ競争ノ結果ガ薄利ニナリマシタノデ、此稅ノ罪デハナカラウト思ヒマス、若シ此稅ヲ廢シマシタル結果ニ於テ、直チニ此白木綿トカ若クハ白布トカ申スモノ、近來種々ナル動力ヲ以テ之ニ類似ノ織物ヲ製造スルコトガ出來得テ、工賃ノ上ニ於テ競争ノ出來得ルトコロノ此競争ヲ避ケ得ルコトハ出來ヌノデアラウト思ヒ

マス、税其モノヲ廢シマスレバ、織物ガ其税金ダケハ全體ニ低クハナリマセウ、所謂消費者ヲシテ此消費稅ヲ拂フトコロノ義務ヲ免除スルコトガ出來マセウカナレドモ、製造家ノ利益ヲ高メルト云フコトハ、此稅ノ廢止ニ依テハ目的ヲ達セヌダラウト私ハ考ヘルノデゴザイマス、ソレカラ私ハ次ニ高木君ノ御說ニ付テ、少シ同様な論法デゴザイマスケレドモ、之ヲ御話ヲ申上ゲテ見タイト存ジマス、此中高木代議士ハ委員會等ニ於カレマシテ、盛ニ織物消費稅ナルモノ、爲メニ、外國ニ對スル所ノ輸出ノ見本ヲ彼ノ國ニ送りマシテ、サウシテ販路ヲ擴メマス上ニ於テ甚ダ不便デアアル、斯様ニ論ゼラレタヤウデゴザイマス、或ハ一見サウカモ存ジマセヌ、サリナガラ吾々ノ地方ニ於キマシテモ、海外輸出ノ織物ト云フコトニ付テハ盛ニ努メテ居ル所デゴザイマス、未ダ曾テ織物稅ノタメニ輸出ノ販路ヲ遮ラレテ居ルト云フコトハ聞イタコトガアリマセヌ、其理由ハドウカト申シマス、試ニ海外ニ品物ヲ出シマス、此出シタモノガ向フノ方ノ氣ニ入ラナクシテ戻タ時ノ例證ガ擧テ居リマスガ、此戻リマシタ時ニ損失ヲ受ケマスノハ、此織物稅ノ爲メデハナイノデゴザイマス、先ヅ吾々ノ知ツタ所ニ於キマシテハ、向フノ關稅ノ最モ此織物稅ニ於テ、高イ所ガ亞米加利デアアル、亞米加利加ニ向ツテ我國ヨリ精製品ヲ送りマスルト、向フニ於テ從價稅即チ六割七分掛ル譯デゴザイマス、ソレ故ニ一千圓ノ物ヲ送りマスルト其一千圓ニ對シテ六百七十圓ノ茲ニ稅ヲ拂ツテ置カナケレバナラヌ、サウシテ若モ是ガ破約ニナツテ戻リマシタリ、若クハ取引ラネバナラヌコトガアリマス、此拂ツタ所ノ稅ヲ今度ハ取戻サナケレバナラヌ、此手續ガ甚ダ面倒デアアルノデアアルノミナラズ、此運搬賃等ノ上ニ於テ多大ノ損ヲ受ケルノデゴザイマス、現行ノ織物稅ハ此一千圓ノ物ニ對シテ幾ラ課スルノデアアルカト云フト、唯今ノ大藏省ノ計算カラ行キマスルト、原價ノ十一分ノ八デゴザイマスカラ、約七十五圓ノ課稅デアツテ、此七十五圓掛ルカラシテ輸出ガ出來ナイトカ、輸出販路ニ邪魔ニナルト云フ次第デナイノデゴザイマス、又歐洲向キノ方ハ、多少稅率ハ低イサウデゴザイマスケレドモ、理窟ハ皆同一デアアル、ソレデ私ノ考ヘマスル所デハ、高木君ガ唯單ニ此織物稅ガ邪魔ヲ致シマスルガ爲ニ、帝國ノ澤山ノ生絲ガ所謂一朝是ガ織物ニ段々化シテ、サウシテ半製品若クハ精製品トナツテ海外ニ出ルコト

ガ出來ナイカノ如クニ御說明ニナルト云フノハ、少シマダ御研究ガ御不足デハナイカト存ズルノデアリマス、ソレカラ農家ノ副業云々トカ云フコトガゴザイマシタガ、是ハ多少或村落位ニ於キマシテ、布一段ヲ織リマスとか、或ハ木綿一段ヲ織リマスとか云フヤフナ風ノモノガ、ソレヲ或商人ノ手ニ渡ス前ニハ即チ納稅ヲ致サナケレバナラヌ、此納稅ノ手續ヲ致スト云フコトハ多少是ハ不便ナ點ガアルカモ知レマセヌ、サリナガラ私共ガ考ヘマスルニ、凡ソ課稅ノ中ニ於キマシテ織物消費稅ノ如キモノハ、最モ公平ナルモノデアラウト私ハ思フノデゴザイマス、今私ガ此處ニ持ツテ參リマシタ所ノモノハ、是ハ大藏省ノ調べニ依リマスル所ノ明治三十八年カラ大正元年ニ至リマスマデノ織物消費稅ノ稅額表デゴザイマス、之ニ依テ見マシテモ四十二年ニ於キマシテ——最近ノコトダケヲ申上ゲマス、四百六十萬圓純絹物ダケ四十二年ニ於テ四百六十萬圓ノモノガ、大正元年ニナリマスルト既ニ五百五十七萬圓ト云フモノニナリマシテ、此割合カラ行キマスルト純絹物ノ方ハ丁度二割ノ増加ヲ致シテ居リマス、此表ニ依リマシテ尙綿布ノ方ヲ見マスルト、四十二年ニ於テ六百八十五萬圓、サウシテ大正元年ニ於キマシテ七百九十六萬圓、此方ハ丁度一割二分ベカリリノ増加ノ率ニナツテ居リマス、是ハ稅務省ノ手ニ掛リマシテ、サウシテ納稅ヲスルトコロノ織物ノ價格ヲ調べマシタ、其價格ニ依テ割出シタ所ノ稅額、即チ唯今二千萬圓近クノ金ニ勘定サレテ居リマス所ノ基礎デアアル、此金高ニ於テ近來我國民ガ消費シマス所ノ織物ヲ見マスルト、絹布ノ上ニ於テハ既ニ此所僅ニ三四年ノ間ニ於キマシテモ、二割二分カラノ増加ヲ致シテ居ツテ、却テ木綿物ノ方ノ消費ガ其割合ニ於テ増シテ居ラヌト云フ勘定ヲ發見スルノデゴザイマス、此點カラ考ヘマシテモ、尙此織物ヲ消費シマス上ニ於キマシテ、殊ニ絹布ニ關スルトコロノ價ノ高イ物ヲ國民ハ消費スルノ状態ト相成ツテ居リマス、此時ニ當リマシテ此廢稅ヲ致シタナラバ、此金ガモウ國庫トシテ要ラナクナツテ、サウシテ廢稅ヲ致スナラバ宜シイカモ知リマセヌガ、織物稅ヲ廢シマシテ他日國庫ガ他ニ又課稅ヲナケレバナラヌト云フ場合ニ當ツタ時ヲ想到シテ見マスルト、此織物稅ナルモノハドウ云フ人多ク拂フノカト申シマスルト、此絹物若クハ絹綿交織物、毛織物等ノ價ノ高イトコロノ織物ヲ消費スルトコロノ人ノ拂フ稅

デアリマシテ、寧ろ此木綿物ヲ消費スル人ハ僅カノ稅シカ拂ッテ居ラヌ勘定ニナルトコロノ極ク適當ナル稅デアル、然ルニ僅カノ下級界ノ狀態ヲ見マシテ、一年ノ間二十圓以外ノ木綿物ヲ消費スルトコロノ人ノ狀態ヲ名トシテ、而シテ二十萬圓ニ垂ミトスルトコロノ稅ヲ廢サウト云フコトハ、私ハ寧ろ名ヲ貧民窮民ニ藉ッテ、而シテ富豪ノ負擔ヲ輕クスルトコロノ惡政策デアルト考ヘルノデゴザイマス、私ハ此點ニ於テ最早此問題ニ付テ反對ノ理由ガ明カデアラウト思ヒマスカラ、是デ……

討論終局シ表決ニ及テ院議本案ヲ否決シタリ

次テ(七)案ノ討議ニ移リ大口喜六君、鈴木梅四郎君ハ本案ニ賛成、松城兵作君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ

大口喜六君ノ演說

私ハ此鹽專賣法廢止法律案ニ付キマシテ、原案ニ賛成ラヌルモノデアリマシテ、即チ委員長ノ御報告ニ反對スルモノデアリマス、其理由ヲ聊カ茲ニ述ベタイト思フデアリマス、私ハ此鹽專賣法ナルモノハ、根本ニ於テ惡シキ稅法デアルト信ズル者デアリマス、凡ソ此專賣ナルモノハ、先刻モ渡邊修君ガ或稅ニ付テ申述ベラレタノデアリマスガ、總テ此稅ト云フモノ、中デ、如何ナルモノガ好キ稅デアルカト云ハバ、成ベク人民ニ苦痛ヲ與ヘズシテ、成ベク徵收ノ方法ノ宜キモノガ善キ稅デアラウト云フコトヲ云ハレタノデアリマス、是ニ反對スルトコロノ稅ハ比較的惡稅デアルト云フコトヲ言ハレタノデアリマスガ、私ノ信ズルトコロニ依レバ、此鹽ノ專賣法ノ如キハ、實ニ此惡稅ノ中ニ屬スルトコロノモノデアルト信ズルデアリマス、凡ソ我國ニ於テ、現在政府ガ專賣權ヲ有ッテ居ルモノハ如何ナルモノデアアルカト云フニ、煙草、樟腦、人蔘、鹽ノ四種デアリマスガ、其中ニ於テモ鹽ナルモノハ謂フマデモナク米ト均シク、人民一般ノ人間ノ生活ノ上

ニ於テ最モ必要ナルトコロノモノデアリマシテ、富豪ナル人カラ貧困ナル人ニ至ルマデ、凡ソ人類トシテ鹽ノ必要ノナイモノハナイノデアリマス、獨リ是ハ人類ノミナラズ、畜類マデ必要ノモノデアリマス、現ニ牛ヲ飼ッテ居ル人、ガ、此專賣法ガ行ハレタタメニ牛ニ鹽ヲ能ク供給シナイ結果トシテ、養ッテ居ルトコロノ牛ガ大ニ瘦セタト云フ事實ガアルデアリマス、是ハ諸君ガ御笑ニナルコトデハナイ、苟モ政府黨トシテ居ラレル方ハ、政府ノ内輪ヲ知ラレナイ筈ハナイノデアリマス、畜産ヲシタ人、牛ヲ養ッテ居ル人、ハ頻リニ政府ニ向ッテ、畜類ニヤルトコロノ鹽ノ特別拂下ヲ政府ニ向ッテ要求シタノデアリマス、然ルニ政府ハ之ヲ研究シタル結果、牛ニ鹽ヲヤルコトガ必要デアルト相成ッテ、政府ハ特別ニ畜産家ニ向ッテ牛ニ與ヘルトコロノ鹽ヲ安ク拂下ゲテ居ルデアリマセヌカ、諸君ハ之ヲ御承知ノナイ筈ハナイノデアリマス、現ニ牛ニ與ヘルトコロノ鹽ハ、普通ノ鹽デアルト宜シクナイ、專賣局ノ鹽デハ宜シクナイト云フノデ、當藥ト云フ藥ト酸化鐵ヲ混ゼテ用キテ居ル、是等ノコトモ無論御承知ト思ヒマス、此ノ如ク鹽ハ人バカリデナク畜類ニマデ必要ノモノデアリマシテ、一日モ缺クベカラザル大切ノモノデアアル、然ルニ之ヲ專賣ニ致シテ居ル結果、國家ニドレダケノ收入ガアリマスカ、政府ニドレダケノ儲ガアルカ、吾々ノ信ズルトコロニ依レバ、一箇年間ノ利益ノ高ハ約二千四百萬圓デアアル、而シテ其中ニ賠償ノ經費等ヲ差引キマス、丁度八百二十四萬圓ト云フ利益ニナル、是ガ大正三年度ニ現ハレテ居ルトコロノ政府ノ豫算デアリマス、即チ鹽ニ於テ二千四百萬圓政府ニ上ッテ、其利スル所ハ八百三十四萬圓デアアル、此八百三十四萬圓ト云フ金ハ、國庫カラ見レバアレホド大事デナルトコロノ金デハナイト云フコトニナラナケレバナラヌノデアリマス、此ノ如ク一般人民ニ對シテ、日用品ニ對シテ專賣法ヲ用非、上尊キ人ヨリ下賤キ人ニ至ルマデ、富ンデ居ル人ヨリ貧シキ者ニ至ルマデ、總テノモノニ容易ナラザル迷惑ヲカケルニモ拘ラズ、政府ノ得ルトコロハ非常ニ少ナイモノデアリマスカラ、此ノ如キ私ハ惡シキ方法ハナイト斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレノミナラズ、此鹽ノ原價、元ノ値段ト云フモノハ、漸々高バリツ、アルコトハ、是亦政府ノ人ガ認メテ居ルトコロデアリマス、漸々工賃ガ高クナル、或ハ薪ノ値段ガ高クナルト云フ種々ナル原因カ

ラ、鹽ノ原價ハ次第ニ引上ゲナケレバナラヌ、ソレ故ニ政府ガ專賣法ヲ何時マデモ續ケテ居リマシタトコロガ次第々々ニ原價ガ高クナツテ來ル結果トシテ、政府ノ利益ハ益々減ツテ來ルノデアリマス、一般人民ニハ容易ナラザル迷惑ヲカケ、日用品ニ對シテ、一方ニ專賣ト伴ツテ、而シテ得ルトコロノモノハ益々減ルト云フニ至リテハ、先刻渡邊君ノ申サレタ惡税ト云フコトニヤハリ歸スルノデアリマス、此ノ如キ道理デアルガ故ニ、私ハ此鹽專賣法ハ宜シクナイモノデアルト思フノデアリマス、併シナガラ此專賣ト云フモノガ、必ズシモ國家ニ利益ガ多クナクテハナラヌト云フコトハナカラウ、縱令國家ノ利益ハ少クトモ、政府ガ專賣ヲシタ結果、人民ニ利益ヲ與ヘルト云フモノデアレバ、是亦專賣法モ宜イノデアアルガ、鹽專賣ノ結果ハ決シテ人民ニ利益ヲ與ヘテ居ラヌノデアリマス、寧ろ害ヲ與ヘテ居ルモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、元來此鹽ノ商ヒナドト云フモノハ、煙草人蔘ノ商ヒトハ違ツテ、餘程大ナル嵩ノアル品物ヲ扱フコトデアツテ、鹽ノ商人ハ大ナル車ヲ挽キ、馬ヲ使ヒ、船ヲ使ヒ、頗ル大ナル商ヒヲスルトコロノモノデアリマシテ、細カナルコトヲスルモノトハ反對ノ性質ノ商賣デアリマス、然ルニ此商人ハ澤山ノ法律ノ支配ヲ受ケマシテ、吾々ノ知ルトコロニ依リマシテモ專賣法ダケガ四十六箇條ヨリ、施行細則ダケガ四十二條アル、其他鹽賣下規則始メ多數ノ法令ガ行ハレテ居リマシテ、一々此法令規則ノ下ニ於テ、此鹽ノ商ヒヲスルト云フガ如キ事柄ハ、決シテ鹽商人ノ忍ビ得ルトコロノ事柄デハナイノデアリマス、又此商人ト云フモノニハ種々ノ掛引ガアリマス、祕密ガアリマス、政府ニモヤハリ祕密ガアル、吾々ガ政府ニ質問ヲシテモ是ハ祕密デアアルト云フテ答ヘラレナイ事柄ガアリマス、其如クニ商人ニハ祕密アリ掛引アルノデアアルガ、此鹽ヲ商フ者ニ至ツテハ悉ク官吏ノ掣肘スルトコロトナリ、總テノ規則法令ニ據ツテ商ヒヲスルトコロデアアルカラ、掛引祕密ノ内幕マデモ悉ク政府ニ握ラレルコトデアリマスカラ、鹽ノ商ヒト云フモノハ全ク絶無ノ有様ニナツテ居ルノデアリマス、其外此鹽ト云フ物ハ御承知ノ如ク總テノ漬物ニモ用ルルシ、醬油ニモ用ルルシ、イロ／＼ノ物ニ用キラレルノデアアル、或ハ總テノ此材料ニナルトコロノ鹽ニハ戻稅ガアルト云フ議論ガ出ルノデアアラウガ、是ガ私ノ大ニ反對ヲシナケレバナラヌトコロノ根本的惡イ方法デア

ルト思フノデアリマス、動モスルト石油消費稅、砂糖消費稅、成程必要ナ物ニハ戻稅ガアル、ソレニ據レバ良イデハナイカト云フノガ、此政府者流ノ唱ヘル事柄デアアルガ、理窟カラ云ヘバ其通りデアリマスガ、一般人民ガ之ヲ扱ヒマスル上ニ於キマシテハ、戻稅ヲ受取ルノニハ容易ナラザル手數ガ掛ルノデアリマス、悉ク之ヲ官吏ノトコロニ申出テ、官吏ノ支配ヲ受ケテ此戻稅ヲ取ルノデアツテ戻稅ヲ取ルマデニハ容易ナラザル手數ヲ受ケルモノデアリマス、凡ソ此商人ト云フモノガ一番ノ禁物ハ、煩雜ナルコトデアリマス、成ルダケ捌ケノ良イコトガ是ガ商人ノ一番良イコトデアリマス、現ニ私共ノ地方カラ——東海道カラ信州ノ方ニ送ルトコロノ魚ノ如キ——魚類ノ如キハ籠ノ中ニ魚類ヲ容レタマ、デ木ノ端ニ送狀ノ如キモノヲ書イテ籠ニ入レル、其マ、籠ガ馬ノ背中ニ載ツテ信州ニ往クノデアリマス、其中ニ容レタ木ノ札ガツマリ送狀トナル、ソレガ一寸ノ材料トナツテ商ヒヲシテ居ルノデアリマス、斯ノ如キコトガ此商人ト云フ者ノ發達ヲシテ往ク道デアリマス、然ルニ此商ヲスルノニ悉ク法律ニ據リ、規則ニ據リ、專賣法ダケガ四十六條、其他澤山ノ規則ニ據テ稅務官吏ヲ相手ニシテ少シバカリノ鹽ヲ買フノニモ一々願書ヲ出シ、受渡ヲスルニモ悉ク衡ニ秤ケテ役人ノ立會ヲ受ケルガ如キコトデ日用最モ大切デアルトコロノ鹽ノ商ガ出來テ往クデアリマセウカ、實ニ容易ナラザル事柄デアルト私ハ思フノデアリマス、其上此鹽ト云フモノガ到底專賣ニ適シナイト云フ根本的ノ議論ガアリマス、鹽ト云フモノハ御承知ノ通り化學的性質カラ、主成分ハ「鹽化」ナトリウムデアリマス、ソレ故ニ此位能ク水ニ溶ケルモノハナイノデアリマス、最モ水ニ溶解スルトコロノ性質ヲ持ツテ居ルモノデアリマス、ソレ故ニ入梅ノ時ノ如キ、空氣ノ濕タル場合ニ當リマシテ、鹽ヲ積ンデ置ケバ空氣中ノ水分ヲ引イテ、鹽ト云フモノハ溶解シテ流レ出デルノデアリマス、此鹽ノ中ニハ御承知ノ通り大ニ此棒鹽ヲ含ンデ居ル——棒鹽ヲ含ンデ居ルノデアリマス、此棒鹽所謂鹹ト云フモノガ最モ能ク水分ヲ引イテ、水ニ溶解シテ流レ出ツルトコロノモノデアリマス、ソレ故ニ以前專賣法ノ行ハレザル前ニ此鹽ノ扱ヒハ如何様ニナツテ居ッタカト云ヘバ、御承知ノ通り俵ニ容レテ居ッタノデアアル、俵ニ入レタ鹽ヲ積ンデ置クト云フト全然此鹹ト云フノガ下ル、御承知ノ如クデアリマス、サウシテ水分ニ

溶ケルダケノモノハ解ケテ、下ニ下ッテ其俵ノ中ニ殘ッタコロノ鹽ハ、比較的良イ性質ノ鹽ニナルノデアリマス、ソレ故ニ鹽ノ目方ハ減ッテモ其價ハ高クナルノデアリマス、然ルニ現在ノ遣リ方ハドウ云フ遣リ方ヲ居ルカト云フト、鹽一ツノ荷造ガ大概四十斤入ノモノデアリマス、中ニハ八十斤入ノモノモ近頃出來タヤウデアリマスガ、四十斤入ノモノガ普通デアリマス、ケレドモガ之ヲ以前ノ如ク俵ニ入レテ置イテ、其水分ヲ引キ目方ノ減ル恐ガアルト云フノデ、今ノ政府ガ之ヲ以ニシタノデアアル、大概ハ以詰ニナッテ日本全國ニ行ハレテ居ル、而シテ此水分ヲ引イタ鹽、解ケタトコロノ鹹ハ如何ヤウニナルカト云フト、悉ク俵ニ浸込シマヒニハ板ヲ押ヘタヤウニ此俵ガナルノデアリマス、此引イタ板ヲ澤山廉ク拂下ヲ命ジタノガ處々ニアルノデアリマス、私ノ住ンデ居リマス名古屋ニ於テモ澤山鹽ヲ廉ク拂下ゲタ例ガアルノデアリマス、ソレデ目方ハドウナルカト云ヘバ、其俵ノ——以ノ筈ノ中ニ浸込ムノデアリマスカラ、寧ロ以前ヨリモ目方ハ殖エルノデアリマス、如何ヤウニシテ之ヲ賣ッテ居ルカト云フト、ヤハリ目ニ掛ケテ四十斤ノモノナラ四十斤、ソレデ賣買ヲシテ居ルノデアリマスガ、俵ノ口ヲ明ケテ中ヲ見ルト鹽ノ目方ハ非常ニ減ッテ居ル、大概ハ此俵ノ以ニ浸込シマヒ目方デア買フ人ガ之ヲ買ハナクテハナラヌト云フコトガ今日ノ狀態デアリマス、ソレノミナラズ此食鹽ト云フモノガ工業ノ材料ニナルト云フコトモ、是亦諸君ノ御承知ノ如クデアリマス、此食鹽ノ輸入ヲ防ガレテ居リマスルガタメニ、工業ノ材料ヲ非常ニ失ッテ居ル、化學工業ノ材料ヲ大ニ失ッテ居ルノデアリマス、智利硝石デアルトカ、其他總テノ物ヲ濫リニ日本ニ輸入スルコトガ出來ナイヤウニナッテ居ルノデアリマス、吾々ノ信ズル所ニ依レバ、吾々御互——吾々議員モ亦鹽ニ依テ生活ヲシテ居ル者デアッテ、大切ナル問題デアルト私ハ思フノデアリマス、始メ百分中此鹽化「ナトリウム」ノ四十分ヲ含ンデ居ル物ハ、日本ニ輸入スルコトヲ禁ゼラレテ居ルノデアリマス、此智利硝石デアルトカ其他鹽ヲ含ンデ居ルトコロノ總テノ此鹽物ハ、餘程此化學工業ノ上ニ大切ナルモノデアリマス、然ルニ之ヲ日本ニ輸入スルコトヲ禁ゼラレテ居ルノハ、工業ノ發展ヲ止ムルコトガ極メテ大ナルトロノモノデアリマス、斯ノ如ク鹽專賣ト云フモノハ政府ニ於テモ利益ガナイ——利益ガ少ナイ

ソレノミナラズ、益々此利益ヲ減少サレツ、アルノニ、一方ニ於テ容易ナラズ、工業ノ上ニモ一般人民ノ生活ノ上ニモ害ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此鹽ナルモノ、專賣ハ根本的ニ國民ニ宜シクナイトコロノモノデアルト思フノデアリマス、ソレノミナラズ、此處デ此鹽ノ專賣ヲ止メレバドウカ、鹽田ノ始末ヲドウスルカ、是ガ又一ノ問題ニナルデアラウト思フ、又一方カラハ外國——假令日本ノ領地デアリマシテモ、關東州ノ鹽デアルトカ、臺灣ノ鹽デアルトカ云フノガ、日本ニ續々這入ッテ來ルト云フ事柄ガ、是ガ日本ノ鹽ノ價值ヲ下ゲル原因ニナルデアラウト杞憂スル人ガアルノデアリマス、併ナガラソレハ私ノ信ズルトコロニ據レバ、決シテ杞憂スルニ及バナイト思フ、憂フルニ及バナイトデアリマス——杞憂ニ屬スルノデアラウト思フノデアリマス、ナゼデアアルカト云フニ、鹽ニハ化學的成分ガ——成程申シマスルト鹽化「ナトリウム」デアリマスガ、此製造ノ仕方ト製造スル土地鹽田ノ性質ニ依リマシテ、此理學的性質ニハ大ニ相違ヲ生ズルモノデアリマス、ソレ故ニアノ漬物ニハ何處デ出來タトコロノ鹽ガ良イノデアルトカ、工業ヲスルニハ何處デ出來タ鹽ガ良イノデアアル、理化學的成分ハ同一デアッテモ理學的性質ノ違フタメニ到ル所ノ鹽ガ悉ク價值ガ違フ、又性質ガ違フモノデアリマス、ソレ故ニ假令此鹽ノ專賣ヲ止メマシテ、或ハ關東州ノ鹽ガ這入りマシテモ、臺灣ノ鹽ガ續々這入りマシテモ、無論鹽ノ價值ハ下ルノデアリマス一般人民ハ非常ニ喜ンデ恩惠ヲ受クルト同時ニ鹽田ヲ持ッテ居ル者モ理學的得意ナル鹽ヲ產出スルニ於テハ、決シテ此事ヲ心配スルニ及バナイト思フノデアリマス、ソレカラ又吾々ハ此鹽ノ製造者ノミヲ立脚地トシテ議論ヲシタイノデアリマス、國民ノ安危盛衰ノ下ニ於テ論ズルノデアリマス、併ナガラ此鹽田ヲ持ッテ居ルトコロノ人ニ對シテハ考ヘルダケノコトハ考ヘテ、是ガ救済ヲスベキコトヲシテヤラネバナラヌ、即チ唯今ノ如ク鹽田ノ性質ニ依リマシテ、其遣方ニ依テ十分ニ行立ツモノデアリマスルガ、尙ホ政府ハ宜シク國民ニ利益ヲ與ヘルタメデアリマスルガ故ニ、相當ノ方法ヲ設ケテ鹽田ヲ持ッテ居ル人ニ利益ヲ與ヘルノガ宜シイ、又一方ニ於テ或程度マデ關稅ヲ掛ケテ、外國ノ鹽ニ唯今マデノ半額、大概頗ル程度ノ低イ鹽デアッテモ、百斤ニ付テ一圓位ノ程度ニ止マル範圍ニ於テ、關稅ヲ掛ケテ之ヲ防ギマスレバ、内地

ノ鹽業ハ決シテ衰ヘナイト私ハ信ズルノデアリマス、斯ノ如キ譯デアリマスルガ、モウ一ツノ問題ハソレヲヤルトコロノ財源ガ無イデハナイカト云フ御議論ガ起ルデアリマセウ、先刻ドナタカノ御演説ニモ、大正三年度ノ歳入歳出ハピタリト合ウテシマッタカラ、一錢一厘モ餘裕ガナイト云フ議論ガアリマシタガ、其御方ノ議論ノ中ニ、物ヲ能ク調ベナクテ斯様ナ議論ヲスルノハ、代議士トシテ此壇上ニ起ツベキモノデナカラウト云フ御演説ガアッタ、私ハ寧ロ其御方ガ歳入ト歳出ト豫算ガ合ッタカラ、財源ガ一厘モ無イト言ハルルガ如キ不調ノ方ハ、却テ此政治ヲ議論スルノ價値ガナイト思フノデアアル、財源ハ幾ラデモアルノデアリマス、政府ニ誠意ガアリ多黨ノ諸君ガ之ヲ助ケラレタナラバ、十分ニ歳入ニ於テモ先刻我同志ノ論ジラレタ如ク、二千萬圓位ノ財源ヲ得ルコトハ出來ルノデアアルガ、若シ是ガ出來ナイト云フナラバ唯今ノ政府ハ曩キニ明言セラレタ如ク、第二ノ行政整理ヲ行ハルルガ宜シイト思フノデアアル、斯ノ如キ次第デアリマス、昔上杉謙信ハ敵ニ鹽ヲ贈ッタト云フ美シイ話ガアリマスルガ、若シ唯今ノ鹽專賣ニシテ此儘長ク續クコトニ相成リマシタナラバ、結局私ハ人民ニ最モ大切ナルトコロノ鹽ノ幾分ヲ、此人民カラ奪フト云フ結果ニナルデアラウト思ヒマス、斯様ナ事ハ吾々ノ最モ好マナイトコロデアリマスルガ故ニ、速ニ鹽專賣法タル惡キ方法ヲ絶對的ニ廢シマシテ、我日本帝國ノ人民ヲシテ、此日用品ヲ安ラカニ得ラレルコトノ方法ヲ執ラレタイモノデアアルト信ズルノデアリマス、是ガ私ガ本案ヲ賛成致シマス理由デアリマス

松城兵作君ノ演説

本員ハ鹽專賣廢止法律案ニ反對致シマスル者デアリマス、唯今私ノ敬愛セル親友トスル大口君カラ縷々説明ガアリマシテ、私ハ此處ニ一ツ御相談ヲ掛ケヤウト思フ、國民黨ノ諸君ハ澤山是マデ廢稅案ヲ出サレマシタガ、是ハ寧ロ御撤回ニナッタラドウカト思フ、凡ソ此稅ト云フモノニ付テ惡稅デアルトカ、是ハ善イ稅デアルトカ云フ議論モ澤山アリマシタガ、斯ウ云フ根本問題ニ立至リマス、即チ國家ガ稅トシテ取ルカ、專賣法デ取ルカト云フコトニ付テハ、或ハ定メル場合

ニ於テ考慮セネバナラヌ、固ヨリ誤ッタ政策デアラナラバ直チニ改廢スルガ宜シイノデアリマス、鹽專賣ヲ實施スルト云フニ付テハ、唯國家ガ財源ニ重キヲ置イテノミ專賣ニシタノデハナイ、鹽專賣ト云フコトハ多ク鹽製造ノ方法ガ地勢ニ依テイロノ、別ニナッテ居ル、例ヘバ獨逸ノ如キハ山鹽デアアル、所謂最モ善キ山鹽ノ出來ルトコロデハ、別段鹽ノ問題ナドハヤカマシクナイ、處ガ海水ヲ日光ノ力ニ依テ製造スルトコロノ地方、即チ伊太利デアルトカ或ハ希臘デアルトカ、斯ウ云フ國デハ製造法ヲ國家ガ獨占シテヤッテ居ル、ソレカラ販賣ノ獨占、即チ我日本ノ今ノ制度ノヤウナ瑞西、土耳其、佛領印度、支那デアルトカハ販賣ニ付テ獨占シテ居ル、即チ此鹽ト云フモノハ固ヨリ反對派諸君ノ申サレル通り人類ノ生活ニ最モ唯一ノ必要物品デアリマスルカラ、之ヲ成ルベク廉ク成ルベク負擔ヲ輕カラシメルト云フコトハ必要ナコトデアアルガ、鹽ノ成分ト云フコトニ付テ餘程考ヘナケレバナラヌ、專賣法ヲ實施サレナイ當時ノ日本ノ鹽ノ性質ト云フモノハ、殆ド世界一等ノ劣等品デアアル、日本ノ鹽位惡ルイ鹽ハナイノデアアル、現在ニ於テモ餘リ衰メタ鹽ハ出來ナイノデアアル、所謂地ノ含有物ガアッテ「バトセント」カラ行キマス、專賣法ヲ實施シナイ以前ハ善イ鹽デモ七十「バトセント」位デアアル、今日ハ餘程改良サレテモ八十「バトセント」位シカナイ、獨逸ノ鹽ハ九十「バトセント」ニナッテ居ル、唯今大口君カラ若シ此專賣法廢止シテモ輸入ヲ防遏スルコトガ十分出來ル、關稅ヲ一圓位掛ケタラバ輸入超過ニハナラヌト云フヤウナ御話デアリマシタガ、獨逸方面カラ來リマスル山鹽ト云フモノハ、殆ド運賃ト云フモノハナイノデアアル、即チ山カラ掘出シタ其儘ノ鹽ヲ、船ノ底ノ「パラスタンク」ノ中ヘ「ガラス」ノ代リニ入レテ送ッテ來ルノデアアル、殆ド運賃ヲカケナクテモ宜イ、ソレ故ニ關稅ヲ一圓位掛ケタトコロガ到底日本デ手數ヲカケテ製造スル所ノ鹽ヲ以テ彼等ト價格ニ於テ匹敵スルコトハ出來ナイノデアアル、現ニ私ハ鹽ノ商賣ニ付テ餘程辛キ經驗ヲ持ッテ居ル、本員ハ此賣買ト云フコトニ付テ即チ大口君ノ御話ニアッタ通り賣買ト云フコトニ付テハ先祖傳來六十有餘年、鹽ノ商賣ヲシタモノデアアル、所ガ其價格ト云フコトニ付テ專賣法實施前ニ於テハ非常ニ價格ニ著シイ變動ノアルモノデ、日本ノ日用品トシテ鹽程大キナモノハナカッタ、殆ド一年ノ中ニ例ヘバ一俵ノ價格ガ

三十錢シタモノガ一圓五十錢カラ二圓位マデモ行ッタコトガ間、アル、是ハ日用品トシテ餘程考ヘナケレバナラヌ問題デア、吾々ハ或意味ニ於テ鹽專賣ノタメニ業ヲ奪ハレタモノデア、故ニ、桂内閣ノ當時即チ戰時ノ場合ニアツテ、鹽專賣ヲ政府ガ實施スルト云フコトニ付テハ、其當時吾々ハ營業ヲ奪ハレルニ付テ反對ノ意見ヲ持ッテ居ッタ、併ナガラ鹽ノ價格ノ變動ニ付テ、隨分浦賀方面ヘ行クト白井儀兵衛君トカ東京ノ絹川、伊勢路ノ野間九千トカ云フモノガアツテ、隨分鹽ノ營業ニハイロク關係シテ、四國山陽方面ノ產地カラ鹽ヲ買入レ、京濱甲信等ヘ販賣スルノガ吾々ノ商賣デア、即チ隨分苛酷ナ遣方デアツテ、或ル意味ニ於テ考ヘルト買占ガ出來ルノデア、若シ天候ガ不順ト言フコトノ所謂投機的勝負ヲ張ツテ、一朝今年ハ雨ガ降りサウダト云フトキデ、鹽ノ生産ガ過剩ノトキニハ、少シノ金ヲ以テ是ハ米ト違フ、餘リ金ハ要サナイ、少シノ金デ以テ鹽ノ買占ガ出來ル、ソレカラ所謂鹽賣メト云フコトデ、甲州トカ信州トカ云フヤウナ不便ナ土地ニハ、鹽賣メニシテカラニ一俵五圓デモ買ハナケレバナラヌト云フマデニ苛メ附ケテ、サウシテ其地方ノ仲買ナリ小賣ナリニ渡スト云フヤウナ弊害ガアッタノデアリマス、今日ニ於テハ、價格ノ上ニ於テ大ニ平均ヲ保テルコトガ出來ル、此鹽デ以テ最モ不便ヲ感ジテ居ルハ、信州ノ飯田町デアリマス、信州ノ飯田町ニ於テハ、百斤ニ付テ三圓以上ニナツテ居リマスカラ、是ハ殆ド全國デ一番高イノデア、長崎デアルトカ或ハ吾々ノ地方ノ清水デアルトカ云フヤウナ所ハ、是ハ運輸ノ便ノアル海岸デアリマスカラ一番安イ、二圓四五錢デア、信州ノ飯田町ガ一番高イ所デア、ソレデモ尙ホ三圓少シ餘デ販賣ガ出來ルノデア、此鹽專賣ヲ廢シタ所ガ、運賃ト云フモノハ、餘程考ヘナケレバナラヌ、今日ハ全國ニ五十箇所ノ販賣所ガアリマシテ、政府デハ此運賃ヲ無運賃デヤツテ居リマス、ソレガ爲ニ三十餘萬圓ト云フ金ヲ政府ガ支出シテ、運賃ヲ無運賃デ各販賣所ニヤツテ居リマスカラ、價格ノ平均ヲ保ツト云フコトハ、是ハ專賣法ニアラズンバ、殆ド不可能デアリマス唯廢稅ト云フコトモ必要デア、國民ノ負擔ヲ成ルベク輕カラシムルト云フコトハ、御同様政友會ト言ハズ代議士トシテ苟クモ此議席ニ列ツテ居ル以上ハ、幾分ヅ、デモ國民ノ負擔ヲ輕減シナケレバナラヌコトハ、御同様努メナケレバナラヌ、併シ殆ド末ヲ著ケ

ルト云フコトモ考ヘナケレバナラヌ、全國ニ於テ鹽田ノ町歩ガ六千町歩今日アル、ソレヲ時價ノ價格ニ見積リマスレバ一千五百萬圓、建物敷地器械デモ百五十萬圓、合計二千二百五十萬圓ト云フモノ、此價格ト云フモノヲ全滅サセタ跡始末ヲ著ケンケレバナラヌ、又政府ガ專賣ヲ施キマシテカラ、今日モウ十年ニモ垂トシテ居ル今日ニ於テ、直ニ政策ヲ變ヘテカラニ廢止スルト云フコトニナルト、殆ド國家ノ政策ト云フモノハ、朝令暮改ニナツテカラニ、到底安心シテ總テノ事ガ出來ナイノデア、殊ニ此鹽業ニ從事シテ居ル者ハ一萬一千人アリマス、從業者ガ五萬八千人アル、是等ノ者ニ對シテモ何トカ跡始末ヲ著ケンケレバナラヌ、殊ニ鹽業者ノ五萬八千人其他ノ人ハドウシテモ此專賣ト云フモノヲ實際取ラナカタラバ、日本ノ鹽田ト云フモノハ全滅ニ歸スルコトハ、是ハ覺悟シテ居ルコトデ、是ハ一般人民カラ鹽ハ實ニ高イモノデア、一升三錢以上デハ實ニ苦痛デア、一斤ノ價ガ一錢何厘デハ非常ニ苦痛デア、ト云フヤウナ不平ノ聲ハ吾々ハ聞カナ、砂糖カ何カノヤウニ澤山鹽ヲ舐メルト云フコトハナイ、醬油ノ如キ最モ日本ノ消費スルトコロノ醬油ノ如キハ、釀造家ハ現ニ戻リ稅ニ依テ賦課サレテ居ラヌノデア、リマスカラ、之ヲ一般ニ此鹽ハ此苦痛ナル世ノ中、辛キ世ノ中ニドウモ辛ライ所帶ヲ送ッテ居ルト云フコトハ、鹽ノ爲ニ餘リ苦痛シテ居ルト云フコトハ、聞イテ居ラナイ、殊ニ國民黨ノ諸君ニ私ハ御相談スルガ、私共ハ諸君ノ意志ノ健全ナルコトニハ、非常ニ敬服シテ居ル、常ニアナタ方ニ對シテハ、私共ハ或ル意味ニ於テハ同情シテ居ルノデア、此日本ノ政黨ト云フモノハ少クトモ政友會ベカリデハ行カヌ、二大政黨トシテ之ニ對抗スル政黨ヲ吾々ハ理想ノ上ニ望ンデア、多年國民黨ノ人ハ實ニ立派ナ議論家モアリマス、ドウカ吾々ノ政友會ト相對時シテ來ルダケ勢カヲ持タセタイト思ッテ居ル、唯國家ノ財力ヲ顧ミズ、斯ウ言ッたらバ國民ノ歡心ヲ負フダラウカ此稅ヲ廢シタラバ國民ノ同情ヲ得ルカト云フコトニノミアセラルガ、財政上ニ國民ガアナタ方ヨリハ餘程智識ガ進ンデ居ル、少シ位ノ稅ヲ課セラレテモ、國家ノ進運上已ムヲ得ナイ、國家ノ存立シテ居ル以上、相當ノ負擔ト云フコトハ覺悟シテ居ル、然ルニモ拘ラズ財源ノ如何ヲ

顧ミズ、國民ノ智識ヲ輕侮シテ斯ウヤツテ安クシタナラバ贊成スルダラウカ、ドウシタラバ大政黨ニ對抗スルコトガ出來ルカト云フコトハ、甚ダ取ラヌノデアリマス、故ニ私ハアナタ方ガ若シ冷カニ考ヘラレテ、斯ル一種ノ人氣取リト云フコトハ御廢メニナツテ、宜シク冷靜ニ考ヘラレテ、此案ヲ御撤回セラレムコトヲ希望シマス、

鈴木梅四郎君ノ演說

鹽專賣ノ愚法デアリマスルコトハ、既ニ我黨ノ大口君ヨリ詳細ニ論辯セラレマシタカラ、私ハ更ニ爰ニ委シク申述ベル必要ハゴザイマセヌケレドモ、一言申上ゲタイノハ、此鹽ナルモノ、社會政策上ニ最モ有害デアリマス。ト云フ點ヲ申上ゲタイ、諸君ハ今日イロ／＼此御論ヲ爲サイマサルケレドモ、社會政策ノ問題即チ貧民ニ對スルコロノ政策ト云フモノニ付テ、一向御研究ニナラナイト云フノハ、如何ニモ私ハ残念ニ思ヒマス、日本帝國六千萬ノ人民ガゴザイマシテモ、其中ノ八割ト云フモノハ所謂社會政策ナルモノ、恩惠ヲ俟チツ、アルトコロノ國民デゴザイマス、國民ノ大多數ナルモノハ貧民デゴザイマス、此貧民ニ對シテ、最モ必要ナルトコロノ鹽ヲ專賣ニシテ、僅カナ八百餘萬圓ノ端々金ヲ取ツテ苦シメルト云フヤウナコトハ、最モ愚策中ノ愚策デゴザイマス、全體食物ニ稅ヲ課スルト云フヤウナ馬鹿ナ政治家ガ今日現存シテ居ルト云フコトハ、實ニ恥カシイ國ノ耻辱ト私ハ考ヘマスガ、其内デモ鹽ノ如キモノニ向ツテ稅ヲ課スルト云フコトハ、最モ愚策中ノ愚策デ、是ハ論辯ノ價ハナイト思ヒマスガ、併シ先刻來政友會ノ諸君ハ左様ナコトニハ少シモ御氣ガ付カレズシテ、唯僅カナ金ヲ政府ノ歲入ヲ失フト云フ此一點ノミニ、著目サレテ、此鹽專賣法ノ廢止ト云フコトニ反對セラルルノハ、誠ニ御自分ノ政友會ノ地盤ヲ宜シク御考ヘニナラナイ、政友會ノ諸君モ代議士トナツテ居ラルル方々ハナカ／＼裕福ニシテ立派ナ方々デアリマスケレドモ、政友會ノ地盤ノ七割八割ト云フモノハ私ノ所謂社會政策ニ於テ、鹽ノ如キモノニ稅ヲ掛ケラレテハ困ルト云フ人多イト云フコトヲ御記憶ヲ願ヒタイ、ソレカラ大口君モ御話ニナリマシタガ、此鹽ノ高イト云フタメニ我國ノ製造業、即チ化學製造ノ

興ラヌト云フノモ是ガタメデアアル、此化學製造ノ盛ニ起ルコトヲ希望スルナラバ、先ヅ其一番必要デアアル所ノ鹽ヲ安クスルコトガ大事デアアル、其次ニ日本ハ四面海ヲ以テ環ラシテ居リマシテ、御承知ノ通り漁業ト云フモノハ、日本將來國ヲ富マス上ニ付テハ、最モ注目シナケレバナラヌ事業デゴザイマス、然ルニ今日此鹽ノ高イタメニ、漁業ガ如何ニ妨害サレテ居ルカト云フコトハ、諸君ハ御承知ガナイ、此鹽ノ高イタメニ漁夫ガ夜晝困難辛苦ヲ嘗メテ、獲リマシタ魚モ終ニ之ヲ製造シテ市場ニ進ルコトガ出來ナイタメニ、誠ニ安イ比較的安イ肥料ナドニスルヨリ外ニ仕方ガナイ、然ルニ日本帝國ハドウカト申シマス、一方ニ食物ノ供給ニ付テハ甚ダ不足ヲ感ジテ居ル、殊ニ滋養物デアルトコロノ魚類ヲ需用スル人々ハナカ／＼澤山アル處デアリマスガ、此鹽專賣ト云フ愚法ノタメニ漁業ノ發達ヲ大ニ妨ゲテ、更ニ國民ニ滋養物ヲ與ヘナイト云フ結果ニナツテ居ル、此ノ如キ次第デアリマシテ、此鹽專賣ト云フモノハ最モ愚策中ノ愚策デアリマスカラ、諸君ハドウゾ御再考アツテ、此ノ如キ愚策ハ一日モ早ク撤廢サレマスコトニ御贊成ヲ祈ルノデゴザイマス、誠ニ簡單デゴザイマスケレドモ、要ヲ一言申上ゲマス

津末良介君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シタルモ院議少數ニテ之ヲ否決シ次テ八木逸郎君ハ本案ニ反對ノ演說ヲ爲セリ

八木逸郎君ノ演說

私ハ不幸ニシテ此案ニ反對スルコトヲ述ベナケルバナラヌ位地ニ立ッタノハ、遺憾ノ次第デアリマスガ、毎年七八年以來此案ガ出マシテ、而シテ此案ガ常ニ我政友會ニ依テ否決サレテ居ルノデアリマス、政友會ノ黨議ニ依テ否決サレテ居ルノデアリマス、併ナガラ此黨議ヲ離レテ政友會ヲ離レテ八木一個トナツテモ、此案ニ向テハ全然反對デアアルノデアリマス、今マデ三稅廢止ト唱ヘ、通行稅、織物稅ト鹽專賣法廢止トカ島田君ガ猶興會ニ籍ヲ置カレタル以來、毎年毎年聽カサレテ居タノデアリマス、或ル年ノ如キハ提出者トシテ一時間半、委員會ニ於テ一時間半、採決ニ

於テ一時間半、同ジコトヲ四時間半モ聽カサレタコトガアルノデアリマス、併ナガラ今大口君カラ言ハレ鈴木君カラ言ハレタ所モ、又此提出者ノ辯ゼラレタ所モ、亦茲ニ提出ノ理由ニ書イテアル所モ、又島田君ガ毎年繰返サレタ所モ、此鹽專賣法ヲ廢スルト云フ理由ハ鹽ガ高イカラト云フヨリ外ナカラウト思ヒマス、私ハ鹽ガ極端ニ安クナツテ極點ニ鹽價ハドンドン下ゲルモノデアルト思フ、既ニ鹽專賣法ハ極點ニ是非殘シテ置カナケレバナラヌト云フ專賣法崇拜論者デアアルデアリマス、諸君ハ鹽ガ高イカラ反對スルト云フナラバ、鹽價引下ト云フ方法ニ向ッテ何故ニ御盡力ニナラヌノデアアルカ、夫ガ爲ニ專賣法ヲ全廢スルト云フコトガ全ク意味ヲ爲サヌト思フノデアリマス、專賣ト云フコトニ向ッテハ、之ハ拵ヘル時分ニハ無論政府ハ增收ヲ計ル目的デアツテ、現在モ其意味ヲ有ッテ居リマスガ、專賣ト云フノハ雷ニ其意味ナラズシテ他ニ專賣ノ大ナル利益ガアルノデアリマス、此專賣ニ於ケル固有ノ利益ニ對シテハ、少シモ御論ジガナイ、而シテ鹽ガ高イカラ專賣ヲ止メルト云フ、鹽ガ高クナケレバ鹽價ヲ下ゲルト云フコトヲ云ハズシテ止メルト云フコトヲ云フノハ、私ハ意味ヲナサヌト思ヒマス、專賣法ヲ廢シタ爲ニ得ル利益ハ、最初松代君カラ言ハレマシタガ、簡單ニ言ヒマスルト、第一鹽ノ性質ヲ良クスルノデアリマス、大口君ハ藥劑師デアアルカラ隨分藥ノ講釋ヲ承リマシタ、此鹽ノ含シタ所ノ鹽ノ「パーセント」ヲ十分ニ餘計進メルト云フコトガ、今ノ專賣法以前ニ放任シテ出來ルモノデアリマセウカ、出來ナイモノデアリマセウカ、百分ノ七十「パーセント」ノモノガ、今七十八「パーセント」ニ進メテ居ル、併乍ラ政府ヲ鞭撻スル上ニ於テハ八十「パーセント」九十「パーセント」稍「純粹」ノモノニ進メルト云フコトハ左程感ジテナイノデアリマス、即チ良イ鹽ヲ國民ニ飲マスト云フコトガ、幾分ノ犧牲ヲ拂フト云フコトハ當然ノ話デアアル、幾分ノ高イ犧牲ヲ拂フト云フコトハ當リ前ノ話デアリマス、鹽ノ性質ヲ良クスルト云フコトガ、鹽ノ價ヲ山中デモ或ハ海濱デモ稍、同一ニ近ヅケルト云フコトガ、又大口君ノ如キハ商賣人ガ成ルベク秘密ニ掛引ヲシテ、種々ノコトヲヤラナケレバナラヌニ、色々ナ法律規則ニ依ツテヤレナイコトニナルト云フコトガ反對ノ理由ノ一ツデアッタヤウニ思ヒマスガ、私共モ敢テ法律規則ト云フモノ、煩冗ヲ欲シマセヌガ、併シ

此鹽ニ對シテハ、秘密ヲ掛引ニ依テ專賣ノ鹽ヲ取ッテ人民ニ色々ノ高イ廉イ種々ナル賣付ヲシテ行クト云フコトハ避ケナケレバナラヌコトデアリマス、鹽價ガ不同デアアル、變ジナイト云フコトガ、鹽價ヲ成ルベク産地デアツテモ、山ノ奥デ非常ニ高イノデアツテモ、同一ニ近イモノニサセルト云フコトハ、專賣ノ御蔭デアアルノデアリマス、現ニ專賣法實施ノ時ニハ成程一斤五錢五厘カラ、一斤九錢五厘マデ殆ド四錢ノ差ヲ生ジテ居リマシタガ、爾來桂内閣ニ於テ二百何十萬圓ノ公債ヲ以テ、鹽田整理ヲ行ヒ、關東若クハ臺灣カラ一億萬斤ノ鹽ヲ輸入シテ、其缺陷ヲ補ヒ、其儲ケタ六十三萬圓ヲ悉ク運賃ニ投ジテ、昨年又三百萬圓ノ中ノ三十六萬圓ヲ運賃ニ投ジテ、政府デ全請負、運賃ハ全ク政府持ニシテ、アト百六十萬圓——百八十萬圓ヲ以テ百斤十八錢ノ鹽價引下ニ用キタノデアリマス、故ニ今日ハ一番高イ信州ノ飯田町ハ三錢六厘デアリマス、一番廉イ香川縣ノ坂部ト云フ所ガ三錢七厘デアリマス、其位ニ廉クナツテサウシテ其差ガ一錢一厘ニ近ヅイタノデアリマス、尙之ヲ政府ニ促シテ此均一ヲ成ルベク近クセシメ、成ルベク政府ニ餘裕ガアツタナラバ、鹽價ヲ引下ゲサスト云フコトニ向ッテ來レバ、諸君ハ鹽サヘ多ケレバ目的ヲ達スル、專賣法ヲ廢止シナクテモ、政府ノ財政ノ都合ヲ見計ラツテ、鹽價ノ引下ニ御運動ニナルコトガ最モ適當デアラウト信ズルノデアリマス、假ニ諸君ノ如ク、今之ヲ廢スルト致シマセウカ、專賣ハ稅ヂヤナイ、限局ニ言ヘバ稅ヂヤナイ資本ガ入ッテ居リマス、此資本ヲ二百八十何萬圓ト云フ資本ヲ入レルノミナラズ、鹽田ノ整理交付金ニ對シテ二百三十萬圓、約五百何萬圓ノ資本ガ無効ニ歸スルノミナラズ、專賣法以前ニ立歸ッタナラバ、遼東半島及臺灣、英吉利、獨逸アタリノ鹽ガドンドン這入ッテ來ルノデアリマス、此一點ニ向ッテ大口君ハ關稅ヲ一圓位課シタラバ氣遣ナカラウト云フ御話デアリマシタガ、ドウ云フ算盤ノ基礎デサウ云フモノガ出マスカ、獨逸ノ元デ百斤二十三錢位ノモノガ、種々ノ費用ヲ掛ケテ此方ヘ陸揚スルト八十何錢掛リマス、然ルニ内地ノ鹽田デ造ルノハ、二圓何十錢ニナツテ居リマス、明治三十五年ニ——今日ハモット高ク二割以上色々ナモノガ騰ッテ居ルカラ高クナツテ居ルト思ヒマス、之ト競争シテ若クハ生産費ノ廉イ遼東半島臺灣産地ノモノト競争シテ、日本ノ鹽ガ之ニ堪ヘルヤ否ヤ、三尺ノ童子ト雖モ知ルコトガ出來ルト

思ヒマス、大口君ハ之ニ對シテ大分牽強ノ理屈ヲ言ハレマシタ、理學的ノ性質ガ違フカラ、ソレデ日本ノ鹽田ニ向クモノガアル、成程此大根ハアノ鹽デ漬ケルト味ガ好イト云ツテ、特別ニ取リニ來ルカラ氣遣ナイト云フ仰セデアルカ知リマセヌガ……是等ノコトハ到底値ノ高イヤツト廉イヤツト併行シテ行ケルモノデナイノデアリマス、斯ノ如ク專賣法ヲ取ツテシマヒマスレバ、生産費ノ廉イ外國ノ鹽ガドン／＼這ッテ來ル、ドン／＼這入ッテ來レバ、日本ノ鹽田ハ廢滅ニ歸スル、從事シテ居ル者ハ何萬人其職ニ迷フ、鹽田ノ建物ニ放下シタ二千五百萬圓ハ、殆ド效力ガ無クナル、毎年這入ッテ來ル鹽ニ向ッテハ殆ド八百萬圓乃至九百萬圓ノ金貨ノ流失ヲ起ス、マダソレデモ忍ブベシデアリマスガ、一朝事ガ有ツタ時ニ鹽ガ何處迄騰貴スルカ分ラヌ、騰貴スルヤツハマダ忍ブベシデアリマスガ、鹽ノ殆ド供給ノ絶ヘタ時ニ、ソレコソ島田君ナドガ心配セラレマスル、吾々ノ身體ガ保テヌヤウニナルノデアリマス、其場合ニ於テ上杉謙信ノ如ク、戦ト人ヲ苦メ是ハ即チ專賣法ヲ是非設ケナケレバナラヌ、又設ケテ置カナケレバナラヌ所以デアリマス、故ニ吾々ハ縱令此鹽價ノ八百萬圓ガ國庫ノ增收ガ無クナリマセウトモ、若クハ國庫ノ普通經費カラ幾分カ出シテ廉ク致シマセウトモ、此專賣法ハ殘シテ置キタイノガ私ノ持論デアアルノデアリマス、以上ノコトヲ以テ私ハ此案ニ反對ヲ致シマスノデアリマスガ、私ハ國民黨ノ諸君ニ御願ヒシタイノデアリマスガ、十年此方殆ド一人受持デ唱ヘラレテ居タコロノ島田君ガ、昨年以來全ク此事ヲ本家本元ガ止メラレタノデアリマスカラ、今後ハ來年カラ是ダケハ御止メニナルコトヲ願フノデアリマス

討論終局シ表決ニ及テ院議本案ヲ否決シタリ

一〇 災害地免租ニ關スル法律案

第一條 災害又ハ天候不順ニ因リ府縣及北海道ノ全部又ハ一部ニ互リ收穫皆無ニ歸シタル田畑ノ地租ハ其ノ年分ニ限り之ヲ免除ス

第二條 本法ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ被害現狀ノ存スル間ニ於テ其ノ事實ヲ證明シ主務官廳ニ申出ツヘシ

第三條 本法ニ依リ被害調査中ハ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第四條 本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セス

附 則

本法ノ規定ハ之ヲ大正二年度分田畑地租ニ準用シ免租申出期間ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内トス

明治三十六年法律第三號ニ依リ地租延納ヲ許可シタルモノニシテ未タ徵收セサル分ハ之ヲ免除ス

明治三十四年法律第二十七號及明治三十六年法律第三號ハ之ヲ廢止ス

二年十二月二十六日關直彦君外五名提出、三年一月二十四日第一讀會ヲ開キ提出者(小西和君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

諸君、農作物ノ上ニ災害ヲ被リマシタ場合、被害者ニ對スル恩惠的ノ法規ト致シマシテハ、水害ノ場合ニ地租ヲ免除スルコトニナッテ居リマス、サウシテ他ノ災害ニ對シテハ、之ヲ延期スルト云フコトニナッテ居ルノデゴザイマスルガ、斯クテハ同ジ災害ニ對スル取扱上不公平デアルト云フ譯デ、本院ノ議員ハ屢、是ガ法律ノ改正案ヲ議會ニ提出ヲ致シタノデゴザイマス、然ルニ政府ハイツモ之ニ對シテ反對ヲ致シテ參ッテ、其反對ノ理由ハ何處ニアルカト申スト云フト、地租ノ條例ノ意味ガ……政府ハ反對ヲ致シテ來テ居ッタノデアリマスルガ、私ハ昨年東北ノ凶作ノ状態ヲ見テ、ドウシテモ是ハ免除セナケレバナラヌモノデアルト見マシタ、サウシテ此案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、所ガ今迄反對ヲシテ來ッテ政府ガ、此案ヲ出シテカラ後二十餘日ヲ經過シテ、而モ殆ト同ジヤウナ、少クトモ其精神ニ於テ少シモ變リノナイ案ヲ提出シタト云フトハ、私ハ頗ル不思議ニ感ジタノデアアル、政府ガ此案ヲ提出ヲ致シタト云フトハ、從來ノ非ヲ悟ッタノデアアルケレドモ、政府ノ無方針主義デアルト云フコトヲ遺憾ナク表白シタコトデアラウト思フノデアアル、ケレドモ何レニシテモ政府ノ大出來デアルト褒メテ置ク次第デアリマスルガ、ソレデハ餘計ナコトハ申サヌヤウニシテ、唯茲ニ一言念ノタメニ申上ゲテ置イテ、サウシテ此壇ヲ下ルコトニ致シマス、諸君、滋賀縣ト三重縣ノ一部デハ、花崗岩カラ出來テ居リマスル所ノ土地デ、粘土質ノ水田ガアリマス、是等ハ多クハ山間ノ僻地デゴザイマスルガ、斯ル土地ハ昨年ノ如キ大旱魃ニ際シテ、管ニ收穫ノ皆無ニ歸シタノミナラズ、田面ガ龜裂ヲ致シテ、サウシテ水田ノ形狀ヲ變ヘテシマウマデノ状態ニナッテ參ッタノデゴザイマスルガ、サウシテ是ハ全ク荒蕪地ト同ジヤウナモノニナッタト見ナケレバナラヌノデゴザイマスルガ、其中デモデス、土山ノ方面、水口ノ方面、或ハ伊賀地方ノ如キハ最モ甚シキ慘狀ヲ呈シタノデゴザイマスル、ソレデ若モ此案ガ通過ヲ致シテ、之ガタメニスル災害ニ對シテマデモ、其年度限りノ地租ヲ免除スルコトニ止マルヤウナコトガアリマシテハ、到底斯ル大ナル災害ニ對シテノ恩惠トスルニ足ラナイノデアリマス、滋賀縣及三重縣ノ一部ニ於ケル此種ノ災害ハ、其田面ニ龜裂ヲ生ジタモノヲ復舊致シマスルノハ、水害地ノ荒廢ニ歸シタ田面ノ復舊ト少シモ變ラヌ程ノ手數ヲ要スル、一段歩ニ對シテ數十

百人ノ人夫ヲ要シ、數十百金ノ費用ヲ要スル譯デアリマス、ソレデアリマスカラシテ、去ル明治十六年ニ政府ハ之ニ對シテ工費ヲ特別ニ貸與シテ居ルデアリマセヌカ、ソレカラ又二十六年二十七年ノ大旱魃ノ際ニハ、地租條例ニ依ッテ特別荒廢地免租ノ處分ヲ施シテアルノデアリマス、ソレデ斯ル被害地ニ對シテハ此免租案ガ通過ヲ致シマシテモ、相變ラズ特別ナ荒廢地ノ免租ノ處分ヲ執ッテ貫フヤウナコトニ致シタイ、詰リ政府ニ特別ナ方法ヲ執ッテ貫ヒタイ、之ヲ言明ヲ致シテ置ク次第デゴザイマス、而シテ本案ハ既ニ政府ノ方カラ案ガ出マシタカラシテ、同一ノ委員ニ付託セラレテ可決アランコトヲ希望スル次第デアリマス

次テ政府提出災害地地租免除法案外一件ノ委員ニ付託シ委員ハ審査ノ末本案ハ同種政府提出案(災害地地租免除法案)可決ノ結果議決ヲ要セサルモノトシ同月二十八日報告書ヲ議長ニ提出セリ
翌二十九日第一讀會ノ續會ヲ開キ院議委員會ノ報告ヲ採用シ議決ヲ要セサルモノト決シタリ(本章第四款第一項第一號參看)

一 地租條例中改正法律案

地租條例中左ノ通改正ス

第一條第一項中「田畑地價百分ノ四箇七」ヲ「田畑地價百分ノ四箇」ニ改ム
同條第二項中「田畑地價百分ノ三箇四」ヲ「田畑地價百分ノ三箇」ニ改ム

本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

二年十二月二十六日關直彦君外五名提出、三年一月二十四日第一讀會ヲ開キ提出者(金尾稜嚴君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

本案提出ノ理由ヲ極メテ簡單ニ述ベタイト思ヒマス、本案ハ既ニ昨年提出ヲ致シマシテ、委員會ノ結了ヲ待タズシテ議會ガ閉會ニナリマシタノデアリマス、其當時農民ノ負擔ノ重キガ爲ニ困難ナル状態ハ精シク述ベテ置キマシタ、今更メテ之ヲ繰返シテ述ベル必要モナイカト存ジマス、昨年述ベマシタコロハ主ニ小農ノ狀況ヲ述ベマシタガ、尙ホ進ンデ中農即チ田地ノ一町以上モ持テ居ルモノハ左マデ困難デハナイカト言ヒマス、決シテサウデナイ、今日多ク農業ヲ罷メテ田地ヲ無クシテシマヒマスルモノハ、却テ一町二町ノ中農ニ數ガ多イノデアリマス、假リニ田地ヲ一町持テ居リマス者デモ、先ヅ一町歩ニ付テ二十石ノ米ガ取レルト見マシテモ、食料其他公租ナドニ引去リマス云フト、一箇月ニ殘リマス所ノモノハ僅ニ八圓強ニホカ止リマセヌ、之ヲ以テ一切ノ食物ノ外ノ一切ノ事ニ使ッテ往クノデゴザイマスカラ、實ニ憐ムベキモノデアル、尙進ンデ二町三町ノ田地ヲ持テ居リマス者ハ自作ヲ致ス譯ニ參リマセヌカラ、之ヲ小作ニ預ケマス、而シテ其小作ヨリ納メマスルトコロノモノハ、一町ニ對シテ二十石ノモノガ漸ク十石ニホカナラナイノデゴザイマスカラ、此ノ殘リヲ以テ公租其他一年中ノ經費ニ充テマスルノデアリマスカラ、是亦決シテ裕カデハナイノデアアル、五町以上若クハ十町近クノ土地ヲ持テ居リマス者ハ全然裕カデモゴザイマスガ、其代リ又地租ノ外ニ所得稅ナルモノ、負擔ヲ負ハナケレバナリマセヌカラ、是亦決シテ樂ナトハ申サレナイノデアリマス、御承知ノ通り元ト地租ハ百分ノ

二箇半デアリマシタモノガ、日露戰役ノ當時一年ノ間ニ前後二回即チ三分ノ増稅ニナツタノデアリマス、此五分五厘ノ重イ地租ガ、第二十七議會ニ於テ漸ク八厘ノ減額トナツタノデアリマス、今日米價ガ二十圓ト致シマシテモ、右申上ゲマス通り農民ノ状態ハ實ニ憐ムベキモノデアリマス、其結果農村ハ漸次荒廢ニ歸シマスルシ、最モ國民ノ多數ヲ占メテ農村ノ中堅トナルベキトロノモノガ、漸々減ッテ參ルノデアリマス、其極從來ノ如ク農家ニ育チマシタコロノ健全ノ壯丁ヲ得ルコトモ、漸次數ガ減テ來ルコトニナルノデアリマス、是ハ國防上ヨリ見マシテモ、或ル西洋ノ學者ガ日本デハ今日ノ有様デ推シ行ケバ、將來日露戰役ノ當時ノ如ク、強イトコロノ兵隊ヲ揃ヘルコトハムヅカシイデアラウト外國人ガ申シタノモ、決シテ杞憂デハナイト信ジマス、何レノ點ヨリ眺メマシテモ、少クモ尙ホ此上七厘ノ地租ヲ減ジマシテ、田地ノ地價ヲ百分ノ四箇ニ改メマスコト、同條第二項中ノ田地地價百分ノ三箇四トアリマスノヲ百分ノ三箇ニ改メマスコトハ、民力休養ノ上ニ於テ最モ必要ナルコト、信ジマス、此上申上ゲナクモ諸君ハ能ク御分リニナツテ居ルコト、存ジマスルシ、且又昨年既ニ提案ノ當時概略ノ理由ヲ述ベテ置キマシタカラ、是デ別ニ申上ゲマセヌ、ドウカ憐ムベキ農家ノ狀況ニ對シテ、諸君ハ御賛成下サレンコトヲ切ニ希望致シマス

次テ議長指名ノ委員ニ付託スルニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ同月二十六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ニ修正ヲ加ヘ二月十四日報告書ヲ議長ニ提出セリ

本案ニ對シ委員金尾稜嚴君外二名ヨリ少數意見(可決)ヲ提出セリ

(委員會報告書)

(小字及——ハ委員會修正)

地租條例中左ノ通改正ス

第一條第一項中「田地地價百分ノ四箇七」ヲ「田地地價百分ノ四箇」ニ改ム

四箇五

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第二項 本院提出法律案

同條第二項中「田畑地價百分ノ三箇四」ヲ「田畑地價百分ノ三箇」ニ改ム

附則

本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

又武富時敏君外一名及川原茂輔君ヨリ各々委員長報告ニ對スル修正案ヲ提出セリ

(武富時敏君外一名提出修正案)

地租條例中改正法律案委員長報告中左ノ通修正ス

第一條中「百分ノ四箇七」ヲ「百分ノ四箇」ニ、「百分ノ三箇四」ヲ「百分ノ三箇」ニ改ム

附則

本法ハ大正三年分地租ヨリ之ヲ適用ス

(川原茂輔君提出修正案)

地租條例中改正法律案委員長報告附則中左ノ通修正ス

附則

本法ハ大正四年分地租ヨリ之ヲ適用ス

二月十七日第一讀會ノ續會ヲ開キ委員長齋藤珪次君ハ委員會ノ經過及結果ヲ報告シ次テ金尾稜嚴君ハ少數意見ヲ演說セリ

齋藤珪次君ノ報告

唯今議題ニ付セラレマシタル地租條例中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報道申上ゲマス、本案ハ條文ハ簡單ニアリマスルガ、事國民ノ大多數タル農民ノ負擔ニ關係スル事柄デゴザイマスルガ故ニ、其經過ハ幾分御參考マデニ申上ゲたいト存ジマス、本案ノ大趣旨ハ現行ノ地租條例ニ於テ田畑ノ地價百分ノ四箇七トゴザイマスルノヲ、百分ノ四箇ニ改メル、即チ七厘ヲ減ゼントスルモノデアアル、ソレカラ北海道ノ田畑地價ガ現制度ニ於テハ百分ノ三箇四トナッテ居ルモノヲ、之ヲ百分ノ三箇ト改メル、即チ四厘ヲ減ズル、斯様ノ案デゴザイマス、而シテ施行期限ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行スト云フノ提案デゴザイマシテ、關直彦君外五名ヨリ提出セラレタル案デゴザイマス、本案ハ委員諸君ニ於レマシテモ、非常ナル御精勵ヲ以テ大藏省政府委員等ニ最モ熱心ニ誠實ナル御質問ヲ致サレマシタ、又政府委員モ此案ニ對シテ最モ誠實ナル答辯ヲ致サレタノデアリマス、之ヲ約言致シマスレバ、政府ニ於テモ今日ノ農村ノ困憊疲弊ヲ認メヌノデハナイ、大ニ今日ノ農民ノ状態ニ同情ヲ致スノデアアル、併ナガラ今日ノ場合ニ於テハ此租稅ヲ減ズルト云フコトヲ爲スト云フコトヨリモ、他ノ方法ニ於テ之ヲ政府ハ救濟スベク考ヘテ居ルノデアアル、其一端ト致シテハ、農村ノ金融ヲ圓滑ニ致シテ、低利資金ノ如キ方法ヲ以テ肥料其他信用組合等ノ方法ニ依テ幾多ノ便宜ヲ與ヘルト云フコトヲ第一ト致シ、續イテ耕地整理ノ獎勵補助ヲ致シテ、農村ハ年々二三百萬圓ノ金員ヲ之ヲ支出スベク覺悟ヲ致シテ居ル、ソレカラ尚ホ今期議會ニ於テハ開墾地等ハ無稅ニ致スト云フコトノ法案ヲ出スベク今準備中デアアル、尙又

近年農家ノ中産以上ノ者ガ投機商ニ手ヲ出シテ、慣レナイコトノタメニ意外ナル失敗ヲ招クガ如キコトヲ耳ニスルガ故ニ、斯ノ如キコトノナキヤウニ農村ニ警戒ヲ與ヘテ、是等ノ投機事業ナドノ爲ニ産ヲ破ラナイヤウノ方法ヲ講ズルノデアル、又取引所法ヲ改善致シテ、米價ガ非常ナル變動ヲ來シテ、農民ノ資産ニ影響ヲ及ボスガ如キコトノナキヤウナ方法ヲ執ル、斯ノ如キ種々ノ方法ヲ以テ間接ニ農村ノ保護、農村ノ維持ト云フモノニ努ムル考デアルト云フノガ政府ノ辯明デアリマス、而シテ委員諸君ハ是ハ大ニ諒ト致シマシタガ、尙ホ討議ノ結果、此原案ノ如ク七厘若クハ二厘ヲ減ズルト云フコトハ目下ノ財政状態等ニ於テ之ヲ許サスノデアルカラ、甚ダ少額デハアルガ此際本州等ニ於ケル田畑ノ地價ニ對シテハ、二厘ヲ減ズル、即チ百分ノ四箇七トアリマスノヲ百分ノ四箇五ト致シ、北海道ニ於ケルモノニ對シテハ百分ノ三箇四トアリマスノヲ三箇二ト改メテ、即チ二厘ヲ減ズルト云フコトノ議論、是ハ二厘ト云フコトハ頗ル少額ノ如クナレドモ、曩ニ地租ヲ輕減スルノ意味ニ於テ八厘ヲ減ジテ居ル、即チ其當時議會ニ於テハ一分ヲ減ゼントスルコトノ議論モ段々アッタノデアアル、故ニ此議論ヲ補足スベク此際二厘ヲ減ジテ、曩ノ八厘減ニ加ヘテ一分ニ致スト云フノ趣旨、一面ニハ又此法案ニ現ハレザルモノ、今期ノ豫算會ニ於テ政府ノ承諾ヲ與ヘ、近頃議會ニ現ハレテ居ル地租納付交付金ニ付テ百分ノ四ト云フモノヲ、地租ノ爲ニ町村役場ニ手数料ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ間接ニヤハリ農民ノ負擔ヲ減ズルノ意味ニナルノデアアル、此金額約二百四十萬圓、今回ノ二厘減ニ於テ此金額約二百五十萬圓、合計約五百萬圓バカリノ農民ノ負擔ヲシテ輕減セシムルト云フコトノ意味ニ於テ、此改正ヲ致シマシタ、之ニ付テハ委員諸君ノ議論ガ二ツニ分レマシテ、即チ斯ク修正致スト云フコトト原案ノ通り此原案ノ通りニ維持セラルル御方ト二ツニ分レマシテ、正半數ニナリマシタ、ソコデ委員長ハ此修正案ニ同意ヲ致シタノデゴザイマス、即チ御報告申シタ如ク委員會ノ決定ニナリマシタノハ、二厘減ト云フコトニ相成リマシタノデアリマス、而シテ施行期限ハ又本年九月一日ヨリ施行スルコト能ハザルガ故ニ、之ヲ大正四年四月一日ヨリ施行スルト云フコトニナッタノデゴザイマス、即チ是ガ委員會ニ於テ多數ニ依テ決セラレタル案デゴザイマス、之ニ對シマシテ前申上ゲタ正

反對ニナリシ一方ノ原案論者ハ、之ニ對シテ少數意見ヲ申出デラレマシタ、是モ報告ニナッテ居リマス、此少數意見ハ私ガ申上ゲザルモノ、金尾稜嚴君外三名ヨリシテ詳細ニ御論ジニナルコトト存ジマスカラ、私ハ之ヲ略シマシテ少數論者ノ御辯明ニ讓ルコトニ致シマス、大要右本案ニ對スル經過及結果デゴザイマス此段御報告申上ゲマス

金尾稜嚴君ノ演說

地租條例改正法律案ノ委員會ニ於ケル少數意見ヲ御報告致シタイト存ジマス、委員會ニ於キマシテハ唯今委員長ノ述べラルル如ク、今日農家ノ現狀ニ徴シマシテ、地租ヲ輕減スベシト云フ意見ハ滿場一致デゴザイマシタ、平生政友會ノ諸君ト吾々ハ意見ヲ多ク異ニスルニモ拘ラズ、此地租輕減ノ問題ダケハ全會一致デアリマシタ、サリナガラ唯憾ムラクハ此輕減ノ率ニ於テ、政友會ノ諸君ト吾々トノ意見ガ異ッテ居リマス、吾々ハ提案ノ如ク現在ノ田畑地租ノ四分七厘トアリマスノヲ即チ百箇ニ改メタイ、七厘ヲ減ジタイト云フ趣意デゴザイマス、又北海道ニ於キマシテハ田畑地價百分ノ三箇四ヲ、百分ノ三箇ニ改ムルト云フ意見デアリマス、而シテ本法ハ大正三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス、斯ウ云フ附則ニナッテ居リマス、政友會諸君、即チ多數ノ意見ハ今委員長ノ述べラレマシタ如ク二厘ヲ減ズル、即チ百分ノ四箇七トアリマスノヲ百分ノ四箇五ニ修正スル、次ニ第二項中ノ田畑地價百分ノ三箇四トアリマスノヲ田畑地價百分ノ二ニ改メル、斯ウ云フ各二厘ツ、ヲ減ズルト云フ御意見デアリマス、ソレニ付テ御主張ニナッタ重モナ理由ハ、未ダ調査ガ十分ニ出來上ッテ居ナイ、是ハ武市君カラ御述ニナッタ理由デ間違アルト惡ウゴザイマスカラ、其速記録ノ一節ヲ讀ミタイト思ヒマス、決シテ長クハ讀ミマセヌ、極ク肝要ナ所ヲ一節讀ミマス

「斯カル提案ノ出マシタコトハ、誠ニ私ノ大ニ喜ビ迎ヘルトコロデアリマス、併シ其程度ニ於テ如何ニ致スト云フコトハ、マダ私ニ於テ調査ガ十分届キマセヌカラ、如何程ニスルト云フ定案ハ立チマセヌガ、折角斯カル提案ガ出マシタ以上ハ、之ヲ大成スルハ他日ニ俟ツトシテ、宜

シク之ヲ葬ムルト云フコトハ甚ダ素志ニ背クコトニナリマス、ソレ故ニ曩ニ百分ノ八即チ八厘ヲ減ジラレタノデアリマスカラ、茲ニ一厘ヲ減ジテ一箇ヲ減ズルコトニ致シマシタ

斯ウアル、ソレカラ次ニ仰シヤルコトハ、今年ハ御即位ノ御大禮モアルコトデアルカラ、國民一般ニ恩惠ヲ潤スト云フコトガ必要デアルカラ、セメテ二厘ヲデモ減ジタイ、斯ウ云フ御論旨デア

ル、次ニ附則ノ期日ノコトニ付テハ、大正四年四月一日ヨリ施行スル修正スル、斯様ナ御意見ガ即チ四名ト四名デアリマシタ所へ、委員長ノ齋藤君ガ其方ニ御起立ニナリマシテ、五名ト四名即チ私共ノ少數ノ意見ガ四名ニナッタデアリマス、是ニ就テ私共ノ主張シマスル所ハ、苟モモ地租ヲ減ズルト云フコトニ御同意デアル以上ハ、少クとも原案ノ通り七厘ヲ減ジナクテハ農民ガ輒チ恩惠ニ浴スルコトガ出来ナイノデアラウ、ト申シマスノハ御承知ノ通り、土地臺帳ヲ一筆毎ニ改メル事カラ、其他府縣稅、町村費、總テ土地ニ掛リマシタモノヲ悉ク帳簿ヲ改メネバナラヌ、容易ナ費用デアリマセヌ、先年八厘ヲ減ジラレタ時デサヘモ、餘リ恩澤ガ潤ッタトハ考ヘマセヌノニ、寧ロ未ダ調査ガ出来ナイカラ、斷然今ノ所ハ地租輕減ニ反對スルト云フ御意見ナラバマダ聞ヘテ居ル、然ルニ調査ハ出来ナイケレドモ、先ヅ今二厘ヲ減ジテ置カウト云フ御論旨デハ、折角二厘ヲ減ジラレテ却テ難有迷惑ニナルノデアアル、殊ニ御論旨ノ前後突合ヒマセヌ所ハ、今年ハ御即位ノ御大禮ノアル年デアルカラ、恩澤ヲ農民ニマデ及ボスト仰シヤルカト思ヘバ、一方デハ施行期日ヲ來年ニシテ御置キナサル、サウスルト御即位ノ濟ンダ翌年ニ恩澤ニ潤フ、斯ウ云フ事ニナルノデアリマス、又能ク調べテ見マスト、是ハ内務省デ調べタモノデゴザイマスガ、全國ノ地價ハ有租地ガ九億七百九十萬二千七百五圓デアリマス、之ヲ全國ノ町村數一萬二千三百六ヲ以テ割ッテ見マスト、一町村ノ平均ノ地價ガ十五萬五千三十八圓ニナルノデアリマス、此地價ニ對シテ、地租ノ二厘ヲ減ズルト云フコトニナリマスト、一町村僅ニ十五萬幾ラノ地價ニ對シテ二厘デゴザイマスカラ、三百圓バカリ外ニ其村ハ輕減ヲ受ケナイ、僅ニ三百圓位ナ地租ヲ輕減シマシテ、一方デハドウデアルカ、前ニ申上ゲル通り土地臺帳ノ整理ヲ首メ、總テ土地ニ掛リマス所ノ負擔ノ帳簿カラ悉ク直シテ行クト云フコトニナリマスレバ、

二百圓ヤ三百圓デ出来ル仕事デハナイノデアアル、故ニ餘リ難有ガラナイト云フノハ此事デアアル、ソレデアリマスカラ寧ロ調査ガ出来ナイカラ今年ハ否決シテシマフ、斯ウ云フ御論旨ナラバ聞ヘテ居リマスルガ、先ヅ一ツ葬ル代リニ二厘此所デ減ジテヤラウ、斯ウ云フ御考カラ唯今ノヤウナ御修正ニナリマシタ分デハ、齋藤君次君ノ昨日ノ私ニ對シテノ速記録ヲ讀ミ、仰ッシヤッタ通り、斯ウ云フ心持デオヤリナサレタ地租輕減デハ、餘リ農民モ難有思ハヌダラウト思フ、故ニ政友會ノ諸君モ御再考下サレ、是非提案ノ通り七厘減ト云フコトニ御贊成ヲ願ヒマスルノト、モウ一ツ施行期日ノコトニ付キマシテ、同志會ノ方ヨリハ大正四年度分ヨリ斯ウ云フ修正、間違デアリマス、大正三年度分ヨリト云フ御修正ガ出マシタ、是ハ不幸ニシテ私共ト意見ガ違ヒマシテ、少數意見トシテ唯今三名連署シテ出シテ居リマスル所ハ、即チ提案ノ如ク大正三年九月一日ヨリト申スコトニナッテ居リマス、但シ其七厘減ト云フ稅率ノ點ニ於テハ、同志會ノ諸君ト少數意見ガ全ク同ジ事ニナッテ居リマス、以上少數意見ノ概略ヲ御報告致シマス

質疑應答ノ後小西和君、有田溫三君ハ本案ニ贊成、東武君、日向輝武君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ(東武君ハ其ノ演說中使用セル不穩ノ言語ヲ取消ス)

東武君ノ演說

私ハ修正案ニ對スル贊成ノ意見ヲ表スル者デアリマス、本日ハ國民黨ノ諸君ヨリ種々廢稅ノ御高見ヲ伺ヒマシテ、私共頗ル得ルトコロガアッタ次第デアリマスガ、元來私ナドモ主義ニ於テハ國民黨ノ諸君ト少シモ變ルトコロハナイノデ、總テノ稅ヲ廢スルコトガ若シ出来ラバ、總テノ稅ヲ廢シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、或ハ通行稅デアラウトモ、鹽專賣デアラウトモ、其他ノ稅デアラウトモ、廢シタイケレドモ是ハ國家ノ事情國情ガ許サヌカラ、已ムヲ得ズ諸君ニ反對スル、地租ニ於テモ亦然リデ、私共ハ諸君ガ八厘減ヲ主張スレバ八厘減ニ贊成致シタ

第七章 議事

第三節

議案ノ討議及表決

第四款

法律案

第二項

本院提出法律案

イ、一割減ヲ主張スルナラバ一割減ニ賛成ヲスルコトニ吝カナラヌノデアリマス、ケレドモ奈何
 セン我國家ノ經濟國情ニ於テ許サヌトコロガアルガ爲ニ、私共ハ反對スルノデアリマス、經濟學
 者ノ稅法ニ對スル原則ガ、稅ハ盡クドノ稅デモ良稅ト云フモノハナイ、盡ク惡稅デアアル、一番ノ
 良稅ハ何デアアルカト云フト是ハ無稅デアアル、無稅ト云フ程良稅ハナイト云フコトハ是ハ西洋ノ
 經濟學者モ説イテ居ルノデアアル、故ニ無稅ニナルコトガ出來ルナラバ、私共ハ賛成ヲ致シタイノ
 デアリマス、無稅ホド良イ稅ハナイ、故ニ諸君ノ唱フルトコロハ是ハ一己ノ理想トシテ諸君ニ
 對シテ敬意ヲ拂フノデアアル、理想ト云フモノニ對シテハ敬意ヲ拂フノデアアルケレドモ、決シテ諸
 君ノ言フトコロハ實現サレナイト云フコトダケハ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、又國民黨ノ
 諸君ニ御尋ラスルノハ、此地租條例ノ委員會ニ於キマシテ、國民黨ノ金尾稜嚴君ナドハ農村ガ疲
 弊ヲ致ス、一箇年ニ六十萬人ツ、モ市街ニ流レテ商工業ニ轉業スルモノガアル、サウシテ農村ハ
 疲弊ヲ極メテ殆ド國家ノ運命ヲ危クスルトマデ論ジラレテ居ル、然ルニモ拘ラズ諸君ハ何故ニ
 地租ニ對シテ僅カ七厘減ヲ唱ヘルノデアリマスカ、寧ロソレ程農村ガ荒廢致シテ居ッテ、殆ド國
 家ノ中流ノ農村ト云フモノハ漸次他ニ業ヲ轉ズルト云フコトナラバ、何故ニ諸君ハ地租ニ付テ
 全廢ヲ唱ヘヌノデアアルカ、七厘減デ宜イト云フコトデナゼ諸君ハ満足致スノデアリマスカ、是ガ
 既ニアナタ方ノ論理ト云フモノガ少シモ分ラヌト考ヘルノデアアル、金尾君ハ地租條例ノ改正ニ
 於テ屢々此事ヲ言ハレテ居ルガ、我黨ノ委員諸君カラシテ此點ニ付テ質問致シテ居ル、金尾君ノ
 此一節ヲ申シマスレバ「營業稅全廢ハ何レ營業稅ノ委員會ガ其委員ガ答ヘルデシヤウ、此處デハ
 商工業者ニ比較シテ農民ノ負擔ガ重イト云フコトダケヲ申上ゲマス、此農民ノ負擔ガ重ケレバ
 全廢ヲスルカ、全廢ト云フコトハ此處デハ言ウテハ居ラヌ、此處デハ七厘減、斯ウ云フコトヲ主
 張シテ居ルノデアアル」斯ウ言ッテ居ル、商工業者ヨリ農民ノ負擔ガ重イ農民ガ困難デアルト云フ
 コトヲ、委員會ニ於テ既ニ金尾君ハ唱ヘテ居ル、然ラバ諸君ハ營業稅ニ二千六百萬圓ノ減稅ヲ唱
 ヘテ、地租ニ於テ僅ニ八百萬圓シカ減稅ヲ唱ヘヌト云フノハ何事デアリマスカ、此點ニ於テ諸君
 ノ論理ト云フモノハ、少シモ私ハ一貫シテ居ラヌト思フノデアリマス、是ハ營業稅ニ於テ商工業

ノ負擔ガ重イト云フナラバ、營業稅ヲ全廢スルト云フナラバ、地租ニ於テモヨリ以上、若シ全廢
 ガ唱ヘラレヌト云フコトデアアルナラバ、八厘ヲ減ズルナラバ八百萬圓デゴザイマス、又一割減ヲ
 唱ヘルナラバ一千萬圓デアアルガ、一割減ナリ二割減ヲ唱ヘヌト云フコトハ、甚ダ諸君ハ此點ニ於
 テ遺憾ナ次第デアラウト考ヘル、唯是ハ諸君ガ人氣ヲ取ラナケレバナラヌ、地租モ全廢ヲシナケ
 レバナラヌ、附合デ已ムヲ得ズシテ金尾君ガ讀ンダ所ノ御經ニ諸君ガ賛成シタノミデアアル、農民
 ハ金尾君ノ御經ニソレ程布施ヲ出スモノデナイト云フコトヲ、私ハ此所ニ斷言シテ置キマス、ソ
 レカラ同志會ノ諸君、私ハ豫算委員會以來、此地租條例ノ改正案ガ提出以來、既ニ地租條例ノ改
 正案ヲ提出シタノハ十二月二十六日デアアル、十二月二十六日ニ國民黨ノ諸君ガ、此地租條例改正
 案ヲ提出シテ爾來殆ド五十日間、五十日間ヲ經過シテ居リマスルケレドモ、同志會諸君ガ曾テ豫
 算委員會ニ於テ一回モ地租輕減ヲ唱ヘタノヲ聞カナイ、又分科會ニ於キマシテモ私ハ諸君ト同
 席ヲシタノデアリマスガ、曾テ此地租ニ言及シタコトヲ記憶致サナイ、而シテ國民黨ガ此地租輕
 減案ヲ出スト、私ノ記憶致ストコロデハ新聞ガ間違ッテ居ルカハ存ジマセヌケレドモ、十六日ノ
 代議士總會ニ於テ初メテ此ノ地租ヲ輕減スルト云フコトヲ——七厘減ヲ主張スルト云フコトヲ
 決議シタト云フコトハ何事デアリマスカ、ソレナラバ何故ニ十二月二十六日ニ、地租條例改正案
 ヲ提出シタノニ、昨日ニ於テ初メテ此修正案ヲ出シタト云フコトハ何事デアアルカ、若シ諸君ニ
 一片ノ誠意ガアルナラバ、モウ少シ早クカラシテ此事ヲ諸君ガ論及シナケレバナラヌ等デアアル、
 是ハ失禮デアリマスケレドモ、商工業者ニ偏シテ、商工業者ニノミ對シテ、滿腔ノ心血ヲ注イテ
 ハ農民ニ對シテ反感ヲ買フト云フノデ、ヤハリアナタ方ハ金尾君ノ御經ヲ讀ムノニ念佛ヲ唱ヘ
 タト云フニ過ギナイノデアアル(中略)諸君我黨ノ取ッタトコロノ地租二厘減ト云フモノニ對シテ、
 諸君ガ是ハ少ナイト斯フ云フノデアリマス、少ナイト云フノデアリマスケレドモ、諸君ト吾ト
 ノ間ニ……私共ハ今回二厘ヲ減ジタト云フコトハ極ク金錢ニ於テハ輕少デアアル、輕少デアアル
 ガ、是ハ私共ガ諸君ト違ッテ主義ノ問題デアアルノデアリマス、曾テ四十二年ニ於キマシテ、吾
 ハ八厘減ヲ唱ヘタノデアリマス、八厘減ヲ唱ヘタ時ニ、其時ニ桂内閣ハ吾ミノ八厘減ヲ容ル、ト

云フコトニ容デアッタ爲ニ一割ヲ減ジヤウトシタノヲ、桂内閣ハ之ニ反對シテ吾々ノ主義ヲ容
 レズシテ、僅ニ八厘ヲ減ズルノ已ムナキニ至ッタデアリマス、故ニ桂内閣ノ時代ニ吾々ハ一
 割減ヲ唱ヘタ所ガソレガ行ハレナカッタ爲ニ、此二厘ト云フモノヲ今日マデ保留ヲ致シテ居
 タノデアリマス、故ニ……此點ニ於キマシテ、吾々ハ四十二年ノ一割ノ主義ヲ今日ニ於テ實行
 致シタト云フコトデアアルデアリマス、是ハ金錢ノ問題デアリマセヌ、吾々ハ主義ヲ實行
 シタノデアリマス、故ニ二厘ト云ヒ、或ハ二百五十萬圓ト云フ金錢ノ多寡ヲ以テ論ズルノデハ
 ナイノデアリマス、又吾々ハ此地租ニ對シテハ二厘減デアリマスガ、若シ財政ガ許スナラバ、
 私共ハ漸次非常特別稅ダケハ何時デモ減ジタイト云フノデアリマス、所謂地租ハ明治四年ニ
 於テ、陛下ガ詔勅ヲ以テ二厘五毛ハ農民ノ負擔タルコロノ地租ハ永久稅デアルト云フコ
 トヲ詔勅ヲ以テ定メラレタノデアリマス、故ニ財政ガ許スナラバ、地租ハ二厘五毛ノ定率ニ復
 スルコトハ、吾々多年ノ宿論デアアルデアリマス、其他ノ稅ニ於キマシテ——詔勅ヲ以テ定率
 ヲ定メタト云フノハ地租ノミデアアル——二分五厘デアリマス、詔勅ヲ以テ定メタノハ二分五厘
 デアリマス、故ニ此定率ニハ何レカノ時期ニ於テ復舊スルコトハ、吾々ノ持論デアアルデアリ
 マスガ、如何セン今日マデ財政ガ許サナイ其他ノ稅ニ於キマシテ、苟モ詔勅ヲ以テ定率ヲ定メ
 タモノハ何所ニアリマスカ、ドノ稅ニモナイノデアリマスカラ、農民ハ此點ニ於テハ國家ノ多
 大ナル負擔ニ任ズルト云フコトハ運動ヲシナクテモ、刻下ノ國情ニ於テ吾々ガ其責任ヲ負擔
 スルトコロノ剛健實實ナル心カラ、戰時特別稅ノ重大ナル負擔ヲ甘ンジテ居ルノデアリマス、
 唯諸君ハ營業稅デアアル、商工業者ガ運動スルガ爲ニ、此全廢ヲ唱ヘルト云フコトハ、吾々農民
 ニ取ッテハ甚ダ不愉快千萬デアアルデアリマスガ、諸君ノ意ノアル所那邊ニアルカ、私共ハ推ス
 ルコトガ出來ナイ、ソレカラ尙委員長ノ御報告ガアリマシタガ、是ノミナラズ地租交付金ニ於テ
 二百五十萬圓ヲ吾々ガ唱ヘテ、ソレモ政府ハ同意スルコトニナッテ居ルノデアリマス尙諸君、吾
 々農民ヲ代表スルコロノ吾々議員トシテハ、彼ノ軍艦水雷艇基金四千六百萬圓ヲ削除致シマ
 シテ、政府ハ之ニ同意致シテ、農業ヲ基本ニスルトコロノ産業獎勵ノ方針ニ、之ヲ充用スルト云

フコトノ法案ガ出テ居リマス、故ニ吾々ハ二厘ヲ減ズルト雖モ、地租交付金ヲ合セレバ約五厘
 ノ減稅ヲ見ルコトニナッテ其上ニ農民ノ利益ヲ代表スルトコロノ所謂産業獎勵基金ニハ、軍艦水
 雷艇基金ノ四千六百萬圓ヲ此方ニ當テタイト云フノデアリマスカラ、全天下ノ農民ハ、我黨ノ態
 度、我黨ノ方針ニ就テハ、滿腔ノ熱誠ヲ以テ感謝スルコト、私ハ存スルノデアリマス、私共ノ二
 厘減ハ甚ダ少ナイヤウデアリマスケレドモ、諸君ノ唱ヘルトコロハ七千萬圓ト稱シ、或ハ三千万
 圓ト稱スルノハ私ハ是ハ勸工場ノ玩弄紙幣、吾々ノ減額スルトコロノ二百五十萬圓ハ少ナリト
 雖モ、是ハ真正正銘ノ黃金ノ貨幣デアアル、玩弄紙幣ハ百萬圓千萬圓積ンデモ何ノ效用ヲモナサヌ
 ノデアリマス

小西和君ノ演說

諸君、私ハ齋藤委員長ノ報告デアリ、又是ニ對スル東君ノ御贊成デアルトコロノ地租二厘減ニ對
 シマシテ、反對ノ意見ヲ表明シ、而シテ當初地租七厘減ノ法案提出者ノ一人ト致シマシテ之ヲ維
 持シ、同時ニ金尾君ノ少數意見トシテ申述ベラレタ七厘減ニ對シマシテ、贊成ヲ致スタメニ此
 演壇ニ立ッタノデアリマス、唯今東君ガ國民黨ハナゼ營業稅ノ全廢ヲ叫ビナガラ、地租ノ七厘減
 デ満足スルノデアアルカト、斯様ナ御尋ネガアリマシタカラシテ、先以テ之ニ對シテ一言御返辭ヲ
 申上ゲテ置ギタイ、成ルホド營業稅ヲ全廢致シマスルト云フト、其金額ニ於テ二千六百萬圓餘
 リニナルノデアリマス、而シテ地租ノ七厘減ニ依ッテ農民ノ負擔ヲ減ズル金額ハ、其三分ノ一ニ
 モ足ラナイノデアリマス、併ナガラ營業稅ノ全廢ニ依ッテ受ケルトコロノ利益ハ、商工業者、即チ
 直接ニ營業稅ヲ納メテ居ルトコロノ商工業者バカリテナイノデアッテ、ソレヨリ寧ロ間接ニ之ヲ
 負擔スルトコロノ需用者デアアルデアリマス、即チ全國一般ノ需用者ガ間接ニ利益スルノデアアル、
 農民モ同ジク多大ノ利益ヲ得ルコトニナルノデアリマス、ソレノミナラズ營業稅ノ全廢ガ出來
 マシテモ、ソレガ再ビ地方稅ニナッテ、其一部分ハ徵收サレマシテ、之ニ依ッテモ亦一般ノ人、即
 チ農民モ此間ニ含マシテ多大ノ利益ヲ得ルコトニナルノデアリマス、夫故ニ營業稅ヲ全廢致シ

テ一方ニ於テ地租ヲ七厘減ズルト云フコトハ、商工業者ニ對シテ多大ノ恩惠デアルト同時ニ、農民ニ對シテモ片手落ノ仕業デハナイノデアリマス、諸君、世間ノ人ガ政友會ハ農民黨デアルト斯様ニ申シテ居ル、其眞偽ハ存ジマセヌケレドモ、冤ニ角私共モ或ハサウデナイカト思ハル、節ガナイデモナイノデアリマス、斯様ナコトガ、頭ニアル故デアリマスカ、先刻齋藤委員長ノ御報告ヲ承ッタトキニ、二分減ト私ノ耳ニ響イタノデアリマス、流石ハ政友會、流石ハ農民黨デアッテ二分減ハ思ヒ切ッタ御修正デアルト思ウテ農家ノタメニ萬歳ヲ唱ヘタカッタノデアリマス、然ルニ其實際ハ二分ノ十分ノ一即チ二厘デアッテ聊カ落膽ヲ致シタ次第デアリマス、倍テ二厘ノ輕減デゴザイ、マシテハ雷ニ困難ナル農民ノ窮狀ヲ救フコトガ出來ナイノミナラズ、又苛酷ナル農民ノ負擔ヲ輕減スルノ實績ヲ舉ゲルコトガ出來ナイノミナラズ、殆ド小供瞞シ、飴棒ヲシヤブラセルヤウナコトニ止ルト云フコトヲ恐ル、ノデアリマス、全體都會ガ發達ヲ致シ、農村ガ衰頹致スト云フコトハ近來蔽フベカラザル事實デアリマシテ、農村ノ振興ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトハ、國家ノ大問題トシテ天下ノ識者ニ依テ唱道サレテ居リマス、其原因ハ素ヨリ一ニシテ足ラナイガ、都會ト地方ヲ比較致シマス、都會ノ方ニ於テハ死亡率ガ多イ、サウシテ地方ニ於テハ死亡率ガ少ナイ、又其反對ニ農村ニ於テハ出生率ガ多ク、都會ニ於テハ出生率ガ少ナイ、又佛蘭西ノ諺ニ「都會ハ墳墓ナリ」ト云フガ、是等ノ點カラ考ヘテ見マシテモ國民ノ體格ノ基礎ハ農村ニアルノデ、國民ノ増殖ノ淵源モ亦農家ニアルノデアリマス、夫故ニ富國強兵ノ策ヲ講ジマスルニハドウシテモ農村ノ繁榮ヲ圖ラナケレバナラヌ、又民族ノ維持ヲ努ムルニ付テモ、農家ノ發達ヲ圖ラナケレバナラヌノデアリマス、是ハ恰モ水道、或ハ灌溉ノ用水ヲ潤澤ニ致シマスルニハ、其水源ヲ涵養シナケレバナラヌト同ジコトダラウト思フノデアリマス、倍今日ノ國情カラ察シ、四圍ノ狀況カラ考ヘ世界ノ趨勢カラ見マスルニ、國家ノ産業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ素ヨリ必要デアアル、軍備ノ大切ナルコトモ是亦申スマデモナイノデアリマス、是等ノ目的ヲ達シマスル點ニ於テ考ヘテ見テモ、國民ノ體力ヲ完全ナモノトシ、立派ナモノニ致シテ置カケレバナラヌコトハ、今更申スマデモナイコトデアリマス、是ハ既ニ古イコトデ甲州ノ宿將高坂彈正

ガ、農家ノ子供ハ武士トシテ使フコトガ出來ル、併ナガラ商人ノ子供ハ武士トシテ使フコトガ出來ナイト云フコトヲ喝破シテ居ルノデアリマス、又今日ヨリ二千三百年ノ昔、或ハ「アリスト」トカ或ハ「ソクラテス」トカ、是等ノ人ガ農業ニ從事シテ居ル者ハ眞ノ軍人トシテ立派ナモノデアルト云フコトヲ唱道シテ居ルヤウナ次第デアリマス、私ハ羅馬ノ滅亡ヤ平家ノ覆没ガ都會的ニ化シテ農業ヲ忘レタト言フコトガ原因有ルナドト云フコトハ今更唱ヘマセヌ、冤ニ角農業ノ大事ナ事、農民ノ大切ナルコトハ既ニ諸君ノ御承知ノ通りデゴザイマスルガ、然ラバ此農民ノ現狀ハ如何デアリマスカ、晨ニ出デタニ歸リ額ニ汗シテ活動ヲシテ居ル、其皮膚ハ荒レ、其血ハ乾イテ、天然ノ脂氣ヲ失フ程ノ有様ニナッテ居リマス、而モ民ニ菜色ガアルト云フコトハ、決シテ一部ノ文學者ノ形容詞ベカリデハナイノデアリマシテ、其實際ノ狀況ハ、「ローズベルト」ノ所謂「國民ハ自殺ヲシツ、アル」モノト申シテ宜カラウト思フ、英國ハ御承知ノ通り、商工立國ノ國デアリマスガ、ソレデアッテスラモ尙農民ノ體格ヲ維持シナケレバナラヌト云フ論ガ非常ニ盛ンデアアル、サウシテ農村ノ衰頹ハ英國國民ノ種族ノ衰頹デアルト云ウテ、識者ノ注意ヲ惹キ如何ニシテ之ヲ矯正スルカト云フ策ニ付テ頻リニ論議セラレテ居ルト云フ有様デハゴザイマセヌカ、即チ農村ノ振興ヲ圖リ、農家ノ幸福ヲ期スルト云フコトハ、國家ガ當然ノ任務トシテ努メナケレバナラヌコトデアリマス、ソレデアリマスカラシテセウ、政友會ニ於テモ是ハ御異議ガナイモノト見エテ、武市君ガ委員會ニ於テ地租ノ輕減ノ必要ヲ認ムルト云フコトヲ申述ベラレテ居ル、是ハサモアルベキコトデアアラウト思フノデアリマス、併ナガラ武市君ガ何程輕減シテ宜イカト云フコトハ調査ヲセネバ分ラヌト仰セラレタ、大政黨デ居ッテ澤山ノ御名士ガ揃フテ居ラル、ニモ拘ラス、此大切ナル問題ニ對シテ今ニ至ルマデ御調査ガナイト云フコトハ、私ハ政友會諸君ノ爲ニ甚ダ憾ニ思フ、冤ニ角政友會ノ武市君ノ仰セラレタトコロニ依ルト、財源ガ無イトハ仰セラレナカッタノデアアル、御調査ガ出來テナイカラ、七厘減ニ反對デアルト仰セラレタ、ソレ故ニ私ハ簡單ニ農家ノ困ッテ居ル状態及農村ノ發達致シマセヌ理由ヲ申上ゲタイ、諸君、日本ノ農家ノ戶數

ガ約五百五十萬戸アルト云フコトハ、今日モ十年前モ大シタ相違ガナイノデアリマス、然ルニ其農家ノ中デ、專業者ガ幾分カ減ル傾キガアル、反對ニ兼業者ガ追々ニ増加ヲスルト云フ傾向ノゴザイマスルコトハ、是ハ重大ナル問題デアラウト思フノデアリマス、即チ農家ハ因循ノ性質ヲ有ツテ居ル、又姑息ナモノデアアル、固著ノ精神ニ充テテ居ルモノデアリマスルガ、其農家ガデス、斯ノ如ク專業ヲ廢シテ、追々ニ他ノ業務ヲ兼ヌルト云フコトハ、農業ガ如何ニ苦シイカ、農家ノ經濟ガ如何ニ苦シイカト云フコトヲ證明シテ居ルモノデアラウト思フ、又自作ノ農家ガ追々ニ減少ヲ致ス、反對ニ小作ガ増加ヲ致スト云フコトモ、是亦爭フベカラザル事實デアリマス、是ハ土地ノ負擔ガ多イタメニ、僅カナ土地ヲ持ツテ居ル者ガ自活ヲシテ逆モ立行カナイ、是ガタメニ追々ニ祖先傳來ノ土地ヲ手放サナケレバナラナイト云フヤウナ憫レナ状態ニ陥ツテ居ル次第デアリマシテ、是ハ國民ノ最モ健全ナル分子デアアルトコロノ自作農家ヲ減ラセルト云フコトニナリマシテ、國家ノタメニ最モ悲シムベキ現象デアラウト思フノデアリマス、ソレデ茲ニ至リマシタ原因ハ、素ヨリ一ニシテ足ラナイノデアリマシテ、地方ニハ——農村ニハ娛樂ノ機關ガ少イ、生活ヲ致シマスノ都會ニ於ケルガ如ク、様々ノ便利ガ伴ツテ居ラナイコトガ原因デアリマスルケレドモ、其最大原因ハ、實ニ經濟上ノ關係ニアルノデアリマス、ソレデ「フエスカ」博士ハ日本ノ凡ソ半分ノ土地ニ對シテ調査ヲ致シテ、日本ノ田ノ——水田ノ收支ノ調査ヲシタノデアリマス、其成績ニ依リマスルト云フト、一段歩ノ土地ヲ耕シテ——水田ヲ耕シマシテ得ルトコロノ收入カラ生産費ヲ差引キマスルト云フト、結局一圓八十九錢ノ損ニナルコトヲ示シテ居ルノデアリマス、ソレデ結論ヲシテ申スコトニハ、日本ノ米作農業ハ普通眞ノ利益ハナイノデアアル、日本ノ米作ハ自己ノ勞働ヲ以テ獨リ之ヲ營ミ得ルノミデアアルト、斯様ニ結論ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレデ私ガ調査ヲ致シタトコロニ依リマスルト云フト、水田一段歩ヲ作リマシテ、是ニ依テ得ルトコロノ收入ハ二十九圓餘デアツテ、是ニ對スル支出ガ三十一圓餘ニナルノデアリマス、夫デ差引キニ圓餘ノ不足ニナルノデアリマスガ、其詳細ナルコトニ至リマシテハ、茲ニ述ベマセヌ、茲ニ表ガ作ツテアリマスカラシテ、是ハ速記録ニ掲ゲルコトニ致シマスル、扱農

商務省ノ調査ニ依リマスルト、地主ノ經濟ガ小作料ヲ徵收シテサウシテ支出ト致シテ地租、所得稅、府縣稅、市町村稅、水利費其他ノモノヲ差引キ致スト、純益ガ九圓二十九錢トナツテ居ルノデアリマス、一段歩ニ對スル——一段歩ノ價格ガ三百五十圓デアアルト致シマスレバ、此九圓二十九錢ノ收入ト云フモノハ、年利僅ニ三分六厘ノ薄利ニヨリナラナイノデアリマス、而モ少作人ニ土地ヲ貸シテ置タト云フコトハ、非常ニ手數ガ掛カル、ナカ——厄介ナモノデアアルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、其上ニ地主ハ、地方ニ於テ相當ノ位地ヲ保ツ必要ガアルモノデアリマスルカラ、様々ノ名譽稅ヲ負擔シナケレバナラヌノデアリマス、或ハ赤十字社デアルトカ、愛國婦人會デアルトカ、海員救濟會デアルトカ、在郷軍人會デアルトカ、様々ナモノニ對シテ名譽稅ヲ拂ハナケレバナラヌ境遇ニ居ルノミナラズ、子弟ノ教育ニ對シテモ是亦多大ノ費用ヲ支出シナケレバナラヌノデアリマシテ、地主ノ苦シイコトハ、實ニ豫想ノ外ナノデアリマス、倍テ地主ハ斯ノ如クニ苦シイガ、自作農、小作農ハドウデアアルカト申シマスルト、之ニ付テ農商務省ノ調査スルトコロニ據リマスルト、收支差引ヲ致シマシテ、之ヲ計算シマスルト云フト農民ガ一日田ヤ畑ヘ出テ働クトコロノ收入ハ、之ヲ三十錢トヨリ見積ルコトガ出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、而モ此三十錢ノ收入ハ畑ニ出テ働イタ時ダケノ收入デアリマシテ、働ク季節、働ク日ト云フモノハ、一年ノ上カラ云ッタナレバ極メテ僅カデアリマス、ソレ故ニ農家ハ到底自作又ハ小作農ニ依ツテ生活スルニ足ラナイノデアリマス、他ノ副業ニ依ツテ辛クモ其命脈ヲ持續シテ居ルノデアリマスガ、此副業デアリマシテモ生産物ガ廉イ、其他様々ノ理由ニ依リマシテ十分ノ收入ヲ得ルコトガ出來ナイト云フヤウナ状態ニナツテ居ル、サウシテ農家ノ負債ハ年々歲々増加ヲスルト云フヤウナ状態デアリマス、特ニ自作農家ガ減ルト云フコトハ、先刻申上ゲタヤウナ次第デアリマス、斯カル有様デアリマスルカラ、此結果ト致シテ成程國稅コソハ之ヲ滯納スル者ガ少ナイノデゴザイマス、ケレドモ市町村費ノ如キハ一年以上モ滯納シテ居ル者ガ少カラヌノデアリマス、協議費ノ如キニ至ツテハ殆ド之ヲ支出スルコトガ出來ナイ、從ツテ徵收スルコトガ不可能デアルト云フ現狀デアアルデハゴザイマセヌカ、ソレデ是ノミナラズデス、此結果ト致シテ地方自

治ノ發達ヲ阻碍スル上ニ地方ノ風俗ヲ惡ク致シ、地方ノ青年ヲシテ浮薄ナラシメ、風教ヲ阻碍スルト云フヤウナ様々ノ弊害ヲ伴ウテ來ルト云フ状態ニアリマス、ソレデ農業ガ十分ニ利益ガナイ、ソレガタメニ自暴自棄ニ陥ッテ、サウシテ都會ニ出テ或ハ投機業ヲヤル、或ハ商業ニ從事シテ失敗ヲスル者ガ少ナカラヌノデアリマス、之ニ對シテ先刻齋藤委員長カラ政府モ警戒ヲ加ヘ、救濟ノ方法ヲ講ズルト云ウテ居ラレマスルケレドモ、私ハ地租ノ輕減、農民ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトガ何ヨリ急務、又必要デアッテ農民ノ負擔サヘ輕減ヲシタナラバ、警戒ヲ與ヘ或ハ救濟ヲシナクトモ、斯ノ如キ弊害ハ自然ニ止マルコトヲ信ジテ疑ハナイノデアリマス、ソレデ斯ウ云フ次第デアリマスルカラ、國民黨ハ地租ノ輕減ヲ唱ヘテ參ッタノデアアル、此度ノ七厘減ハ聊カ不足ト思ウテ居リマスルガ、當面ノ方策トシテ先ヅ是デ結構ト思ウテ居ルノデアアル、政府ノ金融機關ヲ設ケタリ耕地整理ヲヤラセタリ、其他農事ノ改良ニ依ッテ農家ノ幸福ヲ増進スルト云フコトハ、先刻齋藤委員長ヨリノ報告デゴザイマシタケレドモ、之ヲヤルタメニ地租ヲ輕減スル必要ガナイト云フコトハ決シテ申サレマイト思フ、ソレカラ又政友會ノ諸君ハ國民黨ガ營業稅ノ全廢ヲ唱フル以上ハ、農民ノ爲ニ地租ノ全廢ヲ稱フル必要ガアラウ、斯様ニ申サレマシタケレドモ、私ヲシテ言ハシムレバ、政友會ハ既ニ營業稅ノ三割減ヲ押通シテ決行セラレマシタケレドモ、ノ二厘減ヲサル、コトコソ却テ農業者ニ對シテ大ニ片手落ノ遣方デアラウト思フノデアリマス、財源ガ無イト云フコトヲ東君カラ申サレマシタケレドモ、斯ノ如キコトハ唯口實ニ過ギナイノデアリマス、要スルニ農村ハ國家ノ富強ノ基デアッテ、農民ハ國民ノ淵源デアアル、故ニ國家ヲ隆盛ナラシムルタメニハ、是非トモ國民ノ體格ヲ立派ニシナケレバナラス、國民ノ體格ヲ立派ニ致シマスルニハ、農民ノ體格ヲ立派ニスルノガ即チ先決問題デアリマス、ソレ故ニ此意味ニ於テ負擔ヲ輕減——輕ク致シマスル必要ガゴザイマス、況シテ農民ノ收入ガ少ナク勞働ガ激烈デアリマスルノミナラス、都會ニ住ンデ工業ヲ營ミマスルモノ、ヤウナ、娛樂モ無ケレバ生活ノ便利ナ機關モ整ッテ居ナイノデアリマス、ソレ故ニ此點カラ推シマシテモ、商業者ニ對スルヨリモ幾分ナリトモ、農家ニ對シテ幸福ニ生活ヲ送り得ルヤウナ方法ヲ講ジテ然ルベキモノト思フ

ノデアリマス、要スルニ政友會ノ諸君ガ唱道サル、二厘減ハ、地租ヲ輕減ヲシタト云ウテ、地方ノ農民ニ對シテ恩ヲ被セルノニハソレ結構デアリマセウ、併ナガラ眞ニ農民ノ苦痛ヲ察シ、眞ニ農民ノ負擔ヲ憂フルト云フ御精神デアアルナラバ、二厘減デハ何ノ役ニモ立タナイノデアリマス、諸君、此故ニ少クトモ吾々ノ地租七厘減ニ對シテ御贊成アランコトヲ希望スル次第デアリマス

(參照略)

日向輝武君ノ演說

私ハ極メテ簡單ニ政友會ノ二厘減ヲ維持セントスルノ誤ヲ述ベタイト思ヒマス、實ハ唯今小西君ノ御演說ヲ聽イテ、此處ニ立ツ勇氣ガ無クナッテシマッタノデアリマス、私ノ演說ハ非常ニ不出來ナ演說ニナルダラウト自分ニ思フノデアリマスカラ、自席カラ述ベント致シタノデアリマスカラ、已ムヲ得ズ又此處ヘ立ツヤウニナッタノデ、極メテ不利益ナ位置ニ立ッテ實ハ困ッテ居ルノデアリマス、今日ノ議會ハ減稅ノ議會デアリマス、澎湃トシテ起ル所ノ減稅廢稅ノ議論ハ、當ニ第三十一議會ノ中堅問題トナル概ガアルノハ、私ノ竊ニ喜ブ所デアリマス、各派各黨ヨリ主張スルトコロノ減稅廢稅ノ意見ハ、各、其根據ヲ異ニシテ居ル、是ハ其立場及境遇ニ依ッテ其主張スルトコロノ根據ヲ異ニシテ居ルノハ、又已ムヲ得ナイノデアリマス、私ハ本日各派ノ提スル廢稅ノ提出意見ヲ謹聽致シテ、其主張ノ根柢ヲ異ニスルノ已ムヲ得ナイトシテ恕シマスルケレドモ其内容ガ極メテ空虛デアルト云フ感ヲ起サルヲ得ザルヲ遺憾トスルノデアリマス、固ヨリ減稅ハ吾々モ同ジク主張スル所デアリマス、決シテ之ニ反對デハナイノデアアルノミナラス、今日ノ狀況ノ下ニ大ニ減稅ヲセナケレバナラストコロノ急務ハ吾々モ認メテ居ル、故ニ吾々ハ適當ナル稅目ニ向ッテ適當ナル輕減ヲ加ヘルノ提唱ヲ爲スコトニ於テ少シモ怠ッテ居ラナイ、唯諸君、在野黨ノ諸君ノ主張ト異ナルノ點ハ、諸君ハ減稅センガタメニ減稅論ヲ唱ヘルノデアッテ吾々ハ國民

負擔ノ輕減ヲ現實センガタメニ減稅論ヲ唱ヘルノデアアル、國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フノハ減稅ノ目的デアリマス、此目的ヲ現實スルタメニ、最モ實行ナル之ヲ現實スルニ最モ實行シ得ラ、主張ヲ唱フルヲ吾々ハ議論ノ根據ト爲シテ居リマス、諸君ハ減稅ヲ以テ國民ノ負擔ヲ輕減スル唯一單獨ノ方法ナリトシテ居ラレルデアアル、吾々ハ減稅ハ國民負擔ヲ輕減スル幾多ノ方法ノ一トシテ、之レヲ見ルノデアアル、蓋シ鐵道道路港灣築港其他國家ノ進運ニ必要ナル教育衛生等諸般ノ設備ニ關スル施設ハ、實ニ是レ國家活動ノ根本デアアル、故ニ國力ノ餘裕アルニ當テ、是等ノ完全ナル設備ヲ爲スハ、一面ニ於テ國民生活ノ福祉ヲ増進シ之ヲ助長スル所以デアアル、是レ明カニ國民ノ負擔ヲ輕減スル所以デアッテ、其效果ハ大ナル減稅トモ異ナラナイデアアリマス、唯議論ノ岐ル、所ハ、國力ニ餘裕アル際、此餘裕ヲ悉ク減稅ノ資ニ充テ、若クハ其大部分ヲ減稅廢稅ノ資ニ充テ、國ノ剩餘力ヲ國民ニ自ラ利用セシムルヲ國家ノ利益トナスカ、又ハ此餘力ヲ國家自ラ利用スルノガ國民生活ノ福祉ヲ増進スルニ利益アリトスルカ、其大小輕重ノ差如何ト云フノガ議論ノ岐ル、點デアアル、吾々ハ主張ハ必ズシモ減稅ニ反對シナイ、併シナガラ國民ノ負擔ヲ輕減スルノ更ニ大ナル更ニ善ナル方法ニ付テハ、國力ノ或ル一部分ヲ剩シテ、之ヲ國運發展ノ資ニ供スルヲ以テ適當ナル餘力ノ按排方法ヲ得テ居ルト信スルノデアアル、素ヨリ國ノ財力ナルモノハ成ルベク國民ヲシテ安カニ生活セシムル方法ニ向ッテ、支辨セラルベキモノデアアル、故ニ生産的ノ費目ガアリ、又冗費ガアルナラバ當然是ハ削除シ輕減シナケレバナラヌ、國家ノ不生産的ニ消費スル大ナル費目ヲ削除スルハ、實ニ今日ノ緊急事デアアル故ニ吾々ハ軍備計畫ニ向ッテハ、實ニ大ナル斧鉞ヲ加ヘタノデアアル、而シテ軍備計畫ニ向ッテ斧鉞ヲ加ヘ、一方ニハ産業衛生教育等ノ發展ノ爲メニ、諸般ノ施設ニ之ヲ投ゼントスルノデアアル、即チ吾々國民ノ負擔ヲ輕減スルノミデナク、同時ニ其餘裕ナル金ヲ十分殖産興業ノ發達ニ使ッテ、而シテ不生産的ノ軍事費ニ向ッテ大削減ヲ加ヘルト云フノガ、此來年度ニ對スル財政計畫ノ根本義デアアルト、吾々ハ主張ハ即チソコニ在ルノデアアル、在野黨ノ諸君ノ主張セラル、所ハ、其根本義ニ觸レズシテ餘力ヲ悉ク減稅ノ資ニ供セヨト云フノデアアル、假ニ今日ノ議案ニナッテ居ル各種ノ稅目ヲ悉ク全廢シタナ

ラバ如何デセウカ、帝國ノ稅制ハ根本ヨリ之ガ爲メニ破壞シ終セラレ終ルノデアリアス、尙論スベキモノガアル、吾々ハ單ニ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云フノデアリナイ、課稅ノ負擔ヲ公平ニスルト云フコトニ向ッテ、十分ニ力ヲ盡サンケレバ私ハナラヌト思フノデアリマス、我國ノ租稅ハ、日露戰爭以來抵抗力ノ弱キ方面ニ向ッテ發展シ來ッタデアアル、此故ニ今日ニ於テ國稅收入ノ六割ハ消費稅ニ依テ維持セラレテ居ルデアリマス、此消費稅ノ中ニ於テ最モ苦痛トスルトコロハ、外國ヨリ來ル米穀輸入ノ關稅デアアル、是ハ國民ノ極ク最下級ノ人ノミガ負擔スルノデアッテ、其苦痛其不公平ナルヤ、實ニ惡稅ノ猛烈ナル害毒ヲ流ス點ニ於テハ、實ニ何人モ是ハ其撤廢ヲ求メテ異議ハナイノデアアル、然ルニ今日ノ議案ニテハ、ソレ等ニ對シテ何等ノ主張モナイ、唯營業稅等ニ向ッテノミ全力ヲ注ガレタケレドモ、此ノ如ク何人モ見テ最惡稅ト爲スモノニ向ッテ何等ノ言議ヲ唱ヘナイノハ、所謂主張ノ根柢即チ廢減稅論ノ内容ガ充實シテ居ラヌ證據デアアル、要スルニ吾々ハ減稅センガ爲メニ、減稅ヲ主張スルノデアリナイ、國民ノ負擔ヲ輕減スル爲メノミデ減稅ヲ主張スルノデアリ、更ニ一方ニ於テ國家民人ノ福祉ヲ増進スルコトニ向ッテノ諸般ノ設備ヲ完成シ、製艦費ニ大節減ヲ加ヘテ而シテ餘力アル財政ヲ鹽梅調理スルニアルト私ハ信スルノデアアル、簡單ニ其主張ノ一端ヲ申述ベテ此壇ヲ降リマス

有田溫三君ノ演說

諸君、私ハ本會ニ對シマシテ委員會ノ少數意見即チ原案ニ贊成スル者デアリマス、此地租ノ輕減ノコトニ就キマシテハ私共申スマデモナク、國民ノ代表者タル諸君ニ於キマシテハ御承知ノコトデアリマスガ、先刻東代議士ノ申サレタ如ク、此地租ハ百分ノ二箇半ト云フコトガ定率ニナッテ居リマスノデ、之ヲ非常特別稅トシテ事變ノ爲メ今日ノ如ク増加シテ居リマスノデアリマスガ故ニ、政府ハ農民ニ對シテ公約ガアルノデアリマス、即チ其公約ノ上カラ申シマシテモ輕減セヌケレバナラヌ必要ガアルノデアリマス、而シテ一面ニ於キマシテハ、農民ノ狀態ハ先刻來申述ベラレル如ク、極メテ困窮ノ狀態ニアルノデアリマス、而シテ農民ハ資本的ニ於テハ、極メテ劣

等ノ位地ニ居ルノデアリマス、故ニ其資本ノ融通ニ就キマシテ、他ノ階級ノ者ヨリハ困難ノ位地ニ居リマスノデアリマス、政府ノ農業政策ナルモノガ甚ダ不完全ニゴザイマシテ、此農事上ノ改良ニ就キマシテハ幾多施スベキコトガゴザイマス、ケレドモ未ダ其施設ヲスルコトガ出来ナイノデアリマス、或ハ農事ノ改良若クハ開墾其他ノコトニ就キマシテモ、何等見ルベキコトガアリマセヌノデアリマス、是ハ要スルニ農民ノ資本ニ缺乏シ、而シテ其事業ニ要スルコトノ金融機關等ノ完全シテ居ナイガタメダラウト思ヒマス、政府ノ當局者ハ勸業銀行ヲ云爲シ、若クハ農工銀行ノ低利貸付ケラ云爲致シマスケレドモ、是等ノ機關ハ未ダ以テ農業上ノ改良ニ資スルコトニ足ラナイノデアリマス、或ハ此頃庶民銀行ノ創立、其他農事上ノ改良ニ就キマシテハ多少考案ヲ廻ラスガ如キ模様ガアリマスケレドモ、第一是等ニ關聯スルコトノ他ノ設備ガ出来テ居ナイノデアリマス、喩ヘテ申スナラバ農業倉庫ノ制度モ出来テ居リマセヌ、又ハ穀物検査法ノ制度モ整ウテ居リマセヌ、故ニ斯様ナルトコロノ農事上ノ改良ニ資スベキコトノ機關ガ備ハラズ、而シテ農民ノ状態ガ先刻來申サレマシタ如キ状態ニアルト致シマスレバ、大體此場合ニ於キマシテ爲スベキモノハ、少シク財政ニ於テ閑ヲ得タナラバ、之ヲ減ジテ其負擔ヲ輕クスルト云フコトガ極メテ必要デアルト心得ルノデアリマス、而シテ政友會諸君ガ之ニ同意セラレマシテ、二厘減ヲ致サレタト云フコトハ、即チ其處ノ點ニ就テ考ヘルトコロガアッタモノト考ヘマス、ケレドモ此二厘減ハ唯徒ラニ手數ヲ増シ繁雜ヲ加ヘルト云フニ過ギナイノデアリマス、故ニ苟モ二厘減ヲヤル勇氣ガアルナラバ、進ンデ此七厘減ニ御贊成アルベキコト、心得マス、私ガ政府ガ國民ニ對スル公約ヲ復舊スベキ必要アルカラ、公約ト致シマシテモ少シモ多ク輕減シナケレバナラヌ必要ガアルノト、又一面ニ今日ノ農民ノ状態、政府ノ農民ニ對スル不行届ノ點、イロイロノ方面カラ觀察致シマシテモ、少シモ多ク輕減スル方ニ贊成スルノガ、吾々國民ノ代表者タル者ノ務メデアルト思ヒマスカラ、故ニ此七厘減ニ贊成スル次第デアリマス、ドウゾ諸君モ之ニ同意セラレンコトヲ希望致シマス

院議全會一致ヲ以テ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ町田忠次君ハ其ノ提出ニ係ル修

正案ノ趣旨ヲ辯明シ島田俊雄君ハ之ニ反對ノ演說ヲ爲シ次テ議長ハ稅率ニ對スル討論ハ盡キタリト認メ施行期限ノ問題ニ移ル旨ヲ告ケ川原茂輔君ハ其ノ提出ニ係ル修正案ノ趣旨ヲ辯明シ横尾輝吉君ハ武富時敏君提出修正案ニ贊成ノ演說ヲ爲セリ

町田忠治君ノ演說

吾々同志ガ修正案ヲ提出シマシテ、御手許ニ差上ゲテ置キマシタ修正案ノ大體ヲ説明致シマス、此問題ヲ私ガ説明致シマスルニ付キマシテハ、殊ニ政友會ノ諸君ニ御尋ヲ致シテ見タイ、此問題ハ當今此議場ノ勝敗ヲ直チニ決スル問題デハゴザイマセヌ、國民多數ナル我國ノ農業社會、而シテ我選舉權ノ多數ヲ有シテ居ル所ノ農民社會ガ、今晚ノ議事ノ勝敗ニ付テ更ニ最後ノ審判ヲナスノデアリマス、而シテ私同志ノ直接國稅ニ對スル理想トスル所ヲ一言致シマスレバ、私共ハ營業稅ハ全廢シ、地租ハ輕減シ、成ルベク所得稅ニ依テ國庫ノ收入ヲ計ラウト云フ此三大直稅ニ對スル吾々ノ理想ハ左様デアリマス、而シテ如何ニ……而シテ如何ニシテ所得ヲ増進シ、所得稅ノ收入ヲ増スカト云フ點ニ考ヘマスルト申スマデモナク、財政經濟ノ均衡ヲ圖リマシテ、國民ノ資本ヲ裕カニシ、産業ノ發達ヲセネバナラヌノデアリマス、而シテ政友會諸君ニ向ッテ私ノ御尋シタイノハ、吾々ハ決シテ地租輕減若クハ減稅一點張ニ此財政策ヲ執ッタノデアリマセヌ、其證據ニハ其證據ヲ一言シマスルト、吾々ハ國家有要ノ仕事ニ向ッテハ十分ナル經費ヲ差出シテ居リマス、而シテ是ト同時ニ減稅ノ財源ヲ得タノデアリマス、宜シイ、私ノ殊ニ諸君ニ御注意ヲ願ヒタイノハ、私共ノ修正案ガ果シテ二讀會ニ於テ初メテ現ハレタトスルト、先刻政友會諸君ガマダ私ノ説明セヌ案ニ向ッテ、第一讀會ニ向ッテ反駁ヲ加ヘラレテ居ッタ(中略)而シテ吾々ハ財源ヲ此處ニ説明致シマスル前ニ、吾々ノ財政策ハ國民負擔ノ輕減ニ向ッテ總テノ財源ヲ求ムルノデナイト云フ證據ヲ一言申シマスルナラバ、即チ吾々ハ政友會諸君ガ借入金若クハ公債ニ依ラントシタル所ノ治水費ヲバ、一般ノ收入ニ依ッテチャッテ居リマス、又政友會諸君ガ公債ニ依

テ架設セントスル鐵道費ヲ、同ジ金額ヲ一般歳入ニ依テ得ヤウトシテ居リマス、斯様ナ次第先
 ツ吾々ノ立場ハ唯財源ナキニ減稅ヲ唱フルニアラズ、又吾々ノ提出案ハ諸君ガ御覽ノ通り、要ス
 ルニ地租七厘ヲ減ズルト云フノデゴザイマス、而シテ大正三年分ヨリ之ヲ實施スルト云フ案デ
 ゴザイマス、其理由ヲ申シマス、地租輕減ノ必要ハ私ハ今此處デ喋々致シマセヌ、先日營業稅ノ
 問題ニ對シマスル政友會ノ代表演說ハ、殆ド營業稅ノ輕減ノ必要ヲ説クヨリモ、地租ノ輕減、農
 村ノ廢類、之ニ向ッテノ救濟策ヲ説カレタコトガ最モ多カッタデゴザイマス、此言ハ私ハ取ッテ改
 メテ政友會諸君ニ向ッテ、地租輕減ヲ説ク必要ナイト思フ理由デゴザイマス、サリナガラ當時政
 友會ノ代表演說家ハ、營業稅ニ對シテ或ハ資本稅タルガ如ク、或ハ收入稅タルガ如ク、其議論ハ判
 明致シマセヌデアリマシタガ、恰モ營業稅ヲ以テ地租ト同ジ性質デアルカノ如ク説明ヲセラレ
 タノデゴザイマス、此點ハ吾々意見ヲ異ニシテ居リマスル、即チ營業稅ハ吾々ハ性質ニ於テ之ヲ
 全廢スルヲ主張シ、地租ニ於テハ其稅率ヲ輕減スルト云フ、租稅其モノノ性質ニ對シテハ反對ヲ
 致サヌノデゴザイマス、而シテ私ハ地租輕減ノ必要ヲ説クヨリモ、地租輕減ノ結果ガ如何ニ現ハ
 レテ來ルカト云フコトヲ一言致シマスレバ、日本ノ他ノ産業ニ比シマシテ農事ノ進歩ハ甚ダ遅
 ヲトシテ居ル、地租輕減ノ結果ハ耕地ノ増加、即チ學術的言葉デ申シマスレバ耕作ノ境界線ヲ擴
 張スルノガ、第一ノ利益デゴザイマス、第二ノ利益ハ若シ今日ノ農民ハ巨億ノ負債ヲ有シテ居ル
 ト致シマス、此七厘減ハ此負債ノ償還ニ向ッテ大ナル財源ヲ農民ニ與ヘル次第デゴザイマス、而
 シテ農民今日ノ生活狀態ガ甚ダ貧弱デアルト致シマスレバ、此輕減ガ即チ……農民生活ノ改良
 トナリ、隨ッテ商工社會ノ需用ヲ増加スルカラシテ、地租輕減ハ商工業ノ繁榮ト相一致スルコト
 ニナリマス、是ヨリ修正ヲ述ベマス、即チ本案ノ二厘減ニ對シテ吾々ガ七厘減ヲ主張セネバナラ
 ヲ全廢スルヨリモ地租輕減ニ重キヲ措カネバナラヌト云フノガ、當然政友會諸君ノ代表演說デ
 ゴザイマシタ、然ルニ假リニ此處デ二厘ヲ減ジタト假定致シマスカ、先年地租八厘ヲ減ジテ九百
 六十萬圓ヲ輕減シタ場合ニ於ケル各地ノ實況ハ如何デゴザイマセウ、此八厘減ノタメニ全國一

萬二千ノ各町村ガ得タ所ノ利益ハ、平均一年八百圓ニ過ギナカッタノデゴザイマス、而シテ其八
 百圓ハ果シテ農民ノ負擔ヲ輕減シタカト申シマス、土地臺帳ノ改訂、其他町村府縣種々ナル帳
 簿ノ改正ノ爲ニ凡ソ八百圓ヲ投ジテ非常ナル苦情ヲ當時聞イタノデゴザイマス、若シ……若シ
 二厘ヲ減ジテ二百四十萬圓ノ金高ニ止マルトスルト、此帳簿ノ改正其他ノ事務ノタメニ、減稅額
 四箇年分ラ當年農民ガ負擔シナケレバナラヌトコトニナル、夫カラ政友會諸君ハ他ニ二百五十萬
 圓ノ交付金ガアルデヤナイカト仰シヤルガ、是ハ別問題デアアル——是ハ別問題デアアル、故ニ吾々
 少クトモ農民今日ノ狀態ヲ幾分タリトモ改メサセ、從ッテ農業政策ヲ執ルニハ少クトモ七厘ヲ減
 ジナケレバナラヌト思フ、若シ政友會諸君ノ案ノ如ク地租ニ對シテ輕減ノ必要ヲ御感ジニナル
 コトガ、吾々ト同様デアリ、營業稅ニ對シテ權衡ヲ取ラ、ト云フナラバ、二千六百萬圓ノ營業
 稅ニ對シテ八百萬圓ヲ減ゼラレタ諸君ハ、七千五百萬圓ノ地租ニ對シテハ少クトモ二千萬圓ヲ
 輕減シナケレバナラヌ、夫カラ私ガ切ニ望ムノハ、若シ政友會諸君ガ將來地租輕減ノ考ガアリヤ
 否ヤ若シ二年三年ノ後乃至四五年ノ後ニ財政ノ餘裕ヲ量ッテ、地租輕減ヲスルト云フ御考デア
 ナラバ、此際二厘減ハ御撤回ナサルガ農民ノ利益デアラウト思フ、試ミニ諸君ガ地方ニ歸ッテ選
 舉區民ニ御問ヒナサイ、吾々今年議會ニ於テ御前等ノ地租二厘ヲ減ジテ來タゾト報告ヲナサレ
 タト假定シナサイ、吾々ハ政友會諸君ガ今後三年若クハ五年ノ間ニ、更ニ地租輕減ヲナサルト云
 フ御希望デアリ御意見デアラナラバ、今日此ノ地租二厘減ハ御撤回ナサルガ相當デアアル、若シ又
 此二厘減ノ案ヲ出サレタト云フコトガ、將來長ク地租輕減ヲナサラヌト云フ御趣意デアアルナ
 バ、吾々同志並ニ他ノ國民黨及中正會ノ諸君ト共ニ、政友會諸君ト地租輕減ノ根本ニ於テ極メテ
 兩立セヌ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、若シ財源ニ對シテ先刻政友會ノ方ヨリ同志會ニハ財
 源ガナイト云フ御説ガアリマシタガ、此減稅ニ充ツベキ財源ハ過日豫算委員會ニ於テモ申シ、又
 本會ニ於テモ申シマシタ通り、三千二百萬圓ト云フ減稅ニ充ツベキ財源ヲ吾々ハ持ッテ居ルノデ
 アリマス、故ニ吾々ハ此原案ノ二厘減ヲ七厘減ニ修正シヤウト云フデアリマス、重ネテ私ハ諸

君ニ御諮リスルノハ地租二厘減ヲ茲ニ提出スルノハ——地租二厘減ヲ提出スルノハ、將來長ク再ビ地租輕減ヲヤラヌト云フ諸君デナケレバ此案ハ出サレヌノデアアル

島田俊雄君ノ演說

地租輕減ノ問題ニ對スル町田忠治君、外同志ノ諸君カラ御提出ニナリマシタル修正案ニ對シテ卑見ヲ述ベルコトヲ得マスルノハ、私ノ名譽トスル所デアリマス、修正案ノ要領ハ唯今大要御述ベニナリマシタヤウデアリマスルガ、此點ハ第一ニ於キマシテ地租條例中第一條ノ百分ノ四箇七ト云フノヲ、百分ノ四箇ニ改メ、ソレト同時ニ百分ノ三箇四トアリマスノヲ百分ノ三箇トスルト云フノガ一點、第二ハ此改正法律案ノ施行ノ時期ヲ大正三年度ヨリスル、斯ウ云フ二點ニアルノデアリマス、先第一ノ點ニ就テ申シマスレバ、此修正案ノ町田君御提出ノ意見ハ、既ニ國民黨ヨリ提出セラレタルトコロノ原案ト少シモ其内容ニ於テ異ラヌノデアリマス、而シテ此點ニ付テ之ヲ七厘トスルカ、或ハ二厘トスルカト云フコトニ付テハ、既ニ第一讀會ニ於テ賛成及反對ノ諸君カラシテ、交々其議論ヲ盡サレタ所デアリマスカラシテ、今茲ニ私ガ之ニ付テ多クヲ附加ヘル必要ハナイト思フノデアリマスルガ、唯一言茲ニ申上ゲテ置キタイト思フノハ、地租ノ輕減ヲスル——我國農民ノ現狀ニ鑑ミテ或ル機會アル毎ニ地租ヲ輕減シテヤリタイト云フ希望ハ、滿場諸君總テノ一致スル所デアリマシテ、何人モ反對スル所デハナイノデアアル、唯茲ニ問題トナッテ居ルノハ、其減ズル所ノ程度ヲ七厘トスルカ二厘トスルカト云フニアルノデアリマシテ、所謂五十歩百歩ノ程度論ニアルノデアリマス、而シテ此程度ノ事ニ付テハ先程我黨ノ日向輝武君ヨリ最モ明瞭ナル説明ヲ致サレマシタ、即チ吾々同志ノ主張スルトコロノ二厘デアッテ、サウシテ諸君其高ニ於テハ甚ガ少イカモ知ラヌケレドモ、是ハ實現スルトコロノ二厘デアッテ、サウシテ諸君ノ御主張ニナッテ居ル即チ修正案ニ舉ゲラレテ居ルトコロノ七厘、或ハ六厘ト云フトコロノ四厘ト云フトコロノ議論ハ、減稅ヲセンガタメニ唯其議論ヲ主張スルガタメニ出サレタ案デアルト考ヘマス、殊ニ此修正案ニ付テハ私ハ更ニ一言今迄他ノ論者ガ論セラレナカッタ所ニ付テ、一

言附加ヘタイト思フノハ、千分ノ七ヲ減ズルト云フコトハ一般ノ——此北海道ヲ除ク一般ノ田畑地租ニ於テ千分ノ七ヲ減ズルト云フノデアリマスガ、此千分ノ七ヲ一般ノモノニ向ッテ減ズル場合ニ於テハ、北海道ノモノニ對シテ千分ノ四箇ヲ減ズルト云フコトハ其減ズル程度ノ比較ノ上カラシテ、權衡ヲ失シテ居ルノデアリマス、先年我黨ノ主張ニ依ッテ地租ノ八厘減ヲ實行致シマシタトキニハ、一般ノ地租ニ於テ八厘ヲ減ジ、サウシテ此北海道ノ部分ニ付テハ六厘ヲ減ジテ居ルノデアリマス、即チ一般ノ地租ハ五分五厘カラ八厘ヲ減ジテ、現在ノ四分七厘トナリ、北海道地租ニ付テハ四分ヨリ六厘ヲ減ジテ三分四厘ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、其一方ニ八分ヲ減ジ他ノ一方ニ六分ヲ減ズルト云フコトハ、即チ現在ニ行ハレテ居ルモノニ付テ按分ノ率デヤッタノデアリマス、然ルニ茲ニ提出セラレテ居ル所ノ修正案ノ、此方針ニ依テ若モ一般ノ地租ニ付テ七厘ヲ減ズルト云フ計算ノ上カラシテ、北海道ニ適用スベキ按分ノ平均ノ率ヲ見マスト、少ナクトモ五分以上ヲ減ズルト云フコトデナケレバ、平均ヲ取ルコトハ出來ナイノデアリマス、然ルニ其場合ニ於テ茲ニ千分ノ僅ニ四箇ヲ減ズルト云フコトハ一般ノモノニ付テ與ヘタヨリハ、ヨリ少ナキ恩典ヲ北海道ト云フヤウナ、此新開ノ土地ニ於テ與ヘルト云フ結果ヲ來シテ、寧ロ此點ニ於テ修正案ノ減稅ノ率ニ於テ不公平ニナルト云フコトヲ認メテ居ルノデアリマス、尙是ハ或ハ一讀會ニ於テ云フベキ議論デアアルカ知レマセヌガ、唯今修正案ノ提出者タル町田君カラ御話ガアリマシタカラ、一言酬イテ置キタイト考ヘマスコトハ、町田君ハ營業稅ニ於テ三割以上ヲ減ジタ所ノモノニハ、地租ニ於テ少クトモ二千萬圓位ヲ減ジナケレバナラヌト云フヤウナ御議論ガアッタヤウデアリマスガ、是ハ過去ノ歴史ノ御記憶ガ無カッタカラデアラウト考ヘテ居リマス、即チ吾々ガ茲ニ主張スル所ノ二厘減ト云フモノハ、是ハ今日突如トシテ二厘ヲ減ジタト云フノデハナイ、固ヨリ財政上ノ都合ト云フヤウナコトモアリマスケレドモ、前年主張シテ減ジタ所ノ八厘、其當時主張ヲシテ一分減ト云フモノノ主張ノ一部分ヲ、此ニ於テ補足シヤウト云フ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、營業稅ニ於テハ即チ減稅ト云フコトハ今回ガ初メデアアル、地租ニ於テハ既ニ先年八厘ヲ減ジ、今日其殘リノ二厘ヲ減ジテ、前年ノ主張ト合セテ一分トス

ルト云フコトハ、先程委員長タル齋藤君ヨリ御説明ニナッタ所デ十分御了解ニナッテ居ルコト、思ヒマス、之ヲ要スルニ茲ニ此地租ニ付テ何厘ヲ減ズル、八厘ニスル七厘ニスルト云フ議論ハ、先程冒頭ニ於テ申シマシタ如ク、所謂五十歩百歩ノ程度論ニ過ギナイノデアリマス、即チ茲ニ問フベキ事柄ハ程度如何ト云フヨリ、寧ロ實行ノ誠意アルヤ否ヤト云フ問題デアリマス、而シテハ此點ニ付テ遺憾ナガラ國民黨諸君ニ敬意ヲ拂フト同時ニ、同志會ノ諸君ニ對シテ少シク惜イヤウナ感ジヲ起スノデアリマス、國民黨ノ諸君ハ餘程早クカラ此七厘減ヲ主張サレ、ソレガ原案トナッテ本議場ノ問題トナッテ居リマスガ、同志會ノ諸君ガ此修正案ヲ出サレタ、其修正案ノ内容ハ先刻ヨリ御説明ノアリマシタ如ク、殆ド唯施行ノ期日ヲ異ニスルダケデ、其他ノ點ニ於テハ國民黨ノ諸君ト全ク符合シテ居ルノデアリマス、町田君ガ最前ニ讀會ニ於テ説明スベキ材料ガ無カッタト云フコトヲ言ハレタガ、私ハソレハ國民黨ト同一デアルカラデアルト思フ、是ハ私ハ前夜此壇上ニ於テ營業稅ノ廢止法案ヲ議セラル、場合ニ、國民黨及ビ同志會ノ諸君ガ我黨ノ掘切善兵衛君カラシテ、營業稅ノ廢止ト云フコトノ理由ナキヲ絶叫スルト、所謂我ガ國ノ政界ニ於テ今マデ無キコトデ、最モ忌ムベキ商工黨ト云フモノニ變化シテ行クト云フコトヲ國民黨ガ言ウタノデ、或ハ俄カニ御考ヘニナッテ是ハ左様ナ議論ヲ茲ニセラル、ト云フコトハ甚ダ遺憾デアルカラ、吾々モ此國民ノ大多數タル農民ノ味方デアルト云フコトヲ知ラシムルガ爲ニ、俄ニ農民黨ノ御主張ヲ御借用ニナッタモノデハナイカト云フコトヲ思フ者デアアル、而シテ其一ノ證據ガ即チ此修正案ノ第二ノ點ニ於テマダ現レテ居リマセヌコトハ、甚ダ遺憾トスルノデアリマス、修正案ノ第二ノ點タル……此修正案ト云フモノハ私ノ想像スル所ニ依レバ、唯今申シマス如ク五十歩百歩ノ議論ト云フコトカラシテ、サウシテ是ハ人氣取リニ供セラレタノデハナイカト云フ疑ヲ招クニ過ギヌコト、思フノデアリマス、國民黨諸君ガ七厘ヲ主張セラレルト云フコトハ左様ナ嫌ヒハナイトシテモ、又聊カ少數黨諸君ノ立場トシテ諒トスル所ガアルヤウニ思フ、即チ實際實行スル所ノ力ノアル責任アル大政黨、即チ責任アルモノガ實行シ得ル責ヲ引イテ主張スルノハ當然ノコトデアルト思フ、實行シ得ザル議論ヲ唱ヘルト云フコトハ忌ムベキコトデアアル、之

ヲ監視スル位地ニ立ッテ居ル、之ヲ督勵スル位地ニ立ッテ居ル少數黨ノ諸君ガ、ソレヨリ多クノ主張ヲセラル、ト云フノハ、其立場ノ上カラ大ニ諒トスル所ガアルト思フ、故ニ私ハ七厘減ヲ諸君ガ主張セラル、ニ付テハ、反對ハ致シマスケレドモ、其點ニ付テ其立場ニ付テ、甚ダ同情ヲ寄セテ居ルノデアリマス、其立場ニ付テ同情ヲ寄セテ居ルト同時ニ、斯ノ如キ他人ノ武器ヲ利用シテ俄ニ農民ノ御機嫌取リニオヤリニナッタノデハナイカト云フヤウナ疑ヲ、吾々ノ如キ公平ノ立場カラ見ル者ハ感ゼシムルノハ甚ダ諸君ノ爲ニ惜ムノデアリマス、尙施行期限ノコトニ付テハ、是ハ次ニ討論セラル、御方ガアルト云フコトデアリマスシ、又此機會ニ於テスベキモノデハナイト云フ議長ノ御注意モアリマシタカラ、其點ニ付テハ申シマセヌガ、終ニ臨ンデ此施行期限ト云フコトニ付テハ多ク論ズル必要ハナイガ、國民黨ノ諸君ガ吾々ガ之ヲ來年度カラ實行シタイト言ヘバ、國民黨ノ諸君ガ少數黨ノ立場トシテ九月一日ヨリ、一夜作リニ之ヲ本年度ノ初カラヤリタイト云フコトヲ仰セラル、ノハ(此時議長何事カ注意ス)私ハ所謂ヤハリ一種ノ人氣取リノ方法デアルト、私ハ單ニ之ヲ考ヘテ一笑ニ付スルニ過ギナイト思フノデアリマス

川原茂輔君ノ演説

委員長ノ報告ニアリマス通り、本案ハ「大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト委員長ノ報告ニアリマス、ソレヲ「本法ハ大正四年分地租ヨリ之ヲ適用ス」ト修正致シタイノデアリマス、其意味ハ即チ地租ハ一月ヨリ十二月ヲ以テ算定スルヲ原則トシテアリマスカラ、此委員長ノ修正案ノ如クシマスルト、二期分即チ五月分ハ率ガ違ッテ來ル、曩ニ金尾君ガ仰シヤイマシタ通り、同ジ地租ノ中ニ同ジ一期間分ノ率ヲ變ヘマスト、町村役場杯ノ煩雜ハ誠ニ多大ナモノデアアル、仍テ「大正四年分地租ヨリ之ヲ適用ス」トヤル方ガ、餘程運ビノ上ニ於テ宜シイト思ヒマスカラ、右ノ通り修正致シマス

横尾輝吉君ノ演説

我輩ハ町田君ノ修正動議ニ賛成ヲ致シマス、而シテ町田君カラ其要領ハ能ク盡サレテアリマスカ
 ラ、諸君ガ既ニ御承知ノ筈デアルト考ヘマシタ所ガ、唯今島田君ガ最後ニ於キマシテ如何ナルコ
 トヲ言ハレテ居ルカト申シマスルト、此少數黨ノ國民黨ノ諸君カラ出サレタ所ノ七厘減ト云フ
 モノハ、他人ノ持論デアアルニモ拘ラズ、然モ人氣取りニ此一夜作りニ同志會ノ諸君ハ此案ヲ提
 出セラレタト云フコトヲ以テ、然モ政友會ヲ代表セラレタ意味ヲ以テ、是ガ最モ島田君ノ議論ノ
 要點デアアル骨子デアルト我輩ハ聽キマシタ、而シテ議長カラハ大分注意ガゴザイマシタケレド
 モ、苟モ自家ノ所信ヲ述ベテ然モ反對黨ノ所信ヲ覆シ、翻サウト云フノニハ修正ヲスル其理由ニ
 付キマシテ、サウシテ單純ナルモノデアアルナラバ立ッタリ坐ッタリスレバソレデ濟ム話デアアルニ、
 例ヘバ修正説ヲ賛成スルニシマシテモ、自家ノ所信ト云フモノハ之ニ伴フモノデアアル、唯範圍ガ
 總論ト局部ノ議論ト違フト云フ位ノコトハ我輩モ之ヲ知ッテ居ル、唯今島田君ノ議論デハ、島田
 君ハ今述ベタ通りニ之ヲ骨子トシテ居ラレル、併ナガラ諸君考ヘテ見給ヘ、一體此減稅論ト云
 フモノハ政友會諸君ガ自動的自成的ノモノデアリマスカ、政府ハ貴族院ノ要求ニ依テ已ムヲ得
 ズ營業稅ノ案ヲ出シタト云フ、諸君ハ國家ノ所謂國論ノ要求、吾々ノ攻撃ニ依テ已ムヲ得ズ此
 千八百萬圓ノ財源ヲ作ッタノデハナイカ(中略)諸君若シ營業稅ノ全廢論ガ行ハレマスレバ諸君
 ハ苦シイ、苦シイデセウケレドモ——今少シ御聽キ下サイ、諸君定メシ聽苦シイデゴザイマセ
 ウ、良心ノ苛責ヲ受ケルデアリマセウケレドモ、社會ハ此議會ダケデアリマセウカラ——少シ御
 聽下サイ——今御覽下サイ、吾々ノ方ハ大正三年カラ之ヲ實行スルト云フ期限デアリマス、之ニ
 對シテ諸君ノ方デハ御覽下サイ、修正案ヲ如何ニ周章シタカ如何ニ狼狽シタカ、此民論ノ壓迫ニ
 依テ止ムヲ得ズ二厘ト云フ胡麻鹽的ノコトヲヤリ、然モ大正四年度ノ四月一日カラヤル坏ト云
 フコトハ、多士濟々タル所ノ諸君ノ狼狽加減ガ實ニ笑止千萬デアアル、漸ク今ニナッテ分ッテ、始メ
 テ之ヲ年度稅ニスル、地租ガ年度稅デアル位ノコトハ苟モ三尺ノ童子ガ皆知ッテ居ル、而モ立派
 ナル薩閩内閣ヲ戴イテ、サウシテ天下ノ多數ヲ制シテ居ル政友會諸君ガ、漸ク今終ルトキニナ
 テ始メテ分ッタト云フニ至ッテハ笑止ノ至リニ堪ヘナイノデアアル、ソレデ國民黨ノ諸君ガ出シタ

案ハ九月一日、吾々ノ方ハ年度ヲ——年度ト云フヨリハ年稅デアルカラシテ此ニ於テダ、此總
 テノ點カラ推定シテ、サウシテ此國民黨ノ諸君ト勢ヒ已ムヲ得ズ、同ジモノニ僅ノ差ガアッテ諸
 君カラ彼此言ハレルト云フコトガ出來タノデアアル、是レ一夜作りニアラズシテ、決シテ一夜作
 リデハナイガ、營業稅ノ廢止ガ行ハレ、バ此五厘七厘ハ減ッタヨリモ——減シタヨリモ即チ營業
 稅ヲ廢セバ、是ハ元ノ例ニ依テ府縣稅ニ返ス、地方稅ニ返シテ行ケバ——諸君等ハ分ラヌカラ話
 シテ聽カセル、府縣稅ニ返シテ行ケバ其府縣稅ト云フモノデハ地租割ト云フモノトシテ減ジテ
 行ク、農民ガ此地租割ヲ減ズル上ニ於テ、何等ノ關係ナシニ五厘七厘ノ減稅ト云フモノハ農民自
 身ハ居ナガラニシテ得ラレルノデアアル、若シ此營業稅ヲ全廢スレバ地租七厘減ヲ出ス必要ハナ
 イカラ出サナカッタノデアアル、諸君多數ノ橫暴ニ依テ天下ノ名案ヲ葬ラレタ、葬ラレタカラ已ム
 ヲ得ナイカラ茲ニ地租七厘ノ輕減ヲ出シタノデアアル、是ハ已ムヲ得ナイノデアアル(中略)君等ハ
 吾々ノ行動ヲ以テ嘸妙ニ感ジテ居ルダラウガ、併ナガラ吾々ノ行動ハ國民ノ代表スルモノデア
 ル、君等ノハ聊カ怪シイノデアアルカラ、諸君ハ謹ンデ前説ヲ翻シ吾々ノ七厘說ニ賛成シ給ヘ
 討論終局シ議長ハ先ツ採決ノ順序ヲ告ケ院議武富君ノ修正案ヲ否決シ次テ川原君ノ修正案ヲ採用
 シ他ハ全部委員會ノ修正案ヲ採用スルニ決シ引續キ第三讀會ヲ聞キ第二讀會ニ於ケル決議ノ儘之
 ヲ確定セリ即日貴族院ニ送付、同院ハ三月二十日可決奏上シ同月三十一日法律第十八號ヲ以テ公
 布セラル

一一 關稅定率法中改正法律案

關稅定率法中左ノ通改正ス

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第二項 本院提出法律案

第六條 削除

別表輸入税表中

一二號ヲ削ル

「一三大麥」ノ下「同」ヲ「每百斤」ニ改ム

二年十二月二十六日關直彦君外三名提出、三年一月二十四日第一讀會ヲ開キ提出者(鈴木梅四郎君)ハ左ノ如ク趣旨ヲ辯明セリ

昨年私ハ此案ニ付テ賛成演說ヲ致シマシタ、今日ハ極ク重要ナ點ダケヲ申上ゲマシテ、細カナ所ハ昨年ノ傍聽筆記ヲ御覽ヲ願フコトニ致シマス、第一私ハ此案ヲ提出致シマシタル一番ノ最モ重イ理由ハ、社會問題、社會政策ノ上カラ、第二經濟問題ノ上カラ最モ重キヲ置クモノデゴザイマス、御承知ノ通り此米ナルモノハ、日本帝國國民ニ取リマシテハ一種特別ノ商品デゴザイマシテ、是ハ有ユル吾々ノ需要シマスル所ノ物品ノ中デ、最モ大事ナ商品ニナツテ居リマス、爲メニ、古來日本ニ於キマシテハ米價ト云フモノガ諸物價ノ基因ニナツテ居リマス、物ノ價ノ標準ニナツテ居リマス、米ガ上リマスレバ大工左官ノ賃銀ガ上ル、薪炭ノ代價ガ上ル、其他衣服一切ノ品物ガ皆米ニ伴レテ上ルト云フノハ古來ノ習慣デゴザイマスガ、今日モ亦同様ニ上ツテ居ルノデゴザイマス、故ニ關稅一石ニ付キマシテ二圓五十錢ト云フ、此關稅ハ非常ナ猛威ヲ我國民生活ノ上ニ振ツテ居ルノデゴザイマス、諸君ハ下級勞働者ノ狀態ヲ御承知デアリマセウガ、私ノ最モ知ツテ居リマス所ノ一例ヲ御話シマスレバ、勞働者ノ家族ハ夫婦ニ子供ガ一人アル、其主人ノ働ク賃銀ガ日給デゴザイマシテ、五十錢、息子ガ本年十五歳ニナツテ是ガ手助ヲ致シマシテ、二十五錢若

クバ三十錢ノ日給ヲ取ル、併セテ此一家族ハ八十錢ノ日給ヲ取ツテ居リマス、然ルニ此家族ハ一日ニドノ位ノ米ノ代ヲ拂ツテ居ルカト申シマス、今日四等米ノ相場即チ一升二十五錢ノ米ヲ買ウテ居ルノデゴザイマスガ、三人デ一日ニ二升二合ノ米ヲ喰ベマス、一升二合ハ即チ丁度三十錢ニ當ルノデゴザイマス、所デ其三十錢ノ中デ米ノ關稅ハドノ位課シテ居ルカト申シマス、三十錢ノ一割課シテ居ル、即チ一升ニ付テ二錢五厘掛ツテ居ルノデ、一斗ニ付テ三十錢掛ツテ居ル、所デ此勞働者ノ生活ヲ見マスト、米代ハ三十錢デゴザイマスガ、其他ノ費用ハ此米代ニ約一倍半ノモノヲ用ヰテ居ル、勿論此家族ハ勞働者ノコトデゴザイマスカシテ、一箇月三十日十分ニ働イテ給料ヲ取ル譯ニ行カナイ、或ハ事故ガアリ或ハ雨ガ降ルト云フヤウナコトデ、休ム爲メニ一箇月ニ二十一圓ノ收入シカナイ、然ルニ其中米代ニ拂ヒマスモノハ日ニ三十錢一箇月ニ九圓ヲ取ラレ、サウシテ二十一圓デゴザイマス中ノアトノモノハ、即チ副食物衣服家賃ト云フヤウナモノニ當ルノデゴザイマスガ、是亦米價ノ影響ヲ受ケマシテ前段ニ御話シマシタ通りニ、總テ米ガ物價ノ標準ニナツテ居ル日本國デゴザイマスカラ、之ニモヤハリ掛ル、假リニ米ノ價ト同様ニ外ノ物ガ上ツテ居ルトシマスルト、此一家ノ米ガ日ニ三錢關稅ヲ負擔シテ居ルト同時ニ、外ノ物ニモヤハリ其割合デ負擔ヲシテ居リマスカラ、憫ムベキ此勞働者ノ家族、日ニ八十錢一箇月僅ニ二十一圓ノ收入ノアル勞働者ハ、此關稅ノ爲メニ二圓二十五錢ノ負擔ヲシテ居ル勘定ニナルノデゴザイマス、此點ヲ能ク御承知ヲ願ヒタイ、更ニ是ヨリ少シク進ンダ中等階級ノ下流ノ生計ノ御話ヲシテ見タイ、是ハ一家五人デゴザイマシテ、夫婦ノ外ニ老人ガ一人子供ガ二人、五人ノ生活ヲシテ居ル、此主人ノ得マスル所ノ給料ハ一箇月ニ三十圓、所デ此家族ハドノ位米ヲ使用スルカト申シマスレバ、ヤハリ五人デゴザイマスガ、勞働者ト違フ、役所ヘ勤メル人デゴザイマスカラ、人種モ違フ爲メニ五人デ一升二合ノ米ヲ使ツテ居ル、ヤハリ是ガ前ノ勞働者ト丁度同ジニ一升二合デ四等米ヲ喰ベテ居リマス爲メニ、ヤハリ米ノ上ニ一日三錢ノ關稅ヲ拂ツテ居ル、サウシテ此家族ハ勞働者ヨリモ些カヨリ良キ生活ヲ致シテ居リマス爲メニ、米ノ代價ノ凡ソ二倍ノ費用ヲ外ノ物ニ拂ツテ居ル、即チ家賃、副食物、衣服其他ノ費用ニ米ノ代價ノ約倍ヲ拂ツテ居ル、

第七章 議事 第三節 議案ノ討議及表決 第四款 法律案 第二項 本院提出法律案 七百四十九

即チ米ノ代價ニ三十錢拂ッテ居リマスレバ、外ノ物ニ六十錢拂ッテ居ル、併セテ一日ノ生計ガ先ヅ約九十錢、此九十錢ノ場合デ見マスルト云フト、前例ニ依ッテ計算致シマスレバ、此一家ノ中流階級ノ最モ下流ニ居リマス所ノ生活費ノ中デ、三十錢ニ付テ三錢デスカラ九錢掛ッテ居ル、即チ一箇月ニ積リマシテ二圓七十錢——三九二圓七十錢ト云フモノニナルノデゴザイマスガ、此中流階級ノ一番下ノ下級デゴザイマス、一箇月ニ三十圓内外ヲ取ッテ生活シテ居ル所ノ人々ノ生活ノ上ニ付テモ、一箇月ニ二圓七十錢、約三圓ニ近イ所ノ關稅ガ掛ッテ居ル、勞働者ニハ即チ二圓二十五錢ト云フ重イ負擔ガ掛ッテ居ル、斯ノ如クニ致シマスカラシテ此米ノ關稅一石二圓五十錢ト云フモノハ、諸君ハ左程重要ニ思召サヌカモ分リマセヌケレドモ、社會問題、社會政策ノ上カラ申シマスレバ、ナカク以テ非常ノ大問題デアアル、即チ其收入ノ一割ト云フモノヲ此米ノ關稅ノ爲メニ拂ッテ居ルト云フコトデアアル、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、近年此生活難、就職難ノ聲ノ高イト云フノモ尤モデゴザイマス、此一番重要ナル所ノ米ノ關稅ノ如キ耻ヅベキ稅ヲ課シテ置クト云フコトハ、實ニ見ツトモナイコトデアアルベカリデナクシテ、社會政策ノ上ニ非常ナ害毒ヲ流シテ居ル、斯ノ如ク此生計ヲ困難ナラシムル結果ハドウナルカト申シマスレバ、我日本帝國ニ於キマシテ社會主義者ナドト云フモノハ決シテ無イノデゴザイマスケレドモ、若シモ今日ノ如キ斯ウ云フ形勢ヲ長ク持續致シマシタナラバ如何デゴザイマセウ、追々忌ムベキ所ノ所謂社會主義論者ヲ出サヌトハ限ラヌデハゴザイマセヌカ、故ニ私ハ此社會政策ノ上カラ、即チ多數ノ憫ムベキ下級階級ノ人ノ爲ニ、此關稅ハ第一ニ撤廢セネバナラヌモノデアアルト信ジテ居ルノデアリマス、次ニ經濟問題ニ付テ御話致シマス、此經濟問題モヤハリ基礎ハ唯今御話シマシタ所ノ下級勞働者、若クハ中流階級ノ下級ノ人ノ生活費カラ御話シテ宜イ、即チ日本ノ勞働者ト云フ者、勞働ノ賃金ト云フモノハ約一割此關稅ノ爲ニ高クナッテ居ルト云フコトデアアル、即チ唯今說明致シマシタ通りノ譯デ、一箇月ニ二圓二角五分取リマストコロノ勞働者モ、二圓二十五錢ト云フ米ノ關稅ヲ負擔シテ居ルト云フコトデアアル、丁度一割以上負擔シテ居ル、諸君、此勞働ノ賃銀ノ廉イト云フノハ、日本帝國ノ一ツノ特色トシテ今マデ誇ッテ居ッタノデハゴザイマセ

ヌカ、即チ世界ニ對シテ商工業ヲ以テ國ヲ立ッテ、大ニ國ヲ富マスト云フ上ニ付テ、日本ニハイロノ特色モゴザイマスガ、一番大事ナ問題ハ此勞働賃銀ガ廉イ、勞力ガ廉ク供給サレルト云フノガ日本ノ一番長所デアアル、然ルニ此誤ッタル關稅ノ爲ニ、僅カ一年ニ今日デハ三百餘萬圓ニナッテ居ル關稅デゴザイマスガ、其關稅ノ爲ニ此勞働ノ賃銀ヲ一割高クシテ居ル、一割高クスルト云フコトハ物ヲ拵ヘマスル商品ノ上ニ非常ナ妨害ニナル、一割賃銀ガ廉クナッタト云ッタナラバ、競争場裡ニ立ッテ如何ニ其商品ガ活潑ニ捌ケルカト云フコトハ、事情ヲ御承知ノ諸君ハ能ク御解リト思フ、ナカク此勞銀ヲ一割廉クスルト云フコトハ、非常ナ問題デアアル、商工立國ノ上ニ付テハ最モ大事ナ問題デアアル、然ルニ今日此勞働者ニ斯ノ如キ重キ稅ヲ課シマシテ、サウシテ日本ノ商工ヲ盛ンニ進メヤウトシテ居リマスルノハ、マルデ綱ヲ著ケテ馬ヲ引留メテ置キナガラ、其馬ニ鞭ッテ走レト云フノト同ジコトデアアル、諸君ハ斯ノ如キトコロノ惡稅ト云フモノハ、一日モ早く廢サナクテハナラヌト云フコトヲ定メテ御諒知ニナッテアラウト思ヒマス、私ハ此經濟問題ノ上カラ、殊ニ切言致シマスノハ、過日モ私ガ大藏大臣ニ向ッテ此度ノ豫算ニ於キマシテハ、何等國富ヲ増進シ所謂病的經濟界ヲ救治スルトコロノ經論ガナイ、政策ガナイト云フコトヲ質問致シマシタトコロガ、大藏大臣ハ頓珍漢ノ御返事ヲナスッテ居ラシヤイマシテ、官僚政治デアアルナラバ物價ヲ左右スルコトハ出來ルカ知ラヌケレドモ、政黨内閣ニ於テハ物價ヲドウスルコトハ出來ヌト云フヤウナ御答ガアッタヤウデゴザイマスガ、最モ私ハ怪シカラヌ御答ダト思フ、此關稅ノ如キモノハ日本ノ物價ヲ高クシテ居リマスルトコロノ最モ有力ナル障害物ノ一デゴザイマス、即チ此ノ如キモノヲ撤廢シマスレバ、日本ノ物價ヲ——少クトモ物價ノ幾分ヲ下落セシムルコトガ出來ルノデアアル、然ルニ今年ノ如キ豐富ナルトコロノ財源ヲ有スル山本内閣ニシテ、僅々三百萬圓ニ足リマセヌトコロノ關稅ヲ撤廢スルコトヲ忘レテ、物價ヲ左右スルコトハ官僚政治ノヤルコトデアッテ、政黨政治家ノヤルコトテナイ杯ト云フ途法モナイ御話ガゴザッタノハ、如何ニモ殘念ニ思フノデアリマス、當席ニハ大藏大臣ハ唯今御出ニナリマセヌガ、速記録ヲ以テ大藏大臣ガ私ノ所論ヲ御聽キニナルコトヲ希望シマス、次ニ此問題ニ付キマシテハ、豫

算ノ上ニ一番解リ易イ一例ガゴザイマス、財政問題ノ上カラ申シテモ、諸君ノ御手許ニゴザイマスル當年ノ豫算ノ中ニ陸軍ノ當年ノ臨時増加ノ中ニ、米麥騰貴ニ付百八十何萬圓ノ増加額ガ出テ居マス、ソレカラ司法省ノ監獄費ノ中ニ二十何萬圓ト云フモノガ出テ居リマス、即チ此米價騰貴ト云フ爲ニ、本年ノ豫算ニ於テ既ニ二百萬圓ト云フモノハ餘計ニ追加シテハナラヌヤウナコトニナツテ居ルデアリマセヌカ、然ルニ關稅ハドノ位ダト云フニ僅々三百萬圓デアルノデアアル、丁度此關稅ヲ撤廢シテ米ヲ廉ク致シマスレバ、豫算ノ上ニ於テモ今年二百萬圓ヲ計上シナイデモ宜シイノデアアル、斯ノ如キ理由デゴザイマスカラシテ、最早此上ニ私ハ必要ノ理由ヲ述ベル要ヲ認メナイノデゴザイマス、諸君ハ何卒此度ハ直ニ本案ニ御賛成アラシテコトヲ希望スルノデゴザイマス、私ハ終リニ臨ミマシテ、定メテ諸君ガ財源ニ付テイロ、御話モアルヤウニ思ヒマスルガ、我國民黨ハ昨年モ提出致シマシタ通りニ、今年モヤハリ豫算ニ向ッテハ充分ノ行政整理ノ削減案ヲ提出スル筈デアリマシテ、吾々ハ行政整理ヲ十分ニ致シマスレバ、此減稅ノ諸問題ニ付テ、八千一百餘萬圓ノ恒久的財源ヲ有ッテ居ル計算ニナリマス、ソレハ何レ追々ニ此議場ニ御相談スルデゴザイマセウカラ、此減稅廢稅ノ財源モ十分ニアルト云フコトヲ茲ニ一言申添ヘテ置キマス

質疑應答ノ後議長指名ノ委員ニ付託スルニ決シ議長ハ即日之ヲ指名ス、委員ハ同月二十六日委員長及理事ノ互選ヲ行ヒ審査ノ末本案ヲ否決シ三月十日報告書ヲ議長ニ提出セリ

同月十二日政府提出關稅定率法中改正法律案ト一括シテ第一讀會ヲ續會ヲ開キ委員長板東勘五郎君ハ委員會ノ經過及結果ヲ報告シ政府案議決ノ後本案ノ討議ニ移リ鈴木梅四郎君ハ本案ニ賛成、丸尾光春君ハ反對ノ演說ヲ爲セリ

鈴木梅四郎君ノ演說

諸君、本案ニ付キマシテハ私ハ三たび此壇上ニ立ツノデゴザイマスルガ、今日ハ是迄論ジマシタ點ハ避ケマシテ、本問題ノ最モ重大ナル點ヲ一二點ヲ論ジテ諸君ノ御清聽ヲ續シタウ存ジマス、本問題ニ付キマシテ最モ重要ナル問題、我帝國ノ爲ニ謀リマシテ最モ重大ナル所ノ問題ハ、即チ食物供給問題デゴザイマス、此上カラ私ハ論シテ見タイ、御承知ノ通り我ガ帝國ノ人口ハ毎年約六十萬人ヅ、殖エテ參リマスル、然ルニ此食物ノ中デ重要ナル米ノ産額ハ如何デアルカト申シマスレバ、多少ヅ、殖エナイトハ申シマセヌガ、併シ殖エル率ト云フモノハ誠ニ輕微ナモノデゴザイマス、而シテ此後一道三府四十三縣ノ本土ニ於テ、果シテドノ位ノ産額ヲ殖スコトガ出來ルカト云フコトニ付キマシテハ、農商務省ノ當局者モ大分調ラ致シテ居ラル、ノデゴザイマス、此調ニ依テ見マスルト七十萬町歩ノ未墾田地ガ殘ッテ居ル、ソレカラ百萬町歩ノ畑ニスル所ノ未墾畑地ガ殘ッテ居ル、斯ウ云フノガ農商務省ノ御調デゴザイマス、諸君、其七十萬町歩ノ田地ト云フモノヲ分析シテ見マスルト、誠ニ失望セザルヲ得ヌノデアリマス、何故失望セザルヲ得ヌカト云フノニ、七十萬町歩ノ中デ北海道ガ三十二萬町歩ゴザイマス、サウシテ東北ノ青森秋田巖手若ハ千葉ト云フヤウナ所ガ五萬町歩若ハ四萬町歩三萬町歩ト云フヤウナ稍、大ナル所ノ面積ヲ有ッテ居リマスノデ、七十萬町歩ノ半分以上約六割以上ト云フモノハ米ヲ作ルニ最モ不利益ナル所ノ地方デゴザイマス、就中三十二萬町歩ノ北海道ノ未墾田地ト申スモノハ、御承知ノ通過去ノ實蹟ニ依リマシテモ、北海道ノ米作ト云フモノニ付テハ事實ガ證明スル如ク餘リ好イ成績ヲ擧ゲテ居リマセヌ、申ス迄モナク稻ハ熱帶植物ノコトデゴザイマスカラ、北海道ノ如キ氣候ノ寒イ所デハ良ク出來ナイト云フコトハ當リ前デゴザイマスルガ、併シ我ガ大和民族ノ農業ニ鍛鍊ナル、先年來此天然ニ背イタ處デ米田ヲ拵ヘテヤッタ、多少ノ成績ハ擧ゲテ居リマス、ケレドモ併シハ甚ダ計算ニ合ハナイ所ノ仕事デアアル、昨年ノ如キハ殆ド總テ凶作ニナツテ居ルト云フ事實ヲ見マシテモ、アマリ有利ナ仕事デアナイト云フコトハ明白デゴザイマス、ソレカラ又東北ノ如キモデス、比較的九州中國其他ノ地方ト比ベマスレバ、溫度ノ相違ト云フコトガ最モ此米作ニ影響スルノデゴザイマシテ、三年カ四年ニ必ズ大凶作ノ起ルト云フノハ、即チ實際ノ事實デアアル、此地

方ト申スモノモ米作ガ最モ有利ナルモノトハ信ゼラレナイノデゴザイマス、而シテ今後開カルベキ所ノ水田ノ餘地ト云フモノガ、多ク北海道ト東北地方ニアリト致マスナラバ、農商務省ノ調ノ七十萬町歩ノ米田ト云フモノモ、甚ダ我が國人ノ要求シマスル所ノ米ノ供給ヲ期待スルコトニ於テ不安心ナルモノト申サナケレバナラヌノデゴザイマス、又畑地——麥ヲ作り或ハ豆ヲ作ル所ノ畑、此畑モ全國ニ互ッテ百萬町歩アルト云フノハ、農商務省ノ調デゴザイマスガ、其中八十萬町歩ト云フモノハ、北海道デアアルノデゴザイマスカラ、是ハヤハリ米田ト同様トハ申セマセヌ、北海道デモ畑ニナリマスレバ相當ノ收穫ノアルモノモゴザイマスルガ、併ナガラ此北海道ノ畑ト申シマスモノハ、内地ノ畑ト比ベマシテ其收穫ノ貧弱デアアルト云フコトハ明白ノ事デゴザイマスカラシテ、此畑ノ百萬町歩ト申スモノモ、我國ノ穀物供給ノ上カラ見マスルト甚ダ頼ミ少イ所ノ未墾ノ畑地デゴザイマス、此外ニ新領土デゴザイマスル臺灣朝鮮等ハゴザイマスルガ、此邊ノ調ハ農商務省ニ於テハマダ能ク著イテ居ラヌヤウデ、吾々モ存ジマセヌガ、併シ是トモ年々六十萬人ノ人口ヲ養フ所ノモノヲ此地方カラ得ヤウト云フコトハ、實際ニ於テムツカシカラウト思フノデゴザイマス、此ノ如クニ致シマシテ今日ノ米田、畑並ニ將來開墾スベキモノマデ合セマシタ所デ、食物ノ前途ヲ考ヘテ見マスルト誠ニ心許ナク考ヘマスル次第デゴザイマスルガ、實ハ其等デゴザイマスル、諸君、日本帝國ノ面積ハ御承知ノ通り可ナリ廣ウゴザイマスルガ、此面積ノ中デ耕地トナッテ居リマスルモノガドノ位アルト調ベテ見マスレバ、僅ニ一割四分シカナイノデゴザイマス、此未墾ノ土地、將來田トナリ畑トナル百七十萬町歩ヲ寄セマシタ所デ、二割ニ達スルカ達セヌノデゴザイマス、是ハ國土ノ狀勢ガ然ラシムルノデゴザイマシテ、御承知ノ通り日本帝國ハ島ヨリ成立ッテ居ルモノデ、殆下山ヲ以テ構成シテ居ルト申シテ宜シイノデゴザイマスルカラ、此上ニハモウ耕スベキ處ガナイノデゴザイマス、世界ノ人口ノ割合ヲ統計學者ガ調ベテ居ルノヲ見マスルト云フト、一番世界デ人口ノ稠密ノ場所ト申シマスルノガ白耳義デゴザイマス、是ハ一平方里三千八百八十人住ンデ居ル、英蘭ガ同ジク三千八百八十人「ホルラント」ガ二千七百二十五人、日本ハ四番目デ二千三十二人住ンデ居ルデアリマスガ、是ハ全面積ニ對

スルトコロノ人口デゴザイマシテ、耕地ニ對スルトコロノ人口ヲ計算シテ見マスルト、大變ニ違ッテ居ル、耕地ニ對スル人口ヲ割合セテ見マスルト、世界中デ一番稠密ナ所ハ英蘭デゴザイマス、御承知ノ通り英蘭ハ世界ノ第一ノ大都會ガアリ「リバトプール」ガアリ「マンチエスタ」ガアリ、其他商工業ノ十分ニ發達シタコロデ、地球ノ中デ一番人ノ密集シテ居ル所デゴザイマスカラ、是ハ一平方里ノ中ニ一萬四千七百二十人住ンデ居ッテ、是ガ世界デ第一等ノ人口稠密ノ場所ニナッテ居リマス、然ルニ驚クベシ此大ナル所ノ山ヲ持ッテ居ル日本帝國ハ、耕地ノ上カラ申シマスルト一平方里ニ付テ一萬四千二百二十四人ト云フモノデゴザイマシテ、英蘭ト較ベマシテ誠ニ僅ノ違ヒニ過ギナイノデアッテ、世界中デ最モ人口ノ稠密ナ即チ耕地ニ割合ヒマスルト云フト、白耳義「ホルラント」伊太利獨逸ニ較ベテ見マスルト非常ナ稠密ナモノニナッテ居ルノデゴザイマス、斯様ナ國柄デゴザイマスカラシテ、此穀物ノ供給ヲ自國ニ仰グト云フコトハ到底私ハムヅカシイコトデハアルマイカト思フノデゴザイマス、勿論近頃ハ總テノモノガ獨立主義ガ流行リマスカラ、或ハ兵器ノ獨立、或ハ商業ノ獨立イロ／＼ノコトガアリマシテ即チ自國ノ食物ハ自國デ供給スルト云フコトガ或論者ニハ一ノ定論トシテ主張サレテ居リマスガ、併シ斯ノ如キ狀勢デゴザイマシテ、我日本帝國ハ到底食物ト云フモノヲ自國ニ於テ供給スルト云フ望ミハ殘念ナガラ絶タネバナラヌ運命ヲ持ッテ居ルト私ハ斷言致スノデアリマス、斯様ニ致シマスレバ、此年々御互ニ六十萬人ヅ、モ殖エテ行キマスル食物供給問題ト云フモノハ、日本帝國ノ大問題デアアルトシマスレバ、此食物ニ關稅ヲ掛ケルト云フ問題ハ、全國民ノ最モ重要視シテ慎重審議ヲ重ネナクテハナラナイ問題デアアルト思フ、私ハ委員會ニ於キマシテタッタ一人ノ贊成者ヨリナクシテ大多數デ否決サレタト云フコトハ甚ダ衆議院ノ面上ヨリ考ヘマシテ、如何ニモ遺憾ニ存ズル次第デゴザイマスガ、此食物供給問題ト云フモノハ此後モ繼續シテ諸君ノ御攻究ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二ニハ社會問題ト致シマシテ、私ハ諸君ノ御研究ヲ願ヒタイ重要ノトコロガアル、此問題ヲ攻究シマス上ニ於テ、便宜ノ爲ニ最近ノ日本ノ人口——最近ト申シマシテモ統計年鑑ニ出テ居ルノハ明治四十五年即チ大正元年ノ調デゴザイマスガ、五千百十二萬ナンボト云フ

ノガ土臺ニナッテ居リマスカラ、其御積リテ御聽ヲ願ヒマス、此五千百十二萬餘人ノ人口ノ中デ
 米ガ高イタメニ利益ヲ得ルトコロノ階級ハドノ位アルカ、米ノ價ノ高下ニ關係ノナイ人民ハド
 ノ位アルカ、米ノ高イ爲ニ非常ニ不利益ヲ被ムルトコロノ人口ハドノ位アルカ、斯ウ三段ニ分ケ
 テ實ハ調ベテ見タノデアリマス、所ガ此調タルヤナカク、ムツカシウゴザリマシテ、精密ナル少
 シモ間違ハヌト云フ統計ヲ取ルコトハムツカシウゴザイマスガ、先ヅ直接國稅三圓以上ヲ納ム
 ルトコロノ農民デス、即チ今日ノ所デ府縣會議員ヲ選舉シ得ル所ノ資格ヲ持ッテ居ル、其以上ノ
 農民ト云フモノヲ以テ先ヅ米ヲ賣ルトコロノ人民、即チ米ノ高イト云フ爲ニ利益ヲ得ルトコロ
 ノ階級ト見タノデゴザイマス、諸君直接國稅三圓ト申シマシテモ、田地ノ高ニ割合セテ見マスル
 ト云フトナンボモ田地ヲ持ッテ居ル譯デハゴザイマセヌ、三圓ヲ納ムルトコロノ平均ノ地價ハ六
 十四圓デゴザイマスカラ、地價ノ六十四圓ノ田畑ヲ持ッテ居ルト云フ者ハ餘リ富裕トハ申サレナ
 イノデゴザイマスガ、併シ之ヲ先ヅ假ニ加ヘマシテ私ハ此階級ヲ米ヲ賣ッテ利益ヲ得ル、即チ米
 ノ高イト云フコトヲ利トスルトコロノ階級デアルト見タノデアリマス、其階級ハドノ位アルカ
 ト申シマスレバ、九百八十萬人餘デゴザリマス、總人口ニ割合セマスルト是ガ二割九分ニ當ッテ
 居リマス、次ニ中立階級即チ直接國稅二圓又ハ地租一厘以上納ムル者、即チ町村ニ於キマシテハ
 町會議員村會議員ヲ選ム者、此資格ヲ持ッテ居リマス、所ノ以上ノ人間、二圓以上二圓九十九錢
 五厘マデノ納稅資格者ハドノ位アルカ、之ヲ私ハ米ノ價ノ中立ノ階級ト假ニ名付ケタノデアリ
 マス、何故ナラバ此階級ハ自作若クハ小作ヲ以テ自分ノ食ベマスルトコロノ米ダケハ確ニ穫リ
 得ルトコロノ階級ト信ズルカラデアリマス、勿論此中ニモ米ヲ買フ人モゴザイマセウ、又殊ニ
 依ッテ少々賣ル人モゴザイマセウガ、便宜ノ爲ニソレヲ一階級ノ中ニ加ヘマシテ是ガ八百二十
 萬人デゴザイマス、即チ全人口ノ一割六分ニ當ルノデゴザイマス、次ニ米價騰貴ニ苦シムトコロ
 ノ階級ハドウデアアルカ、此調ヲシテ見マス、此調ハ三口ニ分レテ居リマスガ、第一ハ全國ノ市ニ
 住ンデ居ル——六十六ノ市ノ中ニ住ンデ居ルトコロノ人民、是ガ八百二十九萬九千七百四十四
 人ゴザイマス、ソレカラ次ニハ一萬人以上ノ町ノ中ニ住ンデ居ルトコロノ町民、是ガ二百八十八

萬二千九百六十二人、又此二ツノ階級ハ資産ノ上カラ申シマスレバ如何ナルモノカ知レマセヌ
 ケレドモ、兎ニモ角ニモ商工業ニ從事シテ居ルトコロノ階級デゴザイマスカラ、總テ米ヲ買ッテ
 食ベル方ノ階級デゴザイマス、ソコデ此一萬人以上ノ町ヲ數ヘマシテ三千以上若クハ五千以上
 ノ町ヲ加ヘナイノハ餘程大事ヲ取ッタノデアリマス、是ハ説明ヲ致シテ置キマスガ、三千以上ノ
 町ト云フモノハナカク多イ、此町モ總計致シマスレバ餘程ノ數ニナリマセウガ、統計デソレヲ
 見出ストコロノ便宜ヲ得マセヌノデゴザイマシタカラ、假ニ町ノ方ノ人ハ一萬人以上ノ町ヲ數
 ヘタノデゴザイマス、ソレカラ今一ツハ町村ノ貧民デゴザイマス、村ノ貧民デゴザイマス、ソレ
 ガ二千九百九十五萬六千八百餘人ゴザイマス、是ハ直接國稅二圓ヲ納メルコトモ出來ズ、田地畑
 モ少シモ持タナイトコロノ肩書ヲ以テ申セバ、諸君ハ農業家ト仰シヤル、即チ農業ト云フ肩書ヲ
 持ッテ居ルトコロノ階級デゴザイマスガ、併シ農業家トハナイ、農業ノ下手間ヲ働ク勞働者デアッ
 テ、眞ノ貧乏人デゴザイマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ所謂水吞百姓デゴザイマス、是ハ私ハ
 輕蔑ノ意味ヲ以テ申スノデハナイ、水吞百姓ト云フノハ深キ同情ヲ以テ申ス所ノ貧民階級デ
 ゴザイマス……此二口ヲ合セマスルト三千三百十四萬四百餘人ト云フモノニナリマス、即チ人
 口ニ割合セマスルト、此水吞百姓ノ階級ト市ニ住ンデ居ル者ト、町ニ住ンデ居ル者ト、米ヲ買
 フ方ノ階級ヲ三ツ合セマスルト總人口ノ六割五分ダケニ當ルノデゴザイマス、諸君、斯様ニ統計
 ノ示ストコロニ依ッテ調ベテ見マスルト、此米ノ高イト云フコトニ苦ム階級ハ斯ノ如ク多イノデ
 ゴザイマス、更ニ私ハ一步ヲ讓リマシテ、今一ツ別ナ統計ヲ取ッテ見マシタ、日本國民ノ貧富ノ程
 度ヲトスルニ足ルベキ概數ヲ取ッテ見タ、ドウゾ能ク村ニ歸ッテ御調ベニナル材料ニナリマスガ
 ラ御聽取ヲ願ヒマス、第一階級ニ算ヘマスノハ、直接國稅十圓以上ノモノ、是ガ七百五十一萬五
 千餘人、日本全國都市ヲ籠メテノ話デゴザイマス、第二階級ノ直接國稅三圓以上ヲ納メル者ハ九
 十三萬三千人、第三階級ノ直接國稅二圓又ハ地租ヲ若干納メル者ガ一千二十三萬五千人、此三
 口ト云フモノガ——先ヅ餘リ第三階級ナドハ金持トハ申セマセウケレドモ、併ナガラ村會議員、
 町會議員、市會議員ヲ選舉シ得ル資格ヲ持ッテ居ルモノデゴザイマスカラ、先ヅ困ラナイ所ノ人

ト看做シテ、是ハ日本デハ相當ナ者ト見マシテ、此合計ノ人間ガ都市ヲ通ジマシテ二千二百五十
 一萬五千餘人ゴザイマス、サウシテ第四階級ノ地方ノ町村ニ於キマシテモ、都會ニ於キマシテモ
 何等ノ選舉權モ無イトコロノ勞働者貧民階級ト云フモノガ二千八百六十一萬五千四百人ゴザイ
 マス、此貧富ノ兩階級ニ於キマシテ、眞ノ貧乏人、本當ノ勞働者日雇人足同様ナ人間、地方ニ於テ
 ハ水呑百姓、ソレヲ合セマシタモノガ人口ノ五割五分ニ當ッテ居リマシテ、今ノ僅ナル財産ヲ持ッ
 テ居ル者ヲ加ヘマシタモノガ四割五分ト云フ割合ニナッテ居リマス、假リニ前ノ六割五分ト此
 中流階級トノ三階級ニ分ケマシタモノハ、餘程割合ガ宜クナッテ居リマスガ、ソレヲ止シテ唯貧
 乏人金持ト云フ此二ツノ階級ニ分ケマシテモ、日本帝國ノ社會狀態ト申シマスルモノハ斯様
 ニナッテ居ルノデゴザイマス、シテ見マスレバ此階級ト云フモノノ食物問題、生活問題ト云フモ
 ノハ帝國議會ナドニ於テハ最モ大事ニ審議討論セラレナクテハナラヌ問題ト思フノデゴザイ
 マス、私共ハ此問題ニ就テハ黨派ノ異同ヲ問ハズシテ十分ニ御研究ヲ願ヒタイノデゴザイマス、
 ガ、今日委員長ノ報告ニナリマシタヤウナ結果ヲ來シタト云フモノハ、滿場ノ諸君ガ日本ノ經濟
 狀態、日本ノ社會狀態ト云フモノヲ十分ニ御承知ガナイノデハナイカト云フ虞レヲ懷イテ居ル
 ノデゴザイマス、諸君御同様ニ國政ニ參與スル所ノ議員ハ、即チ政治家デゴザイマス、政治家ト
 申スノハ少シク如何デゴザイマスガ、兎ニ角政治圈内ニ立ッテ國家ノ爲ニ努力スルトコロノ人デ
 ゴザイマシタナラバ、唯自分ヲ選舉シマシタ選舉民ノ御機嫌ヲ取ルトコロノ案バカリ相談ヲ爲
 サツテ、吾々ヲ選舉スルトコロノ權利ノナイ日本帝國ノ多數ノ人民ノ利害得失ト云フモノハ洵
 ニ之ヲ顧ミズシテ、恰モ對岸ノ火災ノ如クニ見テ居ルト云フモノハ御互ノ職責ヲ完ウスル所以
 デゴザイマセウカ、私ハ此點ニ至リマスト我帝國議會ノ程度ノマダ甚ダ幼稚ナルコトヲ歎息ス
 ルノデアリマス、諸君御承知ノ通り、世界ノ文明國ニ於テハ、政治問題ノ根本ハ過去ノ歴史ニ於
 テ政權爭奪時代、若クバ經濟問題時代、斯ウ云フ階級ヲ經テ、今日ハ既ニ社會政策ノ問題ニ進
 デ居リマス、所ガ日本帝國議會ノ議論ヲ見マスルト、マダ政權爭奪時代、一世紀モ二世紀モ遅レ
 タトコロノ議論ガ議場ニ歡迎サレマシテ、第二世紀デアル經濟問題——經濟問題ヲ土臺ト致シ

マシタル所ノ議場ノ議論ト云フモノガ諸君ヲ倦マシメルト云フ景況ハゴザイマセヌカ、私ハ世
 界ノ大勢カラ考ヘマシテ、我日本帝國ノ政治論恐ラクハ經濟問題ニ入ラスシテ、一足飛ニ社會政
 策問題ニ進ミハセヌカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、此社會政策問題ノ攻究上、
 私ガ唯今提供致シマシタトコロノ統計ト申シマスルモノハ、最モ慎重ニ諸君ガ御考ヘ下サルト
 コロノ材料ト思フノデゴザイマス、私ハ政治家タルモノハ木戸孝允ノ詩ニ於テ三千餘萬ノ蒼生
 ヲ如何セント云フコトヲ言ウテ居リマス、御互ニ政治ノ圈内ニアリマスナラバ、六千萬ノ蒼生ノ
 利害得失ヲ考ヘナケレバナラヌノデハゴザイマセヌカ、然ルニ唯徒ニ、自分ノ選舉サレタ少數
 ナルトコロノ階級ノ爲メバカリニナルコトヲ論ジテ、此多數ノ六割五分以上——貧富ノ關係
 カラ申シマシテモ五割五分以上ノ多數ノ國民、最モ同情スベキトコロノ貧民階級ニ向ッテハ殆ド
 一擲ノ涙モナイヤウナ政治家デアッテ、果シテ政治家タルノ資格ヲ備ヘテ居ルデゴザイマセウ
 カ、私ハ此點ニ向ッテ甚ダ失禮デハゴザイマスケレドモ本案ノ如キニ向ッテ罵聲ヲ御掛ケニナル
 諸君ハ政治家タルノ資格ガ無イモノト斷言ヲ致シマス、斯クノ如キ理由ニ於キマシテ、私ハ本案
 ノ維持ヲ致スノデゴザイマス、但シ滿場ノ諸君ハ唯今ノ態度ヲ拜見致シマシテモ、マダ御悟リニ
 ナラナイト或ハ葬ラレルカモ分リマセヌガ、併シ諸君、ドウゾ六千萬ノ同胞ト云フモノヲ能ク御
 考ニナッテ、少數ナルトコロノ富メル階級ニバカリ阿ネルト云フトコロノ說ヲ御止シニナルコト
 ヲ希望致シマス、洵ニ是ハ國家問題ト致シマシテモ最モ重要ナル問題ト信ジマスカラ、失禮ヲ願
 ミズ激語ヲ申シタノデアリマス

丸尾光春君ノ演說

成ルベク簡單ニ述ベマスカラシテ暫ク謹聽ヲ願ヒマス、此輸入ノ米問題ハ非常ナル重要問題、米
 ハ我國ノ生命デアルコトハ申スマデモナイ、即チ我國民ノ重要食物タル以上ハ、此問題ハ輕々ニ
 論斷スベカラザルトコロノモノデアアル、極言スレバ實ニ國家存亡ノ岐ル、トコロノ大問題デア
 リマス、從ッテ外米ノ關稅撤廢ニ付テハ細心注意ヲ要スルノデアリマス、故ニ此外國米ノ輸入問